

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第160集

元島遺跡Ⅱ

平成13・14年度 二級河川太田川広域基幹河川改修事業に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

(遺物編)

2005

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第160集

元島遺跡 II

平成13・14年度 二級河川太田川広域基幹河川改修事業に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

(遺物編)

2005

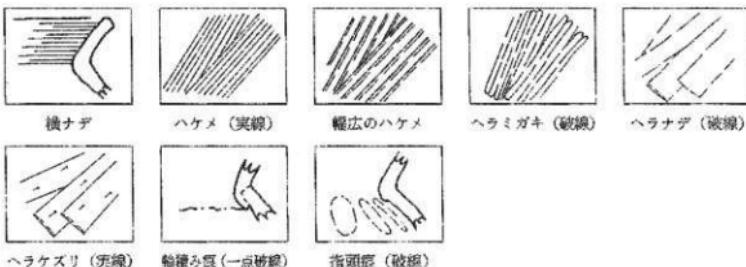
財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

例 言

- 1 本書は、静岡県磐田郡福田町に所在する元島遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本書は、『元島遺跡 II』発掘調査報告書（2分冊）の遺物編である。
- 3 石製品の石材同定は伊藤通玄先生（静岡大学名誉教授）に、木製品の樹種同定は鈴木三男先生（東北大学教授）に、動物遺存体の同定を松井章先生（奈良文化財研究所主任研究官）と丸山真史氏（京都大学大学院）に依頼し、結果を一覧表に掲載した。
- 4 中世の土器については、小野正敏先生（国立歴史民俗博物館助教授）、栗原雅也氏（經江町教育委員会）、中野晴久氏（常滑市民俗資料館）、藤澤良祐氏（瀬戸市埋蔵文化財センター）より様々な御教示をいただいた。
- 5 引用参考文献は、『遺構・考察編』に掲載した。

凡 例

- 1 土器一覧表の色調は、新版『標準土色帖』小山正忠・竹原秀雄1999年版を使用した。
- 2 一覧表の計測値のカッコは、推定値を示す。
- 3 土器実測図で、口径が不明瞭であるものは中心線を外し、ある程度根拠のあるものは中心線を一点破線とした。土築器の実測図は以下のように統一した。



- 4 土器と木製品の実測図中にスクリーントーンで表現した部分があるが、以下の通りである。



- 5 木製品の漆器に使用したスクリーントーンは、以下の通りである。



目 次

例 言

凡 例

第Ⅰ章 発見された遺物

第1節 弥生土器	1
第2節 古墳時代の土器	2
第3節 古代から中世の土器	4
第4節 木製品	6
第5節 土製品	7
第6節 石製品	8
第7節 金属製品	8
第8節 動植物遺存体	10

第Ⅱ章 ま と め

第1節 弥生・古墳時代土器の様相	11
第2節 古代末期から中世の土器の様相	14
第3節 錘の形態的特徴と使用方法	16

挿表目次

表1 弥生土器一覧	19
表2 古墳時代土器一覧	23
表3 古代・中世土器一覧	44
表4 木製品一覧	63
表5 古墳時代土鍤一覧	69
表6 土製品一覧	74
表7 石製品一覧	76
表8 金属製品一覧	77
表9 銅錢一覧	78
表10 動物遺存体一覧	80
表11 植物遺存体一覧	81

挿図目次

第1図～第10図	弥生土器実測図（1～10）	84～93
第11図～第51図	古墳時代土器実測図（1～41）	94～134
第52図～第80図	古代・中世土器実測図（1～29）	135～163
第81図～第108図	木製品実測図（1～28）	164～191
第109図～第112図	土製品実測図（1～4）	192～195
第113図～第116図	石製品実測図（1～4）	196～199
第117図・第118図	金属製品実測図（1・2）	200～201

図版目次

図版1	1. 方形周溝茎出土土器	2. 15区 S F 405出土土器
図版2	1. 13-2区 S F 305出土土器	2. 13-2・15区 出土玉類
図版3	1. 14区 出土木箇	2. 出土土鍤
図版4	1. 14区 出土倭鏡（15）	2. 11区 出土貿易陶磁 外面（40～71）
	3. 11区 出土貿易陶磁 内面（40～71）	4. 14区 出土貿易陶磁 外面（60・72～94）
	5. 14区 出土貿易陶磁 内面（60・72～94）	
図版5～9	弥生土器	
図版10	弥生土器・古墳時代土器	
図版11～43	古墳時代土器	
図版44～59	古代・中世土器	
図版60～87	木製品	
図版88～90	土製品	
図版91～93	石製品	
図版94～97	金属製品	
図版98～100	銅鏡	
図版101	動物遺存体	
図版102	植物遺存体	
図版103	貝殻	

第Ⅰ章 発見された遺物

第1節 弥生土器（表1、第1～10図）

古墳時代の遺構内から出土した弥生土器は、編集の関係上古墳時代の土器の項目で一部扱っているものがある。弥生土器の項目の中には、熱効率を上げるために深鉢の下に置いて利用された方形土製品(88・89)を含めている。弥生土器の多くは、12・13・15区の方形周溝墓の溝内から出土している。その溝内の上層からは、古式土器が出土している。溝内の明らかに新しい土器は、流路もしくは包含層出土として現地で取り上げられたようである。ただし、混入品は存在し、それらのなかでも明らかに新しい土器以外は、掲載にあって恣意的な選択をしていない。遺構内出土土器は、可能な限り掲載に努めたが、包含層出土例の多い条痕文土器や嶺田式土器などの破片資料は、図示できなかったものも多い。

当遺跡出土土器のなかで、84・85などの条痕文土器が最古段階の資料で、掛川市原川遺跡出土土器棺に類似したものである。この時期には、袋井市と掛川市にまたがる山下遺跡で方形周溝墓がすでに形成されていることからすると、当遺跡でも当該期の方形周溝墓が存在していた可能性は高い。弥生土器の新しい一群には、SD448出土資料(47・49・50)がある。破片資料のため確実ではないが、後期の菊川式の特徴の一部が看取される。これらの中には、菊川式土器がまとめて出土した例ではなく、大多数が古式土器と共に出土している。同じSD448からは、胸部上半に振幅の狭い波状文が施文された珍しい壺(48)も出土している。同様の文様が描かれた壺がSD443(37・39)からも出土しており、中部高地地方からの影響なども考慮すべきであろう。

器種構成は、方形周溝墓出土土器が大半のため、細頸壺の出土数が多い。細頸壺には、胴部中位まで施文され、その文様を縦位に区切るようにヘラミガキされているものと無文もしくは頸部に簡素な1条の刺突文が巡るものがある。一般的には、前者の華美に飾られたものが古いとされており、縦位の区画帯は、三河地方の瓜郷式土器の影響下に成立するとされている。飾られた壺は、胸部最大径が比較的高位にあるものが目立つ。被葬者への供獻用として方形周溝墓から出土した土器や土器棺に利用された土器には、焼成後底部穿孔されている例が8点ある(32・66・71)。

方形周溝墓から台付甕も出土している(42)。台部は高く直線的に開いており、煤が付着している。西遠江地域の椿野遺跡の方形周溝墓(SD413～416)からは、壺類48% (32点)、小型甕9% (6点)、台付甕21% (21点)、高环21% (21点)、片口1% (1点)が発見されており(柴田1993)、弥生時代後期の例であるが、想像以上に煮炊き用の台付甕が供獻されている。

土器棺として利用されたものにSF405(70～72)出土土器がある。櫛描文が胸部の中位まで施文され、縦位の磨り消し文のある白岩式のなかでも比較的古い壺と、この時期にはあまり存在しないとされる台付甕が共存しており、白岩式段階の台付甕がかなり普及していた形跡がある。

全体量は少ないが、墓への供獻用と棺として利用された土器がほとんどで、完形に近い状態に復原できた割合が高い。中期の中葉とされている嶺田式土器が少量出土しているが、多くは中期の後半の白岩式土器で、一部は後期に下るものがあるかもしれない。嶺田式土器は信濃地方の土器と共通するのもので、白岩式土器は西方の櫛描文の影響下に成立する土器群である。西方からの櫛描文の波及が、嶺田式土器を使用していた集団に大きな影響を与えたものと思われる。

第2節 古墳時代の土器（表2、第11～51図）

古墳時代の土器は、12区、13-1区、13-2区、15区の古墳時代面の調査時に出土したものと、下層の弥生時代面の包含層や遺構内の上層から出土したものがある。それらは、今回の調査のなかで最も多く出土した遺物で、前期から後期にかけての資料である。出土土器量は、時期が下るに従い減少傾向にあり、とくに後期の資料が少ない。前期の土器は、13・15区の旧流路や包含層などから広範囲にわたって大量に出土している。中期の土器は遺構内よりまとまって発見されている例が目立ち、狭い範囲から集中して出土する傾向にある。後期の土器は、点在的な出土状況である。実測図の掲載にあたっては、恣意的な選択をしなかったため、図中に少數の弥生土器を含んでいる（前節参照）。

前期の土器は、遺構内からまとめて出土した一括性の高い土器群は無いが、外来系土器を含む多種多量の土器が出土している。列島規模で認められる遠隔地系の土器の多量出土は、地域社会の変化を伴う動きを反映したものと理解される。西遼江系を含む尾張・三河系の土器と在地系の土器が混在し、駿河地方の大窓式土器、遠隔地の山陰系や畿内系の土器が少量出土している。

13-2区のS R304の北肩部からは、前期の比較的まとまった土器が出土している（299～383）。器種構成は壺21%（33.5点）、「く」字状口縁合付壺（以下く字壺と略す）18%（28点）、「S」字状口縁合付壺（以下S字壺と略す）14%（22点）、高环27%（42点、内12.5点が小型品）、器台4%（6点）、鉢類（手捏ね、ミニチュアを含む）15%（23.3点）、坏1%（1点）である。これらは旧流路からの出土であるため時期幅があり、366や382などのように中期の土器も混在している。器種構成比は、壺：壺：高环がおよそ3：5：4で、前期の一般的な傾向と変わらないが、高环に小型品が多く、手捏ね土器も多いため、祭祀的様相が窺える。

県内では出土例の少ない古墳時代中期の土器も比較的多く出土している。遺構内からまとめて発見されている例が多く、今後の編年・基準資料になるものと期待される。一括性の高い一群には、12区 S B102、（1～6）、13-1区 S X301（10～54）、13-1区 S X306（55～62）、13-2区 S F305（123～141）などがある。それらの土器群は、S X301→S X306→S F305→S B102のように推移すると思われる。13-2区 S X307（170～204）やS X316・317（257～298）からも比較的まとまった土器が出土したが、型式学的に新旧の土器が混在している。

S X301の器種構成は壺6%（2.0点）、小型壺17%（5.75点）、壺30%（10.25点、平丸底）、く字壺2%（0.75点）、S字壺11%（3.5点）、高环34%（11.5点、内2点が小型品）である。

S X316・317の器種構成は壺12%（2.67点）、小型壺17%（4点）、壺14%（3.33点、平丸底）、く字壺10%（2.25点）、S字壺4%（1点）、高环17%（4点）、鉢4%（1点）、その他（ミニチュアなど）13%（3点）、須恵器9%（2点）である。

S F305の器種構成は小型壺36%（5点）、壺1%（0.33点、平底）、高环50%（7点）、鉢7%（0.9点）、その他6%（0.8点）である。この遺構はおそらく井戸であろうと考えられるため、祭祀的な行為に伴い土器が遺棄されている可能性が高い。そのため、小型壺と高环の構成比が異常に高くなっているものと思われる。また、他遺跡でも古墳時代中期の高环は、比較的多く発見される場合があり、所謂鉢々器とされる個人用の食器として使用されているとの指摘もある。祭祀用として多用される高环の用途は、遺構内出土土器の器種構成比や使用の状態（摩滅や焼け付着状況など）を十分検討しないと一概には言えない。

古墳時代前期から中期への土器の形態的変化は様々であるが、器種構成の変化は比較的明瞭であろう。祭祀用の小型器台と小型鉢が消失し、小型丸底壺の大量使用が始まる。壺や鉢などの貯蔵具が減少し、

高环の出土量が増加する。台付甕が減少し、平底もしくは丸底の甕が増加する。これらの背景として、貯蔵具の減少は、木製の箱や曲物の普及と貯蔵形態の変化が、平・丸底甕の増加は、住居への甕の導入が挙げられる。古墳時代中期の木製容器は、浜松市恒武西浦・山ノ花遺跡から大量に発見されており、組み合わせの箱物などが新しい技術により製作されている。

特殊な土師器の489~491は、県内最古とされる輪羽口に転用された高环で、13-2区のU18グリッド包含層から出土したものである。高环転用羽口は、畿内地方での出土例が少ないとされていたが、安間氏によると畿内地方にも類例が増えつつあるとされており（特論参照）、中央の組織化された鍛冶工人集団とは別系統の工人の存在を想定する必要性はないであろう。

中期の古式須恵器も他遺跡と比較すると多く出土している。豪族居館と目される浅羽町古新田遺跡に匹敵する量が発見された。15区の古墳からの出土例には、384（坏身）、392（甕）、395（罐）があり、完形の440と441の坏も古墳に伴うものであろう。440と441は、418~428の土師器の集中地点の近くから出土しているが、時期的に開きがあり、伝世などを考慮する必要もあるかもしれない。13区の包含層からは、壺または罐（474・475）、厚く自然釉がかかった坏甕（495）や焼き締まりの甘い坏身（496）などがある。これらは、TK216~47（田辺1981、以下、須恵器は田辺編年を援用）にかけてのものである。

古墳時代中期の土器は、県内では類例に乏しく、山ノ花遺跡の調査によって明らかになった点が多い（鈴木1999）とも言える。遠江地方では、磐田市見性寺貝塚出土資料（平野1974）が和泉式に併行する基準資料と考えられ、袋井市坂尻遺跡K S D17（松井他1985）、細江町川久保遺跡S B01（栗原1993）、浜松市伊場遺跡K I-1・2、KD 4、KT 201（漆畠1987）や古新田遺跡（柴田稔1993）出土例が見性寺貝塚出土資料に並行もしくは後続するものと考えられていたが、何れも断片的で、伴出した須恵器から前後関係を決めていたような状況であった。古新田遺跡からは、TK208型式の須恵器が多く出土し、これらに伴う土師器群が時間軸上の一定の位置を占めるにいたり、型式変化を考えるうえで基準資料となっている。

古墳時代前期と中期の画期は、現状で認識しやすい土器様式の変化により説明した。前期から中期にかけては、集住型集落から散在型集落へと変わり、当遺跡で認められたような群集墳が形成され、大型円墳も認められるようになる。古墳時代中期と後期の画期は、一般的には、横穴石室の存在の有無が問題とされる。遠江地方では、磐田市観音塚古墳がその初現であり、MT15型式に併行する須恵器が出土している。土器様式論的には、土師器の横微环や焼形高环の出現があり、小型丸底甕が消滅し、極端に甕が減少する段階以降を後期として扱っている。

MT15型式は6世紀初頭に位置付けられてきたが、TK217型式が7世紀後半まで引き下げられる可能性がある（小森1997他）とされたことにより、それ以前の須恵器編年の年代も引き下げられつつある。韓國の武寧王陵（公州大學校1991）に類例のある火熨斗を出土した大阪府高井田山古墳（柏原市教育委員会1996）出土のTK23型式が、520~530年に比定された（小野1999）。飛鳥寺下層出土土器と類似するとされ、587年前後に比定されていたTK43型式は、TK43号窯跡から出土した踏足円形硯の存在から7世紀以降であろう（畑中1999）とされた。全体的傾向として、田辺編年の年代観が引き下げられつつあるのが現状であろう。本稿では、古墳時代中期の下限を西暦500年を前後する時期ととりあえず考えている。

後期の土器は、13-1区のS R303から須恵器坏の身と蓋が入れ子状態で出土し（87・88）、15区のS X413（467~471）でも須恵器坏の身と蓋が口縁部を上にして並べられた状態で出土した。S X413は、完形に近い須恵器が人為的に並べられたもので、おそらく古墳に伴うものではないかと推測される。それらの須恵器はTK209~217型式に並行するもので、7世紀初頭前後のものであろう。同じ15区のS R

403からも、まとまった土師器が出土した（418～428）。それらは、試掘調査時に出土した後期初頭の土師器で、長胴甌が1点、高坏が2点、口縁部や底部が上向きの状態で出土した坏が多数である。3号墳の西側のS R403が弧状に曲がっており、円墳が存在していた可能性も否定できないことから、それらが古墳に伴っていた可能性もある。S K413やS R403の一群の土器は、低地の群集墳が中期だけではなく、後期の後半まで継続的に築造（利用）された可能性を示すものとして重要であろう。

第3節 古代から中世の土器（表3、第52～80図）

奈良～平安時代中期の土器（456～458）の混入があり、近世に降る一部の資料もこの項目で紹介している。最近では、藤沢良祐氏の大窯1段階の実年代観（1480～1530年、藤沢2001）に対して、山科本願寺の焼土層（1532年焼き討ち）上から出土する大窯1段階の土器の存在から、少し新しい年代観が提示され（小野2004）、混沌とした状況にある。

出土した土器について藤沢良祐氏、小野正敏氏と中野晴久氏から多くの御教示をいただいた。その全てではないが、数量的な検討を薄口彰啓氏が『遺構・考察編』の特論でまとめているので、そちらも参照していただきたい。

1～39が灰釉陶器（14）と山茶碗である。これらは、中世後半の遺構が確認された面の下の砂礫層内から発見されたもので、おそらく、大規模な洪水などにより流されて来たものと考えられる。遺構に伴うものではないため、部分的な調査により採集されたものであるが、比較的大型の破片が多い。付近の上流域に、平安時代末期から鎌倉時代にかけての集落の存在が想定される。

これらの多くは、12世紀から13世紀にかけての渥美・湖西産の山茶碗である。渥美・湖西産の山茶碗の特徴は、灰白色系で素地に砂粒を多く含み、外反する口縁端部は丸く、底部糸切りで高台に粗穂殿が付く例が多い。なかには白色の縞が多く観察されるものがあり、知多産などの尾張地方の製品の胎土に近いものも少数出土している（9・12・18・19・24・25）。前回の調査時にも出土しているが、畿内産の瓦器（452）が1点発見された。こうした遠隔地の陶器が出土しているにもかかわらず、近隣の須恵器質の東濃江・西濃河岸の山茶碗が非常に少ない点は、西濃江地域の遺跡の在り方と共通している。

貿易陶磁には中国の龍泉窯系統の青磁、白磁と染付などの破片がある。所謂荷物などの大型品は無く、碗、杯、皿や盤といった小型品が確認されている。青磁や白磁は15世紀代のものが主体的に出土しており、比較的新しい15世紀後半から16世紀にかけての染付が少疊伴っている。これらは、作出する瀬戸・美濃産陶器より若干古い傾向にある。

貿易陶磁が高価な商品であったことは、当時の文献史料などから窺うことができるが、漆塗ぎされている資料（48・61・69・79・87・）の多さもそうしたことと表しているのであろう。鈴木康之氏は、貿易陶磁の窯業パターンから、それらが威信財的な使われ方により伝世していることを例示した（鈴木2004）。そうした伝世期間の問題も考慮しなければならないが、大窯期の製品の多くにはモデルが存在し、とくに、第1・2段階は「輸入陶磁器をモデルに生産された」（藤沢2001）と考えられており、コピー商品の氾濫が貿易陶磁の出土量に大きな影響を与えていることは確実であろう。

出土した国産陶器には、瀬戸・美濃産窯器、初山窯産陶器、志戸瓦窯産陶器、常滑窯陶器、カワラケ、土器などがある。15・16世紀の土器編年は、藤沢編年が一般的に用いられているため、本稿でも藤沢編年を準用し、それらについての概要を記す。藤沢氏によると、前回の報告書のなかで、古瀬戸後Ⅲ期としていたものの内、一部は後IV期古段階に降るものがあるとされる。これは、瀬戸地域で後IV期古段階の

良好な窯跡出土資料がなかったために（藤沢氏は陶器工人の逃散による窯場の移動や消失が原因としている）、比較検討ができなかっことによるとされた。

瀬戸・美濃系施釉陶器は、古瀬戸後IV期に急激に増加し、とくに、古瀬戸後IV期の志戸呂窯産の播鉢の出土量が比較的多い。大窯期になると瀬戸・美濃系陶器は減少傾向にあり、とくに大窯2段階の製品が非常に少ない。今川氏による勝沼田城の廃城の年代が1476年であり、大窯製品の県内での流通はそれ以降とされている。明応の地震（1496年）以後のしばらくの間、震災後の復旧期間があり（大窯1～2段階か）、以後、当遺跡の集落が再び拡大された可能性も指摘されている。

藤沢良祐氏によると、当遺跡の15世紀前半段階の瀬戸・美濃系施釉陶器は優品が少なく、尾張地方の居館跡出土資料より質的に落ち、15世紀後半からは雑器的な土器が目立ち、居館的な様相ではなく、生活感のある器種が多いとされた。

大窯1～3段階前半は、瀬戸・美濃窯製品が多く、大窯3段階以降の製品は、量的に減少傾向にある。大窯3段階後半の初山窯製品が少量存在し、大窯4段階の志戸呂窯製品が微量である。地元の初山・志戸呂窯製品には多くの器種があり、器種構成は磐田市見付から出土している資料に類似し、元島集落が陶器の集散地であった可能性もある。その可能性は、窯道具の歴史した土器から、前回の報告書のなかでも指摘されている（加藤1999）。しかし、今回出土した瀬戸・美濃製品は、そうした状況ではない。

瀬戸・美濃系施釉陶器の流れを汲む初山・志戸呂窯製品は、瀬戸・美濃窯の大窯期の製品に取って代わるかのように、大窯3段階以降に増加している。初山・志戸呂窯製品の総量自体がそれほど多いとは言えないが、16世紀後半における転換の背景には、領国の支記者層の動向が影響している可能性がある。

県内での古瀬戸系施釉陶器の生産は、金谷町の川根沢古窯と三ツ沢古窯で古瀬戸後III期後半に始まるとしている。その製品に認められる「純重さ」は、瀬戸地域からの陶工集団の移住とともに、古窯築窯技術と施釉陶器生産技術を持った指導者の導入によって、この地に新たに陶工集団が誕生した可能性がある（柴垣2003）とされている。大窯3段階の初山・志戸呂窯の開窯の背景には、有名な徳川家康朱印状（加藤家文書）にみられるように、為政者による自國の産業の育成が目的にある。製品の製作に関係する陶工の育成だけでなく、商品の流通や販売に關係する商人や運送業者の組織化も、当然行われたものと考えられる。

瀬戸・美濃製品だけでなく、三河湾から常滑窯の大型の壺や片口鉢（播鉢もしくは捏鉢として使用）も多くが運ばれている。大型の壺の製作に特化した常滑窯は、瀬戸・美濃窯との補完的な関係が成立し、16世紀前半の常滑11型式から片口鉢は認められなくなるとされ、その関係がより明確となる。

常滑土器の一部は、中野晴久氏より年代観を御教示いただきており、壺や壺には2型式（12世紀中期）から12型式（16世紀後半）のものがあり、片口鉢は9・10型式のものが多いようである。

土器の分類とその変化については、先学による多くの研究成果がある。それらを参考すると羽付壠は13世紀には出現し、15世紀にかけて存在する。この字状口縁の内耳壠は15世紀の中頃には存在し、羽付壠と共に16世紀まで存続する。16世紀以降には、内窓口縁の内耳壠が主体的な存在となり、この字状口縁の内耳壠が減少するとされている。

所謂カワラケもしくは土師質土器とされる土師器皿も比較的多く出土している。それらは、大きく分けると、ロクロ成形のものと手捏ねのものがある。両者共に白色系と褐色系のものがあり、大きさも様々である。大きさの違いは時間軸上の変化ではなく、器形のバラニティと考えられており、色調の違いは系統差によるものとされている。時間軸上の変化が明瞭な土壠は11区の方が比較的古いものが多く、14区の例が新しい。このことを援用すると、土師器皿の形態変化は、深めで底径の大きいものから浅めで底径の小さいものへと変化していることになる。

池谷初恵氏によると、伊豆蘿山の北条氏閥遺の集落から出土した白色の京都系土師器皿は、在地産と

考えられるとしている（池谷ほか1998）。これは胎土の蛍光X線分析の結果からの解説であり、科学的根拠も提示されている。元島遺跡出土例も在地産であるなら、完成品の色調を予想した素地土の選択と焼成技術が必要であり、熟練工の存在が予想される。

土師器皿の中には、口唇部などに厚く模が付着している資料と使用痕跡の少ないものがある。前者は灯明皿として使用されたものであり、後者は祭祀用に利用され、日常的に使用されることなく廃棄されたものであろう。

第4節 木製品（表4、第81～108図）

木製品は、1～3と209～226が古墳時代前期（一部は中期まで下る可能性もある）、その他は中世後半～近世初頭の資料である。出土資料は多種多様であるが、主なものとして鍔・鋤先・漆器・曲物・折敷・組合せ箱・桶・経巻・布巻具・糸巻具・木鎧・杓子・箸・火鐵臼・横櫛・下駄・木柵・建築材・呪符木簡がある。これらについては、特論（遺構・考察編）において、中川律子氏にまとめていただいた。樹種に関しては、前回『元島遺跡I』の報告分も含めて、鈴木三男先生に分析を依頼し、同じく特論として掲載した。

4、44、284の3点は、前回の調査時に出土したもので、保存処理の工程の関係により報告できなかつた資料と保存処理後に墨書きが鮮明になった呪符木簡である。それらは、重要遺物であることから、担当者より今回報告するように依頼されたものである。

4は、2区のS E 4の中層から出土した資料で、刃先を除く完形の鍔である。県内の中世後半の鍔としては、非常に珍しいので少し詳しく触れる。とくに、静清平野で近世以降に多用される「ヘラックワ」と呼ばれる鍔に似ていることから、その鍔との比較検討を試みる。

「ヘラックワ」の総合的研究を進めている大村和男氏によると、その鍔の特徴は、柄が極端に短く、「カナグリ」が「J」字形に曲がり、鍔先の断面形が三角形で、稜部が下方を向くこととされている。これらの特徴から、大村氏は一期作を行う静清平野の粘性の強い湿田で、春の田起こし用に特化した鍔であろうとされた。当遺跡出土例の柄は、柄頭が刃先側に若干膨らんでいる程度であるが、長さ75cmと「ヘラックワ」のように短い。鍔先の形状は、長方形孔があり、断面形が扁平な算盤玉形で、平面形の刃先側が直線的である。おそらく刃先は風呂型であろう。この鍔には、「ヘラックワ」と細部における差違が存在するが、近世の風呂鍔への過渡的な様相が窺われる。古代の神明原・元宮川遺跡出土の鍔の反柄も、柄頭から刃先まで約65cmと短い（中山1994）。しかし、鍔先との結合は、長方形孔への差し込みではなく、臺によるものである。鍔先の長方形孔がいつ頃から当地域で一般的になるのかは、今後の出土例の増加に期待したい。

漆器（5～43）については、椀と皿がある。椀の形状には、口縁部が外反するもの（30）と内弯気味に開くもの（18・33・26）と垂直気味に立ち上がるもの（21・34・36・38・40・41・43）ものがある。垂直気味に立ち上がる例は、比較的楕部が深めて高台が高いものが多い。

曲物は大きさが様々であり、サイズによって種類や用途が異なる。44は大型品で、井戸側に転用されたようである。小型の49・56・57の蓋底板は、カキゾコで側板がカバ紐で留められている。これよりも大きめの蓋底板は、クレゾコで木釘によって留められている。古墳時代から平安時代以前の曲物が大量に出土した瀬名遺跡では、67%がクレゾコであり、それらの大きさは様々なもののが存在している。それに対して、カキゾコは18～26cmの中型品のみである（中山1994）。恒武西浦・山ノ花遺跡から出土し

た古墳時代中期の例は、15点全てがカキゾコであった。中世以降の曲物は、大きさによって底蓋板と側板の結合方法が異なっている可能性がある。54は側面に木の葉状の線刻があり、内外面黒漆塗りの小型品で、現代の「メンバ」に通ずるような優品である。

64～68は黒漆塗りの折扇の破片である。側板をカバヒモで留めた痕跡がよく残っている。

76～79は紡織具であり、76は紡錘車としたが、蓋などになるかもしれない。77の経巻・布巻具の巻取部の幅は22cmとかなり狭い。

80・81は蘿編み用の鍼と思われるが、浮きとしても利用可能である。

箸（84～123）については、完形品を含む資料が大量にまとまって出土している場合があり、斎串のような使用方法も想定されるため「箸状木製品」と呼ばれている。実際に食事用として全てが使われていたかは不明であるが、一覧表には「箸」と略記した。

火鑄臼（124～135）の出土例は多く、曲物などを転用しているものが多い。火打石へと代わるのは、江戸時代以降であろう。

下駄（137～139）の鼻緒の穴は、腐植が著しいため、かなり大きく圓化されている。

これらの他に、柱根も多く残っており、当時の建築技術を考える上で非常に有効な資料となるであろう。中世後半の資料には、建物の柱だけではなく、横脚の可能性のあるものが存在する。

古墳時代前期の柱根の直径は148mm、中世後半の例は149mmとほぼ同じ太さであった。柱根の形状は、ほとんど丸太状であった。柱の樹種は、古墳時代前期がコナラ節が多用され、中世後半がクリやマツといった全く異なる材が利用されている。

呪符木簡には、神祇信仰を土台とした土俗的呪文とされる「急々如律令」や「梵字」が墨書きされ、穂れを祓う儀礼に使われたとされている。

「一二三」と墨書きされた小型方形板は、類例も無く用途不明である。広島県草戸千軒町遺跡出土の聞香札に類するものとする意見もある。

第5節 土 製 品（表5・6、第109～112図）

海浜部という立地からであろうが、土鍼が非常に多く出土している。それらの土鍼は、大型品が古墳時代前・中期のもので（1～39）、小型品が中世以降のもの（40～99）である。

古墳時代の土鍼のほとんどは、表6に残存形状と重量を掲載した。一部の資料は、当研究所技術員の大森信宏氏が水中重量を計測し、結果を同表に掲載した。それらの形態には、竹輪形、丸玉形（25）、両端に穿孔のある棒形（18・30）の3種類があり、竹輪形が99%を占めている。完形の竹輪形土鍼の重量は、最小が32g、最大が225gであった。外面に叩き目の残るもの（8・31）があり、大きさの多様さなども考慮すると、製作者は限定されていたとは思えない。これらは、完形率が35%（270点中94点）と高いことも注目され、なかには、豊穴状溝槽や小穴内から完形品が出土している場合がある。使い捨てに近い消耗品であったのか、土鍼以外の用途に利用されていたのか検討の余地がある。出土状況や残存状態からすると、すべてが土鍼として使われたとは想定しにくい点があり、一部は別の用途にも利用される多用途型の道具の可能性を指摘しておきたい。

中世以降の小型品には、1.2～28.3gのものがあり、3g前後のものが多い。全て酸化焰焼成である。

土鍼の他には、靴羽口、加工円筒、瓦、土管、紡錘車、硯などの土製品も出土している。靴羽口（100）は、大型品で、中世後半の資料であろう。古墳時代中期の土師器高杯の転用羽口は、土器の項目で

紹介している。101は、常滑産土器の破片を加工したものである。瓦（102～103）は、時期不明であるが、大量に出土していないことからすると、門や棟などの部分的な装飾用か、もしくは小規模の建物や屋根の一部に葺かれていた可能性がある。土管（105・106）は常滑産であり、近世以降のものであろう。107は土器器片を加工した紡錘車である。硯（108）は石製品を意図してか、表面を黒色処理している。

第6節 石製品（表7、第113～116図）

弥生時代の磨製石斧（17）、古墳時代の紡錘車（15・16）と石鍤？（14）が少數出土しており、古墳時代中・後期の玉類も発見されている。18・19は中世後半の茶臼であろう。

紡錘車は、1号墳から出土した丁寧に研磨されたもの（16）と11区の中世後半以降の流路から検出されたもの（15）である。15は触孔が大きく、適心力を増すためか鐵梯が埋め込まれた特殊品で、古墳時代の紡錘車を中世に再加工して使用したものと思われる。

14は九州型石鍤（下條1984）とされるもので、類例が福岡県西新町遺跡などの博多湾沿岸の遺跡から出土している。

玉類の多くはまとめて検出されており、古墳に伴っていた可能性が高い。1～3は13・2区のS X 309から出土した勾玉と管玉で、5～13は15区からまとめて検出され、そのまとまりをS X 412とした。これらの玉類は滑石製で、中位に稜の渡る臼玉（13）などに古墳時代中期的特徴がある。

石製品の大半は砥石であり、古墳時代のものと中世後半から近世初頭のものが今回発見された。

古墳時代に属す31～37・49は、13・15区から発見されたもので、砂岩と凝灰岩製のものがある。それらの堆積岩は、粒子の大きさにより選別され、荒研磨用と仕上げ用の砥石に利用されている。手持ち用の小型品が多いが、33と36は大型であり置き砥石であろう。

中世後半から近世初頭に属す20～30、38～48は、手持ち用の砥石であり、流紋岩質凝灰岩が多い。それらの形態的な特徴としては、中央部が凹んだものより両端部が尖っている資料が多いことである。非常に細かな部分を丁寧に研磨するために用いられたのであろうか。前回の調査分も含めると大量の同様な砥石が出土しており、当集落における刃物などの鉄製品の普及を示しているのであろう。また、塙分の多い土地柄でもあり、鋸の進行が遅かったことも大量出土の要因の一つになるのかもしれない。

第7節 金属製品（表8・9、第117・118図、図版96～100）

古墳時代中期の器の羽口が出土しており、その時期に多くの金属製品が存在していたと推察されるが、古墳時代のものは耳環（1）が出土したのみであり、ほとんどの製品は、11・14区から発見された中世後半から近世初頭のものであった。

出土した金属製品には、和鏡、小柄、刀子、笄、釘、鎌、錐、火箸、釣り針、銀、飾金具、鐵滓、銅錢などがある。前回の報告『元島遺跡I』のなかでも、鐵滓を含む多量の金属製品が報告された。とくに鐵滓は、地点毎の出土量比が分析され、その集中地点の在り方から集落内の鍛冶職人（いわゆる村の鍛冶屋）の存在が想定された。今回出土した31のX線写真（図版97）には、ひび割れが顯著に確認され

た。そのひび割れは、炭素量が多いために起きた現象とすると銑鉄の可能性があると大森信宏氏より指摘を受けた。この銑鉄は、片面に粘土が貼り付いた状態で発見されており、他地域より運び込まれたものとは思われない。むしろ集落内での精錬作業中に偶然できたものと考えられ、鉄製品の修復だけでなく、鉄製品の素材をも集落内で作っていた根拠のひとつになるであろう。鍛冶職人の存在には、ある程度の根拠があるが、その他の具体的な職掌を示すような金属製品の出土例は非常に少ない。階層としては、小柄や笄などが比較的富裕層の所持品と推測され、武士層とまでは断定できないが、武家的な慣習を身につけた有力支配者層を含む管理的な集団が存在していた可能性もある。戦国期に当集落が自治的な経営をしていたとはとても想定できないことから、おそらく有力武将の庇護を受け、交易による富の集積がなされたのであろう。

18・22・23が小柄の破片で、18・22の内部には刀身が嵌っている。18の鞘は、やや黄色味を帯びており真鍮製の可能性があるが、他は鋼製である。2・3・17は刀子状の刃物の破片で、小柄の可能性もある。

4・9が笄で、4は比較的大型で両端部が暭滅しており、両端部欠失後も使用されていたようである。4の表面には上端部に藤手状の線刻と全体的に細かな魚々子地が観察される。9には4のような装飾が確認できない。

紐を欠き、紐通し用の孔が2個縁に空けられた和鏡（15）が1面出土している。直径が9cm、鏡背の文様は判然としていないが、外区に二重の椿文が巡り、内区に菊花文が二重に配されている。雀が表現されているかは不明である。室町時代後半とされる岡部町西平経塚から類似した和鏡が発見されている（精原1991）。

釣（5・8・11・12・26・27・28）は比較的多く出土しているが、鎌（7）との区別が付きにくい。21は針状の鉄製品で、錐先の可能性もある。10の錐先には捩りがあり、20の火箸と共に通する。土製品と比較すると流壺具の出土例が非常に少ない。長さが11cmと大型の外洋用と思われるアグの無い釣針（14）が1点出土したのみである。歯が長いことは、歯の鋭利な魚を外すのに有効で、フトコロが狭いものは口腔裏の柔らかい魚は逸脱しやすいとされ、中型以上の表層魚に適応するとされている（大野1991）。

釘、鎌、錐先、火箸や釣針は捩りのある製品もあるが、全て断面方形の棒状の鉄製品である。

大量の土塊に混じって、鉄鍋（29）が1点出土している。鉄鍋の内面に蓋受け状の段があり、16世紀代の内耳塙（加藤分類の内耳塙B類）の形状に類似する。鉄鍋の形状が土塊に影響を与えていたことは、各地の出土例から確認されているが、その使われ方には様々な意見がある。調理方法や使用する場面の相違などにより材質が選択されていたとする説や保有者層の違いによるとする考え方など諸説がある。出土量からすれば、土塙が主要な調理具として利用されていたと想定することも可能であり、火加減の微調整などが鉄鍋では比較的難しい状況にあったため、伝統的な土塙が多用されていたのではないかと思われる。

珍しい資料として、銅製の飾金具らしき破片（6・32）が検出されている。6は円板状の製品で線刻が施され、32（図版97）は表面に型を当て、裏面から打ち出し、表面に線刻により彫金されている。これは、竜の飾金具で、刀の目貫などに使われていた可能性がある。

銅錢（図版97～100）は13区の包含層から1点と12区の土坑墓からも検出されたが、ほとんどが11・14区から出土した。今回の出土例は少数が散在しており、小穴内より大量の備蓄銭が発見された前回のような状況はないが、出土量の多さは注目される。備蓄銭や大量出土銭は貨幣経済の発展と活発な商いが行われていたことの証拠であり、当集落の性格を想定する上でも重要な資料となるであろう。それらには、寛永通宝が確認されていないことからすると、確実に江戸時代に降ると断定される資料は無い。

出土状況として特筆されるものに小穴（柱穴）内出土例があり、地鎮具として利用されたものや土坑墓内出土例がある。前回調査された土坑墓出土の銅鏡は、1・3号墓から各3枚、8号墓から12枚、9・12号墓から各6枚が検出されている。今回調査した12区の土坑墓のS F 101・102からは、各6枚の銅鏡が出土しており、六道思想の影響が濃厚である。

第8節 動植物遺存体（表10・11、図版101～103）

今回出土した動物遺存体の内、遺存状態の比較的良好な動物骨25点と貝殻19点の種と部位の同定を行った。同定に際しては、松井章先生と丸山真史氏に依頼し、結果とコメントを『遺構・特論編』に掲載したので、そちらを参照していただきたい。

今回報告した資料の多くは、発掘作業中に偶然検出されたものであるため、大型の哺乳類を中心とした紹介となった。前回の報告も同様と思われるが、おそらく魚類や鳥類の方が、実際の数量は多いと予想される。

前回と今回の調査では、類似した資料が発見されたが、前回の調査で出土した人骨が熱を受けている点が異なっている。今回の調査で出土した人骨は、土坑墓から出土しており、火葬骨は無かった。土坑墓の周辺には、熱により赤化している地点が発見されており、火葬に関連する施設があった可能性もある。

13-1区から出土した4～7の桃の果核は古墳時代の資料で、4・5は全体に丸く小型で、先端部の形状も丸い。その他の1-4区 S D 205などから出土した資料は、中世後半のもので、先端部や全形の丸い小型の確実な例が無い。古墳時代中・後期初頭の浜松市恒武西浦遺跡（柴田2000）や古墳時代後期末葉の大井川町藤守遺跡（柴田2002）出土例には、全形の丸い小型のものが存在している。

桃の果核は、先端形状、小孔の有無やしわの状態により3種に分けられている（金原他1990）。それらは、伝来の時期が異なる可能性が指摘されている。筆者自身もその分類に準拠して類型化に努めたが、残存状態が悪く類型化できていないのが現状である。ただし、図版102の写真をみると古墳時代の例より、中世後半の方が細長いものが多いようである。比較点数が少ないと断定はできないが、古墳時代の例のような多様な形態差は、時期が降るに従い、人為的な選択により淘汰されている可能性もある。

第Ⅱ章 まとめ

第1節 弥生・古墳時代土器の様相

他遺跡との比較検討を行う上でも、出土土器の編年的位置付けがまず問題となろう。光学の研究により、比較的型式名が普及している西遼江地域などの時期区分を基準とし、併行すると考えられる東遼江地域の基準資料と型式名をカッコ付きで示す。

弥生時代後期は伊場式と欠山式に2大別し、古墳時代前期を元屋敷式、中期を和泉式とする。そして、各期を古・中・新の3段階に分ける。弥生時代中期は、資料的に不十分であり、西遼江地域では型式名が定まっていない。東遼江地域の嶺田式と白岩式は、今後細分化されていくであろう。古墳時代中期は、全国的に齊一化の傾向が強く、とくに、車日本との共通点が多いことから、和泉式の型式名を使用した。

以下に基準資料をまとめると、+は存在するが良好な一括資料に欠けることを意味する。

瓜郷式	梶子北遺跡	(原川遺跡 S D10B16)	(嶺田式)
中期後半	角江遺跡方形周溝墓	(元島遺跡方形周溝墓・土器棺)	(白岩式)
伊場式古段階	+	(+)	(菊川式)
〃 中 〃	伊場遺跡 Y T 1	(二之宮貝塚)	
〃 新 〃	梶子遺跡 S K 6・7	(掘越ジョウヤマ遺跡溝1)	
欠山式古段階	+	(团子塚G地点6住)	
〃 中 〃	山の神遺跡 S D202	(土橋遺跡 S K77)	
〃 新 〃	中村遺跡 Q23区土器	(+)	
元屋敷式古段階	大平遺跡 S B04	(川田・藤藏沢遺跡 S F401)	(元屋敷式)
〃 中 〃	川久保船渡遺跡 S X16	(三次西原遺跡 S X21)	
〃 新 〃	山の神遺跡 S D201上層	(土橋遺跡 S K76)	
和泉式古段階	箕輪遺跡 8層水田	(元島遺跡 S X301)	(和泉式)
〃 中 〃	山ノ花遺跡大溝	(古新田遺跡)	
〃 新 〃	伊場遺跡 KI-1・2	(板尻遺跡 K S D17)	

上記の編年は型式学的な新旧関係を基に配列しているが、その時間軸上の間隔を一定とみなすことが出来ない。そのため、時間軸を段階的に捉えている。ここでは各段階間の変化の度合いを比較するため、器種構成について検討する。

遺構一括遺物が集落内で使用されていたある時期の器種構成を代表すると考えられる例は、非常に少ない。むしろ、完形に近いような土器のセットは、特殊な使われ方をしたものと推測される。より多様な器種の出土が認められる土器群は、遺構内出土例でも案外時期幅が大きい。これらのこととを念頭に置いて、他遺跡例も含めて器種構成の時期別の変化を探ってみたい。なお、個数の計測は、各器種の特徴的部位を用い、その部位の残存率が100%になったものを1点としてカウントした。各器種の計測部位は、台付甕と高坏が体部と脚台部の接合部、平・丸底甕と壺・鉢類が底部である。基本的には、『山の神遺跡』発掘調査報告書(柴田1997)に準拠したが、器種の名称などが一部異なっている。

山の神遺跡 S D301出土土器の器種構成比は、壺類83（43%）、甕59（30%）、高環53（27%）である。S D202と同様に壺類の比率がかなり高い。壺類の内訳は、中・大型壺78（94%）、小型壺3（4%）、鉢2（2%）で小型壺や鉢を除いても高率である。甕はほとんどが台付甕であるが、2点平底のものがある（57・59）。高環には、脚部の小さい小型品が5点（高環内で9%）含まれている。他遺跡のこの時期の壺類：甕：高環：鉢の構成比は、伊場遺跡で40%：25%：32%：3%、梶子遺跡8次調査で40%：24%：29%：7%（鈴木敏1991）で、柏野遺跡の環甕（S D412）で34%：43%：23%（小型甕は全体の8%、鉢はほとんど出土していない）であった（柴田1993）。梶子遺跡では、遺構別に器種構成比が示されている（鈴木敏1991）ので、ここで参考とする。構成比は壺類：甕：高環の順で、S D01（環甕）では64（42%）：39（26%）：49（32%）、S K06は16（36%）：11（24%）：18（40%）で、S K07は50（46%）：24（22%）：34（31%）で、S E02は27（55%）：10（20%）：12（24%）である。

梶子遺跡の土坑内の出土例のように、短期的に廃棄されたと考えられる土器群のなかでも、壺類は高率であり、山の神遺跡のS D301出土土器は、伊場式期の西遠江地域の一般的器種構成比を示していると思われる。

次の段階の山の神遺跡 S D202出土土器の器種構成比は、壺類91 1/2（46%）、台付甕58（29%）、高環49（25%）である。壺類が高率となっているが、そのなかには、鉢や底径が5cm以下の小型壺を含んでいるためである。壺類の内訳は、確実な鉢1 1/2（2%）、小型壺類15（16%）、特大の壺類2（2%）、中・大型壺類73（80%）である。

確実に壺の可能性の大きい中・大型壺類の比率は、全体の37%を占めており、破損率が高いと予想される甕よりも多く廃棄されている。

西遠江地域の欠山式湖の器種構成比率は、柏野遺跡を例にすると、環甕出土例では壺類：甕：高環が47%：25%：28%であり（鈴木敏1996）、土坑出土例では37%：35%：25%で、方形周溝墓出土例では57%：21%：22%（小型壺が全体の10%）である（柴田1993）。三河地方では、高井遺跡の環甕上層出土例で28%：30%：40%（鈴木敏1996）である。

構成比の確率を高めるためには、環甕などに大量に廃棄された土器群を数値化する場合が多い。この場合、量的な保障は得られても、時間幅がその分大きくなり、破損率の高い転用ができない土器の比率は高くなり、また、祭祀などの特別な目的で使われた土器群が混在する結果となってしまう。こうしたことを見ても、遠江地方の壺類の多さは注目される。

元屋敷式古・新段階の山ノ神遺跡 S D201出土土器の器種構成は、壺類49（40%）、甕45 1/2（37%）、高環26 1/2（22%）、蓋1（1%）となり、壺類の比率が高いが、その要因は小型壺（塔形ではない）が通常より多いためである。壺類の内訳は、中・大型壺30 1/2（62%）、小型壺11 1/2（23%）、長頸壺（瓢壺含む）5（10%）、鉢2（4%）であり、小型壺を除くと壺類は34%で、甕が41%となり、甕が非常に高い比率を示す。甕の内訳は、く字甕29 1/4（64%）、S字甕12 1/4（27%）、平底2（4%）、大型2（4%）であり、く字甕が高率である。これは、外来系のS字甕の減少傾向を示すものとも考えられる。しかし、最上層から出土した甕の多くはS字甕であったことから、祭祀にはS字甕がまだ多用されていたものと理解したい。ちなみに、個数として計測できなかったが、器台の破片も1点出土している。

古墳時代前期の東遠江地域の器種構成は、元屋敷式古段階の川田・藤藏剣遺跡 S F401では、小型鉢を除く壺類49（31%）：甕75（48%）：高環32（21%）であった（飯塚1996）。中段階では、三沢西原遺跡で29%：32%：39%（鈴木敏1995）となる。弥生時代後期の東遠江地域も壺類の多用地域であり、同様に西遠江地域でも古墳時代の壺類の減少傾向があつてはまるすると、S字甕の祭祀や破損率の高さを考慮する必要もあるが、器種構成比が弥生時代と古墳時代の区別を示す1つの目安となり得るものと

考えられる。

山の神遺跡 S D 201上層の土器群は、S字壺では肩部横ハケの省略や台部折り返しの形態化、壺では球胴化、折り返し・複合口縁の減少、無文化、ヘラナデ調整の多用、高环では脚部柱状化と裾部の屈曲、ヘラナデ調整の多用といった西方の情報を取り入れながら、形態や器種が変化している。そのため、二重口縁壺や小型壺が共存する時期と考えるが、脚部の膨らむ高环、小型丸底壺、ヘラナデ調整の平底壺が併出していない点は注目すべきであろう。

山の神遺跡 S D 201上層の土器群は、環濠の埋没時に廃棄されたものであり、その段階以降の土器は山の神遺跡ではあまり出土していない。弥生時代から継続する拠点型集落のなかには、同様の傾向が窺える例が多い。おそらく、集住型集落は、元屋敷式新段階に解体されるものと思われる。

山の神遺跡 S D 201上層の土器群は、比較的前後の段階との識別が容易であるため、ここで、遠隔地の土器編年との併行関係を検討しておく。尾張地方の編年に照らすと、およそ赤塚編年（松河戸 I 式前半期（赤塚1994）に、加納編年では西北出期（加納1991）に併行するものと思われる。駿河地方では、渡井編年の大窮IV式～中見代 I 式（渡井1996）に併行するものと思われる。遠方との直接的対比は難しうが、北陸地方では、漆町9-10群（田嶋1986）に相当するものであろうか。

遠江地方では、山の神遺跡 S D 201上層土器群（元屋敷式新段階）の次に来るような一括資料を欠いている。見性寺貝塚（平野吾郎1974）、川久保船渡遺跡 S B01（栗原1993）、箕輪遺跡 8層水田（柏木1994）といった従来和泉式併行期とされていた、比較的識別しやすい中期の土器群の前段階の資料が不明である。おそらく、そこに大画期が存在するものと予想され、外来の器種・器形の波及・混在、在来形の変容といった現象が顕著な時期があるものと考えている。

古墳時代中期の和泉式期の代表として、元島遺跡の S X301がある。S X301の器種構成は、壺 6% (2.0点)、小型壺17% (5.75点)、甌30% (10.25点、平丸底)、〈字壺 2% (0.75点)、S字壺11% (3.5点)、高环34% (11.5点、内 2 点が小型品) である。

古墳時代前期から中期への土器の変化は多様であるが、器種構成の変化は比較的明瞭であろう。前期を代表する小型精製土器群である祭祀用の小型器台、小型鉢や小型高环が消失し、小型丸底壺の大量使用が始まる。壺や鉢などの貯蔵具が減少し、高环の出土量が増加する。台付甌が減少し、平底もしくは丸底の甌が増加する。本稿の第1章でも触れているが、これらの背景には、貯蔵容器や火処の変化、定型化した祭祀行為の列島規模の変革、個人用食器の出現など土器様式上非常に大きな画期となっている。

第2節 古代末期から中世の土器の様相

平安時代末期から鎌倉時代にかけての土器は、渥美・湖西産の山茶碗がほとんどである。少數ではあるが、遠隔地の尾張窯のものや近隣の東遠江窯のものが混在している。大井川河口近くに位置する大井川町藤守遺跡の山茶碗の出土傾向からすると、藤守窯の古段階で渥美・湖西窯が14%、中段階が22%を占めており、新段階（13世紀中葉）以降に東遠江・西駿河窯が大部分を占めるようになる（柴田2003）。生産地と直結するような山側の集落跡からの出土例は、当然のことであるが地元産製品で占められている。しかし、この時期の志大平野の集落跡からは、地元産と遠隔地産の双方の製品が存在しており、遠隔地産の山茶碗もかなりの量が流通している。地元産の山茶碗の流通には、生産量とコストの問題があるが、消費者の指向性も考慮すべきであろう。地元産の山茶碗が渥美・湖西窯の製品の形式変化に追随している状況からしても、初期の段階での指向性の問題は大きいと考えている。

元島遺跡からは、地元の東遠江窯の山茶碗がほとんど出土していない。沿岸部の遺跡では、海運による流通の在り方により大きく左右されるのであろうが、それにしても出土量が少な過ぎる。太田川流域の集落跡のなかで東遠江窯の山茶碗が主体となって出土している例が無く、やはり何らかの要因により消費者による選択があったものと理解したい。

古瀬戸後IV期からの瀬戸・美濃製品の増加現象は、当遺跡に限ったことではなく、より広い地域で確認されている。この背景には、消費経済の進展、地域の政治的な安定、物流網の確立など様々な要因が挙げられる。小野善裕氏は、この時期に京都系の土師器皿が各地で出土していることから「在京を原則としていた守護・守護代・奉公衆らが在區化する動き」と関連付けてこの増加現象を説明し、奢靡から大窯への窯構造の変化も「需要の増大に対応する生産体制の変革」があったとしている（小野2004）。宇佐見隆之氏も、この時期の「港の変化、そして港町の広がり」は、荘園制の年貢の輸送だけでなく「各地の産物が京だけでなく全国へと動き出したことによるものであった」とされている（宇佐見2004）。

当遺跡が物流の拠点的な位置にあったことは、出土遺物から容易に想像されるが、遠隔地との取引をどのような体制下で、どの程度行っていたのかは不明な点が多い。大型船がどこまで当遺跡に近付けたかなどの問題はあろうが、集散地遺跡（矢田1999）に変わりなく、周辺にひろがる後背地は物資の海陸間の積み替えと内陸の消費地への搬送を容易にしたのであろう（加藤1999）。

大窯5段階以降の初山窯と志戸呂窯の関係については、瀬戸の陶工が家康の浜松移転に従い細江町に移住して初山窯を開窯し、その後、駿府城造営（1585年）などに伴う駿府周辺の整備事業に関連して、需要の増加に対応するため、初山窯の陶工が志戸呂窯を開いたとされている（原1991）。これには、初山窯の製品の大半が鉄釉であるのに対して、志戸呂窯の製品の灰釉の多用など、「同一陶工集団の移動とは単純に理解できない現象が幾つか認められる」（柴垣2003）とする意見もある。初山窯や初期の上志戸呂窯の出土遺物のなかには、瀬戸・美濃窯で使用される挟み皿や長脚ピンが認められないといった相違から、瀬戸・美濃地方との直接的な影響も想定しにくい（松井1993）。ただし、陶工のもう一つ技術は多様であり、関係者の技術レベルや窯場の環境、消費者の嗜好などに適応させた技術の運用が図られた結果の相違と理解したい。陶工の系統的な問題の議論は、今後も継続されていくであろうが、初山・志戸呂窯の開窯についての解釈は必要になるであろう。徳川家康の動向も注意しなければならないが、今川氏の陰謀と領国絆合の安定化に伴い、大窯期の製品の需要が拡大したことが遠因となり、西窯が開かれたのであろう。

元島集落では、16世紀後半になると初山窯と志戸呂窯の製品が瀬戸・美濃製品に代わって増加傾向にある。荘園制の崩壊による中央への年貢米の納入停止や戦国大名による港の管理と物流の統制などによ

り、元島集落の物資の集散地としての機能が弱まったためと思われる。

生産地の限定される施釉陶器の流傳の問題は、当遺跡の性格にも関係する重要な論点であるが、生産地の特定されていない土壙や土師器皿は、より複雑な問題をはらんでいる。

羽付堀の胎土分析を試みた結果によると、「元島遺跡の羽釜の製作地について南伊勢地域か遠江地域かの判断を下すことはできない」(パリノ・サーヴェイ株式会社2000)とされた。南伊勢地域の柳田川や宮川の上流域に主に結晶片岩類からなる変成岩帶の三波川帯が広く分布し、柳田川中流域には頬家帯と呼ばれる主に花崗岩類からなる地質が分布している。これと同様な地質が天竜川上流域にも存在するため、重鉱物分析では製作地の特定が困難である。しかし、形態の変化を見ると、南伊勢型の土壙は時期が新しくなるに従い口縁部が直立気味に開くようになるのに対して、元島遺跡ではそうした例が少ないとされる。形態からすると15世紀頃の羽付堀は西遠江地域で作られていたものと考えられる。

羽付堀に共伴して、三河地方に分布する「く」字状口縁の内耳堀も多く出土している。16世紀代には内湾口縁の内耳堀が主体となる。それらの内耳堀は小地域毎に形態的な特徴があり、在地で製作されている可能性が指摘されている。元島遺跡から内耳堀のモデルとなった鉄鍋も微量発見されている。コストの問題も大きいのであろうが、調理法や料理の種類による使い分けが材質によりあった可能性がある。土壙の外面は厚く煤で覆われているが、内面にはお焦げが厚く付着している例が少ないとされる。汁物の調理に利用されたものも多いと推測される。

土壙がどのような料理に使用されたのかは不明な点が多いが、元島集落では、主要な調理具であったことは間違いないであろう。それに対して、駿河湾や相模湾の沿岸域では土壙があまり出土していない。この地域には執権北条氏や畠越公方にゆかりのある蘿山、幕府が置かれた鎌倉、戦国大名北条氏の本拠地となった小田原などがあり、人や物資の吸引力が強く働いていたはずである。しかし、この地域では、土師器皿以外の在地産の土器の出土例はきわめて少ないとされる。周辺部では、ごくわずかに土壙が発見されているが、東海地方の状況とは比較にならないほど少ない。有力武将が割拠していた地域では、高価な鉄鍋が多く保有することができたことも一因であろうが、農村部までがそうした状況にあったとは、とても想定できない。瀬戸・美濃系の擂鉢などは、大量に運び込まれていることから、あえて東海地方の土壙を採用しなかったと考えるべきであり、煮炊きに用いる道具の伝統が異なっていたことに起因するのであろう。中世前期の鎌倉では、少量の伊勢型堀が出土しており、それらが精神生活に関連すると考えられている。同様の理解が後の土壙にもあてはまるかは十分検討しなければならないが、煮炊具に対する意識の違いがあったのであろう。

土師器皿に関しても、祭祀用に用いられたものが多いため、精神生活と関連した南伊勢地域や京都の製品を模倣したものや搬入されたものが目立つ。

口縁部が直立気味に開き、断面形が箱形になる南伊勢系の白色の土師器皿がわずかに出土している。南伊勢系の土壙もわずかに存在している点では共通性があり、内耳の付くこの土壙は、遠江地方や三河地方に特徴的な製品である。この南伊勢系の製品が伊勢神宮を背景とした特別な使われ方をしていた可能性もある。

第3節 錘の形態的特徴と使用方法

当遺跡の立地からすれば当然予想される生業として、漁撈と海運がある。交易を含めた海運に関しては、築港の根幹的な性格にかかるため『木書』と『遺構・考察編』で繰り返し論じているが、漁撈活動に関連した重要な遺物も出土しているため、ここで検討したい。

発見された漁撈具のほとんどは鍤（沈子）で、それにセットとなる浮子は確認されていないが、土中から潮流により運ばれた大量の軽石が採集されるため、軽量で整形が容易なそれらを浮子として利用したであろうことは想像に難くない。

鍤に関しては、大野左千夫氏により全国的な傾向がまとめられている（大野1991）。当遺跡出土例について、大野氏の見解を引用しながら少しづつ説明する。当遺跡からは、土製と石製の鍤が出土しており、土鍤には大小の管状のもの、球形、棒状で両端に穿孔のあるものがある。

小型管状土鍤は、「刺網や打網（投網）などの河川漁撈」や釣り用の鍤などに利用されていたようである。それらは弥生時代から現代にいたるまで利用されている形態であるが、今回の出土例は中世後半～近世初頭に限定される。小型管状土鍤から、海洋での漁撈活動について、詳細を検討することはできない。ただし、大型の釣り針の出土例などは、海洋での漁撈を示唆するものである。海洋での網漁を示すような遺物の出土が無いということは、組織的な漁撈活動が行われていなかったか、漁小屋のようなものが浜辺につくられ、道具がそこで管理されていたことを示していると思われる。

竹輪状の大型管状土鍤は「海岸部それも広い浜を全面にもつ位置に立地」する遺跡から出土する傾向があり、「沈子網を通す管孔も太くかなり大型の引き網に用いられた」ものであろう。当遺跡と同じく、古墳時代前期から中期にかけての出土例が全国的に多く、後期になると「類例は少なくなる」ようである。

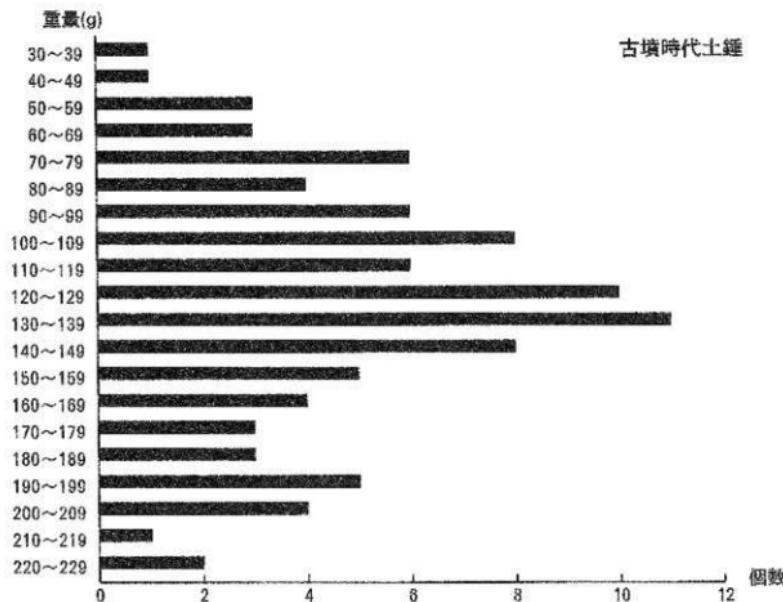
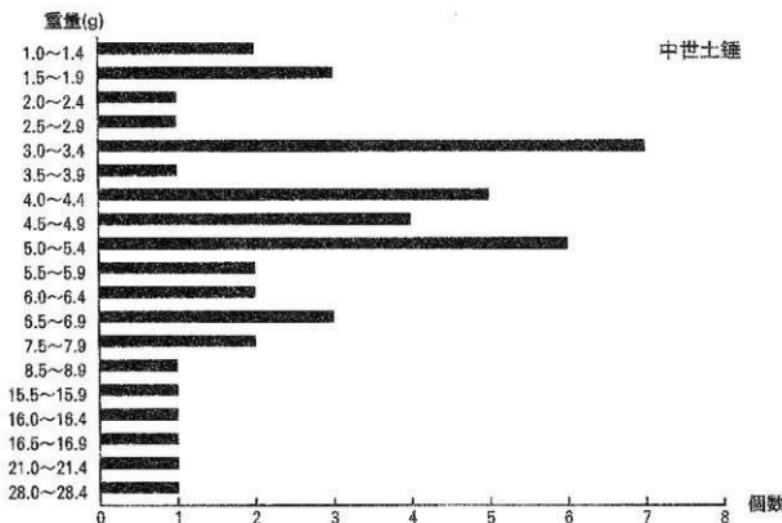
これらの管状土鍤の使用法を推定するため、完形品もしくは完形に近い製品の重量別の個数グラフを作成した。小型の中世の土鍤は約1～28gの幅があり、9g以下の製品は3gの最頻値を頂上とした山形のグラフとも取れる。重量にばらつきがあり、全てを刺網用と断定するには躊躇せざるを得ない。竿釣用などにも利用された可能性がある。大型の管状土鍤は130g前後にピークがあり、正規分布のようなグラフとなつた。多くのものは同じ塗法に用いられたと想定されるが、最大と最小で200gもの重量差があり、様々な解釈も可能である。

第I章の第6節で、大型骨状土鍤は完形率が高く、小穴（S P538）や時刻幅のある施業土坑（S X3 07）などから完形品が出土していることから、多用途型の道具の可能性を指摘した。これは、生業における海洋での網漁の比叡を小さく見積もっているためではなく、むしろ、大型管状土鍤が生活に密着していたために起きた現象と理解したい。

球形で孔のあるものは、所謂土玉とされる祭祀具との区別が難しい。当遺跡例は104gの大型品であり、土鍤とした方が良いであろう。出土数は破片も含めて2点と非常に少ない。

棒状で両端に穿孔されたものも2点が出土している。これは「弥生時代後期に初源があり」、「瀬戸内東部で発生した可能性がある」とされている。発生源は別として、西日本地域に分布の中心があるようである。古墳時代後期の例も報告されており、時期が新しくなると横断面が長方形に近くなるようである。この形状の土鍤は「地理的条件にとらわれず使用することが可能」な「小型の定置網への使用が考えられる」とされている。

石鍤は特殊な形態のものが1点出土した。両端に溝がある棒状の小型品で、丁寧な加工痕から装身具のような印象を受ける。これは、「九州型石鍤」（下條1984）とされるもので、土鍤と同様に弥生時代か



元島遺跡出土土鐘の重量別出土量グラフ

ら古墳時代にかけて使用されていたとされている。とくに、古墳時代前期に多く認められるよう、「小型のものは竿釣具の沈子とみられる」とされている。

遠州灘や駿河湾には、弥生時代に特徴的な有頭石錐が広く分布している。これは「延縄やタテ網を含めて釣具の沈子である」とされている。平野吾郎氏も延縄の沈子に使われたものと推定しており、それらは古墳時代になると出土量が減少し、代わって大型の管状土錐が多く発見されるようになるとされている。この変化の背景には、伝統的な延縄漁から集団による地引き網漁への移行が指摘されている。この組織的、効率的な漁法への変化は、パートタイマー的な漁撈から、より專業性の高い漁撈へと生業活動をシフトさせた（平野2004）。この指摘は重要であり、海浜部における古墳時代前期の集落数の増加や遺構や遺物に認められる様々な変化とも連動しており、西方の海人集団との関係が注目される。

当遺跡から出土した錐は、弥生時代以来の在来型のものではなく、西方の影響を多分に受けたもので、古墳時代前期に新たにたらされ、中期まで使用されていた可能性が高い。それらは異なる時期に別のルートで伝播したものとするよりも、やはり、同じルートで、あまり時期をええずに伝えられたものと考えたい。それらの錐を使用した漁撈活動は、単なる道具の撤入や模倣だけでは効率的な漁果を期待できないことからすると、新たな漁撈技術の移入もしくは獲得が必要である。おそらく、こうした技術は人的な移動を含めた情報の流れのなかで、総合的に伝わっているものと推測される。錐の使用方法が推測の域を出でていないことから断定的なことは言えないが、大量に出土した竹輪状の管状土錐が集団的漁撈活動を示すものとすると、在来の延縄漁からの転換には大きな意義があったものと思われる。漁獲高の増加はもちろんのこと、漁撈活動への参加要員の多様化と組織化を促したものと推測される。

表1 弁生土器一覧

辨別番号	深度(四段)	区	構造	グリッド	種別	器種	色・柄	現存部	口径(cm)	頸径(cm)	脚径(cm)	底部径(cm)	底・脚・台座(cm)	高さ(cm)	取上日	記上番号	備考
1	-	12	SD102	Q-5N	弁生土器	盃	黒褐色 2.5Y3/1	口縁部破片～底部1/3	(88)	(86)	-	-	-	-	02.01.22	-	1号基、桟文
2	5	12	SD104	S-TN	弁生土器	盃	灰黒褐色 10Y3R6/2	口縁部～底部4/3	83	38	156	-	58	251	02.01.29	1	1号基、片沿・脚底半周面・桟文
3	6	12	SD104	S-TN	弁生土器	盤	外沿：にじい黄褐色 7.5YTR6/4 内面：民窓 N6.0(?)	脚部1/6	-	-	(278)	-	-	-	02.01.29	2	1号基、櫛目状模様・縫隙状脈文
4	-	12	SD106	R-8S	弁生土器	盤	灰黒褐色 10YR6/2	底部1/1～脚部破片	-	-	(390)	-	20	-	02.01.22	-	1号基、片沿・脚底半周面
5	-	12	SD106	R-8S	弁生土器	台付盤	灰黒褐色 10YR5/2	口縁2/3	-	-	-	-	72	-	02.01.22	-	1号基
6	-	12	SD107	R-9N	弁生土器	台付盤	灰黒褐色 2.5Y7/2	台部1/1	-	-	-	-	80	-	02.01.30	1	3号基、片沿・脚部付蓋
7	5	12	SD112	S-9N	弁生土器	蓋	灰黒褐色 2.5Y7/2	口縁部4/5～脚部破片	77	44	-	-	-	-	02.02.07	-	4号基、脚部模様文・羽状文・斜格子文
8	-	12	SD113	S-9S	弁生土器	台付盤	灰黒褐色 2.5Y7/2	台付破片	-	-	-	-	49	-	02.01.28	-	4号基、内外面焼付層
9	5	12	SD112	S-9S	弁生土器	蓋	灰黒褐色 2.5Y6/1	口縁部1/2、杯底2/3、脚部 破片2/3	209	-	-	-	101	198	02.01.29	1~3	4号基、片沿焼化
10	-	12	SD114	T-9S	弁生土器	台付盤	灰白色 2.5Y7/1	台部1/5	--	-	-	-	94	-	02.01.24	-	4号基、片沿・脚付蓋
11	5	12	SD114 SD116	T-9S	弁生土器	蓋	灰褐色 SY5/1	口縁部1/3、脚部1/4、脚部 破片	(80)	46	-	-	-	-	02.01.26	-	4~5号基、櫛目状模様文・縫隙状文
12	5	12	SD119	T-10N	弁生土器	盃	灰黒褐色 2.5Y6/1	脚部1/4～底部1/1	-	-	(207)	-	76	-	02.01.29	1	6号基、外底下脚部付蓋・陶丸
13	6	12	SD119	T-10N	弁生土器	盤	灰黒褐色 2.5Y6/2	脚下部1/3～底部9/10	-	-	(207)	-	64	-	02.01.29	2	6号基、片沿焼付層
14	9	15	SD442	-	弁生土器	盃	外沿：褐色 2.5Y5/1 内面：灰黒褐色 2.5Y4/1	口縁花～脚部1/1、脚部2/5	89	47	197	-	-	-	03.02.05	1~9	6号基
15	-	15	SD443	-	弁生土器	蓋	灰黒褐色 2.5Y5/2	脚部1/1	--	-	-	-	61	-	03.02.05	-	5号基
16	-	15	SD456	-	弁生土器	蓋	灰黒褐色 2.5Y6/1	底部1/4	-	-	-	-	68	-	03.02.24	178	5号基
17	-	15	SD456	-	弁生土器	高環	オーリーブ褐色 3Y3/1	接合部1/1、脚部状痕1/1	-	-	-	-	-	-	03.02.21	-	5号基、尖突
18	6	15	SD417	-	弁生土器	盃	灰黒褐色 10YR6/2	口縁部4/5～脚部破片	(156)	-	-	-	-	-	03.01.10	120	9~10号基、縫隙状模様文
19	-	15	SD417	Z-13	弁生土器	盃	にじい黄褐色 7.5YR6/3	口縁部破片	-	-	-	-	-	-	02.12.26 03.01.10	-	9~10号基
20	-	15	SD417	-	弁生土器	盃	にじい黄褐色 10YR6/3	脚部3/4、脚上部1/2残存	-	-	-	-	-	-	03.02.10	-	9~10号基
21	-	15	SD417	-	弁生土器	盃	にじい黄褐色 10YR6/3	脚部1/4	-	(127)	-	-	-	-	03.01.10	128	9~10号基、縫隙状模様文
22	-	15	SD417	-	弁生土器	盃	にじい黄褐色 7.5YR6/4	脚部1/3	-	(180)	-	++	-	-	03.01.10 141	140	9~10号基、縫隙状模様文
23	-	15	SD424	-	弁生土器	蓋	灰黒褐色 10YR5/2	口縁部破片	-	-	-	-	-	-	03.01.10	-	10号基、尖底、チャツ
24	-	15	SD424	-	弁生土器	台付盤	灰黒褐色 10YR5/2	接合部1/1	-	-	-	-	-	-	03.01.10	-	10号基
25	-	15	SD428	-	弁生土器	-	暗灰褐色 2.5Y5/2	底部1/3	-	-	-	-	(67)	-	03.01.15	142	10~12号基、尖底

附照 番号	本革 部品	種類	アリヤフ	透明	白漆	色 材	透明	波打模	口透 (mm)	網透 (mm)	半透 (mm)	透 合規 (mm)	透 合規 (mm)	透 合規 (mm)	備考
26	-	SD340	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y4/1	上端部切付	-	-	-	-	-	-	11号透、網透合規、 外透合規
27	6	SD45	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y6/2	口透部/透部/網透部 5/6	90	41	188	-	-	-	10号透、外透合規
28	6	SD46	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y4/1	口透部/透部/網透部 1/4	98	55	189	-	63	120	10号透、網透合規 12・12号透
29	-	SD48	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y4/1	口透部/透部/網透部 1/5	(75)	-	-	-	-	-	13・14号透、網透合規 13・14号透、網透合規 14・15号透、網透合規 14・15号透、網透合規 15・16号透、網透合規 15・16号透、網透合規
30	6	SD49	-	半生上漆	透	透灰色	10Y6/5	口透部/透部/網透部 1/5	(68)	43	(110)	-	-	-	10号透、外透合規 10号透、外透合規
31	-	SD51	-	半生上漆	透	透灰色	10Y5/2	脚部切付	-	-	-	-	-	-	14・17号透、網透合規
32	7	SD55	-	半生上漆	透	透灰色	10Y6/7/3 4/2組	口透部/透部/網透部 1/5	(75)	97	170	-	63	-	03.02.06 15 16・16号透、網透合規 16・16号透、網透合規
33	7	SD47	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y7/1	脚部切付/透部/網透部 1/5	-	-	(148)	-	63	-	03.02.06 19 16号透
34	-	SD48	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y7/2	脚部下部/透部/網透部 1/5	-	-	-	-	65	-	03.01.21 - 15号透、網透合規
35	7	SD45	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y6/2	口透部/透部/網透部 1/5	(88)	44	112	-	-	-	03.02.18 16 18号透、網透合規
36	-	SD43	-	半生上漆	透	透灰色	10Y6/5/2	口透部/透部/網透部 1/5	(120)	-	-	-	-	-	03.02.14 170 17号透
37	-	SD44	-	半生上漆	透	透灰色	10Y7/6/4	口透部/透部/網透部 1/5	(120)	-	-	-	-	-	03.02.14 175 17号透、網透合規
38	-	SD45	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y4/1	脚部切付	-	-	-	-	-	-	03.02.15 167 15号透、網透合規
39	-	SD49	-	半生上漆	透	透灰色	10Y7/2/2 透部:才一透部	脚部上部切付	-	-	-	-	-	-	03.02.14 166 17号透、網透合規
40	-	SD43	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y7/1	民部/1/3	-	-	-	-	84	-	03.02.17 - 12号透
41	-	SD45	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y6/2	脚部切付	-	-	-	-	(60)	-	03.02.13 167 15号透、外透合規
42	7	SD44	-	半生上漆	透	透灰色	10Y7/5/2	口透部/透部/網透部 1/5	(36)	-	355	-	(106)	-	03.02.14 175 17号透、外透合規
43	-	SD44	-	半生上漆	透	透灰色	10Y7/8/2	口透部/透部/網透部 1/5	(40)	-	-	-	-	-	03.02.17 164 17・18号透
44	-	SD44	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y5/1	脚部切付	-	-	-	-	-	-	03.02.07 165 17号透
45	-	SD45	-	半生上漆	透	透灰色	10Y7/6/2	脚部切付/1/1	-	-	-	-	-	-	03.02.11 168 18号透、外透合規
46	-	SD47	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y7/1	脚部切付/1	(80)	-	-	-	-	-	03.02.18 - 15号透、網透合規
47	7	SD46	-	半生上漆	透	透灰色	10Y8/1/1	口透部/透部/網透部 1/2	(60)	(115)	-	-	-	-	03.02.07 155 15号透、網透合規
48	-	SD43	-	半生上漆	透	透灰色	10Y7/6/2	口透部/1/1~網透部/1/4	-	103	(240)	-	-	-	03.02.15 158 16号透、網透合規
49	-	SD45	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y7/1	脚部切付/1/2	-	-	-	-	-	-	03.02.15 - 15号透、網透合規
50	-	SD46	-	半生上漆	透	透灰色	5Y6/1	脚部切付/1/4	-	-	-	-	-	-	03.02.16 - 15号透、網透合規
51	-	SD45	-	半生上漆	透	透灰色	2.5Y7/1	脚部切付/1/1	-	-	-	-	91	-	03.02.17 - 15号透、外透合規

番号	地名	区	種類	アリヤド	鑑別	記載	色	調	頭	口道	口道 (cm)	頭 (cm)	先端 (mm)	後-舌道 (mm)	前 (mm)	後-上 管子 管子	備考
52	-	15	S2149	-	ホホ土盛	紫	紫色	5Y5/1	口道頭/1、頭側1/3	(114)	-	-	-	-	(63.02.17)	-	
53	-	15	S2149	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	2.5Y5/1	頭側部分	-	-	-	-	-	(63.02.17)	-	
54	-	15	S2149	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	2.5Y5/1	頭側1/3	-	-	-	(72)	-	(63.02.17)	-	
55	-	7	S2148	-	ホホ土盛	青	青灰色	10Y8/6	口道頭/1	-	-	-	(97)	92	(63.02.17)	-	
56	-	15	S2148	-	ホホ土盛	青	青灰色	2.5Y6/2	輪側会員/3	-	-	-	-	-	(63.02.17)	-	
57	-	15	S2149	-	ホホ土盛	青?	黑色	10Y6/1	口道頭部分	-	-	-	-	-	(63.02.17)	-	
58	-	15	S2149	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y5/2	口道頭部分	-	-	-	-	-	(63.02.17)	-	
59	-	7	SD260	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y1/1	頭側1/2、頭側3/5、頭底	-	45	(183)	-	63	(63.02.17)	-	
60	5	15	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y8/6	口道頭-頭側3/4	91	48	(22)	-	56	(63.02.18)	-	
61	5	15	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y8/7	口道頭/1、頭側3/4	(110)	69	-	-	-	(63.02.13)	158	
62	6	15	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y8/7	口道頭1/2、頭側3/4、頭底	106	49	(248)	-	76	258	(63.02.07)	157
63	-	15	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	5Y1/1	口道/2	-	-	-	-	-	(63.02.17)	-	
64	~	14.2	SD267	-	ホホ土盛	青	青灰色	10Y1/6	口道/1/2	-	-	-	-	-	(63.02.27)	-	
65	-	14.2	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y1/6	頭側部分	-	-	-	-	-	(63.02.27)	-	
66	6	14.2	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	1.5Y1/7	口道頭/1、頭側-頭底1/1	(73)	40	(64)	-	47	96	(63.02.27)	1
67	6	14.2	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	5Y1/1	頭側1/2、頭底3/4	-	-	172	-	71	-	(63.02.13)	523.02.07
68	-	14.2	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y8/6	脚下部1/4、頭底3/4、合25	1/2	-	-	-	39	-	(63.02.12)	4
69	-	14.2	SD267	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y8/6	口道頭部分	-	-	-	-	-	(63.02.12)	1	
70	8	15	SD268	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	2.5Y6/1	頭側1/2、頭底3/4、頭底	1/6	-	(74)	-	(63.11.27)	-		
71	9	15	SD268	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	2.5Y5/1	頭側1/1、頭底1/4	-	-	378	-	78	-	(63.02.06)	-
72	9	15	SD268	-	ホホ土盛	青	青灰色	10Y8/7	口道-頭側1/6	105	56	(24)	-	105	-	(63.02.06)	1+7
73	9	15	SD268	-	ホホ土盛	紫	紫灰色	10Y8/6	頭側1/14、頭底1/14	-	-	515	-	37	-	(63.02.16)	-
74	9	15	SD268	-	ホホ土盛	青	青灰色	10Y8/5	頭側1/5、頭底1/5	487	-	-	-	-	(63.01.20)	-	
75	-	14.2	-	T-ATB	ホホ土盛	紫	青灰色	7.5Y2/4	口道頭1/2	100	-	-	-	-	(63.02.27)	-	
76	9	14.2	-	T-ATB	ホホ土盛	紫	青灰色	10Y8/7	頭側1/1、頭底1/2	-	-	(235)	-	36	(63.02.27)	-	
77	-	14.2	-	T-ATB	ホホ土盛	紫	青灰色	10Y8/7	頭側部分	-	-	-	-	-	(63.01.21)	-	

表2 古墳時代土器一覧

順序 番号	古墳 名	地区	通称	チャック	選別	焼松	焼灰	焼灰度	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	内側縁 (cm)	外側縁 (cm)	上 手	下 手	備考
1	11	12	S-1103	-	土師器	石けん	灰	灰	153	-	-	-	-	0.10.26	4	内外縁一括測定、木口槽
2	11	12	S-1102	-	土師器	灰	灰	灰	137	-	-	-	-	0.10.26	3	内面縁、外側縁計測
3	14	12	S-1101	-	土師器	灰	灰	灰	136	-	-	-	-	0.10.26	8	底部突出部
4	11	12	S-1102	-	土師器	灰	灰	灰	112	-	-	-	-	0.10.26	6	底部突出部
5	11	12	S-1103	-	土師器	灰	灰	灰	110	-	-	-	-	0.10.26	1	内面縁化、外側縁化
6	12	12	S-1104	-	土師器	灰	灰	灰	115	109	123	-	-	0.10.26	2	外側縁化、泡状化
7	12	12	S-1105	S-TN	土師器	灰	灰	灰	118	76	139	-	-	0.12.12	5	
8	15	12	S-1103	-	土師器	灰	灰	灰	111	81	123	-	-	0.08.28	1	
9	-	12	S-1102	S-TN	土師器	灰	灰	灰	107	80	121	-	-	0.12.12	3	外縁一括測定
10	12	13	S-1201	-	土師器	灰	灰	灰	107	87	137	-	-	0.07.02	5	
11	12	12	S-1202	-	土師器	小型器	灰	灰	82	44	75	-	-	0.07.02	6	使用歴乏しい
12	12	13	S-1201	-	土師器	小型器	灰	灰	98	62	87	-	-	0.07.04	20	外側縁測定所
13	13	13	S-1301	-	土師器	小型器	灰	灰	76	65	70	-	-	0.07.02	4	使用歴乏しい
14	13	13	S-1301	-	土師器	灰	灰	灰	145	-	-	-	-	0.07.02	1	
15	-	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	125	-	-	-	-	0.06.07	-	
16	13	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	68	63	-	-	-	0.06.07	-	
17	13	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	104	-	-	-	-	0.07.04	16	
18	13	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	93	-	-	-	-	0.06.07	-	
19	13	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	148	125	137	-	-	0.06.07	19	
20	13	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	149	120	140	-	-	0.07.03	10-11	
21	-	13	S-1301	S-16N	土師器	灰	灰	灰	110	94	-	-	-	0.06.05	-	
22	-	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	107	94	-	-	-	0.06.05	-	
23	-	13	S-1301	S-16	土師器	灰	灰	灰	145	127	-	-	-	0.06.07	-	
24	13	13	S-1301	S-16N	土師器	灰	灰	灰	-	-	-	-	-	0.06.07	-	
25	-	13	S-1301	S-16N	土師器	灰	灰	灰	-	-	-	-	-	0.06.08	-	

測定番号	場所	区	測標	グリッド	端部	面積	色調	垂直部	上縁 (mm)	底辺 (mm)	斜辺 (mm)	受領径 (mm)	底・基・台座 (mm)	高さ (mm)	底上 寸法	底上 番号	備考
26	-	13-1	SX301	S-16	土壌器	圓	半褐色 5YR4/6	口縁部～端部1/5	(134)	(107)	-	-	-	-	02.06.07	-	
27	-	13-1	SX301	-	土壌器	台付型	暗灰褐色 25Y4/2	口縁部～脚部上半1/3、脚部 下半1/3	(104)	(92)	(126)	-	-	-	02.07.03	24	外側脚付型
28	13	13-1	SX301	S-16	土壌器	台付型	暗灰色 20YR5/1	口縁部1/6	(156)	(131)	-	-	-	-	02.06.07	-	
29	-	13-1	SX301	S-16	土壌器	台付型	黄褐色 25Y6/1	口縁部端片	-	-	-	-	-	-	02.06.07	-	
30	-	13-1	SX301	S-16	土壌器	表	暗灰色 10YR6/1	端部1/1	-	-	-	-	67	-	02.06.06	-	内頭部付型
31	-	13-1	SX301	S-16 S-16N	土壌器	裏	外側：暗褐色 10YR5/1 内側：にじみ黄褐色 10YR6/3	底部1/1	-	-	-	-	72	--	02.06.03 02.06.07 02.07.02	-	外張脚付型
32	-	13-1	SX301	S-16N	土壌器	表	にじみ褐色 7.5YR6/3	底部1/1	-	-	-	-	63	-	02.06.03 02.07.03	13-13	
33	-	13-1	SX301	-	土壌器	裏	暗褐色 2.5Y6/1	底部3/4	-	-	-	-	-	-	02.07.04	19	
34	-	13-1	SX301	S-16N	土壌器	裏	暗褐色 2.5Y5/1	底部1/2	-	-	-	-	56	-	02.06.03	-	内面張付型
35	-	13-1	SX301	S-16N	土壌器	裏	背面：灰褐色 7.5YR6/3 前面：灰褐色 5Y1/1	底部9/10	--	-	-	-	-	-	02.06.03	-	
36	13	13-1	SX301	-	土壌器	台付型	暗灰褐色 10YR6/1	脚部1/2	-	-	-	-	55	-	02.07.03	24	
37	13	13-1	SX301	S-16	土壌器	台付型	暗灰褐色 10YR6/1	脚部1/1、脚部1/2	-	-	-	-	(55)	-	02.06.07	-	
38	-	13-1	SX301	S-16N	土壌器	台付型	灰褐色 7.5YR5/3	脚部1/1、底部1/6	-	-	-	-	(50)	-	02.06.03	-	
39	13	13-1	SX301	-	土壌器	高坏	浅黄色 10YR6/3	坏部3/4	208	-	--	-	-	-	02.07.04	17	
40	13	13-1	SX301	S-16 S-16N	土壌器	高坏	にじみ赤褐色 5YR4/4	口縁部2/3～脚付状部1/1	(195)	-	--	-	-	-	02.06.03 02.05.07 03.07.03 02.07.04	18-19	环洞内面風化
41	14	13-1	SX301	-	土壌器	高坏	にじみ赤褐色 5YR5/3	坏部7/8	190	-	-	-	-	-	02.07.04	21	
42	14	13-1	SX301	-	土壌器	高坏	にじみ赤褐色 10YR7/3	坏部7/3	196	--	116	-	-	--	02.07.02	-	
43	-	13-1	SX301	S-16N	土壌器	高坏	にじみ褐色 7.5YR5/3	口縁部1/6	(186)	-	-	-	-	-	02.06.03	-	
44	-	13-1	SX301	-	土壌器	高坏	深褐色 5YR5/4	口縁部1/6	(190)	-	-	--	-	-	02.06.07	-	
45	-	13-1	SX301	S-16	土壌器	高坏	浅褐色 7.5YR5/4	口縁部1/5	(197)	-	-	-	-	-	02.06.07	-	
46	-	13-1	SX301	S-16N	土壌器	高坏	深褐色 10YR5/3	口縁部1/5	(172)	-	-	-	-	-	02.06.03	-	外張脚付型
47	14	13-1	SX301	-	土壌器	高坏	明褐色 7.5YR1/2	脚柱状部1/1、脚部1/2	-	-	-	-	142	-	02.07.03	2	
48	15	13-1	SX301	S-16	土壌器	高坏	灰白色 5Y7/1	脚柱状部1/1、脚部1/4	-	-	-	-	(145)	-	02.06.07 03.07.04	14-15	
49	14	13-1	SX301	-	土壌器	高坏	暗褐色 7.5YR4/5	脚柱状部1/1、脚部1/3	--	--	-	-	138	-	02.07.02	-	外張脚付型
50	14	13-1	SX301	-	土壌器	高坏	暗灰褐色 10YR5/1	脚柱状部1/1、坏部3/4	-	-	-	-	-	-	02.07.04	21	

測定 番号	基準 図版	経 度	緯 度	グリッド 種別	緯度 種別	経度 種別	色 別	現存部	口徑 (mm)	奥深 (mm)	脚径 (mm)	受部径 (mm)	底・側・合径 (mm)	高さ (mm)	底上日 期	底上 等号	備 考	
77	-	13-1	SR302	-	土師器	蓋	灰黄褐色	10YR5/2	脚部1/3～底部1/1	-	(107)	(157)	-	55	-	02.06.07	20	脚部外側黒化
78	16	13-1	SR302	P-13	土師器	蓋	灰黄褐色	10YR5/2	脚部1/2～底部1/1	-	(45)	(35)	-	37	-	02.06.10	-	底部内側黒付着
79	16	13-1	SR303	-	土師器	小型鉢	灰黄褐色	10YR5/2	口部部1/3、脚部1/2、底部 1/1	(155)	-	97	-	19	67	02.06.07	15*14	
80	-	13-1	SR302	-	土師器	小型鉢	灰黄褐色	10YR5/2	口部部1/1、脚部1/2、底部 1/1	(125)	-	(84)	-	24	-	02.06.07	22	
81	-	13-1	SR303	-	土師器	高环	褐色	5YR5/6	環面2/5	(182)	-	-	-	-	-	02.06.07	17	
82	-	13-1	SR302	Q-14	土師器	高环	に赤い斑色	7.5YR7/4	軸下部1/8、脚柱状部1/1	-	-	-	-	-	-	02.05.02	-	三方透かし
83	-	13-1	SR302	P-13	土師器	高环	灰褐色	10YR4/1	軸下部1/3～脚柱状部1/1	-	-	-	-	-	-	02.05.02	-	内外側黒化、三方透かし
84	-	13-1	SR302	P-13	土師器	高环	に赤い斑色	SYR8/3	脚柱状部1/1、底部1/3	-	-	-	-	(117)	-	02.06.10	-	三方透かし
85	-	13-1	SR302	-	土師器	高环	褐褐色	10YR6/1	脚柱状部1/1、底部1/1	-	-	-	-	(112)	-	02.06.07	10	
86	-	13-1	SR302	Q-14	土师皿	鉢	に赤い斑色	10YR6/3	口沿部破片	-	-	-	-	-	-	02.05.10	-	口唇部部條の寸線文、外側黒化
87	16	13-1	SR302	-	土師器	高环	灰色	N6/0	口沿部3/4～底部1/1	154	-	-	-	62	02.05.24	-	中に鉛の要なって出土	
88	15	13-1	SR303	-	土師器	高环	灰色	N6/0	充影	113	-	133	-	40	02.05.24	-	37の中から出土	
89	16	13-1 13-2	SR303 S-17 T-18	土師器	蓋	に赤い斑色	10YR7/3	口沿部1/4	(269)	-	-	-	-	-	-	02.05.24 02.13.12 01.01.07	-	鉛入品
90	17	13-2	SP500	-	土師器	蓋	褐色	5YR6/6	口沿部2/5、脚部1/4	(175)	(125)	(304)	-	-	03.02.05	1	脚部外側黒斑	
91	-	13-2	SP501	-	土師器	蓋	灰褐色	7.5YR6/2	口沿部1/6	(200)	-	-	-	-	-	03.02.05	-	内外側赤毛、内面側斜刻突状文
92	-	13-2	SP510	-	土師器	合付盤	灰褐色	2.5Y6/2	口沿部破片	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	内表面黒付着
93	-	13-2	SP516	-	土師器	合付盤	に赤い斑色	10YR7/2	台部上半2/3	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	外側黒付着
94	-	13-2	SP513	-	土師器	小鉢鉢	に赤い斑色	10YR7/2	口沿部～脚部1/8	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	
95	-	13-2	SP518	-	土師器	高环	に赤い斑色	10YR6/3	脚柱状部1/1	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	
96	-	13-2	SP521	-	土師器	合付盤	灰褐色	10YR6/3	合部1/4	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	外表面黒付着
97	-	13-2	SP521	-	土師器	合付盤	に赤い斑色	10YR7/2	口沿部～脚部1/8	(140)	(121)	-	-	-	-	03.02.05	-	外表面黒付着
98	-	13-2	SP528	-	土師器	合付盤	灰褐色	10YR6/2	口沿部～脚部1/6	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	内表面黒付着
99	-	13-2	SP529	-	土師器	高环	灰褐色	2.5Y7/2	脚部1/2	-	-	-	-	(60)	-	03.02.05	-	ミニチュア
100	-	13-2	SP530	-	土師器	合付盤	灰白色	2.5Y7/1	口沿部～底部1/8	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	
101	17	13-2	SP531	-	土師器	合付盤	に赤い斑色	7.5YR7/3	口沿部1/3、脚部1/4	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	
102	-	13-2	SP535	-	土師器	合付盤	に赤い斑色	10YR7/3	口沿部～脚部1/6	(130)	(112)	-	-	-	-	03.02.05	-	

標題	學名	俗名	通稱	拉丁文	地點	特徵	類群	分布地	系譜	定·變·台	學名	地上口	地下	備考	
								(cm)	(cm)	(cm)	(cm)				
103	-	SH546	-	-	土壤	有根毛	紅色	SYV1	口唇狀~葉狀上半1/5 葉狀1/3	-	-	-	10.02.06	內外兩瓣舌	
104	17	SH547	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/3	-	-	-	10.02.06	二方或小、側瓣微突		
105	-	SH548	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/4	圓錐狀1/1	-	-	-	10.02.06	三方或小、L	
106	17	SH549	-	-	土壤	小根毛	紅色	SYV1/2	LIP562/5、葉狀1/2、齒狀26 1/1	(70)	-	30	50	10.02.06	
107	-	SH550	-	-	土壤	有根毛	紅色	SYV1/4	口唇狀舌片	-	-	-	10.02.06	-	
108	-	SH551	-	-	土壤	有根毛	紅色	SYV1/1	徐等1/1	-	-	-	10.02.07	-	
109	-	SH552	-	-	土壤	有根毛	紅色	SYV1/1	口唇狀~葉狀1/4	-	-	-	10.02.07	-	
110	-	SH553	-	-	土壤	有根毛	紅色	SYV1	窮子舌1/1~舌狀上半1/8 1/1	-	-	-	10.02.07	內外兩瓣舌	
111	-	SH554	-	-	土壤	有根毛	紅色	SYV1/3	口唇狀舌1/3	-	-	-	10.02.07	內外兩瓣舌	
112	-	SH555	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/2	口唇狀~葉狀1/5	(10)	(4)	-	-	10.02.07	
113	-	SH556	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/1	LIP563/1~葉狀1/10	-	-	-	10.02.13	內外兩瓣舌	
114	-	SH557	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1	口唇狀~葉狀1/8、口唇狀 舌1/6	-	-	-	10.02.13	內外兩瓣舌	
115	-	SH558	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/1	舌狀下半1/3	-	-	-	10.02.27	內外兩瓣舌	
116	17	SH559	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/1	口唇狀1/1、葉狀1/3、葉狀 舌1/6	(16)	(15)	-	10.02.27	* * * 舌狀外伸舌頭	
117	17	SH560	-	-	土壤	小根毛	紅色	SYV1/4	口唇狀1/2~葉狀1/1、葉狀 舌1/1	(6)	51	82	-	10.02.27	
118	-	SH561	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/6	葉狀舌1/5	-	-	-	10.02.27	4	
119	18	SH562	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/4	葉狀舌1/1	-	-	-	10.02.27	5	
120	18	SH563	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/5	對生狀舌1/1、葉狀舌1/2	-	-	-	10.02.27	1	
121	-	SH564	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/5	窮子舌1/3~舌狀1/1	-	-	-	10.02.28	外兩瓣舌	
122	-	SH565	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/2	口唇狀~葉狀1/6	(10)	(5)	-	-	10.03.13	內外兩瓣舌
123	16	SH566	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/3	LIP564/1、葉狀舌1/3、葉狀 舌1/1	(64)	(6)	-	-	10.02.07	口唇狀~葉狀外伸舌頭
124	19	SH567	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/2	葉狀舌1/1	91	71	87	-	10.02.16	側瓣外伸舌頭
125	18	SH568	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1	口唇狀舌1/3、葉狀舌1/6、葉狀 舌1/1	(65)	(60)	98	-	10.02.19	側瓣外伸舌頭
126	19	SH569	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/2	口唇狀舌1/3、葉狀舌1/3、葉狀 舌1/1	(70)	85	95	-	10.02.19	4
127	16	SH570	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/1	葉狀舌1/1~葉狀舌1/1	-	(80)	87	-	10.02.19	側瓣外伸舌頭
128	-	SH571	-	-	土壤	無根毛	紅色	SYV1/1	葉狀舌1/1	-	-	-	10.02.07	外兩瓣舌	

標題	高さ cm	葉	葉輪	リダップ	茎	花	花被片	果実	種子 (mm)	交配親 (母)	交配親 (父)	花期 (日)	地上部 留め	備考
129	19	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	口輪部1/2、側面1/2、底面 1/3	側面1/2、側面1/1	139	105	—	—	—	□強制～弱制外延付付、内延強化
130	12	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/3	上部部～葉輪部 10YR1/2	口輪部～葉輪部 1/1	—	—	—	—	—	外延強付付
131	—	13.2	S7265	—	小葉苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	口輪部～葉輪部 1/1	—	—	—	—	—	—	外延強付付
132	19	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	側面1/4	—	—	—	—	—	—	内延強付付
133	19	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/4	口輪部～葉輪部 1/1	138	—	—	—	—	—	内延強付付
134	19	13.2	S7265	—	小葉苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	环带1/1	195	—	—	—	—	—	内延強付付
135	19	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/3	側面長部1/1、側面1/6	—	—	—	—	—	—	内延強付付
136	19	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	側面長部1/1	—	—	—	—	—	—	内延強付付
137	19	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/4	側面長部1/1、側面1/6	—	—	—	—	—	—	内延強付付
138	—	13.2	S7265	—	小葉苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	側面長部1/1	—	—	—	—	—	—	内延強付付
139	20	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/1	側面長部1/1	—	—	—	—	—	—	内延強付付
140	20	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	側面1/2	—	—	—	—	—	—	内延強付付
141	20	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/3	LIP部～葉輪1/2、底面 9/10	150	—	—	—	—	—	内延強付付、強制強化
142	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	口輪部1/6	(103) (105)	—	—	—	—	—	—
143	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	側面1/2	—	—	—	—	—	—	二方強化
144	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/4	側面1/2	—	—	—	—	—	—	三方面強化
145	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/4	底面1/1	(78)	—	—	—	—	—	—
146	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/1	口輪部側面 輪縫片	—	—	—	—	—	—	輸入品
147	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	口輪部側面 輪縫片	—	—	—	—	—	—	輸入品
148	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/3	口輪部側面 輪縫片	—	—	—	—	—	—	内延強付付
149	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/4	口輪部側面1/1～輪縫片1/1	(108) (100)	—	—	—	—	—	内延強付付、弱延強化
150	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/5	輪縫片	—	—	—	—	—	—	—
151	20	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/2	強制～底面1/2	—	—	—	—	—	—	内延強付付
152	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/3	口輪部1/7	(146) (136)	—	—	—	—	—	—
153	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/1	口輪部側面 輪縫片	—	—	—	—	—	—	内延強付付
154	—	13.2	S7265	—	土壌苔 根	葉 灰被毛葉色 10YR5/1	輪縫片	—	—	—	—	—	—	内延強付付

標題	地名	種類	アーチ	蛇行	曲輪	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡	城跡
155	-	13-3	S0309	-	土塁	高	に高い城壁色	15YR7/3	斜面/3	-	-	(3)	-	03.01.16	-	1ニホンアゲハ		
156	-	13-3	S0308	-	土塁	高	斜面	2.5YR6/1	斜面/1	-	-	8	-	03.01.16	-	内面黒褐色、ミカサルア		
157	-	13-3	S0310	-	土塁	高	白色	2.5Y7/1	斜面2段/2	-	-	-	-	03.01.21	-			
158	30	13-3	S0311	-	土塁	高	白色	2.5Y7/1	口端部~裏面2段/2	(194)	(120)	-	-	(3)	-	03.01.31	-	
159	-	13-2	S0312	-	土塁	高	灰	10Y6/1	口端部/6	(170)	(113)	-	-	-	-	03.01.31	-	口端部外付面風化
160	-	13-2	S0313	-	土塁	高	灰	10Y5/2	断面斜片	-	-	-	-	-	-	03.01.31	-	縦張り状況、縦張り状況
161	-	13-2	S0314	-	土塁	高	灰	2.5Y7/1	底面/4	-	-	-	-	79	-	03.01.31	-	外層~風化
162	-	13-2	S0315	-	土塁	高	灰	10Y7/2	底面2段/3	-	-	-	-	(65)	-	03.01.31	-	内付面風化
163	30	13-2	S0316	-	土塁	高	灰	10Y5/2	口端部3段~裏面2段/2	174	138	133	-	-	-	03.01.30	-	断面外付面風化
164	-	13-2	S0317	-	土塁	高	灰	10Y5/2	「側面」~裏面斜片	(194)	(145)	-	-	-	-	03.01.31	-	
165	20	13-2	S0318	-	土塁	高	灰	2.5Y7/1	口端部3段~裏面斜片	(160)	(141)	-	-	-	-	03.01.31	-	側面風化
166	-	13-2	S0319	-	土塁	高	灰	10Y5/4	枕輪/4	(201)	-	-	-	-	-	03.01.31	-	外付面風化
167	-	13-2	S0320	-	土塁	高	灰	10Y5/6	斜面断面/1	-	-	-	-	-	-	03.01.31	-	三方走かし
168	31	13-2	S0321	-	土塁	高	灰	10Y5/7	側面~底面斜片/4	-	-	152	-	76	-	03.01.31	-	外付面風化、側面風化
169	-	13-2	S0322	-	土塁	高	灰	10Y7/2	口端部斜片	-	-	-	-	-	-	03.01.12	-	柱走れ、3方走かし側面斜片
170	21	13-2	S0323	-	土塁	高	灰	10Y7/6	口端部3段~裏面2段/5	-	-	-	-	-	-	03.01.12	5	内面斜面風化
171	-	13-2	S0324	-	土塁	高	灰	10Y7/6	口端部2段~裏面2段/5	-	-	-	-	-	-	03.01.22	-	斜面風化
172	-	13-2	S0325	-	土塁	高	灰	10Y7/2	口端部3段~裏面2段/3	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	縦張り用梁、直角
173	-	13-2	S0326	-	土塁	高	灰	10Y7/4	口端部斜片	-	-	-	-	-	-	03.01.31	-	6字状側面風化
174	-	13-2	S0327	-	土塁	高	灰	10Y7/4	口端部斜片	-	-	-	-	-	-	03.01.22	-	内付面風化
175	-	13-2	S0328	-	土塁	高	灰	10Y7/2	口端部~裏面2段/5	(194)	(107)	-	-	-	-	03.01.31	-	側面側面斜片
176	-	13-2	S0329	-	土塁	高	灰	10Y7/6	口端部/4	(197)	(103)	-	-	-	-	03.01.21	-	
177	21	13-2	S0330	-	土塁	高	灰	10Y7/6	斜面2段~裏面斜片	-	(211)	-	-	-	-	03.01.21	-	横張り状況、側面斜面風化
178	21	13-2	S0331	-	土塁	高	灰	10Y8/1	口端部2段~裏面2段/5	(198)	75	(120)	-	46	116	03.01.12	2	側面側面斜片
179	21	13-2	S0332	-	土塁	高	灰	10Y8/2	口端部2段~裏面2段/5	(199)	(101)	-	-	59	03.01.21	-		
180	-	13-2	S0333	-	土塁	高	灰	10Y7/4	口端部~裏面2段/5	(101)	(92)	(105)	-	-	-	03.01.22	-	外面斜面風化

地番 番号	基準 高さ	区	道路	グリッド	箇所	動態	色 調	照度部	口径 (mm)	断面 (mm)	幅員 (mm)	歩道幅 (mm)	底・壁・台枠 (mm)	高さ (mm)	底・H (mm)	段上 等号	備考
181	-	13-2	SX307	-	土蔵道	道	褐色系 10YR6/1	口端部～脚部上1/4	(130)	(116)	-	-	-	-	03.01.22	-	内外側壁厚
182	-	13-2	SX307	-	土蔵道	道?	灰青褐色 10YR6/3	口端部1/4	(158)	(137)	-	-	-	-	03.01.21	-	
183	21	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	にぼい褐色 7.5YR8/5	脚部1/2～台端9/10	-	-	-	-	151	-	03.01.21 (03.02.12)	3	
184	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	にぼい褐色 7.5YR8/4	台部1/3	-	-	-	-	(132)	-	03.01.22	-	
185	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	灰青褐色 10YR6/2	接合部板片	-	-	-	-	-	-	03.01.23	-	
186	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	灰白色 2.5Y8/1	口端部1/8	-	-	-	-	-	-	03.01.31	-	
187	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	にぼい黄褐色 10YR7/2	口端部1/8	-	-	-	-	-	-	03.01.31	-	
188	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	褐色系 10YR5/1	口端部1/4	(149)	(120)	-	-	-	-	03.01.15	-	内側壁材有
189	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	褐色系 10YR6/1	口端部1/6	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	
190	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	灰白色 2.5Y7/1	口端部1/3	(148)	(128)	-	-	-	-	03.01.22	-	
191	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	灰白色 10YR7/1	口端部1/5	(182)	(145)	-	-	-	-	03.01.22	-	
192	21	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	にぼい褐色 7.5YR6/2	脚部1/4～窓部1/3	(183)	-	-	-	(150)	-	03.01.22 03.01.31	-	三方透かし
193	21	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	褐色系 10YR6/1	窓部1/3～脚柱状脚部1/1	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	三方透かし
194	22	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	灰青褐色 10YR6/2	脚柱状脚部1/1～脚部1/5	-	-	-	-	(134)	-	03.01.21	-	二段の三方透かし
195	22	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	褐色系 2.5Y6/1	脚柱状脚部1/6	-	-	-	-	(166)	-	03.01.21	-	三方透かし、外側裏面
196	-	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	にぼい黄褐色 10Y7/2	脚部3/5	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	二方透かし
197	23	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	灰白色 2.5Y8/1	脚柱状脚部1/1	-	-	-	-	-	-	-	-	
198	-	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	にぼい褐色 7.5YR7/5	脚柱状脚部1/1	-	-	-	-	-	-	03.01.22	-	
199	-	13-2	SX307 SX316	-	土蔵道	窓	灰青褐色 10YR6/2	脚柱状脚部1/4～脚部1/2	-	-	-	-	-	-	03.02.12	-	
200	-	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	褐色系 10YR6/1	脚柱状脚部1/4	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	
201	-	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	にぼい褐色系 10YR7/3	脚下部1/1～脚部1/10	-	-	-	-	-	-	03.02.12	2	
202	-	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	灰青褐色 10YR6/2	脚部9/10	-	-	-	-	73	-	03.02.12	4	二方透かし
203	-	13-2	SX307	-	土蔵道	窓	褐色系 10YR6/1	脚部5/6	-	-	-	-	-	-	03.01.22	-	ミニチュア、三方透かし
204	22	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	にぼい黃褐色 10YK7/2	脚部3/4～脚部5/6	(23)	-	-	-	(20)	81	03.01.21	-	三方透かし
205	-	13-2	SX307	-	土蔵道	台付窓	にぼい褐色 7.5YR8/3	口端部～脚部1/5	(112)	(84)	-	-	-	-	03.02.05	-	
206	-	13-2	SX308	-	背生土蔵	脚	灰黄色 2.5Y5/2	口端部板片	-	-	-	-	-	-	03.02.05	-	朱塗、木サミ

規格番号	部品名	色	遮断	グリップ	種別	基板	色調	既存部	口端部 (mm)	幅端 (mm)	側面 (mm)	底部 (mm)	底・壁・合様 (mm)	壁高 (mm)	取上日	取上番号	備考
307	-	13-2	SX309	-	土脚部	蓋	灰黄褐色 10YR6/2	L1端部1/6～端部1/4	(184)	(14)	-	-	-	-	03.01.21	-	横斜火
308	-	13-2	SX309	-	土脚部	蓋	にぼい黄褐色 10YR7/3	L1端部～端部1/4	(170)	(10)	-	-	-	-	03.01.20 03.02.12	8	
309	-	13-2	SX309	-	土脚部	蓋	灰白色 2.5Y7/1	L1端部4/6～端部1/3	(124)	(8)	-	-	-	-	03.01.21	-	
210	22	13-2	SX309	--	土脚部	蓋	灰色 5Y6/1	型形～端部1/1	-	(32)	97	-	部	-	03.02.12	1	外曲・L1端部内側剥落
211	22	13-2	SX309	-	土脚部	台付蓋	灰黃褐色 10YR6/2	口端部～端部7/1/3	(156)	(16)	(156)	-	-	-	03.01.21 03.02.12	5	口端部～脚部外側部、脚部内側白化
212	-	13-2	SX309	-	土脚部	蓋	にぼい褐色 7.5YR7/4	L1端部1/6、端部1/6	(180)	(14)	(186)	--	-	-	03.01.21 03.02.12	2-4	口端部・脚部外側剥落
213	22	13-2	SX309	--	土脚部	台付蓋	灰白色 2.5Y6/1	口端部～端部1/6	(160)	(16)	-	-	-	-	03.01.21	-	使用痕乏しい、初期火
214	22	13-2	SX309	-	土脚部	台付蓋	灰褐色 2.5Y5/1	L1端部～脚部上部1/6	(130)	(14)	-	-	-	-	03.01.21	-	内表面黒化
215	22	13-2	SX309	-	土脚部	台付蓋	灰白色 3Y8/1	口端部1/3～端部2/5	(150)	(12)	-	-	-	-	03.02.12	3	外側塗付材
216	-	13-2	SX309	-	土脚部	木村強	にぼい褐色 7.5YR6/3	合部1/1	--	-	-	(82)	-	03.02.12	6		
217	22	13-2	SX309	-	土脚部	高丸	灰白色 10YR7/1	端下部1/4	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	
218	-	13-2	SX309	-	土脚部	高丸	にぼい褐色 5Y5/4	端下部1/4	-	-	-	(100)	-	03.01.21	-	透かし	
219	-	13-2	SX309	--	土脚部	高丸	灰白色 10YR7/1	脚上部3/4	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	三方透かし
220	-	13-2	SX309	-	土脚部	高丸	にぼい黄褐色 2.5YR6/3	脚上部1/3	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	三方透かし、内外面一様白化、エニチュア
221	-	13-2	SX309	-	土脚部	蓋	にぼい黄褐色 10YR7/2	口端部1/3	(90)	-	-	-	-	-	03.01.21	-	
222	-	13-2	SX309	-	土脚部	体	にぼい褐色 7.5YR7/1	口唇部端片	-	-	-	-	-	-	03.01.21	-	
223	22	13-2	SX311	-	土脚部	蓋	にぼい黄褐色 10YR7/2	脚部2/3、底部1/1	99	67	133	--	部	140	03.01.22 03.02.12	1	耐候外側黒化
224	22	13-2	SX311	-	土脚部	設	にぼい褐色 7.5YR6/3	L1端部～底部3/5	-	(76)	(143)	-	部	-	03.01.21	-	
225	-	13-2	SX311	-	土脚部	蓋	灰褐色 10YR6/3	口唇部端片	--	-	-	-	--	03.01.22	-	内面S字状剥離変色	
226	-	13-2	SX311	-	土脚部	小型座	灰白色 2.5Y7/1	口端部1/6	(101)	-	-	-	-	-	03.01.22	-	
227	-	13-2	SX311	--	土脚部	設?	にぼい灰褐色 10YR7/3	底部1/4	-	-	-	(154)	-	03.01.22	-	外側紙理	
228	-	13-2	SX311	-	土脚部	蓋	外側：にぼい褐色 7.5YR7/3 内面：にぼい褐色 5YR7/3	底部1/1	-	-	-	部	-	03.01.21	-	外側紙理	
229	22	13-2	SX311	-	土脚部	台付蓋	灰褐色 2.5Y6/1	L1端部3/12～端部1/2	169	154	174	-	-	-	03.02.07	-	外側剥離
230	-	13-2	SX311	-	土脚部	蓋	灰褐色 10YR6/3	口端部1/12～脚上部1/6	-	-	-	-	-	03.02.16	-	内部剥離	
231	--	13-2	SX311	-	土脚部	蓋	にぼい褐色 7.5YR5/2	内側端片	-	-	-	-	-	03.02.07	-		
232	-	13-2	SX311	-	土脚部	蓋	外側：にぼい灰褐色 10YR7/2 内面：灰褐色 3.5Y7/1	口端部破片	-	-	-	-	-	03.01.22	-		

標題 番号	種 類	形 状	チャック 部	電 線	端 子	色 調	端子幅	口沿 (mm)	鋸正 (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	厚さ (mm)	底上口 (mm)	底上 厚(手)	備 考
233	-	13.2	S2311	-	上端切 合付型	にいがい銀色地 10YR7/2	口沿幅1/6	(142)	-	-	-	-	(0.6)	-	
234	-	13.2	S2311	-	上端切 合付型	青緑色 10YG6/1	合幅1/4	-	-	-	(103)	-	(0.6)	-	
235	-	13.2	S2311	-	上端切 合付型	青緑色 10YG6/2	鋸正合幅 合幅5/6	-	-	-	(103)	-	(0.6)	2.5×2.5、外端無	
236	-	13.2	S2311	-	上端切 合付型	青緑色 10YG6/4	口沿幅1/8	(106)	-	-	-	-	(0.6)	-	
237	-	13.2	S2311	-	上端切 合付型	青緑色 10YG6/4	鋸正合幅1/1	-	-	-	-	-	(0.6)	三方あわし	
238	23	13.2	S2311	-	上端切 合付型	青緑色 10YG6/7	鋸正合幅 合幅5/6	-	-	-	(0.6)	-	(0.6)	底部外端無	
239	-	13	S2311	-	上端切 合付型	青緑色 10YG6/7	口沿幅～鋸正幅1/6	(104)	(0.6)	-	-	-	(0.6)	-	
240	-	13	S2311	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/2	鋸正幅1/1	-	-	-	-	-	(0.6)	-	
241	25	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/4	口沿幅1/1	107	-	-	-	-	(0.6)	2	
242	23	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/7	口沿幅～鋸正幅1/1、底上部 1/3	110	145	(20)	-	-	(0.6)	1	
243	-	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/7	口沿幅1/3	(103)	(1.2)	-	-	-	(0.6)	-	
244	24	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/2	鋸正合幅1/1	-	-	-	-	-	(0.6)	三方あわし	
245	24	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/8	口沿幅～鋸正幅1/5	106	-	-	-	-	(0.6)	-	
246	-	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/8	「鋸正～底上部1/1」 1/3	103	(1.2)	-	-	-	(0.6)	鋸正外端付合、底上～底付合	
247	24	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/2	「鋸正～底上部1/2、底付 1/2」	(120)	-	-	-	-	(0.6)	外端付合	
248	24	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/8	鋸正合幅1/1	-	-	-	-	-	(0.6)	底上～底付合、鋸正付合	
249	-	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/8	「鋸正～底上部1/8」 1/3	(101)	(1.2)	-	-	-	(0.6)	-	
250	-	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/2	口沿幅～鋸正幅1/3	(107)	-	-	-	-	(0.6)	外端付合	
251	24	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/4	鋸正幅1/4	(103)	-	-	-	-	(0.6)	-	
252	-	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/2	口沿幅1/2、鋸正幅1/4	(112)	(0.6)	-	-	-	(0.6)	-	
253	24	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/5	鋸正合幅1/1	(101)	-	-	-	-	(0.6)	-	
254	24	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/4	鋸正合幅1/1	-	-	-	-	-	(0.6)	-	
255	-	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/4	鋸正幅1/4	(103)	-	-	-	-	(0.6)	-	
256	-	13.2	S2312	-	上端切 合付型	青緑色 10YR7/4	口沿幅～鋸正幅1/2	(127)	(0.9)	-	-	-	(0.6)	-	
257	26	13.1	S2316	-	洗去型	底白地 N7.1(YR)	口沿部～底上部1/2	(131)	-	-	-	-	(0.6)	-	
258	-	13.2	S2317	-	上端切 合付型	青 10YR7/4	口沿幅1/6	(100)	-	-	-	-	(0.6)	-	

登録 番号	学名 和漢 名	通称	アリット	種類	形態	性別	標本 数	平均標本 長さ (mm)	平均標 幅 (mm)	平均標 高 (mm)	平均標 重 量 (mg)	平均 寿命 (日)	研究 者		
								頭部 長	通幅	側幅	頭幅	側幅	頭幅	側幅	
337	-	15.2	S5204	U-15	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/7	(235) (152)	-	-	-	03.01.10	-
483	-	15.2	S5204	U-15	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/1	口器部1/6~頭部1/5	(175) (145)	-	-	-	03.01.10	-
339	-	15.3	S5204	U-17	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/1	口器部1/6~頭部1/3	142	120	-	-	03.01.15	-
540	-	15.2	S5204	U-17	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/1	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.09	-
541	-	15.2	S5204	U-16	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/6	-	-	-	(156)	-	台帳外観・採集地不明
342	-	15.2	S5204	U-17	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/5	-	-	119	-	03.01.09	-
363	-	15.2	S5204	U-16	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/5	-	-	-	-	03.01.16	-
344	-	15.3	S7304	U-16	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.16	-
345	-	15.2	S7304	U-15	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/4	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.10	-
346	-	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/4	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
347	-	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/1	口器部1/6~頭部1/3	-	-	-	(75)	-	台帳外観・採集地不明
897	-	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/7	口器部1/6~頭部1/3	-	-	-	(77)	-	台帳外観・採集地不明
548	-	15.3	S7304	U-15	土蜘蛛	合付型	尾白色	WYTR/7	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	(101)	-	03.01.15
348	-	15.2	S7304	U-15	土蜘蛛	大顎型	尾白色	WYTR/6	口器部1/4~頭部1/5	(622) (595)	(595)	-	-	03.11.28	-
350	-	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/1	口器部1/6~頭部1/4	(314) (252)	-	-	-	03.01.09	-
351	30	15.3	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	374	303	303	-	03.01.15	-
352	29	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/3	口器部1/6~頭部1/4	(308)	-	-	-	03.01.15	-
353	-	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/1	口器部1/6~頭部1/4	(269)	-	-	-	03.01.06	-
354	30	15.3	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/4	口器部1/6~頭部1/4	(169)	-	-	-	03.01.09	-
355	30	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
356	30	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
357	30	15.2	S7304	U-15	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.10	-
358	30	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.09	-
359	30	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
360	-	15.3	S7304	U-15	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/4	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.10	-
361	30	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
362	29	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/3	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
363	-	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/1	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.06	-
364	30	15.3	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/4	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.09	-
365	30	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
366	-	15.3	S7304	U-15	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
367	30	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.10	-
368	30	15.2	S7304	U-16	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.09	-
369	30	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/4	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
370	30	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	-	03.01.15	-
371	30	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	-	-	-	(132)	-	03.01.06
372	30	15.2	S7304	U-17	土蜘蛛	尾	尾白色	WYTR/2	口器部1/6~頭部1/4	(100)	-	-	-	03.01.09	-

辨別 番号	算定 面積	区	看板	グリッド	剥離	剥離	亜鉛	被覆部	口幅 (mm)	横幅 (mm)	厚さ (mm)	受部幅 (mm)	底・壁・台幅 (mm)	脚幅 (mm)	取上日	取上 番号	備考	
355	30	13-2	SR304	U-17	土脚部	高塗	灰白色	5Y7/1	被合部1/1、脚部1/3、底部 破片	-	-	--	-	-	03.01.09	-	ミニチュア、脚部外表面黒化	
364	-	13-2	SR304	U-17	土脚部	高塗	にぼい青紫色	10YR7/2	被合部1/1~脚部1/10	-	-	-	54	-	03.01.09	-	ミニチュア	
365	31	13-2	SR304	U-16	土脚部	高塗	灰黄褐色	10YR6/2	脚下部3/5、脚付軸部1/1	-	-	-	-	-	03.01.09	-	環部内面黒化	
366	31	13-2	SR304	U-15	土脚部	高塗	灰黄褐色	10YR5/2	被合部1/1~脚付軸部1/1、 脚部破片	-	-	-	(110)	-	03.01.10	-		
367	31	13-2	SR304	U-15	土脚部	鉢合	灰褐色	1.5YR6/5	受部1/2、脚部1/5	(60)	-	-	(22)	71	03.01.15	-	二方透かし	
368	-	13-2	SR304	U-16	土脚部	鉢合	にぼい黄褐色	10YR7/2	受部1/1、脚部1/5	80	-	-	-	-	03.01.15	-	三方透かし	
369	31	13-2	SR304	U-15	土脚部	鉢合	灰黄褐色	10YR5/2	受部1/3、脚部3/10	79	-	-	95	77	03.01.16	-	三方透かし	
370	31	13-2	SR304	U-15	土脚部	鉢合	灰黄褐色	10YR5/2	受部3/4~脚付軸部1/1	(87)	-	-	-	-	03.01.16	-	三方透かし	
371	-	13-2	SR304	U-16	土脚部	幕合	灰褐色	7.5YR6/2	被合部~脚上部1/1	-	-	-	-	-	03.01.16	-	三方透かし、被合部焼痕前寄乳	
372	-	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	にぼい褐色	7.5YR6/3	口被部1/4	(180)	(151)	-	-	-	03.01.09	-		
373	-	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	暗褐色	7.5YR7/3	口軸部1/4	(110)	(89)	-	-	-	03.01.09	-		
374	31	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	細灰色	10YR6/1	口被部1/3、脚部1/3	(127)	-	-	--	48	03.01.09	-	内表面黒化	
375	-	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	灰白色	2.5Y7/1	口被部1/2~底部1/4	(120)	-	(35)	-	(87)	75	03.01.09	-	内面黒化
376	31	13-2	SR304	U-15	土脚部	鉢	青灰褐色	2.5Y6/1	口被部1/3、脚部~底部1/1	(98)	(97)	94	-	44	68	03.01.15	-	
377	31	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	灰白色	2.5Y7/1	口被部11/12~底部1/1	90	-	91	-	39	95	03.01.16	-	口付部外表面黒化
378	32	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	灰黄褐色	10YR6/2	口被部2/3~底部1/1	94	-	-	-	42	52	03.01.09	-	使用歴長い、脚部・底部外表面黒化
379	32	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	にぼい青褐色	10YR6/3	口被部1/3、底部1/1	(71)	-	(73)	-	33	42	03.01.09	-	
380	22	13-2	SR304	U-17	土脚部	鉢	青褐色	10YR6/1	口被部1/3~底部1/1	-	-	-	-	28	-	03.01.09	-	外面黒化、ミニチュア?
381	32	13-2	SR304	U-16	土脚部	鉢	にぼい褐色	7.5YR6/3	口被部3/4~底部1/1	115	-	-	-	33	41	03.01.15	-	
382	-	13-2	SR304	U-16	土脚部	鉢	暗褐色	2.5YR6/3	脚部1/4、底部1/1	-	--	-	45	-	03.01.10	-		
383	-	13-2	SR304	U-16	土脚部	鉢	灰白色	2.5Y7/1	全体1/16	-	-	(102)	-	-	03.01.15	-	一部凹付部、木製痕	
384	32	15	SD404	Z-145E	頭部部	鉢身	灰色	N6/0	口被部1/2、底部~底部1/2	(103)	-	-	(131)	-	47	02.11.20	95	1号頭
385	-	15	SD404	Z-15	土脚部	鉢	灰黄褐色	10YR6/2	口被部1/2	(140)	(96)	-	-	-	02.11.18	-	口被部外表面黒化	
386	-	15	SD404	Z-15	土脚部	鉢	灰白色	2.5Y7/1	脚部1/3	-	(66)	-	--	-	02.11.18	-	隙部外側にS字状並列溝文、削除した 脚尖を口被部内面に接着、外側黒化	
387	-	15	SD404	Z-15	土脚部	鉢	灰黄褐色	10YR5/2	底部1/2	-	-	-	-	71	-	02.11.25	-	
388	32	15	SD404	a-152G	土脚部	鉢	にぼい青褐色	7.5YR7/4	足部完形	138	-	-	-	37	58	03.11.15	86	1号頭?

部品番号	算定番号	部品名	連番	グリップ	種類	基準	色	既存部	1/底 厚さ (mm)	壁厚 (mm)	鋼造 (mm)	受部径 (mm)	底・壁・合計 高さ (mm)	密着 (mm)	取上日付	取上 番号	備考	
380	-	SD409	-	土師器	环	に付い複数	7.5YR5/3 1/3	口部部1/12、体部1/4、底部 (120)	-	-	-	-	49	02.12.11	-	2号機		
390	33	15	SD411	W-14NW	土師器	环	に付い複数	7.5YR7/4	はびき形	121	-	-	-	59	02.12.11	185	3号機	
391	52	15	SD411	W-14NW	土師器	环	に付い複数	7.5YR6/3	はびき形	115	-	-	-	54	02.12.11	186	2号機	
392	32	15	-	-	楕圓形	瓦	灰白色	2.5Y7/1	側部1/4～底部1/3	-	-	(265)	--	-	02.12.11	186	3号機側面内面、背面クラック、内側当 て真裏折り出し	
393	33	15	SR401	Y-13SE	楕圓形	高环	ミリーブ灰	2.5G Y6/1	环部5/6、脚柱部1/1、高 幅2/3	161	-	-	--	10	117	02.10.30	35	2号機環形上部、303と同一個?
394	-	15	SR401	Y-13SE	楕圓形	高环	ミリーブ灰	2.5G Y6/1	环部1/8	(164)	-	-	-	-	02.10.35	17	2号機环形上部、303と同一個?	
395	33	15	SR401	Y-13SE	楕圓形	瓦	灰白色	N.S/0	完形	122	65	171	-	-	177	02.10.30	24	3号機内面、瓦径:15mm、背面外側 ・口部内面に白点線、輪柱部軽く、 記号
396	33	15	SR401	Y-13SE	土師器	瓦	灰黃褐色	10YR5/2	口部部1/4、側部2/3、底部 1/1	179	166	238	-	-	279	02.11.11	36	2号機、楕形外側漆付帯、底部外側ハケ ノ
397	33	15	SR401	Y-13SE	土師器	环	に付い複数	5YE6/4	はびき形	134	-	-	-	45	57	02.11.11	37	3号機環形上部、底部外側に水波痕
398	33	15	SR401	Z-13	土師器	环	に付い複数	7.5YR7/4	体部1/4～底部1/1	-	-	-	-	-	02.11.11	-		
399	-	15	SR401	Z-13	土師器	-	灰黃褐色	10YR5/2	体下部3/4～底部1/1	-	-	-	--	31	-	02.10.25	-	外側虫食
400	33	15	SR401	Z-13	土師器	高环	灰黃褐色	10YR5/2	脚部1/4	-	-	--	(233)	-	02.10.25	-	环部内面、輪柱外側漆	
401	-	15	SR401	Y-14SW	土師器	瓦	灰黃褐色	10YR6/2	口部紙3/4	(294)	-	-	--	-	02.11.26	121	折り返し漆ハケ工具によるキザミ	
402	33	15	SR401	Y-14SW	土師器	瓦	灰灰褐色	2.5Y6/1	側部1/3、脚部1/2、底部 9/10	-	(84)	(212)	-	84	-	02.10.28	26	脚下部外側黒張、底部外側木板質
403	34	15	SR401	Y-14SW	土師器	脚柱付	灰黃褐色	10YR6/2	脚部1/3～脚部1/1	229	-	149	-	81	158	02.11.26	119～ 121	三方透かし
404	-	15	SR401	Y-14SW	土師器	高环	灰黃褐色	10YR6/2	脚部1/3～脚部3/4	(240)	-	-	(180)	(162)	02.13.02	132	三方透かし、輪柱内面黒化	
405	34	15	SR401	Y-14SW	土師器	瓦	裸褐色	10YY6/1	口部紙1/4、脚部1/5、底部 1/1	(107)	(100)	133	-	45	107	02.12.03	195	口部部～底部外側黒張、底部内側ハケ ノテ
406	34	15	SR401	Y-14SW	土師器	瓦	に付い黄褐色	10YR5/3	脚部1/5、脚部1/2、底部 1/1	(99)	-	(86)	--	45	-	02.11.29	121	口部部～底部内側黒張
407	-	15	SR401	Y-14SW	土師器	瓦合	に付い複数	7.5YR5/3	受部3/3、脚上部1/3	-	-	-	-	-	02.12.02	122	三方透かし?、脚合部黒張前突孔	
408	-	15	SR401	Y-14SW	土師器	西环	灰黃褐色	10YR5/2	脚部1/3	-	-	--	(79)	-	02.12.02	122	三方透かし	
409	-	15	SR401	Y-14SW	土師器	瓦	に付い黄褐色	10YR7/3	口部紙2/3	159	-	-	-	-	02.12.02	129		
410	34	15	SR401	Y-14SW	土師器	瓦	に付い黄褐色	10YR7/3	口部部～脚部1/1	123	68	-	-	-	02.11.38	84	口部部内側5字状凸縫羽状、口部 部へようするキザミ、脚部外側黒張前突 孔	
411	34	15	SR401	X-13	土師器	瓦	灰白色	2.5Y7/1	口部1/5、脚部6/7、底部1/4	(120)	51	162	-	(59)	206	02.12.11	-	口部部内側黒張、口部部外側とハケ状 工具によるキザミ、脚部部内側黒張 及、輪柱部羽状、羽吹火、底部外側に 黒張
412	34	15	SR401	X-13NW	土師器	瓦	に付い黄褐色	10YR7/2	口部紙1/7、脚部2/3、底部 1/6	(216)	-	(220)	-	(82)	180	02.12.11	187	口部部ハケ状工具によるキザミ、脚上 部～脚外側黒張、内側黒化
413	-	15	SR401	Y-13NE	土師器	瓦	に付い黄褐色	10YR5/3	脚部紙片～脚部1/6	-	(160)	(210)	-	-	02.11.06	33	脚部外側漆付帯	

表3 古代・空世土器一覽

規格 実用 区分	規格 番号	品名	アリヤド	私刈	詮釋	性質 (外観形状は外見の色調)	黒地(黒面)の色調	口幅 (mm)	脚幅 (mm)	両端 (mm)	延長 (mm)	表面 仕上石	表面 仕上石
												表面 仕上	表面 仕上
1 - 11	S24	d-SS	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.10.12 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
2 - 11	ST4	SD6	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.09.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
3 - 11	S200	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
4 - 11	SD60	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
5 - 11	SD12	-	山茶樹	小禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
6 - 44	S238	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
7 - 11	S238	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
8 - 44	S238	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
9 - 44	S238	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
10 - 44	S235	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
11 - 11	S235	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
12 - 11	S235	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
13 - 44	S235	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
14 - 11	--	101	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
15 - 44	11	-	101	山茶樹	禪	灰地	N8/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
16 - 44	11	-	101	山茶樹	禪	灰地	N7/5 (0) (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
17 - 65	11	-	101	山茶樹	禪	灰地	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
18 - 11	-	K-85	山茶樹	禪	-	紅色	N8/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
19 - 65	11	-	101	山茶樹	小禪	灰地	N8/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
20 - 65	11	-	101	山茶樹	小禪	灰地	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
21 - 65	11	-	101	山茶樹	小禪	灰地	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.05.05 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
22 - 14	SE200	-	山茶樹	禪	-	紅色	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.11.31 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
23 - 65	14	SE205	-	山茶樹	小禪	灰地	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.11.31 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
24 - 65	14	SE205	-	山茶樹	小禪	灰地	N7/0 (Y)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.11.31 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5
25 - 24	SE206	-	山茶樹	片口	-	紅色	N7/0 (B)	-	-	(30)	-	磨耗片-底面/8	01.11.31 底面・底面、米切り板、 底面・Y0.5

印番 番号	立ち 位置	区	通番	グリード	種別	階層	地盤	塗装の色別 (外壁側面は外壁の色側)	本体(前面)の色別	口添 (mm)	壁幅 (mm)	羽庭 (mm)	庇・合併 (mm)	幕高 (mm)	西存率	東上日	備考
52 55	4 11	SD012	-	青緑 (C2緑 orD2緑)	-	M (C2緑 orD2緑)	底オーリーブ色 SY5/2	桜色 N1YH1/1	-	-	-	-	-	底部1/4	01.12.14		
53 55	4 11	SD013	-	白銀 (E銀)	-	底 (B1銀)	底白色 N3/0 (GY)	底白色 N3/0	-	-	-	-	-	口添部～脚部1/6	02.03.05	内面販入	
54 55	4 11	SD018	-	青緑 (E銀)	-	底 (B1銀)	底オーリーブ色 SY6/2	底白色 SY7/1	-	-	-	-	-	口添部脚片	02.03.07	運井文	
55 55	4 11	SD029	-	青緑 (E銀)	-	底 (B1銀)	オーリーブ灰色 2SGYS/1	底白色 SY7/1	-	-	-	-	-	口添部脚片	02.08.12	内面販入、屋外文	
56 55	4 11	SD029	-	青緑 (E銀)	-	底 (B1銀)	オーリーブ灰色 10Y6/2	底白色 N7/0 (Y)	-	-	-	-	-	脚部下半脚片	02.03.15	販入、運井文	
57 55	4 11	SD029	-	青緑 (E銀)	-	底 (B1銀)	底オーリーブ色 7.5Y5/3	底銀色 SYR8/8	-	-	-	-	-	口添部～脚部脚片	02.03.12	販入、運井文	
58 55	4 11	SD08	-	青緑 (E銀)	-	底 (B1銀)	オーリーブ灰色 5GYS/2	底白色 N6.5/0 (Y)	(150)	-	-	-	-	口添部～脚部1/4	01.10.16	内面販入、運井文	
59 55	4 11	SD08	-	青緑 (E銀)	-	底 (B1銀)	オーリーブ灰色 2.5Y4/3	青生色 1.5Y6/1	-	-	-	-	-	口添部脚片	01.10.16	販入	
60 55	4 11	SD01	P.5 P.6	白銀 (B1銀)	-	小銀 (B1銀)	底白色 7.5Y6/1	底白色 10Y7B1/1	(84)	-	-	-	-	口添部～脚部1/6	01.07.16		
61 55	4 11	-	L-2N	青緑 (C銀)	-	底 (B1銀)	底オーリーブ灰色 3GYY1/1	底銀色 N7/0	-	-	-	-	-	口添部脚片	01.09.29	販入、運井文、整文書	
62 55	4 11	-	L-2	青緑 (B1銀)	-	底 (B1銀)	オーリーブ灰色 10Y6/2	底白色 N7/0	-	-	-	-	-	口添部脚片	01.09.26	販入、運井文	
63 55	4 11	-	K-95	青緑 (D銀)	-	底 (D銀)	オーリーブ灰色 5GYS/1	底白色 N7/0	-	-	-	-	-	口添部脚片	01.03.07		
64 55	4 11	-	L-55 L-6N	青緑 (D銀)	-	底 (D銀)	オーリーブ灰色 10Y6/2	底白色 N8/0	-	-	-	-	-	口添部脚片	01.09.29		
65 55	4 11	-	K-5	青緑 (D銀)	-	底 (D銀)	オーリーブ灰色 2.5GY6/1	底白色 N5.5/0	-	-	-	-	-	口添部脚片	01.10.16	運井販入	
66 55	4 11	-	-	青緑 (D銀)	-	底 (D銀)	オーリーブ灰色 2.5GY6/2	底白色 N7/0	-	-	-	60	-	脚部下半1/3、底部 1/1	01.08.02	長い販入、奥辺部に文様	
67 55	4 11	-	K-5	青緑 (D銀)	-	底 (D銀 orE銀)	オーリーブ灰色 2.5GY5/2	底白色 N8/0	-	-	-	-	-	底脚脚片	01.10.24	長い販入	
68 55	4 11	-	K-5	青緑 (E銀)	-	底 (E銀)	明褐色灰 10GY7/1	底白色 N7/0	-	-	-	-	-	脚部下半脚片	01.10.24	運井文	
69 55	4 11	-	K-95	青緑 (E銀)	-	底 (E銀)	底花銀	オーリーブ灰色 2.5GY6/1	にぶい青銀 7.5YR7/8	-	-	-	-	-	口添部脚片	01.08.07	販入、運井文
70 55	4 11	-	K-4	白銀 (F銀)	-	底 (F銀)	底白色 SY6/1	底白色 10YH1/1	(90)	-	45	24	口添部～脚部1/5、 底部1/1	01.10.24	長い販入、底部外板蓋		
71 55	4 11	-	L-9	白銀 (F銀)	-	底 (F銀)	底白色 7.5Y6/1	底白色 SY6/1	-	-	-	-	-	口添部脚片	02.02.21	長い販入	
72 55	4 14	SD026	-	青緑 (G銀)	-	底 (G銀)	オーリーブ色 10Y6/3	底白色 N7/0	(140)	-	-	-	-	口添部1/5	02.07.15	長い販入、整文書	
73 55	4 14	SD006	B-58	青緑 (G銀)	-	底 (G銀)	オーリーブ灰色 2.5GY6/1	底白色 N7/0	-	-	-	-	-	口添部脚片	02.07.06		
74 55	4 14	SD006	-	青緑 (A2銀 orA4銀)	-	底 (A2銀 orA4銀)	オーリーブ灰色 2.5GY7/2	底白色 N7/0	-	-	-	-	-	口添部脚片	02.11.13	沈源文	
75 55	4 14	SD016	-	青緑 (V銀)	-	底 (V銀)	オーリーブ灰色 2.5GYS/1	底白色 N8/0	-	-	-	-	-	口添部1/8	02.11.21	長い販入、運井文	
76 55	4 14	SD005	-	白銀 (V銀)	-	底 (V銀)	底白色 10Y5/1	底白色 2.5Y6/0	-	-	-	-	-	底部1/6	02.08.01		

測定場所	測定区	測定	ダーリッド	被験	沾染	施設	（本流・外流）外流側	本流（断面）の外流	上端（cm）	幅（cm）	高さ（cm）	底面積（m ² ）	底面積（m ² ）	底面積（m ² ）	底面積（m ² ）
77	55	14	SR201	-	電線	直角	-	メリヤー原色 250Y/1	N/0	-	-	-	-	-	-
78	55	14	SR201	-	電線	直角	-	赤紫色 1.80Y/6/2	N/0	-	-	-	-	-	-
79	55	14	SR201	-	電線	直角	-	長白色 10Y/1	底面積 N/0	(110)	-	-	-	-	-
80	55	14	SR201	-	電線	直角	-	赤紫色 10Y/6/1	N/0	(100)	-	-	-	-	-
81	55	14	SR201	II-4	電線	直角	-	青紫色 10Y/6/1	底面積 N/0	-	-	-	-	-	-
82	55	14	SR202	II-4	電線	直角	-	赤オーラー色 5Y/2	長白色 N/0	-	-	-	-	-	-
83	55	14	SR202	H-4	電線	直角	-	赤オーラー色 5Z/7/4	底面積 N/0	-	-	-	-	-	-
84	55	14	SR202	H-4	電線	直角	-	底白色 N/0 (RG)	N/0	-	-	-	-	-	-
85	55	14	SR202	-	電線	直角	-	底白色 N/0 (RG)	N/0	(100)	-	-	-	-	-
86	55	14	SR202	-	電線	直角	-	メリヤー原色 250Y/6/2	底面積 N/0 (B)	-	-	-	-	-	-
87	55	14	SR202	-	電線	直角	-	青紫色 10Y/6/1	底面積 N/0 (B)	-	-	-	-	-	-
88	55	14	SR201	-	電線	直角	-	赤紫色 10Y/1	底面積 5Y/6/1	-	-	-	-	-	-
89	55	14	SR201	-	電線	直角	-	青紫色 10Y/6/1	底面積 N/0	(100)	-	-	-	-	-
90	55	14	SR202	-	電線	直角	-	メリヤー原色 10Y/6/2	底面積 N/0	-	-	-	-	-	-
91	55	14	-	-	電線	直角	-	赤オーラー色 1.6Z/2	底面積 N/0	-	-	-	-	-	-
92	55	14	-	P-518	電線	直角	-	メリヤー原色 250Y/6/1	長白色 N/0 (B)	-	-	-	-	-	-
93	55	14	-	P-5	電線	直角	-	底白色 5Y/6/1	底面積 5Y/6/1	-	-	-	-	-	-
94	55	14	-	P-5	電線	直角	-	底白色 10Y/6/1	底面積 5Y/6/1	(90)	-	-	-	-	-
95	-	11	S237	-	電線	直角	-	赤オーラー色 10Y/1	底面積 N/0 (Y)	-	-	-	-	-	-
96	-	11	SG214	-	電線	直角	-	赤オーラー色 10Y/1	底面積 N/0 (Z)	-	-	-	-	-	-
97	55	11	SD4	SD4	電線	直角	-	青紫色 1.8Y/6/1	底面積 10Y/6/1	(120)	-	-	-	-	-
98	55	11	SD4	SD4	電線	直角	-	青紫色 1.8Y/6/1	底面積 10Y/6/1	(120)	-	-	-	-	-
99	55	11	SD12	-	電線	直角	-	青紫色 1.8Y/6/1	底面積 2.5V/1	-	-	-	-	-	-
100	55	11	SD15	-	電線	直角	-	青紫色 1.8Y/6/1	底面積 2.5V/1	(120)	-	-	-	-	-

番号	基準	区	地盤	グリッド	基別	認別	輪番	輪番	側部の色調 (常識的及び外因の色調)	赤地(前面)の色調	口幅 (mm)	横径 (mm)	側径 (mm)	底・背幅 (mm)	最高 (mm)	後部	取上日	備考
168	S1	14	SX208 SX204	-	輪替	破壊	破壊	標準	標準赤褐色 2.5YR3/4	灰白色 2.5Y7/1	(110)	-	-	(67)	29	口端部～底部1/4	01.07.39 01.08.07	外因トランジ、内面ピン跡
169	S1	14	SX204	-	輪替	標準	破壊	標準	黑色 7.5YK7/1 高台風化鉄錆：暗赤褐色 2.5YH4/3	灰白色 2.5Y7/1	(110)	-	-	(66)	28	口端部1/3～底部 2/3	01.08.07	外因縁トランジ、内面ピン跡
170	S1	14	-	P-6	輪替	標準	破壊	標準	灰オーラー色 7.5Y5/3	灰白色 2.5Y7/1	(109)	-	-	45	28	口端部1/4～底部 1/4	01.05.25	高台風化化、内面ピン跡
171	G6	14	-	P-6	輪替	標準	破壊	標準	灰白色 10Y7/3	灰白色 10Y8/1	(110)	-	-	68	29	口端部1/2～底部 1/1	01.10.04	単花文
172	S1	14	-	P-6	輪替	丸皿 (底戸品)	破壊	標準	浅黄色 7.5Y7/3	に多い黒褐色 8YR5/4	(102)	-	-	(46)	20	口端部1/3～底部 2/3	01.05.23	単花文
173	S1	14	-	H-4	輪替	丸皿	破壊	標準	オーラー色 10Y5/2	灰白色 N7/0	(70)	-	-	(30)	30	口端部1/10～底部 1/4	01.04.10	
174	S1	14	-	P-6	輪替	標準	破壊	標準	暗赤褐色 5YR3/4	灰白色 1.5Y8/4	(106)	-	-	(60)	25	口端部5/7～底部 1/2	01.05.20	
175	S1	14	-	I-SN	輪替	内面端 (物山)	破壊	標準	新赤褐色 5YR3/2	灰色 N6/0 (Y) 見込小・深灰色 7.5YR4/1	(100)	-	-	68	20	口端部～新端4/7	01.06.12	底部外因憑
176	S1	14	-	I-S	輪替	内面端 (物山)	破壊	標準	に多い赤褐色 5YR4/3	灰色 N6/0 (Y)	(110)	-	-	(68)	20	口端部1/4～底部 破片	01.06.05	
177	S1	14	-	-	輪替	内面端 (物山)	洒落	標準	暗赤褐色 2.5YR5/2	灰色 N7/0 見込小・深赤褐色 10YR4/2	(109)	-	-	(58)	23	口端部～底部1/4	01.05.31	外因縁トランジ、内面ピン跡
178	S1	11	SP01	-	輪替	標準	破壊	標準	に多い赤褐色 2.5YR4/3	棕色 7.5YR6/6	(296)	-	-	-	-	口端部5/6～脚部破 片	01.11.05	
179	S1	11	SP108	-	輪替	標準	洒落	標準	暗赤褐色 7.5R3/2	灰白色 N7/0	-	-	-	-	-	口端部破片	01.12.19	
180	S1	11	SP108	-	輪替	標準 (底戸品)	破壊	標準	に多い赤褐色 2.5YR5/4	に多い黒色 SYR8/4	-	-	-	-	-	口端部破片	01.12.19	内面黒化
181	S1	11	SD4	-	輪替	標準 (底戸品)	破壊	標準	に多い赤褐色 2.5YR5/4	に多い黒色 2.5YR6/4	-	-	-	-	-	口端部破片	01.12.14	
182	S1	11	SD4	J-7S	輪替	標準	破壊	標準	灰褐色 7.5R4/2	灰白色 2.5Y5/2	-	-	-	-	-	口端部破片	01.10.33	
183	S1	11	SD4	J-7	輪替	標準	破壊	標準	灰褐色 5YR5/1	灰白色 7.5Y8/1	-	-	-	-	-	口端部破片	01.10.35	
184	S1	11	SD4	K-7	輪替	標準 (底戸品)	破壊	標準	灰褐色 2.5YR4/2	灰色 N6/0 (Y)	-	-	-	-	-	口端部破片	01.10.31	
185	G6	11	SD4	P-8	輪替	標準	破壊	標準	標準褐色 2.5YR5/6	浅黃褐色 7.5YR8/6	(288)	-	-	(116)	98	口端部～底部1/5	01.09.05	余切り裏
186	S1	11	SD4 SD06 SD09	-	輪替	標準 (物山)	破壊	標準	標準褐色 2.5YR3/4	灰色 N6/0	-	-	-	-	-	口端部破片	01.09.05	
187	G6	11	SD12	P-3	輪替	標準	破壊	標準	暗赤褐色 5P3/1	灰褐色 7.5YR8/6	(280)	-	-	96	117	口端部～底部4/5、 底部1/1	01.07.31 01.10.25	余切り裏
188	S1	11	SD12	-	輪替	標準	破壊	標準	褐色 2.5YR6/6	浅黃褐色 7.5YR8/4	-	-	-	-	-	口端部破片	01.03.04	
189	S1	11	-	M-1L	輪替	標準 (底戸品)	破壊	標準	灰面：に多い赤褐色 2.5YH5/3 内面：灰褐色 10R4/2	に多い褐色 5YR8/4	(280)	-	-	-	-	口端部1/2～脚部破 片	01.09.17	
190	S1	11	-	J-7	輪替	標準 (底戸品)	破壊	標準	赤褐色 10R5/6	褐色 2.5YR7/8	-	-	-	-	-	口端部1/8～脚部破 片	01.10.12	
191	S1	11	-	K-7N	輪替	標準	破壊	標準	標準灰褐色 6P4/1	灰白色 5Y8/1	-	-	-	-	-	口端部破片	01.03.29	
192	S1	11	-	-	輪替	標準	破壊	標準	標準灰褐色 CRP4/1	灰白色 10YR8/2	-	-	-	-	-	口端部破片	01.07.05	

序号 番号	高さ 寸法 mm	幅 mm	深さ mm	ドリップ 形状	壁厚 mm	底面 形状	詰め 形状	釉色の名前 (※審査品は外面の色番)		素地(断面)の色番	口径 (mm)	脚径 (mm)	脚高 (mm)	底・台体 (mm)	器高 (mm)	底座部	取上日	備考	
								内面	外側										
193	55	14	ST222	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	赤褐色	10R4/3	极色	5YR6/6	-	-	-	-	-	口底部端片	02.09.07		
194	52	14	ST240	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗赤褐色	7.5R3/2	灰白色	10YR8/1	-	-	-	-	-	口底部端片	02.08.07		
195	53	14	SD202 (SD204)	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗赤褐色	7.5YR3/1	淡黄褐色	10YR8/3	-	-	-	-	-	口底部端片	02.09.04		
196	53	14	SD202 (SD204)	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗赤褐色	8P4/1	灰白色	10YR8/2	-	-	-	-	-	口底部端片	02.08.07		
197	53	14	SD203	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗褐色	5YR5/2	灰白色	2.5Y7/1	-	-	-	-	-	口底部/10	02.07.15		
198	53	14	SD203	-	脚部 (底付) (底付)	脚柱	暗赤褐色	5YR5/3	灰白色	N8/0(Y)	(290)	-	-	-	-	口底部/1	02.07.15		
199	52	14	SD205 G-5 G-5	脚部 (底付) (底付)	脚柱	脚柱	にじい赤褐色	2.5YR5/4	极色	2.5YR7/6	(290)	-	-	-	-	口底部～颈部/6 02.10.25 02.11.16	内外面部装飾		
200	53	14	SD206	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	褐色	2.5YR6/6	灰白色	2.5YR2/1	-	-	-	-	-	口底部端片	02.07.15		
201	52	14	SD206	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗赤褐色	10R3/1	灰白色	2.5Y6/1	-	-	-	-	-	口底部端片	02.08.01		
202	46	14	SD206	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗赤褐色	7.5R3/2	灰白色	2.5Y7/1	-	-	-	86	-	底部/6～脚部/1/2	02.07.25	系切り目ハタナギ、底上 No.3	
203	45	14	SH201	-	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗赤褐色	7.5YR4/2	淡黄褐色	10YR8/4	-	-	-	-	-	口底部端片	02.06.17		
204	52	14	SH201	--	脚部 (底付) 脚柱	脚柱	暗赤褐色	5X4/1	淡黄褐色	10YR8/4	(270)	-	-	-	-	口底部/5	02.06.17		
205	52	14	SH202	-	脚部 (底付) (底付)	脚柱	にじい赤褐色	2.5YR5/3	にじい赤褐色	2.5YR5/4	-	-	-	-	-	口底部端片	02.09.03		
206	52	14	SH202 H-4	脚部 (底付)	脚柱	脚柱	暗赤褐色	7.5R4/5	淡黄褐色	10YR8/3	-	-	-	-	-	口底部端片	02.04.23		
207	53	14	SH202 L-5	脚部 (底付)	脚柱	脚柱	暗赤褐色	10R3/5	淡黄褐色	2.5YR5/3	-	-	-	-	-	口底部端片	02.04.17		
208	52	14	SH203 G-6	脚部 (底付)	脚柱	脚柱	暗赤褐色	10R3/2	にじい橙色	6YR7/4	(310)	-	-	-	-	口底部/6	02.05.30		
209	52	14	SH206	-	脚部 (底付)	脚柱	暗赤褐色	5YR3/2	灰白色	2.5Y6/1	-	-	-	-	-	口底部端片	02.11.20		
210	52	14	SH206	-	脚部 (底付)	脚柱	暗赤褐色	7.5R2/3	灰白色	5Y8/1	-	-	-	-	-	口底部端片	02.07.24		
211	53	14	SH206	-	脚部 (底付)	脚柱	暗赤褐色	5P94/1	灰白色	10YR8/1	-	-	-	-	-	口底部端片	02.07.25	底上 No.1	
212	55	14	SY202 P-6SW	脚部 (底付)	脚柱	脚柱	暗赤褐色	R0324/1	灰白色	5Y8/1	(290)	-	-	-	-	口底部/6	02.05.15		
213	55	14	SY202 P-6SW	脚部 (底付)	脚柱	脚柱	暗赤褐色	R0324/1	灰白色	5Y8/1	(290)	-	-	-	-	口底部/6	02.05.15		
214	52	14	SX204	--	脚部 (底付)	脚柱	暗赤褐色	5X4/1	にじい赤褐色	10R6/4	-	-	-	-	-	口底部端片	02.05.22	接接着質	
215	53	14	-	F-5	脚部 (底付)	脚柱	灰褐色	10R4/2	灰白色	5Y8/1	-	-	-	-	-	口底部/6～脚部/1/2	02.05.23		
216	52	11	SD4 J-7	脚部 水槽	脚柱	脚柱	灰褐色	灰オリーブ色	5Y6/2	灰白色	2.5Y7/1	-	-	0340	-	肩部～脚上部/1/4	01.10.25	全体に黒化、能譜柄装飾	
217	-	11	SD4 J-7S	脚部 凹凸槽	脚柱	脚柱	灰褐色	灰オリーブ色	7.5Y5/2	灰白色	5Y8/1	-	-	-	(100)	-	底部/3/5	01.10.12	貼り付け減音
218	52	11	SD4 J-7S	脚部 (底付)	脚柱	脚柱	合下垂型 (底付)	脚柱：暗褐色 脚柱：灰褐色	脚柱：暗褐色 脚柱：灰褐色	5YR5/2	灰白色	N8/0	-	-	-	-	脊部/1/2、差し込 み幅/1/1	01.10.23	底径：157mm、差し込 み幅：10mm、底面

被写体 番号	見出 箇所	区	被写体	グリッド	25M	深幅	深底	被写体の色相 (常滑脱品は片側の色調)	被写体(両面)の色調	口径 (mm)	奥径 (mm)	斜径 (mm)	底-口徑 (mm)	底-奥径 (mm)	接写形	測定日	備考
219 45 11 SD04	—	南窓	合子身	灰黒	成オーリーブ色 7.5Y5/3	にいひ青褐色 10YR7/2	29	—	66	32	36	絶縁光形	01.02.07	余切り盤、取上 No. 9			
220 52 11 SD06	J-T	南窓	脚組	灰黒	灰黒成オーリーブ色 7.5Y5/3 底面にない青褐色 10YR6/3	灰白色 N7/1	(160)	—	—	—	—	口端部～脚部1/2	01.10.25				
221 52 11 SD08	—	南窓	脚組	灰黒	オーリーブ灰化 10Y6/2	灰白色 5Y7/5	—	—	—	—	—	口端部脱片、脚部 脱片	01.07.17				
222 55 11 SD12	—	南窓	脚組	灰黒	オーリーブ灰化 10Y4/2～灰 白色 10Y8/1	灰灰色 7.5YR6/1	—	—	—	—	—	脚上部1/6	01.12.14				
223 48 13 SD13	—	南窓	脚組	灰黒	オーリーブ灰化 5Y6/3	灰白色 1.5Y8/2	(91)	—	—	46	21	口端部1/6～底部 4/5	01.11.01	余切り盤			
224 49 17 SD23	K-9S	南窓	花瓶	灰黒	花褐色 7.5YR5/3	灰白色 2.5Y8/1	63	34	74	—	196	口端部～脚部1/1、 底部1/4	01.02.07 01.10.16	脚底：(750mm)、余切り盤			
225 52 11 S28	J-S	南窓	折鉢	灰黒	明オーリーブ灰化 2.5G7/1	灰色 N8/0 (Y)	—	—	—	—	—	口端部破片	01.10.23				
226 49 11 S30	—	南窓	圆形 系伊 (虎の山 或山)	灰黒	新褐色 5YR4/2	明褐色 7.5YR7/1	89	—	—	56	54	L1底部1/3～底部 2/3、脚部1/3	01.10.16	余切り盤、底部外周脱化、三方脚			
227 49 11 —	J-S	南窓	花瓶	—	—	灰色 N6.5/0	130	38	—	—	—	口端部～脚部1/1	01.10.23	二次的融熱により輪が墨化融洽			
228 — 11 — L-RS	南窓	瓶子 (陶瓶)	灰黒	淡黄色 5Y7/3	灰白色 2.5Y5/2	—	—	—	(90)	—	—	脚下部1/4～底部 1/3	01.02.21	洗濯3本			
229 — 11 — K-S	南窓	花瓶	灰黒	明オーリーブ灰化 2.5GY7/1	灰白色 N7/0 (Y)	—	—	—	88	—	—	底部1/6	01.06.17	余切り盤			
230 52 11 — J-T	南窓	口底 凹底	灰黒	新褐色	5YR2/1	灰白色 5Y6/1	—	—	—	—	—	口端部脱片	01.10.12				
231 52 11 — J-TS	南窓	折鉢	灰黒	灰白色 5Y8/3	灰白色 10Y8/1	(300)	—	—	—	—	—	口端部1/6	01.09.39	新鏡			
232 52 11 — L-SS	南窓	折鉢	灰黒	淡黄色 5Y7/3	灰白色 5Y5/1	—	—	—	—	—	—	口端部破片	01.02.31				
233 52 11 — K-S	南窓	皿	灰黒	次オーリーブ色 7.5Y6.5/2	灰白色 5Y7/1	—	—	—	(86)	—	—	底部1/2	01.11.22	余切り盤			
234 52 11 — K-S	南窓	皿	—	—	—	灰白色 N7/0	—	—	(90)	—	—	底部1/3	01.10.34	底部外周～ラケヅリ			
235 49 11 — L-SN	南窓	合子底	灰黒	輪褐色 10YR3/3	灰白色 5Y7/1	—	—	—	28	17	—	はざ穴3形	01.02.21	笠透：540mm、余切り盤			
236 52 11 — K-9S	南窓	圆形 花瓶	灰黒	成オーリーブ色 7.5Y6/2	灰白色 5Y7/1	—	—	—	—	—	—	口端部脱片	01.06.07				
237 49 14 SP216	—	南窓	草付 小皿	灰黒	細赤褐色 5YR3/2	灰白色 2.5Y7/1	—	—	—	36	17	往光形	01.09.07	直径：470mm、余切り盤			
238 49 14 SP215	—	南窓	草付 小皿	灰黒	細赤褐色 5YR3/2	灰白色 2.5Y7/1	97	—	81	41	57	往光形	01.09.07	余切り盤			
239 52 11 SP226	—	南窓	都留	灰黒	淡黄色 2.5Y7/4	灰白色 2.5Y8/2	—	—	—	(116)	—	底部1/4	01.10.04	外腹波動により基化			
240 55 14 SP201	—	南窓	花瓶	灰黒	オーリーブ灰化 10Y6/2	灰白色 1.5Y8/3	—	—	—	—	—	脚部破片	01.10.15				
241 55 14 SP217-1	—	南窓	皿	灰黒	淡黄色 1.5Y7/4	灰白色 2.5Y8/2	—	—	—	—	—	口端部破片	01.12.16				
242 52 14 SD201	—	南窓	伝花瓶	灰黒	オーリーブ色 7.5Y3/2	灰白色 1.5Y7/1	—	—	—	—	—	脚部破片	01.07.15				
243 51 14 SD203	—	南窓	小皿	灰黒	灰白色 10YR5/2	にいひ青褐色 5YR5/3	84	—	—	—	—	口端部～脚部脱片	01.07.15				
244 52 14 SD205	E-53	南窓	折鉢 中里	灰黒	オーリーブ灰化 5Y6/4	灰白色 N8/0 (Y)	—	—	—	—	—	口端部破片	01.07.05				

番号	英名	学名	原種	アリーフ	種子	花被	葉被	(新規) 花被の表面の色調	(新規) 花被の表面の色調	1316 (cm)	樹枝 (cm)	茎-葉 (cm)	根-葉 (cm)	根被	地上日	備考
345	S2	S2/205	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 7.5Y5/2.5	灰褐色 N6/0	-	-	-	-	新規原片	02.10.18	
346	S2	S2/206	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/3	灰褐色 5.5Y7/2	-	-	-	-	新規原片	02.10.18	近縁外因が切り抜いたタケズリ
347	22	S2/205	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/2	灰褐色 5.5Y7/2	-	-	-	-	新規原片	02.11.15	地上 No.11
248	52	S2/205	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/2	灰褐色 5.5Y7/2	-	-	-	-	新規原片	02.07.29	野地により倒壊して育て、地上 No.7
349	S2	S2/201	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y7/2.5	灰褐色 5Y7/2.5	-	-	-	-	新規原片	02.07.31	
250	S2	S2/201	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/2	灰褐色 5.5Y7/2	(186)	(186)	100	100	新規原片/葉被	02.06.01	切り付け高合、葉被り感
251	S2	S2/202	H-4	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/2.5	灰褐色 5.5Y7/2.5	(186)	(186)	-	-	新規原片/葉被	02.04.23	
252	S2	S2/202	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/3	灰褐色 5.5Y7/2	-	-	-	-	新規原片	02.04.28	
253	49	S2/202	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y7/2.5	灰褐色 5Y7/1	(51)	-	35	37	新規原片/葉被	02.07.01	タケズリ
254	S2	S2/203	G-6	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y7/2.5	灰褐色 5Y7/1	(284)	-	-	-	新規原片/葉被	02.16.01	新規原片/葉被
255	S2	S2/204	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/3	灰褐色 N7/0 (1)	-	-	(96)	-	新規原片/葉被	02.06.10	近縁外因ヘタケズリ、トランセ
256	S2	S2/205	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/2	灰褐色 N7/0 (1)	-	-	-	-	新規原片/葉被	02.11.20	
257	S2	S2/206	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/2	灰褐色 N7/0	-	-	-	-	新規原片	02.07.34	
258	S2	S2/204	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/3	灰褐色 N7/0	-	-	-	-	新規原片	02.07.01	
259	S2	S2/203	F-3	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/3	灰褐色 5.5Y6/3	-	-	(96)	-	新規原片/葉被	02.06.20	切り付け高合、ビニル
260	S2	S2/205	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/2	灰褐色 5.5Y7/1	-	-	(96)	-	新規原片/葉被	02.07.01	
261	49	S2/206	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/2	灰褐色 5.5Y7/2	-	-	-	-	新規原片	02.07.06	
262	S2	S2/204	J-7	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/3	灰褐色 5.5Y7/2	(448)	-	-	-	新規原片	02.10.15	高合、油膜感
263	S2	S2/212	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/3	灰褐色 N4/0 (1)	-	-	-	-	新規原片	02.08.15	葉被
264	S2	S2/219	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/4	灰褐色 N4/0	-	-	-	-	新規原片/葉被	02.08.12	葉被、細小網膜化
265	-	S2/1	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 N5/0 (1)	灰褐色 N5/0 (1)	-	-	-	-	新規原片	01.12.10	光澤感
266	S2	S2/1	K-9	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/5	灰褐色 5.5Y7/5	(394)	(394)	-	-	新規原片/葉被	01.10.16	葉被感
267	S2	S2/211	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/4	灰褐色 N7/0 (8)	(128)	(128)	-	-	新規原片/葉被	01.08.17	葉被感
268	S2	S2/227	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/1	灰褐色 5.5Y7/1	(175)	-	-	-	新規原片	02.12.20	葉被感、油膜感
269	S2	S2/211	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 N5/0 (3)	灰褐色 N5/0 (3)	-	-	-	-	新規原片	02.01.20	葉被感
270	-	S2/211	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5.5Y6/4	灰褐色 5.5Y6/4	-	-	-	-	新規原片	02.01.20	葉被感
271	S2	S2/209	-	開花	開花	灰褐色	灰褐色	灰褐色 5Y6/1	灰褐色 5Y6/1	-	-	-	-	新規原片	02.01.04	葉被感

番号	実測 測定 部	区	述語	クリップ	範例	測定	測量	始点の色調 (※被測品は外観の色調)	末点(断面)の色調	口径 (mm)	幅員 (mm)	高さ (mm)	壁・台面 (mm)	底面 (mm)	或外部	測上日	備考	
296	-	11	SD48	-	陶器	片口鉢	-	に赤い赤褐色 2.5YR4/3	暗赤褐色 3YR5/6	-	-	-	-	-	口部断片	01.08.02	変形、崩壊傾向(断面後退), 取上No.5	
299	54	11	SD12	-	陶器	片口鉢	-	赤褐色 10R5/4	に赤い赤褐色 2.5YR5/4	-	-	-	-	-	口部断片	01.10.34	赤褐色	
300	54	11	SD14	-	陶器	片口鉢	-	に赤い赤褐色 2.5YR4/3	に赤い赤褐色 2.5YR6/3	-	-	-	-	-	口部断片	01.11.16	赤褐色	
301	54	11	SD28	-	陶器	片口鉢	-	に赤い赤褐色 2.5YR4/4	に赤い赤褐色 2.5YR5/4	(335)	-	-	-	-	口部等～側面1/4	02.02.07	変形傾	
302	-	11	SR1	-	陶器	片口鉢	-	に赤い赤褐色 2.5YR5/8	暗灰色 10YR5/1	-	-	-	-	-	口部断片	01.12.19	変形傾	
303	-	11	SR01	-	陶器	片口鉢	-	灰褐色 2.5YR4/7	に赤い赤褐色 2.5YR5/4	-	-	-	-	-	口部断片	01.05.03	赤褐色	
304	54	11	-	-	陶器	片口鉢	-	に赤い赤褐色 2.5YR4/3	微他 2.5YR5/6	-	-	-	-	(336)	口部等～側面1/9～底面破片 片口鉢	02.03.01	変形傾	
305	54	11	-	K-SN L-8	陶器	片口鉢	-	赤褐色 10R6/3	赤褐色 10YR6/8	(317)	-	-	(322)	10E	口部等～窓底1/4、 底面等片	02.02.18 02.02.21	変形傾	
306	54	21	-	-	陶器	片口鉢	-	に赤い赤褐色 2.5YR5/4	明赤褐色 2.5YR6/6	(306)	-	-	(321)	(31)	口部断片～窓部 1/3	01.07.12	変形傾	
307	-	14	SP231	-	陶器	片口鉢	-	暗赤褐色 2.5YR1/2	灰白色 10YR2/1	-	-	-	-	-	口部断片	02.08.07	青褐色	
308	-	14	SP235	-	陶器	片口鉢	-	褐灰色 7.5YR4/1	灰白色 10YR4/0	-	-	-	-	-	口部断片	02.10.04	青褐色	
309	-	14	SD202	-	陶器	片口鉢	-	灰赤色 2.5YR4/2	に赤い赤褐色 2.5YR5/4	-	-	-	-	-	口部断片	02.07.02	青褐色	
310	-	14	SD205	-	陶器	片口鉢	-	黒褐色 NYR3/1	灰白色 2.5YR6/6	-	-	-	-	-	口部断片	02.11.21	青褐色	
311	54	14	SR206	-	陶器	片口鉢	-	に赤い赤褐色 2.5YR5/4	弱赤褐色 5YR5/6	(300)	-	-	-	-	口部等～窓底1/5	02.11.20	青褐色、取上No.10	
312	-	14	SR208	-	陶器	片口鉢	-	灰赤色 7.5YR4/2	暗灰色 5YR4/1	-	-	-	-	-	口部断片	02.07.23	青褐色、取上No.6	
313	-	14	EX202 P-SBW	陶器	片口鉢	-	暗赤褐色 2.5YR5/2	褐色 2.5YR6/6	-	-	-	-	-	口部断片	02.08.19	青褐色		
314	54	14	-	16	陶器	片口鉢	-	暗赤褐色 2.5YR5/2	に赤い赤褐色 2.5YR5/4	(316)	-	-	-	-	L型等～側面1/4	02.05.20	青褐色	
315	-	11	SP68	-	-	埴	-	-	灰白色 10YR5/1	-	-	-	-	-	口部等～窓部断片	01.12.19	断面サンンドヴィッチ状、外側面ハケメ	
316	-	11	SP58	-	-	埴	-	-	灰白色 10YR5/1	-	-	-	-	-	口部等～窓部断片	01.11.02	断面サンンドヴィッチ状、外側面ハケメ、内 凹字模	
317	-	11	SP69	-	-	埴	-	-	灰白色 10YR5/1	-	-	-	-	-	口部等～窓部断片	01.11.03	断面サンンドヴィッチ状、外側面ハケメ	
318	-	11	SP67	-	-	埴	-	-	灰白色 2.5YR5/1	-	-	-	-	-	口部等～窓部断片	02.01.17	断面サンンドヴィッチ状、外側面ハケメ	
319	-	11	Z-102	-	-	埴	-	-	灰白色 7.5YR4/2	-	-	-	-	-	口部等～窓部断片	02.03.04	断面サンンドヴィッチ状	
320	-	11	SP01	-	-	埴	-	-	灰白色 10YR5/1	-	-	-	-	-	口部等～窓部1/6	01.07.13	断面サンンドヴィッチ状、外側ハケメ	
321	-	11	SP09	-	-	埴	-	-	暗灰褐色 2.5YR5/2	-	-	-	-	-	口部断片	02.03.01	断面サンンドヴィッチ状	
322	54	11	SD4	J-75	-	埴	-	-	-	(310)	-	(360)	-	-	-	口部等～窓底1/4、 窓部断片	-	窓部径 : (340mm)、断面サンンドヴィッチ 状、外側面ハケメ・ヘラケズリ、内側面 ハケメ・ヘラケズリ
323	-	11	SD4	J-7 J-75	-	埴	-	-	-	(318)	-	(352)	-	-	-	口部等～窓部1/2、 窓部等断片	01.10.23	窓部径 : (350mm)、断面サンンドヴィッチ 状、外側面ハケメ・ヘラケズリ、内側面 ハケメ・ヘラケズリ、穴の周囲面内側面 大損

番号	等級	区	地質	グリッド	面別	形状	剖面	粘土の色調 (深浅調合は外層の色調)	索地(断面)の色調	口径 (mm)	傾斜 (度)	調査 (mm)	底・合様 (cm)	最高 (mm)	柱状態	取上口	備考	
																	外層 固有層	内層 固有層
375	-	14	SR208	G-6	-	塊	-	-	灰白色 10YR7/3	(280)	(218)	(215)	(176)	-	口底部～底部4/5、 底部破片	01.05.20	外層厚く複合層、内層へケメヘラナデ、 厚壁	
376	-	14	SE204	-	-	塊	-	-	淡黄褐色 10YR8/3	-	-	-	-	-	口底部～底部破片	01.07.06	外層厚く複合層、内層へラナデ	
377	-	14	SE206	-	-	塊	-	-	灰白色 2.5Y8/1	(200)	(190)	-	-	-	口底部～底部破片	01.11.16	表面サンドギッチャ試、外層濃いハメ、 内層薄いハメ	
378	-	14	SE201	-	-	塊	-	-	灰白色 2.5Y8/1	-	-	-	-	-	口底部～底部破片 (内層)	02.07.31	外層厚板へラナデ、内層薄板へラナデ、 底層 No.1	
379	-	14	SE202	F-4SW	-	塊	-	-	灰白色 2.5Y8/2	-	-	-	-	-	口底部～底部破片	02.05.19	外層薄い、内層厚	
380	-	14	SE203	-	-	塊	-	-	灰白色 2.5Y7/1	-	-	-	-	-	口底部～底部破片	02.07.24	外層薄い、内層厚	
381	54	14	SE204	-	-	塊	-	-	灰白色 5Y7/1	(360)	(360)	(287)	-	-	口底部1/6、底部 1/4、底部破片	02.07.07	外層薄いハメノヘラナデ、内層へラ ナデ、一部ハナ	
382	-	11	SP123	-	土層群	直	-	-	灰白色 7.5YR8/1	(120)	--	(80)	17	口底部～底部1/8	01.12.19			
383	-	11	SD4	I-7S	土層群	直	-	-	浅黃褐色 7.5YR8/4	(140)	-	-	(55)	31	口底部～底部1/6	01.10.12	クロロ成形、柔切り版、断面一帯サン ドギッチャ試、朱み大、内層白ヘタナデ	
384	-	11	SD4	I-7S	土層群	直	-	-	灰白色 2.5Y7.5/1	-	-	-	-	36	口底部～底部1/3	01.10.23	クロロ成形、柔切り版、使用歴差し い	
385	-	11	SD4	-	土層群	直	-	-	灰白色 7.5YR8/2	(140)	-	-	(65)	32	口底部破片～底部 1/2	01.07.26	クロロ成形、柔切り版、折板サンディ アム、内層白ヘタナデ、使用歴差し	
386	65	11	SD4	J-7	土層群	直	-	-	淡黃褐色 7.5YR8/4	120	-	-	51	33	口底部2/10、底部 1/10	01.10.26	クロロ成形、柔切り版、スノコ状压延、 内底削へラナデ、使用歴差し	
387	-	11	SD4	SD09 SD10	-	土層群	直	-	灰白色 7.5YR8/2	-	-	-	60	-	底部8/10	01.09.05	クロロ成形、柔切り版、スノコ状压延、 内底削へラナデ	
388	55	11	SD13	-	土層群	直	-	-	灰白色 10YR8/1	(117)	-	-	(96)	26	口底部～頂部4/7、 底部1/3	01.10.16	スノコ状压延、断面サンドギッチャ試、 内底削へタナデ、内側斜削へん丸、 使用歴差し	
389	65	11	SR1	-	土層群	直	-	-	明褐色灰 7.5YR7/2	(110)	-	-	(54)	27	口底部1/3～底部 1/5	01.11.06	クロロ成形、柔切り版、断面一帯サン ドギッチャ試、内底削へラナデ	
390	57	11	SB3	-	土層群	直	-	-	淡褐色 5YR8/2	84	-	-	-	18	口底部2/3、底部 2/4	01.11.05		
391	57	11	SR8	-	土層群	直	-	-	灰白色 7.5YR8/1	130	-	-	92	17	口底部4/5、底部 2/3	01.11.15		
392	-	11	-	J-3	土層群	直	-	-	明褐色灰 7.5YR7/2	(110)	-	-	(60)	28	口底部1/6～底部 1/3	02.02.25	クロロ成形、柔切り版	
393	57	11	-	-	土層群	直	-	-	灰褐色 7.5YR8/6	111	-	-	41	26	口底部～底部5/6	01.07.16	クロロ成形、柔切り版、内底削へラナデ、 使用歴差し	
394	57	11	-	M-10	土層群	直	-	-	淡褐色 5YR8/4	(160)	-	-	-	29	口底部～底部1/4	01.11.01	内底削へラナデ、使用歴差し	
395	-	11	-	M-10	土層群	直	-	-	灰白色 10YR8/2	(110)	-	-	(96)	30	口底部～底部2/7	01.12.14	スノコ状压延、断面サンドギッチャ 試、内底削へラナデ、使用歴差し	
396	52	11	-	6-SN	土層群	直	-	-	淡褐色 7.5YR8/3	169	-	-	67	26	口底部4/5～底部 1/1	01.05.30	クロロ成形、柔切り版、使用歴差し	
397	58	12	SP103	-	土層群	直	-	-	淡褐色灰 7.5YR8/3	119	-	-	69	32	口底部6/7～底部 1/1	09.10.14	クロロ成形、柔切り版、スノコ状压延、 内底削ヘタナデ、内底削1/1～No.2	
398	58	14	SP228	-	土層群	直	-	-	淡褐色 7.5YR8/3	(160)	-	-	53	29	口底部1/3～底部 1/3	02.05.07	クロロ成形、柔切り版	
399	-	14	SP236	-	土層群	直	-	-	灰白色 10YR8/1	-	-	-	(60)	-	脚部破片～底部1/3	02.06.08	クロロ成形、柔切り版	
400	-	14	SP206	-	土層群	直	-	-	淡褐色灰 7.5YR8/4	-	-	-	-	23	口底部厚片～底部 1/3	02.11.27	クロロ成形、柔切り版	

研究 番号	名前 姓	年齢 性別	アーティスト	場所	環境	被写 像	被写 像 (被写像に対する色調)	不透明(透明白色) 白色	透明(透明白色) 白色	口径 (mm)	直径 (mm)	底径 (mm)	高さ (mm)	形状	表面	施工日	監査	
401	-	14	SU205	-	十音館	黒	-	-	-	(119)	-	-	-	(18)	口縁部/1～透明白 片	02.06.07	断面シンドウチャッペ 等級	
402	-	14	SU205	-	十音館	黒	-	-	-	(122)	-	-	(30)	18	1.9 片	口縁部/1～透明白 片	05.06.07	断面シンドウチャッペ 等級
403	55	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透白色	5Y37/8	(115)	-	81	25	1.7 片	口縁部/2～透明白 片	02.06.08	ロフロム板、角切り板、 透明板等	
404	65	14	SU206	-	土蔵	黒	-	にせい透明白	7.5YH7/4	(130)	-	(65)	26	3.2 片	1.9 片	02.06.08	ロフロム板、角切り板、 透明板等	
405	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	7.5YB8/4	(122)	-	-	-	-	口縁部～脚部/8	02.06.08	ロフロム板、内面加工化	
406	58	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	10Y8A/2	(83)	-	36	16	-	60 口縁部、角切り板	02.06.08	60 ロフロム板、角切り板	
407	58	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	10Y7B/2	(80)	-	25	18	5.6 片	1.9 片	01.06.10	ロフロム板、角切り板	
200	55	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	10Y8A/2	(82)	-	38	19	1.7 片	1.9 片	02.06.02	ロフロム板、角切り板	
109	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	10Y7B/2	(80)	-	35	15	6.7 片	1.9 片	02.06.08	ロフロム板、角切り板	
410	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	10Y8A/2	(83)	-	54	18	-	60 ロフロム板、角切り板	02.06.02	60 ロフロム板、角切り板	
411	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	2.5Y8/1	-	-	-	-	-	口縁部～脚部/片	02.06.15	口	
412	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	2.5Y7/1	(115)	-	-	-	-	口縁部～脚部/5	02.06.15	口縁部～脚部/5	
413	58	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	5YR7/6	(105)	-	61	31	1.7 片	1.9 片	02.07.09	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
414	58	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	5YR7/6	(108)	-	61	30	4.6 片	4.6 片	02.07.09	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
415	68	14	SU206	-	土蔵	黒	-	にせい透明白	10YK7/3	(111)	-	63	26	1.7 片	1.9 片	02.07.09	新研磨シンドウ板、外田ナガ、内面加工 化～脚部/5	
416	68	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	10YB8/6	-	-	(60)	29	8.7 片	1.9 片	02.07.09	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
417	55	14	SU206	-	土蔵	黒	-	にせい透明白	7.5YH7/3	(140)	-	(61)	29	1.9 片	1.9 片	02.11.31	ロフロム板、角切り板、薄少六、他用 板	
418	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	7.5YB8/3	(157)	-	-	-	-	口縁部～脚部/片	02.11.31	ロフロム板、角切り板、薄少六、他用 板	
419	58	14	SU206	-	土蔵	黒	-	にせい透明白	10YB7/2	(118)	-	66	25	1.7 片	1.9 片	02.11.31	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
420	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	にせい透明白	7.5YH7/4	(154)	-	58	29	1.7 片	1.9 片	02.11.31	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
421	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	7.5YB8/3	(117)	-	58	26	1.7 片	1.9 片	02.07.05	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
422	58	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	7.5YB8/4	(75)	-	45	14	1.9 片	1.9 片	02.07.05	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
423	58	14	SU206	E-AS	土蔵	黒	-	透明白	10YB8/3	(60)	-	(60)	55	1.7 片	1.9 片	02.07.24	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
424	-	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	10YB8/3	(60)	-	-	-	-	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	02.11.27	ロフロム板、角切り板、内面加工化～ 脚部/5	
425	58	14	SU206	-	土蔵	黒	-	にせい透明白	7.5YH7/4	-	-	104	-	-	66 ロフロム板	02.07.05	内面加工化～脚部/5	
426	65	14	SU206	-	土蔵	黒	-	透明白	7.5YB8/3	(133)	-	-	25	1.9 片	1.9 片	02.06.17	内面加工化～脚部/3	

標示 番号	地名	タリッヂ	谷内	谷端	輪郭	輪郭の色調 (黒褐色または茶褐色)	石塊 (黒褐色または茶褐色)	1段 (m)	断面 (m)	断面 (m)	断面 (m)	R/L/S	備考
432	55	-	-	瓦掛	小傾	-	灰白色 N6/0 (B)	(32)	-	-	(90)	13	11月25日～施設L/6 01.07.26 内水所混化、所外付近タリッヂ等、内水所 匂之
433	55	14	STG009	-	土塁端	高?	-	灰白色 2.5/7/1	0.14	-	-	38	11月25日～天井L/4 02.07.05 天井付近：(36m)、少下面 落差
434	-	14	STG008	-	馬蹄端	高?	-	灰白色 N7/0	-	-	-	-	11月25日～施設側壁 02.06.17 漏斗形、少下面
435	-	14	STG006	-	馬蹄	高?	-	灰色 N5/0	-	-	-	-	11月25日 02.05.05 馬先端、漏斗形、斜面に堅い鉄
436	-	14	STG004	-	土塁端	高?	-	灰白色 10Y7/1	(32)	0.96	-	-	11月25日～施設L/3 02.05.04
437	-	14	-	-	土塁端	高?	-	灰白色 10Y8/2	(32)	-	...	-	11月25日～施設側壁 02.05.15 漏斗
438	-	14	-	-	馬蹄端	平底	-	灰白色 N7/0	-	-	-	-	11月25日 02.11.25 漏斗形

表4 木製品一覧

規格番号	注記 規格番号 (W)	区	造價	属性	機別	木取り	耐候性	表面処理の向定は、塗装三明先生(東北大教授)による。			東北判	波上 参考番号	被り方		
								強度 吸水率 (%)	耐熱性 最高温度 (℃)	強度 吸水率 (%)					
1	584	62	15.2	SP500	-	樹物	板目	ヒノキ	415	145	00	02.02.23	4	8095	焼灰に輪用
2	533	40	18.3	SP504	-	屋外製品?	板目	クスノキ	305	130	15	01.02.30	-	8071	
3	595	60	13.2	SP508	-	素触先	板目	アカシラ 山薑	580	174	33	03.02.20	-	8026	
4	-	61	3	STA	-	樹	板目	-	-	-	-	-	-	△無!	
5	192	52	11	SP07	直屋	漆鏡	板目	クリ	150	80	28	02.02.19	-	7830	
6	196	63	11	SP07	直屋	漆鏡	板目	クリ	92	72	11	01.03.04	-	7613	
7	197	62	11	SP11	直屋	漆鏡	板目	クリ	137	76	25	02.02.04	-	7614	
8	193	48	11	ST4	-	漆鏡	板目	クリ	154	70	35	01.10.15	3	7787	
9	157	62	11	SD24	-	漆鏡	板目	クリ	147	75	20	01.10.29	-	7755	
10	142	63	11	SD24	1層	漆鏡	板目	クリ	138	68	43	01.09.06	-	7812	
11	184	63	11	SD24	-	漆鏡	板目	トキリコ風	156	79	49	01.10.12	3	7819	
12	195	65	11	SD12	直屋	漆鏡	板目	ケヤキ	98	71	15	01.03.04	-	7600	
13	198	65	11	SD12	直屋	漆鏡	板目	スグツイ orクリ	74	68	15	02.03.05	-	7622	
14	202-1	63	11	SD28	直屋	漆鏡	板目	クリ	160	77	42	02.03.05	-	7722	
15	202-2	65	11	SD28	直屋	漆鏡	板目	トキリコ風	153	68	29	02.03.06	-	7785	
16	203	64	11	SD28	直屋	漆鏡	板目	ケヤキ	162	90	43	02.03.07	3	7786	
17	251	64	11	SD28	直屋	漆鏡	板目	クリ	163	96	39	02.03.06	4	7798	
18	206	64	11	SD28	直屋	漆鏡	板目	ケヤキ	150	-	43	02.03.11	-	7793	
19	207	65	11	SD28	直屋	漆鏡	板目	クリ	150	70	42	02.03.11	-	7781	
20	212	65	11	SD29	直屋	漆鏡	板目	クリ	102	57	20	02.03.14	-	7806	
21	190	65	11	SR8	-	漆鏡	板目	ブナ風	117	65	54	01.12.14	-	7794	
22	193	65	11	-	合板用	漆鏡	板目	サカキ	134	73	33	02.03.20	-	7797	
23	191	65	11	-	包含端	漆鏡	板目	トキリコ風	144	84	38	02.03.19	-	7795	
24	205	96	11	-	直屋	漆鏡	板目	クリ	150	72	45	02.03.31	-	7780	昭和トレンチ内直屋
25	188	66	11	-	包含端	漆鏡	板目	クリ	152	64	47	01.11.13	-	7817	
26	194	65	11	-	包含端	漆鏡	板目	カツラ	93	-	33	02.03.30	-	7825	
27	413	59	14	SP296	日屋	漆鏡	板目	スグツイ orクリ	87	64	15	02.10.04	-	7815	
28	415	67	14	SP209	-	漆鏡	板目	トキリコ風	165	88	51	02.10.04	-	7795	
29	411	67	14	SP706	-	植物	板目	クリ	153	74	22	02.08.28	-	7784	
30	346	67	14	SD208	-	漆鏡	板目	トゲノキ	164	65	52	02.07.29	-	7788	
31	334	68	14	SD206	-	漆鏡	板目	トキリコ風	98	58	34	02.07.29	92	7822	
32	306	68	14	SD206	-	漆鏡	板目	クリ	163	60	22	02.07.25	68	7821	
33	301	69	14	SD206	-	漆鏡	板目	クリ	156	-	39	02.07.25	69	7811	
34	332	69	14	SD206	-	漆鏡	板目	クリ	70	-	47	02.09.01	103	7827	
35	361	68	14	SR202	有孔物類	漆鏡	板目	トキリコ風	120	68	55	02.07.15	1	7789	
36	266	69	14	SK207	音響物類	漆鏡	板目	ケヤキ	92	-	56	02.07.15	4	7796	
37	244	69	14	SK203	1層	漆鏡	板目	ケヤキ	-	71	22	02.05.24	-	7790	
38	370	69	14	SK204	嵌下槽	漆鏡	板目	クリ	42	-	39	02.09.04	-	7791	
39	233	69	14	SR306	1層	漆鏡	板目	クリ	150	78	55	02.06.07	-	7792	
40	611	69	14	SK205	-	漆鏡	板目	クリ	158	77	161	02.12.16	-	7795	
41	360	70	14	SK204	有孔物類	漆鏡	板目	トキリコ風	157	80	84	02.05.08	1	7778	
42	359	69	14	SK206	-	漆鏡	板目	ケヤキ	95	64	35	02.08.07	-	7793	
43	251	70	14	-	包含端	漆鏡	板目	ケヤキ	150	70	80	02.07.29	-	7777	
44	-	70	8	SE8	-	西村御板	板目	トゲノキ	-	-	-	-	-	井川特に合用。元井川 SE801	
45	148	71	11	SP07	1層	曲物類?	板目	ナワラ	119	111	5	02.03.04	-	2306	
46	126	71	11	SP04	日屋	曲物類?	板目	ヒノキ	59	14	19	02.03.04	-	8097	
47	351-5	71	11	SD4	1層	曲物御板	板目	ヒノキ	195	78	5	01.10.25	-	7840	
48	650	71	11	SD4	-	曲物直成版	板目	ヒノキ	231	76	9	01.10.16	-	7993	火災用実用、テレコ

標本番号	出荷番号 (W)	基準 回数	経年	種別	測定	木成り	樹齢	存長 (mm)	胸存高 (mm)	胸存厚 (mm)	前上日	前上 番号	プレート 番号	備考	
49	187	71	11	SP11	未記	羽根或皮?	種目	ヒノキ	62	91	7	02.03.07	-	7860	カキゴコ
80	655	71	11	SD32	1歳	曲物或皮板	板目	ヒノキ	183	97	7	01.10.25	-	7844	
51	127-1	71	11	SD19	豆足	曲物或皮板	板目	ヒノキ	196	22	8	02.02.20	-	7847	
50	127-2	71	11	SD19	豆足	曲物或皮板	板目	ヒノキ	183	60	7	02.02.20	-	7848	
53	963	71	14	SP269	豆足	曲物或皮板	板目	ヒノキ	173	50	6	02.08.28	-	7833	
54	354	71	14	SD205	-	曲物	種目	ヒノキ	117	60	2	02.07.29	66	7855	横跡、内外面剥離あり、 ケンゾコ
65	253	72	14	SD255	-	曲物或皮板	板目	ヒノキ	916	49	9	02.05.07	-	7852	
66	256	72	14	SK202	青楓物	曲物或皮板	板目	ヒノキ	122	119	7	02.07.15	2	7845	カキゴコ
57	240	72	14	SK208	1歳	曲物或皮板	板目	サクラ	123	120	7	03.06.17	-	7860	カキゴコ
68	562-1	73	14	SD206	豆足	曲物或皮板	板目	ヒノキ	219	68	11	02.11.20	-	8022	
59	374	72	14	SE251	-	曲物或皮板	板目	ヒノキ	-	-	2	02.08.04	-	7838	
60	375	72	14	SK208	1歳	曲物或皮板	板目	サクラ	199	100	9	02.09.04	-	7869	
61	606	73	14	-	-	曲物或皮板	板目	ヒノキ	197	101	8	02.09.04	-	8046	ケンゾコ
62	665	73	11	SD4	地中 上部	曲物	種目	ヒノキ	305	405	14	02.12.10	-	7867	タレゾコ
63	061-4	73	11	SD4	1歳	折枝?	板目	ヒノキ	227	50	7	01.10.26	-	8005	
64	314	73	14	SD255	-	折枝	板目	ヒノキ	59	32	4	02.07.35	78	7843	黒縁張り
65	239	73	14	SK201	-	折枝	板目	ヒノキ	69	41	4	02.06.17	-	7843	黒縁張り
66	225	73	14	SR204	1歳	折枝	板目	ヒノキ	237	54	6	02.05.15	-	7854	
67	274	73	14	SR205	青楓物	折枝	板目	ヒノキ	196	73	6	02.07.24	-	8011	
68	371	74	14	SR204	青楓物	折枝	板目	ヒノキ	118	81	3	02.07.24	-	7839	淡薄油り
69	359-1	74	14	SK204	-	程倒板?	板目	ヒノキ	165	49	9	02.08.07	-	8018	
70	377	74	14	SD205	-	程倒板?	板目	ヒノキ	145	50	8	02.07.25	12	7838	
71	609	74	14	SD205	豆足	翻物	-	ヒノキ	-	-	-	02.11.07	-	7851	
72	422	-	11	GP138	-	看板板	板目	クロマツ	168	30	12	02.01.27	-	7869	誤代調査、三木くぐり 三木過える、一本辺り
73	174	76	11	SD14内	豆足	看板板	板目	ヒノキ	185	47	9	02.03.11	-	8009	壁板に貼付
74	329	75	14	SD205	-	看板板	板目	ヒノキ	35	39	11	02.07.29	87	8010	
75	350	74	14	SR201	-	看板板	板目	サクラ	454	221	25	02.07.29	1	7855	
76	014	74	11	SD009	1歳 黑色土中	筋筋或 筋筋?	板目	ヒノキ	72	33	3	01.07.34	-	7849	
77	414	76	14	SP209	-	筋筋、 筋筋具	板目	アカガシ 強筋	368	32	23	02.10.03	-	8021	
78	253	76	14	SD205	青楓物	筋筋具	板目	ヒノキ科	105	38	7	02.07.05	-	7834	
79	552-2	76	14	SK204	-	一色瓦	板目	二葉松板	195	25	19	02.06.07	-	8019	
80	651-1	76	11	SD4	1歳	筋筋	持持村	二葉松板	144	39	41	01.10.35	-	7830	
81	600-3	76	14	SP205	1歳	筋筋	持持村	イボク ノキ属	151	35	31	02.11.07	-	7831	
82	303	76	14	SD205	-	沟子	筋筋	ヒノキ	178	63	11	02.07.25	84	7832	黒縁張り
83	252	76	14	SR201	青楓物	ヘラ木製品	板目	ヒノキ	212	37	7	02.07.06	-	7824	
84	195	74	11	SD14	豆足	筋筋	-	ヒノキ	211	7	5	02.02.22	-	8036	
85	413-1	76	14	SP203	豆足	筋筋	-	ヒノキ	209	9	6	02.10.01	-	8033	
86	415-2	74	14	SP205	豆足	筋筋	-	ヒノキ	122	6	3	02.10.01	-	8037	
87	405	74	14	SD202	十脚器	筋筋	-	ヒノキ	190	6	4	02.09.04	--	8052	
88	417	74	14	SR201	豆足	筋筋	-	ヒノキ	165	6	4	02.10.04	-	8054	
89	410-1	74	14	SK205	青楓物	筋筋	-	ヒノキ	253	7	6	03.07.24	-	8055	
90	583-1	74	14	SK205	豆足	筋筋	-	ヒノキ	183	6	5	02.11.20	-	8045	
91	416-2	74	14	SK205	青楓物	筋筋	-	ヒノキ	175	6	6	02.07.24	-	8064	
92	415-4	74	14	SK205	青楓物	筋筋	-	ヒノキ	169	7	5	02.07.24	-	8066	
93	410-3	74	14	SR205	青楓物	筋筋	-	ヒノキ	140	9	6	02.07.24	-	8055	
94	562-3	74	14	SD205	豆足	筋筋	-	ヒノキ科	102	5	3	02.11.20	-	8044	
95	534-2	74	14	SK204	豆足	筋筋	-	コウヤマキ	181	7	4	02.11.16	--	8057	
96	534-1	74	14	SK204	豆足	筋筋	-	コウヤマキ	193	8	1	02.11.16	-	8056	

標記番号	品番号	高さ(mm)	区	導通	偏光	開削	本取り	樹種	残存長(mm)	残存幅(mm)	残存厚(mm)	取上日	放上番号	プレート番号	備考
97	345-0	75	14	—	偏光板	著	—	ヒノキ	74	5	4	01.06.24	—	8058	
98	343-1	71	14	—	I面	著	—	ヒノキ	180	6	4	01.06.24	—	8047	
99	322	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	564	6	5	01.07.29	98	8059	
100	365	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	243	6	5	01.07.25	82	8059	
101	341-2	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	194	6	4	01.06.01	—	8069	
102	341-5	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	197	6	4	01.06.01	—	8068	
103	622	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	196	7	5	01.11.28	151	8046	
104	373-3	75	14	SD205	—	著	—	スギ	159	7	6	01.09.04	—	8051	
105	357-2	75	14	SD205	PSK北	育苗物販	著	ヒノキ	112	6	5	01.07.05	—	8058	
106	341-7	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	126	6	5	01.08.01	—	8073	
107	341-8	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	113	6	6	01.08.01	—	8074	
108	341-9	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	104	6	5	01.08.01	—	8075	
109	330-2	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	142	6	5	01.09.01	101	8042	
110	338-2	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	108	6	4	01.07.29	—	8052	
111	357-3	75	14	SD205	PSK北	育苗物販	著	ヒノキ	95	6	4	01.07.05	—	8059	
112	341-6	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	172	7	5	01.06.01	—	8073	
113	341-3	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	174	7	5	01.08.01	—	8070	
114	330-1	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	195	6	6	01.08.01	101	8042	
115	357-1	75	14	SD205	PSK北	育苗物販	著	ヒノキ	169	8	4	01.07.05	—	8057	
116	302	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	136	8	4	01.07.25	61	8045	
117	502	75	14	SD205	土壌保	著	—	ヒノキ	181	7	5	02.11.21	—	8055	
118	373-2	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	113	7	6	01.09.04	—	8050	
119	305	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	120	7	4	01.07.25	64	8049	
120	341-4	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	196	8	6	01.08.01	—	8071	
121	330-2	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	173	6	5	02.08.01	101	8043	
122	336-1	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	197	6	5	02.07.29	—	8051	
123	330-4	75	14	SD205	—	著	—	ヒノキ	88	7	5	02.08.01	101	8048	
124	423	76	11	SD4	I面	火照白	板目	ヒノキ	184	39	12	01.10.25	—	8006	
125	373-1	75	14	SD205	—	火照白	板目	ヒノキ	150	38	15	02.09.04	—	7985	
126	423-2	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	82	34	9	01.07.05	—	8002	
127	423-5	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	132	16	8	01.07.05	—	8003	
128	423-4	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	115	11	8	01.07.05	—	8004	
129	423-1	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	64	14	12	01.07.05	—	8001	
130	409-3	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	40	21	8	01.07.24	—	7996	
131	409-3	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	63	21	7	01.07.24	—	7999	
132	409-2	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	67	28	6	01.07.34	—	7997	
133	662-2	76	14	SD205	巨摩	火照白	板目	ヒノキ	92	15	6	01.11.20	—	8023	
134	234	76	14	SD205	1層	火照白	板目	スギ	109	23	10	02.06.07	—	7994	
135	409-1	76	14	SD205	育苗物販	火照白	板目	ヒノキ	170	59	7	01.07.34	—	7966	
136	346	77	14	SD205	I層	偏光	板目	サツババナ	39	77	10	02.05.29	—	8016	
137	148	77	11	SD12	II層	下枝	下枝	ヒノキ	161	105	34	02.03.05	—	7991	
138	156	77	11	SD19	III層	下枝	下枝	ヒノキ	213	96	50	02.02.19	—	8015	
139	317	77	14	SD205	—	下枝	芯材	ヒノキ	174	85	54	01.07.25	79	7992	
140	229	77	14	SD205	—	板材	板目	ヒノキ	218	21	7	01.07.25	28	8013	
141	500-1	77	14	SD205	II層	板材	板目	ヒノキ	278	94	5	02.11.07	—	8014	
142	129	77	11	SP07	II層	育苗材	板目	ヒノキ	396	61	26	02.02.20	—	8028	
143	651-2	77	11	SD4	I層	育苗材	—	二葉松材	78	33	13	01.10.25	—	7927	
144	341-2	77	14	SD205	—	育苗材	板目	ヒノキ	70	17	10	02.02.01	—	8017	
145	273	77	14	SX301	—	育苗材	—	アカガシ 笠頭	96	31	15	01.07.24	—	7936	
146	409-4	77	14	SR206	育苗物販	挿入板材	板目	ヒノキ	110	18	3	01.07.24	—	3012	
147	127-5	77	11	SD19	Ⅲ層	挿入板材	板目	ヒノキ	266	14	10	01.02.20	—	7939	

標因 番号	法22 規格号 (W)	厚さ mm	外 径	通締	蓋底	縫合	木取り	樹脂	樹高 (mm)	根存長 (mm)	根存幅 (mm)	根存厚 (mm)	取上H mm	取上 番号	アリケーター 番号	備考
148	36.3	77	14	SD205	-	抗入板付	樹脂	クリ	339	135	47	01.07.35	22	7693		
149	450	77	14	SD205	-	底板 (背面側)	芯棒付	スギ?	379	55	55	01.10.25	82	7698		
150	466	75	14	SD205	-	背脂付	芯棒付	ヒノキ柄	465	57	41	01.10.25	126	8030		
151	428	75	14	SD205	-	中孔 丸太材	芯棒付	ヒノキ柄	675	72	68	01.10.25	35	7947		
152	431	72	14	SD205	-	丸太枝付	芯棒付	クロマツ	342	66	62	01.10.25	11	9024		
153	300-2	76	14	SD205	日版	角材	芯棒付材	ヒノキ	158	77	76	01.11.07	9025			
154	355-3	74	14	SK204	-	継状	端口	アカガシ 無脂	110	54	39	02.06.07	-	6030		
155	473	78	14	SD205	-	板付	側材	ヒノキ	339	160	59	02.10.30	-	6031		
156	331	78	14	SD205	-	木版	側口	クロマツ	1197	444	135	02.06.01	102	7696		
157	915	78	12	SP104	-	木脂板付	側材	ヒノキ	909	22	19	01.07.21	7	7922		
158	476	78	12	SP104	-	木然鹿角材	芯棒付	ヒノキ柄	493	35	23	01.10.16	-	8032		
159	482	78	12	SP105	-	木脂板付	端口	二葉松脂	807	69	11	02.10.15	8	7697		
160	498	78	12	SP104	-	木脂板付材	側材	サワラ	530	56	23	02.10.30	-	8034		
161	496	78	13	SP104	-	木脂板付材	端口	スギ	506	44	27	02.10.16	-	8035		
162	630	79	11	SP01	I型	柱板	芯棒材	クリ	487	95	74	01.10.05	-	7977		
163	631	79	11	SP02	-	柱板	側材	クリ	319	113	94	01.10.05	-	7963	新面実測	
164	339	79	11	SP03	I型	柱板	側材	クリ	472	82	124	01.10.05	-	7837	新面実測	
165	638	79	11	SP04	I型	柱板	芯棒付	二葉松脂	444	95	95	01.10.05	-	7963	新面実測	
166	634	79	11	SP05	I型	柱板	芯棒付	クロマツ	456	127	128	01.10.05	-	7884	新面実測	
167	936	79	11	SP07	I型	柱板	芯棒材 の割材	二葉松脂	508	172	126	01.10.11	-	7865	板面実測	
168	938	79	11	SP09	I型	柱板	芯棒付	ツタ属	245	154	83	01.10.11	-	7866	新面実測	
169	939	79	11	SP10	I型	柱板	芯棒付	二葉松脂	220	98	98	01.10.11	-	7867	新面実測	
170	940	79	11	SP11	-	柱板	芯棒付	クロマツ	448	31	71	01.10.11	-	7978	新面実測	
171	945	79	11	SP12	I型	柱板	芯棒付	クリ	727	252	240	01.10.15	-	7863	新面実測	
172	945	79	11	SP15	I型	柱板	芯棒付	クリ	161	61	66	01.10.15	-	7866	新面実測	
173	946	79	11	SP17	I型	柱板	芯棒付	クリ	351	141	120	01.11.05	-	7858	新面実測	
174	655	79	11	SP17	I型	柱板	芯棒材	二葉松脂	582	173	178	01.11.05	-	7870	接横接面	
175	666	79	11	SP19	I型	柱板	芯棒材	クロマツ	527	181	130	01.11.05	-	7871	新面実測	
176	678	79	11	SP27	-	柱板	側材	クリ	459	182	142	01.11.15	-	7872	新面実測	
177	669	79	11	SP54	I型	柱板	芯棒材	クリ	643	156	139	01.11.14	-	7924	新面実測	
178	670	80	11	SP16	I型	柱板	芯棒材	クリ	235	189	116	01.11.14	-	7919	新面実測	
179	675	89	11	SP73	I型	柱板	芯棒材	クリ	393	165	150	01.11.15	-	7873	新面実測	
180	671	80	11	SP14	I型	柱板	側材	ヤマチカラ	545	267	136	01.11.14	-	7925	新面実測	
181	663	80	11	SP76	I型	柱板	芯棒材	クリ	296	95	90	01.11.17	-	7869	新面実測	
182	675	80	11	SP77	I型	柱板	芯棒材	クリ	1092	140	109	01.11.15	-	7926	新面実測	
183	677	80	11	SP28	I型	柱板	芯棒材	ツガ属	622	159	132	01.11.15	-	7874	新面実測	
184	679	80	11	SP81	-	柱板	芯棒材	クリ	311	98	73	01.11.31	-	7975	新面実測	
185	680	80	11	SP82	-	柱板	芯棒材	クリ	490	119	90	01.11.31	-	7976	新面実測	
186	681	80	11	SP83	-	柱板	芯棒材	クロマツ	468	205	223	01.11.31	-	7927	新面実測	
187	682	80	11	SP84	-	柱板	芯棒材	二葉松脂	294	110	106	01.11.31	-	7871	新面実測	
188	683	80	11	SP87	直筋	柱板	芯棒材	クリ	551	135	124	02.08.07	-	7939	新面実測	
189	685	80	11	SP95	-	柱板	芯棒材	二葉松脂	333	97	87	02.01.22	-	7885	新面実測	
190	686	80	11	SP104	-	柱板	芯棒材	クリ	507	111	90	02.01.22	-	7932	新面実測	
191	687	89	11	SP109	-	柱板	芯棒材	クリ	419	100	91	02.01.16	-	7852	新面実測	
192	689	89	11	SP123	-	柱板	芯棒材	二葉松脂	365	187	153	02.01.33	-	7886	新面実測	
193	690	89	11	SP129	-	柱板	芯棒材	クリ	199	83	71	02.01.32	-	7867	新面実測	
194	693	80	11	SP130	-	柱板	芯棒材	クロマツ	360	183	160	02.01.15	-	7850	新面実測	
195	690	89	11	SP123	-	柱板	芯棒材	クロマツ	254	127	122	02.01.18	-	7853	新面実測	
196	692	89	11	SP134	-	柱板	芯棒材	クリ	292	102	83	02.01.11	-	7860	新面実測	
197	692	81	11	SP125	-	柱板	芯棒材	クリ	543	101	88	02.01.12	-	7864	新面実測	
198	691	81	11	SP136	-	柱板	芯棒材	二葉松脂	306	90	80	02.01.11	-	7879	新面実測	

洞窟番号	深度 (m)	洞窟名 (W)	北緯	経度	層位	種別	水取り	胸椎	導管長 (mm)	乳石板 (mm)	薄石厚 (mm)	東上西 番号	取上 番号	プリマー 番号	備考
159	103	81	11	SP137	-	柱根	芯持材	クリ	460	128	110	02.01.16	-	7981	新面実測
160	109	81	11	SP138	-	柱根	芯持材	クロマツ	511	109	104	02.01.13	-	7985	新面実測
201	116	81	11	SP142	-	柱根	芯持材	クリ	579	105	95	02.01.29	-	7990	新面実測
202	111	81	11	SP157	-	柱根	芯持材	クリ	549	181	135	02.01.26	-	7989	新面実測
203	123	81	11	SP152	■面	柱根	芯持材	クリ	405	99	88	02.02.18	-	7991	新面実測
204	154	81	11	SP157	-	柱根	芯持材	クリ	390	146	125	02.03.05	-	7993	新面実測
206	163	81	11	SP169	-	柱根	芯持材	二重松脂	592	134	94	02.01.07	-	7984	新面実測
207	169	81	11	SP171	-	柱根	芯持材	二重松脂	143	77	55	02.03.06	-	7994	新面実測
209	164	81	11	SP184	■面	柱根	芯持材	アカガシ 赤栗	520	85	63	02.03.07	-	7985	新面実測
208	171	81	11	SP187	-	柱根	芯持材	二重松脂	519	161	157	02.03.08	-	7994	新面実測
209	115	81	13.2	SP906	-	柱根	芯持材	カエデ	340	165	128	03.03.15	-	7919	断面実測
210	590	81	13.2	SP921	-	柱根	芯持材	イヌマキ	256	177	150	03.02.25	-	7961	新面実測
211	369	81	13.2	SP246	-	柱根	芯持材	エノキ	386	145	152	03.02.25	-	7995	新面実測
212	386	81	13.2	SP542	-	柱根	芯持材	コナラ	183	146	123	03.02.25	-	7913	断面実測
213	465	81	13.2	SP559	-	柱根	芯持材	コナラ	500	114	58	03.02.20	-	7915	新面実測
214	589	81	13.2	SP570	-	柱根	芯持材	エノキ	332	162	176	03.02.25	-	7912	新面実測
215	965	81	13.2	SP576	-	柱根	芯持材	コナラ	330	115	49	03.02.26	-	7908	新面実測
216	366	81	13.3	SP576	-	柱根	芯持材	コナラ	344	93	53	03.02.25	-	7909	新面実測
217	599	82	13.2	SP577	-	柱根	芯持材	コナラ	458	129	124	03.02.20	-	7981	新面実測
218	495	82	13.2	SP584	-	柱根	芯持材	コナラ	270	125	95	03.02.20	-	7916	新面実測
219	575	82	13.2	SP586	-	柱根	芯持材	クリ	320	96	97	03.02.25	-	7911	新面実測
220	595	82	13.2	SP587	-	柱根	芯持材	コナラ	572	182	126	03.02.25	-	7975	新面実測
221	604	82	13.2	SP588	-	柱根	芯持材	コナラ	453	124	181	03.02.26	-	7914	新面実測
222	607	82	13.2	SP589	-	柱根	芯持材	コナラ	366	165	161	03.02.29	-	7917	新面実測
223	614	82	13.2	SP599	-	柱根	鋼材	コウヤマキ	826	154	147	03.03.12	-	7976	新面実測
224	615	82	13.2	SP591	-	柱根	芯持材	ゴンゴリ	163	156	160	03.03.13	-	7918	上端部・新面実測
225	613	82	13.2	SP492	-	柱根	鋼材	コナラ	385	176	106	03.03.13	-	7909	新面実測
226	570	82	13.2	SP305	-	柱根	芯持材	ヒノキ	323	173	141	03.02.20	1	7974	新面実測
227	599	82	14	SP201	■面	柱根	芯持材	クリ	925	241	211	02.04.24	-	7931	新面実測
228	345	82	14	SP202	■面	柱根	芯持材	クリ	695	178	142	02.04.24	-	7930	新面実測
229	355	82	14	SP210	-	柱根	芯古合材	クロマツ	323	133	134	03.03.06	-	7959	新面実測
230	355	82	14	SP248	-	柱根	芯持材	二重松脂	273	59	94	02.03.25	-	7936	断面実測
231	396	82	14	SP597	-	柱根	芯持材	二重松脂	161	71	65	02.03.25	-	7987	新面実測
232	257	83	14	SP257	-	柱根	鋼材	クリ	488	160	59	02.03.16	-	7943	新面実測
233	530	83	14	SP268	-	柱根	鋼材	カケ	678	162	143	03.13.06	-	7952	新面実測
234	354	83	14	SP273	-	柱根	芯持材	クリ	428	136	112	02.03.24	-	7938	新面実測
235	385	83	14	SP274	-	柱根	芯持材	クリ	614	77	65	02.03.24	-	7943	新面実測
236	387	83	14	SP276	-	柱根	芯持材	クリ	647	141	135	02.03.24	-	7941	新面実測
237	359	83	14	SP280	-	柱根	芯持材	ツブ栗	490	165	185	02.03.25	-	7960	新面実測
238	391	83	14	SP281	-	柱根	芯持材	アカマツ	506	104	102	02.03.25	-	7942	断面実測
239	390	83	14	SP281	-	柱根	芯持材	アカマツ	597	112	104	02.03.25	-	7955	新面実測
240	543	83	14	SP406	-	柱根	芯持材	クリ	541	264	322	02.12.13	-	7945	新面実測
241	541	83	14	SP906	-	柱根	芯持材	クリ	538	237	221	02.12.12	-	7964	新面実測
242	637	83	14	SP211	-	柱根	芯持材	クリ	891	105	76	02.12.08	-	7961	新面実測
243	632	83	14	SP315	-	柱根	芯持材	タガミ ズキ栗	173	87	79	02.12.06	-	7963	新面実測
244	631	83	14	SP314	-	柱根	芯持材	クリ	370	32	10	02.12.03	-	7962	新面実測
245	535	83	14	SP318	-	柱根	芯持材	クリ	370	73	66	02.12.10	-	7965	新面実測
246	503	83	14	SP320	-	柱根	芯持材	ヒノキ	341	174	152	02.12.11	-	7963	新面実測
247	543	84	14	SP321	-	柱根	芯持材	クリ	237	214	191	02.12.12	-	7965	接合、接続断面
248	626	84	14	SP322	-	柱根	芯持材	クリ	616	192	125	02.12.17	-	7960	新面実測
249	544	84	14	SP325	-	柱根	芯持材	ヒノキ	1245	166	152	02.01.09	-	7967	新面実測
250	545	84	14	SP286	-	柱根	鋼材	ヒノキ	602	157	113	02.01.04	-	7958	新面実測

番号	地名 番号	面積 (ha)	可耕 面積	区	港機	蓄水	種別	木取り	樹種	胸高径 (cm)	冠幅 (cm)	根幅 (cm)	倒伏率	倒上日	倒し 参考	伐採 参考	備考
251	547	84	14	SP328	-	桂樹	志村材	ヒノキ	859	172	148	03.01.09	-	7599	新面実測		
252	555	84	14	SP340	-	桂樹	志村	ヒノキ	314	115	52	03.01.09	-	8076	新面実測		
253	580	84	14	SP342	IV區	桂樹	志村材	タガツツ	863	356	196	03.01.09	-	7572	新面実測		
254	581	84	14	SP343	-	桂樹	志村	ヒノキ	1054	224	175	03.01.09	-	7573	新面実測		
255	588	84	14	SP345	-	桂樹	志村	ヒノキ	717	157	133	03.01.09	-	7570	新面実測		
256	589	84	14	SP347	-	桂樹	志村	ヒノキ	454	109	64	03.01.09	-	7567	新面実測		
257	599	85	14	SP348	-	桂樹	志村材	コクヤマツ	1104	177	140	04.01.16	-	7571	新面実測		
258	593	85	14	-	-	桂樹材	志村材	ニシキヅタ	1028	206	175	05.07.25	1	7568	新面実測		
259	276	85	14	SD305	-	梅園村	志村材	クリ	430	117	105	02.07.25	6	7943	新面実測		
260	427	85	14	SD305	-	桂樹	志村	ヒノキ	869	182	122	02.10.25	-	7946	新面実測		
261	436	85	14	SD306	-	梅園村	志村材	タガツツ	835	166	104	02.10.25	34	7949	新面実測		
262	429	85	14	SD305	-	桂樹	志村材	クリ	859	183	154	03.10.25	5	7944	新面実測		
263	430	85	14	SD306	-	桂樹	志村材	クリ	892	150	129	03.10.25	7	7945	新面実測		
264	431	85	14	SD305	-	桂樹	志村材	クリ	982	184	134	02.10.25	16	7945	新面実測		
265	434	86	14	SD305	-	桂樹	志村材	クリ	534	166	152	02.10.25	25	7940	新面実測		
266	441	86	14	SD305	-	桂樹	志村材	ヒノキ	773	184	159	02.10.25	47	7951	新面実測		
267	437	86	14	SD305	-	桂樹材?	志村材	クリ	566	75	75	02.10.25	56	7940	新面実測		
268	447	85	14	SD305	-	桂樹材?	志村材	タガツツ	627	73	68	02.10.25	57	7952	新面実測		
269	504	86	14	SD305	-	桂樹	志立村	ヒノキ	333	161	77	02.11.23	131	7901	新面実測		
270	512	86	14	SD305	-	桂樹	志村材	タガツツ	566	226	206	02.07.25	-	7937	246と接合、屋横新苗		
271	458	86	14	SD306	-	梅園村	志村材	タガツツ	655	183	148	03.10.25	116	7954	新面実測		
272	470	85	14	SD305	-	桂樹	志村材	クリ	790	110	102	02.10.23	127	7955	新面実測		
273	311	87	14	SD305	-	地盤材?	志村材?	タガツツ	614	94	84	02.07.25	70	7935	新面実測		
274	505	87	14	SD306	-	地盤材?	志村材	クリ	655	125	103	02.11.28	153	7958	新面実測		
275	507	87	14	SD306	-	地盤材?	志村材	タガツツ	655	122	118	02.11.23	152	7959	新面実測		
276	484	87	14	SD305	-	地盤材?	志村	ヒノキ材	1138	157	87	02.10.25	124	7956	新面実測		
277	299	87	14	SD305	-	地盤材?	志村材	ヒノキ	2135	190	127	02.07.25	38	7954	新面実測		
278	372 or 425	5	14	SD202 or SD205	-	木場	征目	ヒノキ	166	30	3	02.09.04	-	7771			
279	372 or 420	3	14	SD202 or SD205	-	木場	征目	ヒノキ	123	35	3	02.09.04	-	7775	出土遺物不明		
280	359	3	14	SD205	青磚物語	木場	征目	ヒノキ	163	15	2	02.09.05	-	7770	出土遺物不明		
281	238	3	14	SR301	B施	木場	征目	ヒノキ	116	22	5	02.06.17	-	7771			
282	408	3	14	SR306	青磚物語	木場	征目	ヒノキ	185	39	4	02.09.34	-	7712			
283	968	78	14	SR203	赤堀	青磚物語	征目	ヒノキ	35	35	3	02.09.04	-	7772			
284	-	-	9	SP148	-	木場	-	-	-	-	-	-	-	-	八幡工(底標示)		

表5 古墳時代土塙一覧

番号 番号	注記番号	年 間版	区	遺物	グリッド	全長 (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	重量 (g)	水中 重量(g)	熟成状態	収上日	備考	
													水 中 重 量	水 中 重 量
-	517	-	12	SR301	R-9N	-	35	17	69	-	B	01.09.07	計撮合による熟成度	
-	518	-	12	SR302	R-9S	57	47	30	128	-	完形	01.09.07		
-	1134-A	-	13-1	SR301	R-15	55	35	15	59	-	完形	01.05.14		
-	1134-B	-	13-1	SR301	R-15	-	39	15	13	-	D	02.05.14		
-	1116	-	13-1	SR302	P-13	74	45	12	146	-	完形	02.04.36		
-	1117	-	13-1	SR302	P-13	66	38	14	106	-	完形	02.04.36		
5	1208-A	88	13-1	SR302	P-13	77	46	11	192	-	完形	02.06.10		
7	1208-B	88	13-1	SR302	P-13	91	45	18	128	-	A	02.05.10		
5	1209	88	13-1	SR302	Q-13	-	53	16	124	-	B	02.05.03		
8	1209-A	88	13-1	SR302	Q-13	54	40	13	79	-	完形	02.05.10		
-	1209-B	-	13-1	SR302	Q-13	-	-	-	14	-	D	02.05.10		
-	1118-A	-	13-1	SR302	Q-14	-	36	16	46	--	C	04.04.36		
-	1118-B	88	13-1	SR302	Q-14	60	37	13	31	--	C	04.04.36		
4	1118-C	88	13-1	SR302	Q-14	-	35	15	39	-	D	04.04.36		
-	1121	-	13-1	SR302	Q-14	65	36	11	85	-	A	02.06.02		
9	1210-A	88	13-1	SR302	Q-14	83	41	13	138	-	完形	02.06.10		
-	1210-B	-	13-1	SR302	Q-14	58	39	12	81	-	完形	02.06.10		
2	1163	88	13-1	SX301	S-15	56	35	11	70	39	完形	02.06.07		
1	1181	88	13-1	SX301	S-16N	41	42	19	69	38	完形	02.05.03		
-	1109	-	13-1	-	Q-14	-	39	15	62	-	B	02.04.22		
-	1173-A	-	13-1	-	R-14EN	73	29	16	118	-	完形	02.05.29		
-	1173-B	-	13-1	-	R-14ENt	62	45	16	157	-	完形	02.05.29		
-	1173-C	-	13-1	-	R-14ENe	65	33	12	65	-	完形	02.05.29		
-	1173-D	-	13-1	-	R-14EN	64	43	16	124	-	A	02.05.29		
-	1173-E	-	13-1	-	R-14EN	-	49	17	77	-	B	02.05.29		
-	1173-F	-	13-1	-	R-14EN	-	-	-	19	-	D	02.05.29		
-	1173-G	-	13-1	-	R-14EN	-	41	18	34	-	D	02.05.29		
-	1127	-	13-1	-	R-15	85	47	21	213	-	A	02.05.08		
-	1176-A	-	13-1	-	R-15N	-	44	17	104	-	B	02.05.29		
-	1176-B	-	13-1	-	R-15N	-	36	15	37	-	B	02.05.29		
-	1176-C	-	13-1	-	R-15N	-	33	12	32	-	D	02.05.29	計撮合	
-	1155	-	13-1	-	R-16S	-	-	-	8	-	D	02.05.31		
-	1142	-	13-1	-	S-15	49	47	20	123	-	完形	02.05.20		
-	1143	-	13-1	-	S-16	-	26	9	7	-	D	02.05.20		
-	1179	-	13-1	-	S-16	-	-	-	14	-	D	02.05.29		
-	1167	-	13-1	-	S-16S	57	35	14	20	-	C	02.05.24		
-	1416	-	13-2	SD312	-	46	42	13	91	46	完形	02.01.31		
-	1540	-	13-2	SP307	-	65	50	12	150	-	A	03.02.12		
-	1659	-	13-2	SP309	-	-	35	11	56	-	B	02.02.27		
10	1485	88	13-2	SP325	-	49	45	15	67	--	C	03.02.05	計撮合	
11	1488	88	13-2	SP328	-	74	51	23	206	113	完形	02.02.05		
12	1511	88	13-2	SP362	-	-	23	5	-	-	-	03.02.07		
13	1526	88	13-2	SP368	-	65	56	19	173	-	A	03.02.07	形状、開閉部	
-	1210-C	-	13-2	SH302	Q-14	-	-	-	34	-	D	02.06.10		
23	1955	88	13-2	SD304	U-15	64	41	10	124	63	完形	03.01.10		
-	1369	-	13-2	SD304	U-15	66	39	11	99	56	完形	03.01.10		
24	1368	88	13-2	SD304	U-15	78	41	16	127	77	完形	03.01.10		
28	1383-A	88	13-2	SD304	U-15	82	57	22	193	103	完形	03.01.15		
29	1383-B	88	13-2	SD304	U-15	87	49	21	125	71	完形	03.01.15		
27	1376	88	13-2	SD304	U-16	45	43	17	91	53	完形	03.01.15		
-	1384-A	-	13-2	SD304	U-16	53	40	17	65	-	A	03.01.15		
-	1384-B	-	13-2	SD304	U-16	57	45	14	96	-	C	03.01.15		
-	1384-C	-	13-2	SD304	U-16	-	-	-	62	-	D	03.01.15		
-	1384-D	-	13-2	SD304	U-16	-	46	-	44	-	D	03.01.15		
-	1340-A	-	13-2	SD304	U-17	96	43	15	153	37	A	03.01.09		

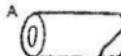
標本番号	法記番号	写真回数	区	通情	グリット	全長 (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	重積 (g)	水中 重量(g)	底存状態	底上日	備考
-	1246-A	-	13-2	SX304	U-17	65	47	25	120	70	完形	03.01.09	
-	1246-B	-	13-2	SX304	U-17	-	-	-	49	-	D	03.01.09	
-	1251	-	13-3	SX304	U-17	43	-	-	16	-	C	03.01.09	
25	1270-A	88	13-2	SX304	U-17	44	54	15	104	57	完形	03.01.15	等形
26	1270-B	88	13-2	SX304	U-17	68	55	31	196	112	完形	03.01.15	
-	1296	-	13-2	SX304	U-19	41	-	-	20	-	C	03.01.20	球形
-	1401	-	13-2	SX305	-	38	35	6	22	-	完形	03.01.21	
-	1293-A	-	13-2	SR内	T-15	52	50	11	74	--	完形	02.11.29	
-	1293-B	-	13-2	SR内	T-15	76	48	19	136	-	A	02.11.29	
-	1293-C	-	13-2	SR内	T-15	--	45	24	32	-	D	02.11.29	3片接合
-	1295	-	13-2	SR内	T-15	50	42	14	114	-	A	02.11.29	
14	1404	88	13-2	SX307	-	58	37	12	78	43	完形	03.01.21	
-	1405-A	-	13-2	SX307	-	71	39	16	100	58	完形	03.01.21	
-	1405-B	-	13-2	SX307	-	61	44	19	129	74	完形	03.01.21	
-	1405-C	-	13-2	SX307	-	65	45	15	132	76	完形	03.01.21	
-	1405-D	-	13-2	SX307	-	65	45	17	132	76	完形	03.01.21	
15	1405-E	88	13-2	SX307	-	77	52	22	208	121	完形	03.01.21	
-	1405-F	-	13-2	SX307	-	68	44	17	138	73	完形	03.01.21	
16	1405-G	88	13-2	SX307	-	66	49	18	97	-	C	03.01.21	
-	1405-H	-	13-2	SX307	-	-	43	15	52	-	D	03.01.21	
-	1405-I	-	13-2	SX307	-	-	-	-	38	-	D	03.01.21	
-	1405-J	-	13-2	SX307	-	-	-	-	41	-	D	03.01.21	
17	1406-A	88	13-2	SX307	-	62	46	19	133	77	完形	03.01.21	
-	1406-B	-	13-2	SX307	-	72	43	17	141	82	A	03.01.21	
-	1406-C	-	13-2	SX307	-	56	42	-	46	-	C	03.01.21	3片接合による余長残存
-	1406-D	-	13-2	SX307	-	-	-	-	24	-	D	03.01.21	
-	1407	-	13-2	SX307	-	64	-	-	74	-	C	03.01.22	
-	1411-A	-	13-2	SX307	-	60	45	18	135	78	完形	03.01.22	
-	1411-B	-	13-2	SX307	-	70	52	27	171	97	完形	03.01.22	
18	1411-C	88	13-2	SX307	-	82	42	12	146	84	完形	03.01.22	
-	1411-D	-	13-2	SX307	-	66	45	17	141	83	完形	03.01.22	
19	1413-A	88	13-2	SX307	-	76	38	16	123	68	完形	03.01.31	
20	1413-B	88	13-2	SX307	-	58	45	18	134	75	完形	03.01.31	
21	1413-C	88	13-2	SX307	-	65	49	22	162	-	A	03.01.31	
-	1413-D	-	13-2	SX307	-	-	43	17	78	-	B	03.01.31	
-	1413-E	-	13-2	SX307	-	-	-	-	31	-	D	03.01.31	
-	1413-F	-	13-2	SX307	-	-	-	-	27	-	D	03.01.31	
22	1413-G	88	13-2	SX307	-	-	-	-	30	-	D	03.01.31	
-	1413-H	-	13-2	SX307	-	-	-	-	16	-	D	03.01.31	
-	1419-A	-	13-3	SX307	-	62	43	17	126	73	完形	03.01.31	
-	1419-B	-	13-2	SX307	-	60	45	16	127	73	完形	03.01.31	
-	1409	-	13-2	SX309	-	59	54	-	74	-	C	03.01.31	
-	1433	-	13-2	SX309	-	-	42	19	84	-	B	03.01.31	
-	1441	-	13-2	SX309	-	76	-	-	87	-	C	03.02.05	
-	1442	-	13-2	SX311	-	96	45	16	187	105	完形	03.02.05	
-	1410	-	13-2	SX311	-	47	36	9	51	--	完形	03.01.22	
-	1330	-	13-2	-	S-17	56	-	-	38	-	C	03.01.07	
-	1333-A	-	13-3	-	S-17	63	57	11	80	--	完形	03.01.07	
-	1333-B	-	13-2	-	S-17	-	41	15	47	-	B	03.01.07	
-	1333-C	-	13-2	-	S-17	58	-	-	47	-	C	03.01.07	
-	1339	-	13-2	-	S-17	76	45	20	91	-	C	03.01.07	
-	1336	-	13-2	-	S-17	-	52	23	40	-	D	03.01.10	
-	1332	-	13-2	-	S-18	51	43	17	46	--	C	03.01.07	
-	1398	-	13-2	-	T-15	61	48	16	133	-	完形	03.12.01	
-	1296	-	13-2	-	T-16	53	44	19	85	-	完形	02.12.01	
-	1301	-	13-2	-	T-16	51	38	14	99	-	完形	03.12.02	
-	1320	-	13-2	-	T-17	69	29	12	136	-	完形	03.01.06	

番号	生配番号	写真 回数	区	種類	グリッタ	全長 (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	重さ (g)	水中 重量(g)	現状形	取上日	備考
-	1306-A	-	13-2	-	T-17	69	20	235	-	-	完形	03.01.10	
-	1306-B	-	13-2	-	T-17	52	48	23	110	-	完形	03.01.10	
-	1306-C	-	13-2	-	T-17	-	37	11	66	-	B	03.12.12	
-	1306-D	-	13-2	-	T-17	59	38	11	51	-	C	03.12.12	
-	1451	-	13-2	-	T-17	75	40	-	87	-	C	03.02.07	
-	1375-A	-	13-2	-	T-18	69	40	15	106	-	完形	03.01.15	
-	1535	-	13-2	-	T-18	63	-	-	59	-	C	03.02.07	SH接着による半長操作
-	1538	-	13-2	-	T-18	-	-	-	61	-	D	03.02.07	
-	1307	-	13-2	-	T-18	54	35	11	78	-	完形	03.12.12	
31	1375-B	81	13-2	-	T-18	-	-	-	25	-	D	03.01.15	タキ半形
-	1305-A	-	13-2	-	U-15	-	38	-	29	-	D	03.12.02	
-	1305-B	-	13-2	-	U-15	-	-	15	27	-	D	03.12.03	
-	1305-C	-	13-2	-	U-15	-	-	-	19	-	D	03.12.03	
-	1343-A	-	13-2	-	U-16	74	40	-	52	-	C	03.01.09	
-	1342-E	-	13-2	-	U-16	-	-	16	67	-	D	03.01.09	
-	1346	-	13-2	-	U-16	-	-	13	69	-	B	03.01.09	
-	1417-D	-	13-2	-	U-16	56	-	-	18	-	C	03.01.31	
-	1417-E	-	13-2	-	U-16	79	48	27	165	-	完形	03.01.31	
-	1417-C	-	13-2	-	U-16	65	46	20	137	-	完形	03.01.31	
-	1417-E	-	13-2	-	U-16	-	-	-	26	-	D	03.01.31	
-	1417-A	-	13-2	-	U-16	67	45	17	144	83	完形	03.01.31	
-	1326	-	13-2	-	U-17	58	40	12	99	-	完形	03.01.06	
-	1327-A	-	13-2	-	U-17	-	45	9	62	-	B	03.01.05	
-	1227-B	-	13-2	-	U-17	-	-	-	13	-	D	03.01.06	
-	1385	-	13-2	-	U-17	41	43	14	72	-	A	03.01.17	
-	1426	-	13-2	-	U-17	96	56	13	203	-	A	03.01.31	
-	1314-A	-	13-2	-	U-18	38	39	15	64	-	完形	03.12.18	
-	1314-B	-	13-2	-	U-18	33	47	13	197	-	A	03.12.18	
-	1314-C	-	13-2	-	U-18	-	47	12	74	-	B	03.12.18	
-	1314-D	-	13-2	-	U-18	-	-	-	28	-	D	03.12.18	
-	1308-A	-	13-2	-	U-18	73	41	11	133	-	A	03.12.12	
-	1308-B	-	13-2	-	U-18	54	35	16	68	-	A	03.12.12	
-	1386-A	-	13-2	-	U-18	92	53	16	156	-	B	03.01.15	SH接着による全長、孔溝存
-	1386-B	-	13-2	-	U-18	-	57	18	117	-	D	03.01.15	
-	1386-C	-	13-2	-	U-18	-	-	-	44	-	D	03.01.15	
-	1386-D	-	13-2	-	U-18	-	-	-	30	-	D	03.01.15	
-	1386-E	-	13-2	-	U-18	-	-	-	14	-	D	03.01.15	
-	1386-F	-	13-2	-	U-18	-	-	-	8	-	D	03.01.15	
-	1390	-	13-2	-	U-18	-	-	-	53	-	D	03.01.17	
-	1389-B	-	13-2	-	U-19	-	-	-	15	-	D	03.01.06	
-	1395	-	13-2	-	U-19	71	45	15	141	-	完形	03.01.07	
-	1371-A	-	13-2	-	U-19	103	44	17	179	-	完形	03.01.15	
-	1371-B	-	13-2	-	U-19	-	53	18	94	-	B	03.01.15	4/4接着による後存
-	1371-C	-	13-2	-	U-19	-	42	15	81	-	D	03.01.15	
-	1371-D	-	13-2	-	U-19	-	-	-	35	-	D	03.01.15	
-	1371-E	-	13-2	-	U-19	-	-	-	10	-	D	03.01.15	
-	1371-F	-	13-2	-	U-19	-	-	-	7	-	D	03.01.15	
-	1380-A	-	13-2	-	U-19	91	47	11	235	-	完形	03.01.15	
-	1380-B	-	13-2	-	U-19	61	45	20	76	-	C	03.01.15	
-	1381-A	-	13-2	-	U-19	73	50	18	201	-	完形	03.01.17	
-	1381-B	-	13-2	-	U-19	59	48	15	141	-	完形	03.01.17	
-	1391-C	-	13-2	-	U-19	86	50	19	151	-	A	03.01.17	
-	1391-D	-	13-2	-	U-19	-	22	-	46	-	D	03.01.17	
-	1420-A	-	13-2	-	U-19	75	48	20	106	-	完形	03.01.31	
-	1420-B	-	13-2	-	U-19	74	51	24	214	-	完形	03.01.31	
-	1420-C	-	13-2	-	U-19	86	-	-	66	-	C	03.01.31	

標識番号	登記番号	写真枚数	区	遺傳	グリップ	全長 (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	重量 (g)	水巾 面積(cm ²)	生存状態	取上日	備考
-	1420-D	-	13-2	-	U-9	-	-	-	19	-	D	03.01.31	
30	1329-A	88	13-2	-	U-19	74	35	5	45	-	完形	03.01.06	鵠軟西城牙孔
-	1336	-	13-2	-	U-20	65	51	9	34	-	B	03.01.07	
-	1372	-	13-2	-	V-19	49	46	15	73	-	C	03.01.15	
-	1388	-	13-2	-	V-19	-	-	-	53	-	D	03.01.20	
-	1348	-	13-2	-	V-19 V-20	79	41	15	116	-	完形	03.01.08	
-	1395-A	-	13-2	-	V-20	71	41	14	115	-	完形	03.01.17	
-	1395-B	-	13-2	-	V-20	-	-	-	18	-	D	03.01.17	
-	1296	-	13-2	--	V-20	-	-	-	29	-	D	03.01.20	
-	1356-A	-	13-2	-	-	-	-	23	34	-	D	03.01.10	
-	1356-B	-	13-2	-	-	-	40	14	32	--	D	03.01.10	
-	1283-A	-	13-2	-	-	68	37	12	104	-	完形	02.11.27	
-	1283-B	-	13-2	-	-	-	-	-	11	-	D	02.11.27	
-	1294	-	13-2	-	-	40	44	19	65	-	完形	02.11.28	
-	1288	-	13-2	-	-	40	44	14	68	-	B	02.11.29	
-	1392	-	13-2	-	-	-	41	9	96	-	B	02.12.03	
-	1294	-	13-2	-	-	-	-	-	11	-	D	02.12.03	
-	1429-A	-	13-2	-	-	-	-	-	17	-	D	03.01.22	
-	1400-B	-	13-2	-	-	-	-	-	17	-	D	03.01.22	
-	1434-A	-	13-2	-	-	84	41	21	151	-	完形	03.01.31	
-	1434-B	-	13-2	-	-	80	47	21	167	-	完形	03.01.31	
-	1593	-	13-2	-	-	-	43	18	102	-	B	03.02.12	
-	1580	-	13-2	--	-	76	49	23	184	-	完形	02.02.04	
-	1691	-	13-2	--	-	72	45	12	128	-	完形	02.02.27	
33	1993	88	15	SD409	-	56	44	22	148	68	完形	02.12.11	
-	1340-B	-	15	SD409	U-17	60	53	22	91	51	完形	03.01.09	
32	2016	88	15	SP410	-	57	49	17	191	108	完形	02.12.25	
-	1780	-	15	SR401	Z-13	80	49	26	96	-	C	02.10.25	片鱗合
-	1811	-	15	SR401	Z-13	-	44	18	40	-	D	02.11.06	
-	1617	-	15	SR401	Z-13	74	50	20	170	101	完形	02.11.07	
-	1830	-	15	-	V-14	-	55	20	59	-	D	02.11.15	
-	1915	-	15	-	W-14	60	40	15	65	-	B	02.11.15	片鱗合による乳頭存
-	1943-A	-	15	-	W-14	85	48	21	154	84	A	02.11.27	
-	1943-B	-	15	-	W-14	81	38	15	78	-	B	02.11.27	
-	1581	-	15	-	W-15	66	41	18	43	-	C	02.11.15	
-	1755-A	-	15	-	X-13	78	49	20	151	-	A	02.10.17	
-	1755-B	-	15	-	X-12	65	43	16	59	-	C	02.10.17	
-	1755-C	-	15	-	X-13	55	-	-	28	-	C	02.10.17	
-	1755-D	-	15	-	X-13	-	41	16	38	-	D	02.10.17	
-	1756-E	-	15	-	X-13	-	-	-	18	-	D	02.10.17	
-	1759	-	15	-	X-14	-	46	-	50	-	D	02.10.18	
-	1925	-	15	-	X-14	73	60	28	138	74	B	02.11.22	
-	1744-A	-	15	-	X-15	-	38	15	41	-	E	02.10.11	
-	1744-B	-	15	-	X-15	-	37	15	24	-	D	02.10.11	
-	1861-A	-	15	-	X-15	79	40	18	114	-	A	02.11.14	
-	1861-B	-	15	-	X-15	-	51	14	99	-	B	02.11.14	
-	1861-C	-	15	-	X-15	-	-	-	31	-	D	02.11.14	
-	1861-D	-	15	-	X-15	-	-	17	29	-	D	02.11.14	
-	1875-A	-	15	-	X-15	71	44	18	151	71	A	02.11.15	
-	1875-B	-	15	-	X-15	-	-	-	27	-	D	02.11.15	
-	1875-C	-	15	-	X-15	-	-	-	19	-	D	02.11.15	
-	1875-D	-	15	-	X-15	-	-	-	18	-	D	02.11.15	
-	1912	-	15	-	X-15	-	-	-	35	-	D	02.11.18	
-	1935-A	-	15	-	X-15	87	-	-	61	-	C	02.11.26	
-	1935-B	-	15	-	X-15	-	46	13	71	-	C	02.11.26	

標本番号	生年番号	算定年齢	区	遺構	測定	全長 (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	重量 (g)	水中 重量(g)	保存状態	取上口	備考
-	1738	-	15	-	X-15	-	48	21	71	-	C	02.10.11	
-	1852-A	-	15	-	Y-15	59	46	19	60	-	C	02.11.13	
-	1853-B	-	15	-	Y-15	-	39	18	30	-	D	02.11.13	
-	1921	-	15	-	Y-15	49	-	-	29	-	C	02.11.20	
-	1938-A	-	15	-	Z-14	96	52	23	164	94	A	02.11.26	2片接着
-	1938-B	-	15	-	Z-14	-	-	-	3	-	D	02.11.26	
-	1820	-	15	-	Z-15	-	42	29	60	-	B	02.11.11	
-	1853-A	-	15	-	Z-15	-	41	14	65	-	B	02.11.13	
-	1853-B	-	15	-	Z-15	69	-	-	51	-	C	02.11.13	
-	1853-C	-	15	-	Z-15	45	-	-	38	-	C	02.11.13	
-	1853-D	-	15	-	Z-15	-	-	-	48	-	D	02.11.13	
-	1859	-	15	-	Z-15	77	54	21	185	102	完形	02.11.14	
-	1821-A	-	15	-	Z-15 Z-16	70	28	12	105	57	完形	02.11.07	
-	1821-B	-	15	-	Z-15 Z-16	-	49	13	57	-	B	02.11.07	
-	1821-C	-	15	-	Z-15 Z-15	67	44	19	65	-	C	02.11.07	
39	1823	88	15	-	Z-15	70	28	15	162	89	完形	02.11.07	
-	1835	-	15	-	Z-16	63	45	22	116	64	完形	02.11.11	
-	1806	-	15	-	Z-16	-	52	--	57	-	D	02.11.18	
-	1925-A	-	15	-	Z-16	49	-	-	48	-	C	02.11.20	
-	1925-B	-	15	-	Z-16	-	-	-	16	-	D	02.11.20	
34	1707	88	15	-	中央	46	45	14	93	-	完形	02.08.29	
-	1708	-	15	-	-	68	50	19	160	-	完形	02.08.21	
-	1705	-	15	-	-	65	49	15	83	-	B	02.08.27	
-	1711-A	-	15	-	-	78	43	14	154	-	完形	02.09.09	
-	1711-B	-	15	-	-	81	47	16	153	-	A	02.09.09	3片接着による全長、孔残存
-	1711-C	-	15	-	-	51	46	23	47	-	C	02.09.09	
-	1712-A	-	15	-	--	65	44	14	144	-	完形	02.09.10	
35	1712-B	88	15	-	--	62	36	13	72	-	完形	02.09.10	
-	1712-C	--	15	-	--	54	14	115	-	-	B	02.09.10	
36	1714	88	15	-	--	70	53	20	200	-	完形	02.09.11	
-	1715-A	-	15	-	-	-	45	20	118	-	B	02.09.12	
-	1715-B	-	15	-	-	-	-	-	25	-	D	02.09.12	
37	1715-A	88	15	-	-	82	41	13	153	-	完形	02.09.13	
-	1715-B	-	15	-	-	-	-	-	49	-	D	02.09.13	
36	1717-A	88	15	-	-	74	45	17	188	-	完形	02.09.13	
-	1717-B	-	15	-	-	71	48	23	137	-	A	02.09.18	
-	1718-A	-	15	-	-	22	46	14	115	-	B	02.09.18	
-	1718-B	-	15	-	-	-	-	--	63	-	D	02.09.18	
-	1718-C	-	15	-	-	-	43	21	46	-	D	02.09.18	
-	1720	-	15	-	-	83	53	-	95	-	C	02.09.19	
-	1722	-	15	-	-	-	-	19	31	-	D	02.09.24	
-	1730	-	15	-	-	64	53	18	101	-	完形	02.10.04	
-	1775	-	15	-	-	-	47	17	108	-	B	02.10.25	
-	1776	-	15	-	-	78	46	14	156	-	完形	02.10.25	
-	1792	--	15	-	-	71	40	13	122	68	完形	02.10.25	
-	1848	-	15	-	--	52	35	-	31	-	C	02.11.13	
-	1874	-	15	-	-	68	49	17	88	-	C	02.12.06	

残存状態分類模式図



(一部欠損)



(管状に残存)



(半缺状に残存)



(小破片)

表6 土製品一覧

測定番号	等高線	区	地名	グリット	種別	全長 (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	重量 (g)	取上日	備考
40	89	11	SP9	-	土縫	36.5	10.5	4.0	3.4	01.11.05	
41	89	11	SP20	-	土縫	-	10.5	4.0	2.9	01.12.19	
42	89	11	SP29	-	土縫	-	9.5	2.0	2.5	01.11.02	
43	89	11	SP43	-	土縫	-	8.5	3.0	1.2	01.11.02	
44	89	11	SP91	-	土縫	39.0	12.0	4.0	6.7	01.12.19	
45	89	11	SP94	-	土縫	-	9.0	4.0	1.7	01.12.19	
46	89	11	SP95	-	土縫	-	8.5	4.0	1.3	-	
47	89	11	SP115	-	土縫	45.0	9.5	3.0	5.1	01.12.19	
48	89	11	SD03	-	土縫	-	10.5	5.0	2.1	01.07.13	
49	89	11	SD4	J-7	土縫	37.0	13.5	3.0	6.8	01.10.23	
50	89	11	SD4	K-7	土縫	41.0	13.5	4.0	6.4	01.11.01	
51	89	11	SD4 SD08 SD09	-	土縫	-	9.5	5.0	2.8	01.09.05	
52	89	11	SD09	-	土縫	38.0	14.5	4.0	6.4	01.06.01	
53	89	11	SD12	-	土縫	32.0	9.0	4.0	1.9	01.10.16	
54	89	11	SD12	-	土縫	-	10.0	4.0	3.7	01.10.24	
55	89	11	SH01	-	土縫	37.0	13.0	4.0	5.2	01.07.19	
56	89	11	SR8	-	土縫	43.0	14.0	4.0	6.9	01.11.02	
57	89	11	-	-	土縫	34.0	9.5	4.0	1.7	01.08.01	
58	89	11	-	L-SNE	土縫	31.5	9.5	3.0	2.3	02.02.31	
59	89	11	-	-	土縫	36.0	11.5	3.0	4.0	-	
60	89	11	-	L-SNE	土縫	31.0	14.0	5.0	5.2	02.02.21	
61	89	11	-	K-2N	土縫	49.0	14.5	3.0	7.7	02.02.21	
62	89	11	-	K-2N	土縫	40.0	16.5	7.0	8.6	02.02.21	
63	89	11	-	K-4	土縫	36.0	23.0	10.0	16.6	01.10.34	
64	89	14	SP265	-	土縫	-	11.0	4.0	3.5	02.09.04	
65	89	14	SP200	-	土縫	37.0	11.0	4.0	4.8	02.10.18	
66	89	14	SP267	-	土縫	-	8.0	3.0	1.5	02.11.27	
67	89	14	SP317-1	-	土縫	35.5	11.5	3.0	4.2	02.12.16	
68	89	14	SP327	-	土縫	44.0	9.0	4.0	3.1	02.12.16	
69	89	14	SP329	-	土縫	38.0	12.5	4.0	5.2	02.12.27	
70	89	14	SP330	-	土縫	35.5	14.5	5.0	5.3	02.12.27	
71	89	14	SP332	-	土縫	43.5	12.5	4.0	5.2	02.12.27	
72	89	14	SP305	-	土縫	-	11.0	2.0	1.8	02.09.03	
73	89	14	SD233	-	土縫	34.5	14.0	3.0	6.8	02.07.24	
74	89	14	-	-	土縫	38.5	9.0	2.0	5.1	02.07.15	
75	89	14	SD605	F-SN	土縫	36.0	10.0	3.0	3.0	02.07.06	
76	89	14	SD235	-	土縫	41.0	95.0	3.0	3.2	02.11.19	
77	89	14	SD106	-	土縫	43.0	11.0	5.0	4.5	02.11.18	
78	89	14	SD205	-	土縫	42.0	11.0	3.0	4.7	02.11.18	
79	89	14	SD205	-	土縫	-	10.5	4.0	3.0	02.11.18	
80	89	14	SD205	-	土縫	37.0	14.0	4.0	5.8	02.11.18	
81	89	14	SD295	-	土縫	42.0	15.0	5.0	7.7	02.11.14	
82	89	14	SD206	-	土縫	43.0	24.5	8.0	28.3	02.07.15	
83	89	14	SD267	-	土縫	40.5	25.0	11.0	18.0	02.07.24	
84	89	14	SD298	-	土縫	37.0	16.0	5.0	9.2	02.09.04	
85	89	14	SD263	-	土縫	44.5	22.0	11.0	15.0	02.06.07	
86	89	14	SD299	-	土縫	40.0	11.5	4.0	4.1	02.11.18	
87	89	14	SD201	-	土縫	-	95.0	3.0	1.7	02.06.10	
88	89	14	SD203	-	土縫	26.0	8.0	3.0	1.3	02.04.22	
89	89	14	SD202	H-4	土縫	29.5	9.0	3.0	1.6	02.04.22	

表7 石製品一覧

空石材の同定は、伊藤通玄先生（静岡大学名誉教授）による。

番号	河川 番号	区	種類	グリッド	種別	石材	色調	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	孔径 (mm)	重量 (kg)	備考
1	2	13-2	SX309	-	勾玉	滑石	暗灰緑色	35	21	10	3	-	出土標高 19cm
2	2	13-2	SX309	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	19	7	7	3	-	出土標高 19cm
3	2	13-2	SX309	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	18	6	5	2	-	出土標高 19cm
4	2	15	-	-	勾玉	滑石	暗灰緑色	31	18	87	3	-	出土標高 45cm
5	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	33	8	7	2	-	出土標高 23cm
6	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	27	8	7	3	-	出土標高 17cm
7	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	23	7	7	3	-	出土標高 17cm
8	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	23	7	7	3	-	出土標高 17cm
9	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	22	7	7	3	-	出土標高 17cm
10	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	19	7	6	3	-	出土標高 17cm
11	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	19	7	6	3	-	出土標高 18cm
12	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	20	7	7	3	-	出土標高 17cm
13	2	15	SX412	-	菅玉	滑石	暗灰緑色	4	7	7	2	-	出土標高 31cm
14	91	13-2	-	T-18	菅谷下明 不透明	透紋岩質寶石底座 …掩蔽部(断面) …掩蔽部(外観)	暗灰緑色(断面) …掩蔽部(外観)	42	16	13	-	13	天竜川・豊川水系
15	91	11	SR8	-	切削車	滑石	暗緑色	60	59	18	-	73	乗合む
16	91	15	1月橋 (SD490)	-	切削車	滑石	暗灰緑色	42	43	11	-	29	
17	91	13-1	SD303	-	大型船羽 石斧	麥哲羅岩	暗緑色	135	61	40	-	572	天竜川・豊川水系、黒褐色 シルト層出し
18	92	11	SD12	-	研臼	合鴨粉粒砂岩	暗灰緑色	鶴見高 42	110 (270)	器厚34	-	-	多羅原の片岩混在、遠方の 石材? 天竜川水系?
19	92	11	-	-	研臼	合鴨粉粒砂岩	茶褐~暗緑色	鶴見高 41	-	器厚22	-	-	多羅原の片岩混在、遠方の 石材? 天竜川水系?
20	92	11	SP124	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	36	39	15	-	60	天竜川・豊川水系
21	92	11	SD06	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	75	32	21	-	86	天竜川・豊川水系
22	92	11	SD12	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	62	31	9	-	28	天竜川・豊川水系
23	92	11	SD38	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	62	42	10	-	50	天竜川・豊川水系
24	92	11	-	E-9	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	70	60	20	-	91	天竜川・豊川水系
25	92	11	-	K-8	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	101	51	22	-	135	天竜川・豊川水系
26	92	11	ST92 磨切	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	77	32	24	-	60	天竜川・豊川水系
27	92	11	-	E-8	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	81	31	26	-	98	天竜川・豊川水系
28	92	11区西	-	Q-8N	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	67	49	35	-	140	天竜川・豊川水系
29	92	11	-	K-7	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	158	59	57	-	376	天竜川・豊川水系
30	92	11	-	L-103	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	48	72	26	-	114	天竜川・豊川水系
31	93	13-1	-	E-5S	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	56	53	13	-	126	天竜川・豊川水系
32	92	11区	SD204	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	76	37	28	-	94	天竜川・豊川水系、黒褐色 シルト層出し
33	92	13-2	-	T-16	研石	粗面岩質寶石底座	暗灰緑色	230	91	55	-	1948	天竜川・豊川水系
34	92	13-2	-	W-30	研石	細緻岩質寶石底座	暗灰緑色	94	39	31	-	273	天竜川・豊川水系
35	92	13-2	-	S-17	研石	粗面岩質寶石底座	暗灰緑色	118	56	30	-	206	天竜川・豊川水系
36	93	13-2	-	T-17	研石	細緻質介殻砂岩	暗灰緑色	172	159	78	-	3615	天竜川・豊川水系
37	-	13-2	-	U-17	研石	粗面岩質寶石底座	暗灰緑色	53	53	18	-	72	天竜川・豊川水系
38	93	14	SD240	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	60	34	15	-	56	天竜川・豊川水系
39	93	14	SP214	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	84	53	26	-	129	天竜川・豊川水系
40	93	14	SD302	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	73	60	23	-	105	天竜川・豊川水系
41	93	14	SD265	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	98	54	11	-	88	天竜川・豊川水系
42	93	14	SD205	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	102	39	11	-	66	天竜川・豊川水系
43	93	14	SD235	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	80	48	30	-	147	天竜川・豊川水系
44	93	14	SD205	-	研石	透紋岩質寶石底座	透黃褐色	103	58	32	-	443	天竜川・豊川水系
45	93	14	SE221	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	84	19	32	-	72	天竜川・豊川水系
46	93	14	SD206	-	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	132	57	35	-	350	天竜川・豊川水系
47	93	14	-	F-5	研石	透紋岩質寶石底座	暗灰緑色	79	67	26	-	139	天竜川・豊川水系
48	93	14	-	F-6	研石	透紋岩質寶石底座	透黃褐色	46	35	8	-	23	天竜川・豊川水系
49	93	15	-	Y-15	研石	透紋岩質寶石底座	透黃褐色	70	50	15	-	64	天竜川・豊川水系

表8 金属製品一覧

発行番号	右記版	区	種別	グリッド	細類	材質	長さ(㎜)	横幅(㎜)	厚さ(㎜)	取上日	備考
1	95	13	SK317	-	直彫	鋼	27	30	8	03.01.18	
2	94	11	SP393	-	刀子	鉄	(134)	11	3	01.11.03	刀身長: 101mm
3	94	11	SP393	-	刀子?	鉄	(30)	(11)	2	01.11.02	
4	95	11	SD4	-	笄	鉄	(100)	14	2	01.09.07	
5	94	11	SD4 SD008 SD009	-	釘	鉄	(40)	13	5	01.09.05	
6	95	11	SD12	-	棒金長?	鋼	(53)	41	1	01.11.01	
7	94	11	-	L-3	鉤	鉄	(99)	11	7	02.02.26	
8	94	11	-	L-7	釘	鉄	(76)	13	7	01.10.20	
9	94	11	-	K-3S	笄	鉄	129	11	2	01.08.07	
10	94	14	SD205	-	棒先	鉄	(70)	4	4	02.07.15	裏りあり
11	94	14	SD205	-	釘	錫	(43)	13	6	02.11.18	
12	94	14	SD205	-	釘	鉄	(106)	(7)	(5)	02.11.18	裏りあり
13	94	14	SD209	-	不明	鉄	(44)	9	6	02.11.18	
14	94	14	SP201	H-3SW	鉗針	鉄	107	15	5	02.08.17	先端欠損、逆剥の箇所不明
15	94	14	SR201	-	和鐵	錫	90	-	棒高9	02.07.29	中央の孔: 棒17mm、上方の孔: 棒2mm、荷花文、柄粗又
16	94	14	SR203	-	釘?	鉄	(37)	14	7	02.06.17	木質付當
17	94	14	SR204	-	刀子?	鉄	(125)	(11)	2	02.02.04	折れ曲がり
18	94	14	SR206	-	小柄	真鍮?、鉄	(65)	16	5	02.09.04	総長: 90mm、刀身無存
19	94	14	SR206	-	蓋?	鉄	75	72	23	02.11.20	
20	96	14	SR206	-	火薬	鉄	(288)	7	4	02.07.29	折れ曲がり、握りあり
21	94	14	SR206	-	鉗先?	鉄	(56)	6	5	02.07.29	
22	94	14	-	J-6N	小柄	銅・鉄	(52)	12	4	02.08.07	刀身無存
23	94	14	-	F-5	小柄	錫	(36)	14	5	02.05.23	
24	94	14	-	F-5N	不明	錫	33	9	-	02.05.24	錫目あり、中空
25	94	14	SD201	i-5	不明	鉄	(60)	20	7	02.04.18	
26	94	14	-	F-5 G-5	釘	鉄	(94)	15	3	02.11.18	
27	94	14	-	I-5	釘	鉄	(32)	9	4	02.04.10	
28	94	14	-	I-6N	釘	錫	(45)	19	5	02.07.24	
29	96	14	-	G-3	錫	鉄	52	41	5	02.11.27	口鈍部欠損か不明
30	97	11	SD206	-	輪形座	錫	60	64	32	02.03.05	
31	97	14	SD205	--	鍵	鉄	87	58	6	02.11.18	下間に彎さ約10mmの枯土付着
32	97	14	SR205	-	舟金風	錫	42	20	-	02.11.20	茎文、19と併存

表 9 網鉄一覧

番号 高さ	作形 番号	表面 起伏	試	遺物名	グリッド	層位	西文	書体	最大幅 (m)	最大幅厚 (m)	取上日	備考
1	17	98	11	SP54	-	I層	永樂通寶	真書	25.1	1.5	01.11.02	
2	18	98	11	SP70	-	I層	元祐通寶	真書	23.7	1.5	01.11.02	
3	25	98	11	SP115	-	II層	永祐通寶	真書	26.1	1.5	01.12.19	
4	28	98	11	SP179	-	III層	皇祐通寶	真書	24.6	1.4	02.03.01	
5	11	98	11	SD4	K-TN		祐祐元寶?	真書	24.8	1.3	01.10.12	
6	24	98	11	SD4	-	I層	祐祐元寶	真書	25.1	1.5	01.12.14	
7	24	98	11	SD4	-	I層	天祐元寶	真書	25.2	1.4	01.12.14	
8	26	98	11	-	K-SN	甲種	崇寧通寶	篆書	24.9	1.5	02.02.21	墨跡
9	9	98	11	-	K-SN	甲種	永祐通寶	真書	25.1	1.5	01.09.29	
10	9	98	11	-	K-SN	甲種	元祐通寶	篆書	24.3	1.5	01.09.29	
11	9	98	11	-	K-SN	甲種	祐祐通寶	真書	25.2	1.1	01.09.29	
12	3	98	11	-	K-SN	甲種	祐祐通寶	篆書	25.2	1.5	01.09.29	
13	8	98	11	-	K-SN	甲種	崇寧通寶	篆書	25.1	1.2	01.09.29	
14	8	98	11	-	K-SN	甲種	崇寧通寶	真書	25.4	1.5	01.09.29	
15	8	98	11	-	K-SN	甲種	崇寧通寶	真書	24.7	1.5	01.09.29	
16	8	98	11	-	K-SN	甲種	崇寧通寶	真書	24.2	1.0	01.09.29	
17	8	98	11	-	K-SN	甲種	元祐通寶	篆書	24.6	1.5	01.09.29	
18	21	98	11	-	K-S	I層	永祐通寶	真書	25.1	1.4	01.11.16	
19	21	98	11	-	K-S	I層	和祐元寶	真書	24.4	1.1	01.11.16	
20	21	98	11	-	K-S	I層	洪武通寶	真書	23.2	1.8	01.11.16	
21	23	98	11	-	K-S	II層	元祐通寶	行書	24.0	1.5	01.11.22	
22	29	98	11	-	L-7	II層	元祐通寶	篆書	25.3	1.1	02.03.01	
23	16	98	11	-	M-10	I層	崇寧通寶	篆書	24.7	1.0	01.11.02	
24	23	98	11	-	M-10	I層	天祐元寶	篆書	25.2	1.4	01.11.16	
25	10	98	11	-	O-SN	卯字層	永祐通寶	真書	25.2	1.5	01.09.29	
26	10	98	11	-	O-SN	卯字層	-	真書	21.9	1.4	01.09.29	
27	12	98	11	-	J-TN	庚子層	天祐通寶	真書	24.6	1.3	01.10.15	
28	12	98	11	-	J-TN	庚子層	-	真書	23.7	1.2	01.10.15	
29	13	98	11	-	-	Ib 1巻編	火照光寶	篆書	24.4	1.6	01.10.23	
30	14	98	11	-	-	Ib 1巻編	元祐通寶	行書	24.8	1.2	01.10.25	
31	14	98	11	-	-	Ib 1巻編	元祐通寶	行書	25.8	1.2	01.10.25	
32	14	98	11	-	-	Ib 1巻編	景祐元寶	真書	25.2	1.2	01.10.25	
33	1	98	12	SP101	-	-	元祐通寶	行書	24.4	1.4	01.07.31	No.1 (L=1.47m)
34	2	98	12	SP101	-	-	元祐通寶	行書	24.8	1.3	01.07.31	No.2 (L=1.45m)
35	3	98	12	SP101	-	-	元祐通寶	行書	24.7	1.4	01.07.31	No.3 (L=1.46m)
36	4	98	12	SP101	-	-	元祐通寶	真書	24.2	1.2	01.07.31	No.4 (L=1.44m)
37	5	98	12	SP101	-	-	至和通寶	真書	24.6	1.1	01.07.31	No.5 (L=1.45m)
38	5	98	12	SP101	-	-	崇祐通寶	行書	25.3	1.1	01.07.31	No.6 (L=1.46m)
39	83	98	12	SP103	-	-	祐祐元寶	篆書	24.3	1.0	02.10.15	喜がトの状態で出土
40	84	98	12	SP103	-	-	崇祐元寶	篆書	23.9	1.3	02.10.15	喜がトの状態で出土
41	85	98	12	SP103	-	-	元祐通寶	篆書	24.5	1.4	02.10.15	
42	85	98	12	SP103	-	-	-	真書	25.0	1.4	02.10.15	
43	85	98	12	SP103	-	-	-	真書	24.4	1.4	02.10.15	
44	86	98	12	SP103	-	-	成平元寶	真書	24.2	1.1	02.10.15	「元」の字が見て出土
45	49	98	13	-	2-65	I層	淳化元宝	真書	23.8	1.5	02.06.04	
46	75	99	14	SP225	-	-	-	真書	23.5	-	02.06.07	
47	81	99	14	SP225	-	Ⅲ層	皇宋通寶	篆書	23.7	1.0	02.10.14	
48	87	99	14	SP226	-	-	元祐通寶	篆書	23.9	1.6	02.10.16	
49	87	99	14	SP226	-	-	人頭通寶	真書	25.0	1.5	02.10.18	
50	106	99	14	SP317-1	-	-	元祐通寶	篆書	24.1	1.4	02.12.16	
51	105	99	14	SP224	-	Ⅲ層	皇宋通寶	篆書	24.4	1.4	02.12.13	
52	105	99	14	SP224	-	Ⅲ層	皇宋通寶	篆書	24.3	1.2	02.12.13	
53	105	99	14	SP224	-	Ⅲ層	-	真書	25.1	1.4	02.12.13	
54	43	99	14	SP203	H-4	I層	洪武通寶	真書	23.0	1.7	02.06.14	
55	60	99	14	SD201	-	II層	永祐通寶	真書	25.0	1.5	02.07.15	
56	60	99	14	SD201	-	II層	皇宋通寶	篆書	24.0	1.2	02.07.15	
57	56	99	14	SD205	E-55	有字物語	永祐通寶	真書	25.0	1.2	02.07.05	
58	57	99	14	SD205	F-SN	有字物語	待特元寶	行書	25.8	1.4	02.07.05	
59	61	99	14	SD205	-	有字物語	永祐通寶	真書	24.9	1.5	02.07.15	

行番 番号	記号 番号	写真 出展	区	通路名	グリッド	標位	絵文	書体	最大幅 (m)	最大高幅 (m)	取上日	備考
60	55	99	14	SD095	-	-	皇宋通寶	真書	24.9	1.5	02.07.24	
61	65	99	14	SD096	-	-	元祐通寶	行書	21.4	1.2	02.07.25	(L=1.38m)
62	66	99	14	SD095	-	-	聖宋元宝	真書	24.8	1.4	02.07.26	(L=1.48m)
63	56	99	14	SD095	-	-	祥符元宝	真書	25.0	1.7	02.10.18	
64	69	99	14	SD095	-	-	皇宋通寶	真書	24.3	1.2	02.10.25	
65	90	99	14	SD095	-	-	元祐通寶	真書	21.0	1.6	02.11.05	
66	80	99	14	SD095	-	-	治平元宝	真書	21.0	1.4	02.11.05	
67	93	99	14	SD095	-	-	-	-	23.8	1.2	02.11.05	
68	90	99	14	SD095	-	-	政和通寶	真書	24.9	1.9	02.11.05	
69	95	99	14	SD095	-	-	皇宋通寶	真書	24.8	1.2	02.11.16	
70	102	99	14	SD095	-	-	崇元通寶	真書	24.7	1.7	02.11.28	
71	109	99	14	SD095	-	後上層	祐祐通寶	行書	24.3	1.4	02.12.25	
72	103	99	14	SD095	-	後上層	崇祐通寶	行書	24.8	1.2	02.12.25	
73	109	99	14	SD095	-	後上層	元祐通寶	行書	24.8	1.1	02.12.25	
74	103	99	14	SD095	-	後上層	國元通寶	真書	25.0	1.4	02.12.25	
75	109	99	14	SD095	-	後上層	祥符元宝	真書	25.2	1.8	02.12.25	
76	53	99	14	SR201	-	右側物櫈	聖宋元宝	行書	23.9	1.5	02.07.04	
77	64	99	14	SR201	-	右側物櫈	崇祐通寶	真書	24.3	1.5	02.07.25	
78	42	99	14	SR202	H-4	1層	元祐通寶	真書	25.1	1.4	02.05.09	
79	75	99	14	SR202	-	底層	政和通寶	真書	23.6	1.7	02.08.28	
80	80	99	14	SR202	-	底層	元祐通寶	真書	-	-	02.09.09	
81	50	100	14	SE005	-	I層	-	-	23.6	1.4	02.06.17	
82	50	100	14	SE005	-	I層	永祐通寶	真書	25.4	1.3	02.06.17	
83	50	100	14	SE005	-	I層	崇祐通寶	真書	24.4	1.4	02.06.17	
84	50	100	14	SE005	-	I層	國元通寶	真書	25.3	1.4	02.06.17	
85	50	100	14	SE005	-	I層	永祐通寶	真書	25.2	1.6	02.06.17	
86	73	100	14	SE004	-	-	-	-	22.5	1.7	02.09.04	
87	100	100	14	SE005	-	II層	洪武通寶	真書	23.8	1.7	02.11.20	
88	54	100	14	SE004	F-5	II層	永祐通寶	真書	23.4	1.6	02.06.24	
89	72	100	14	SX204	-	-	天祐天寶	真書	25.0	1.8	02.08.07	
90-A	72	100	14	SX204	-	-	聖宋元宝	真書	24.1	1.5	02.08.07	
90-B	72	100	14	SX204	-	-	政和通寶	真書	22.7	-	02.06.07	
91	45	100	14	-	E-5	I層	嘉祐元寶	真書	23.6	1.4	02.05.17	
92	48	100	14	-	F-5	I層	嘉祐元寶	行書	24.2	1.4	02.05.30	
93	48	100	14	-	F-5	I層	崇祐通寶	真書	24.5	1.8	02.05.30	
94	48	100	14	-	F-5	I層	-	真書	-	1.2	02.05.30	
95	46	100	14	-	F-5	I層	永祐通寶	真書	25.6	2.0	02.05.30	
96	43	100	14	-	F-5	I層	慶寧元宝	真書	24.8	1.8	02.05.30	
97	48	100	14	-	F-5	I層	永祐通寶	真書	24.4	1.7	02.05.30	
98	48	100	14	-	F-5	I層	-	真書	24.0	1.5	02.05.30	
99	48	100	14	-	F-5	I層	開寶通寶	真書	23.9	1.7	02.05.30	
100	48	100	14	-	F-5	I層	政和通寶	真書	24.8	1.7	02.05.30	
101	48	100	14	-	F-5	I層	天祐天寶	真書	24.7	1.7	02.05.30	
102	48	100	14	-	F-5	I層	政和通寶	真書	25.5	1.7	02.05.30	
103	45	100	14	-	F-5	I層	大觀通寶	真書	24.9	1.7	02.05.30	
104	46	100	14	-	F-5	I層	天祐通寶	真書	24.9	1.8	02.05.30	
105	94	100	14	-	F-5-G-5	II層	瑞寧元寶	真書	23.9	1.5	02.11.18	
106	94	100	14	-	F-5-G-5	II層	皇宋通寶	真書	25.5	1.5	02.11.18	
107	106	100	14	-	G-5-F-6	--	淳化元宝	真書	24.5	1.8	02.12.24	
108	58	100	14	-	G-5	I層	開元通寶	真書	23.0	1.1	02.04.10	
109	71	100	14	-	G-SW	-	聖宋元宝	真書	23.6	1.3	02.07.31	
110	74	100	14	-	G-RW	-	皇宋通寶	真書	24.6	1.2	02.07.31	
111	47	100	14	-	II-4S	Ib 層	開寶元寶	真書	24.9	1.5	02.08.24	
112	82	100	14	-	J-6	II層	至和通寶	真書	24.4	1.0	02.10.08	
113	110	100	14	-	IV-4R	III層	熙寧元宝	真書	23.2	1.3	02.12.27	
114	67	100	14	-	-	-	聖宋通寶	行書	24.1	1.6	02.07.30	

表10 動物遺存体一覧

脊動物遺存体の同定は、松井草先生・丸山真史氏による。

河川番号	採取番号	河川番号	区	遺構	グリッド	層位	種類	部位	発見日	備考
1	32	101	II	SD03	-	I層	ミズナガドリ骨	上顎骨(右)	02.05.05	
2	11	101	II	SD4	K-TN	I層	クジラ目?	-	01.10.12	
3	15	101	II	SD4	J-TS	I層	ウマ	頭骨(左)	01.10.28	小型馬、耳か細切断面、 鏡片?枚
4	16	101	II	SD4	J-TS	I層	ウシ	中手骨(左)	01.10.23	解剖
5	19	101	II	SD4	J-T	I層	ウシ	距骨	01.10.25	
6	1	101	II	SD05	-	I層	ウマ	切歯(上下不明)	01.07.15	老齢
7	1	101	II	SD06	-	I層	ウシ	上顎(第四前臼歯)	01.07.12	成駒
8	15	101	II	SD4	J-TS	I層	イシガメ/ツサガメ	中腹骨板(右)	01.10.22	
9	26	101	II	SD12	-	II層	イシジンブタ?	-	02.03.05	
10A	20	101	II	SD22	-	-	クジラ目?	-	02.03.05	
10B	30	101	II	SD22	-	-	クジラ目?	下顎?	02.03.05	
10C	30	101	II	SD22	-	-	クジラ目?	-	02.03.05	
10D	30	101	II	SD22	-	-	ウミガメ/オサガメ	椎管	02.03.05	
11	37	101	II	SD29	-	-	ウマ	上顎骨(左)	02.03.11	小型馬
12	37	101	II	SD29	-	-	ウマ	中手骨(左)	02.03.11	
13A	35	101	II	SD29	-	-	イシガメ/ツサガメ	尾骨	02.03.11	
13B	35	101	II	SD29	-	-	イシガメ/ツサガメ	中腹骨板(左)	02.03.11	
13C	35	101	II	SD29	-	-	サギ脚	上顎骨(右)近位	02.03.11	コサギクラス
13D	35	101	II	SD29	-	-	イシガメ/ツサガメ	頭骨骨(右)	02.03.11	
14	45	101	II	SD305	I-6	I層	ニホンジカ	落角	02.05.14	
15	46	101	II	トレンチ205	I-6	I層	ニホンジカ	迷角(右)	02.05.20	迷?切断痕
16	77	101	II	-	-	-	サメ脚	前	02.11.15	大型
17A	68	101	II	SR401	Z-13	-	ウツ	上顎臼歯	02.10.28	牡鹿、2号櫛、他歯片多枚
17B	68	101	II	SR401	Z-13	-	ウツ	上顎臼歯(右)	02.10.28	牡鹿、2号櫛、他歯片多枚
17C	68	101	II	SR401	Z-13	-	ウツ	上顎臼歯(左)	02.10.28	牡鹿、2号櫛、他歯片多枚

() 内付測定値

耳高番号	注記	耳高番号	区	遺構	層位	種類	長 (mm)	幅 (mm)	高 (mm)	取上日	備考
1	25	103	II	SD06	III層	前脚先端・新鶴足骨	-	-	-	02.03.19	欠損が多い
2	3	103	II	SD4	I層	カキ殻	-	-	-	01.07.24	欠損が多い
3	5	103	II	SD4	I層	ベンケイガイ?	-	-	-	01.08.01	欠損が多い
4	5	103	II	SD4	I層	コタマガイ?	-	-	(8)	01.08.01	
5	5	103	II	SD4	I層	カラガイ?	(36)	-	10	01.03.01	
6	5	103	II	SD4	I層	カラガイ	60	79	16	01.03.01	
7	5	103	II	SD4	I層	サトウガイ?	-	-	20	01.03.01	
8	9	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	カラガイ	55	-	10	01.09.05	
9	9	103	II	SD4+SD06+SD09	I層	カラガイ	(50)	12	01.09.05		
10	9	103	II	SD4+SD06+SD09	I層	カラガイ	57	-	15	01.09.05	
11	9	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	カラガイ	(50)	-	15	01.09.05	
12	9	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	ベンケイガイ?	37	-	18	01.09.05	
13	9	103	II	SD4+SD06+SD09	I層	ベンケイガイ?	79	91	24	01.09.05	
14	6	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	ベンケイガイ?	-	-	-	01.09.05	欠損が多い
15	8	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	サトウガイ	(61)	70	27	01.09.05	
16	9	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	サトウガイ?	-	-	30	01.09.05	欠損が多い
17	9	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	新鶴足骨・新鶴足骨	-	-	-	01.09.05	欠損が多い
18	9	103	II	SD4+SD08+SD09	I層	フネガイ科	-	-	-	01.09.05	欠損が多い
19	69	103	II	SD046	III層	ハマグリ	50	-	14	02.11.18	

表11 織物遺存体一覧

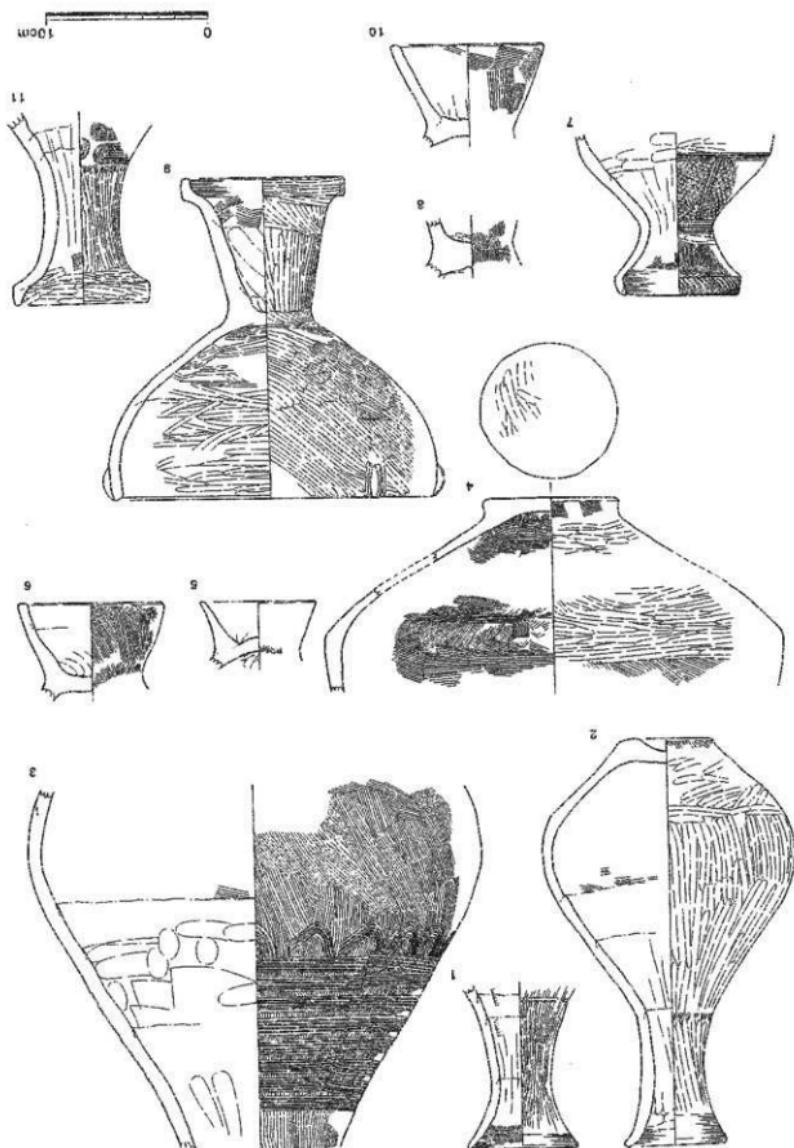
写真番号	登記番号	品目	区	遺構	グリッド	層位	先端部	小孔	しわの状態	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	取上日	備考
1	81	102	11	SD23	—	Ⅲ層	山形	有	太	25	19	14	02.03.05	
2	25	102	11	包含層	T-03	Ⅲ層	尖形	青	細	29	18	13	02.02.25	
3	20	102	11	—	—	Ⅰ層	山形	青	太	30	23	17	01.11.~	
4	44	102	13-1	SR202	P-13	Ⅰ層	丸形	無	中	24	—	17	02.05.02	
5	44	102	13-1	SR202	P-13	Ⅰ層	丸形	青	中	22	20	16	02.05.02	
6	44	102	13-1	SR202	P-13	Ⅰ層	—	有	中	(20)	19	—	02.05.02	丸端部欠損
7	83	102	13-1	SR202	P-18	Ⅰ層	—	—	中	—	16	15	02.04.26	先端部欠損
8	73	102	14	SP233	—	—	尖形	無	中	31	22	13	02.12.27	
9	74	102	14	SP234	—	—	尖形	無	大	22	19	14	02.12.28	
10	52	102	14	SD203	F-5N	青織物層	山形	—	太	28	22	16	02.07.05	
11	52	102	14	SD205	F-5N	青織物層	尖形	無	太	30	20	14	02.07.05	
12	54	102	14	SD205	—	青織物層	尖形	無	太	25	21	16	02.07.15	
13	54	102	14	SD205	—	青織物層	尖形	青	中	30	29	15	02.07.15	
14	54	102	14	SD205	—	青織物層	尖形	青	中	29	18	13	02.07.15	
15	58	102	14	SD205	—	—	尖形	左	太	31	20	14	02.07.25	
16	61	102	14	SD205	—	—	尖形	無	細	27	18	15	02.08.01	
17	61	102	14	SD205	—	—	—	青	中	25	18	14	02.08.01	先端部欠損
18	69	102	14	SD205	—	Ⅱ層	—	—	中	27	20	14	02.11.18	先端部欠損
19	69	102	14	SD205	—	Ⅲ層	尖形	無	太	32	19	13	02.11.18	
20	69	102	14	SD205	—	Ⅲ層	—	—	細	24	18	15	02.11.18	先端部欠損
21	69	102	14	SD205	—	Ⅲ層	山形	—	中	26	16	13	02.11.18	
22	500	102	14	SD205	—	Ⅲ層	尖形	無	太	30	19	14	02.11.07	
23	76	102	14	SR206	—	Ⅲ層	尖形	青	太	30	18	12	02.11.20	
24	56	102	14	SR206	—	—	山形	青	太	29	23	15	02.07.24	
25	50	102	14	包含層	F-GN	Ⅲ層	山形	有	中	30	18	14	02.06.19	
26	72	102	14	—	F-5 F-6	IV層	尖形	—	中	31	20	13	02.12.27	

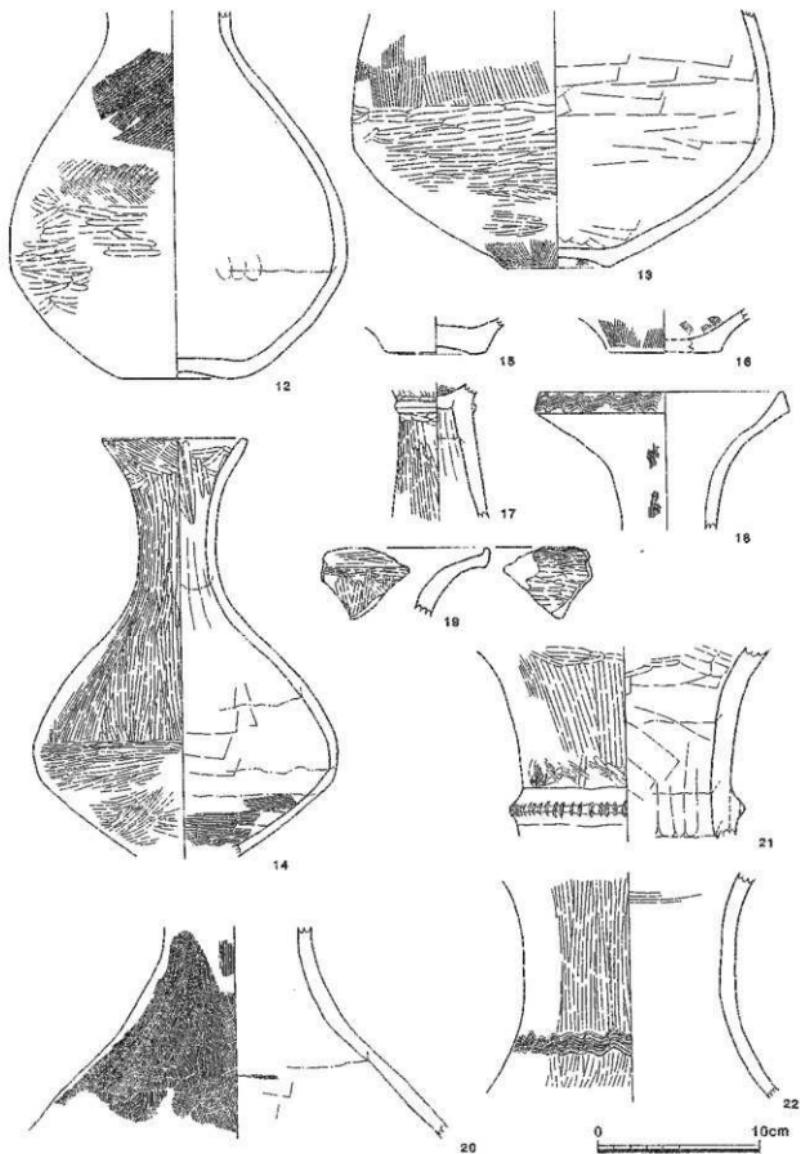
写真番号	登記番号	写真図版	区	遺構	層位	強度	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	取上日	備考
27	54	102	14	SD205	青織物層	胡桃	27	24	—	02.07.15	半板状
28	60	102	14	SD205	—	胡桃	—	22	—	02.07.20	半板状
29	28	102	11	SD12	Ⅴ層	松	62	50	(45)	02.03.05	
30	58	102	14	SR206	—	松	40	37	25	02.07.24	
31	61	102	14	SD205	—	松	27	—	—	02.06.01	欠陥著しい

※表11は、金原汇明・金原正子・松川駿平1990「和爾達跡出土稚糸と花粉分析」『奈良県遠賀郡去歌晩 1989年度』奈良県立博物考古学研究所を参考にして作成。

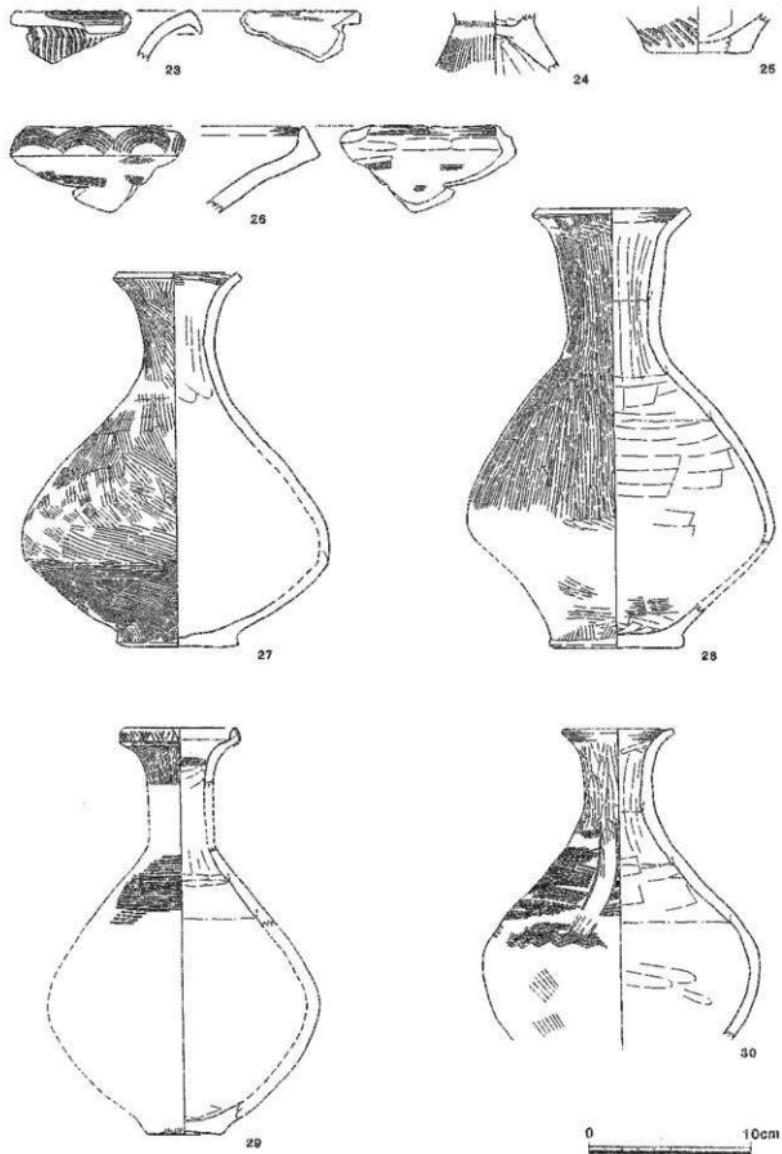
遺物実測図

第一圖 考生土器實測圖 (1)

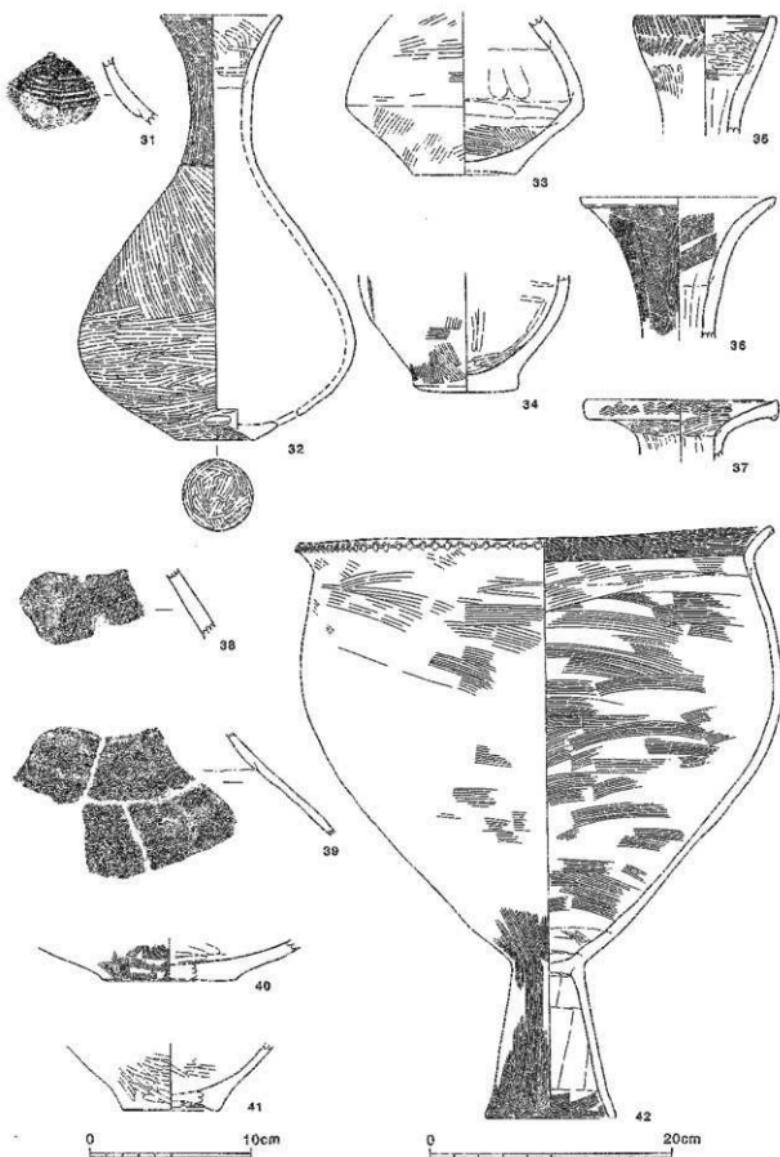




第2図
弥生土器実測図(2)

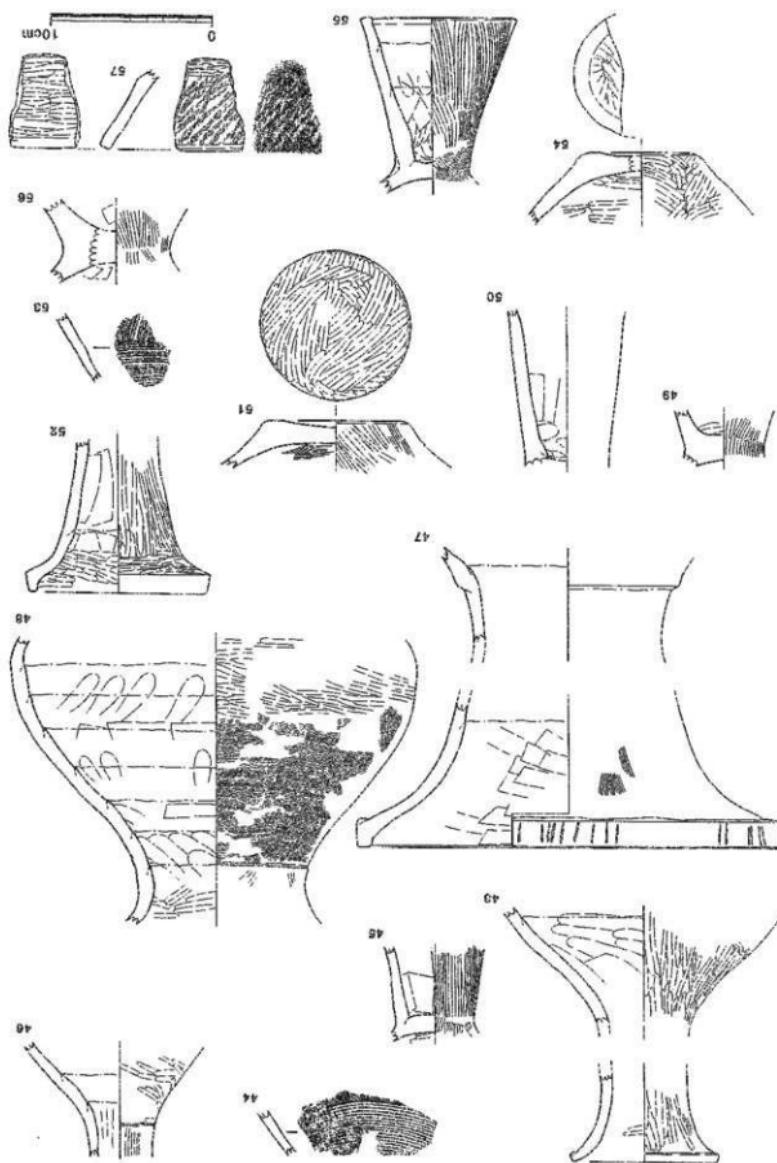


第3図 弥生土器実測図(3)

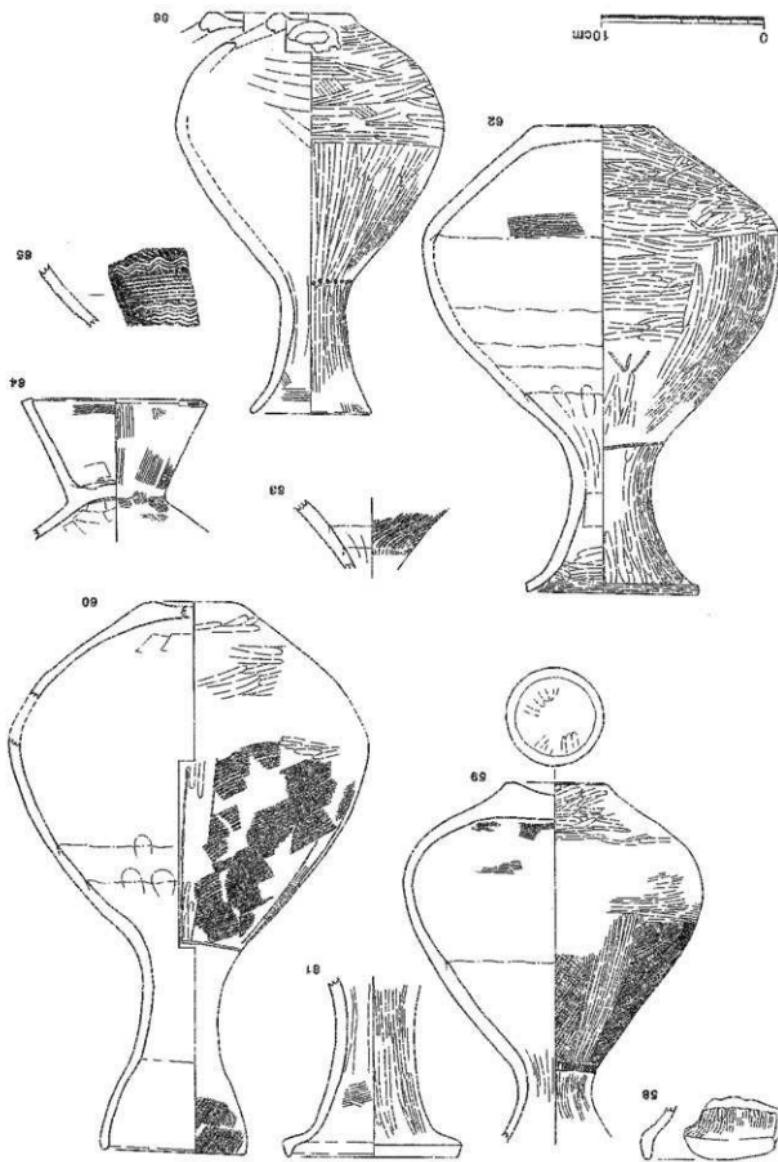


第4図
弥生土器実測図(4)

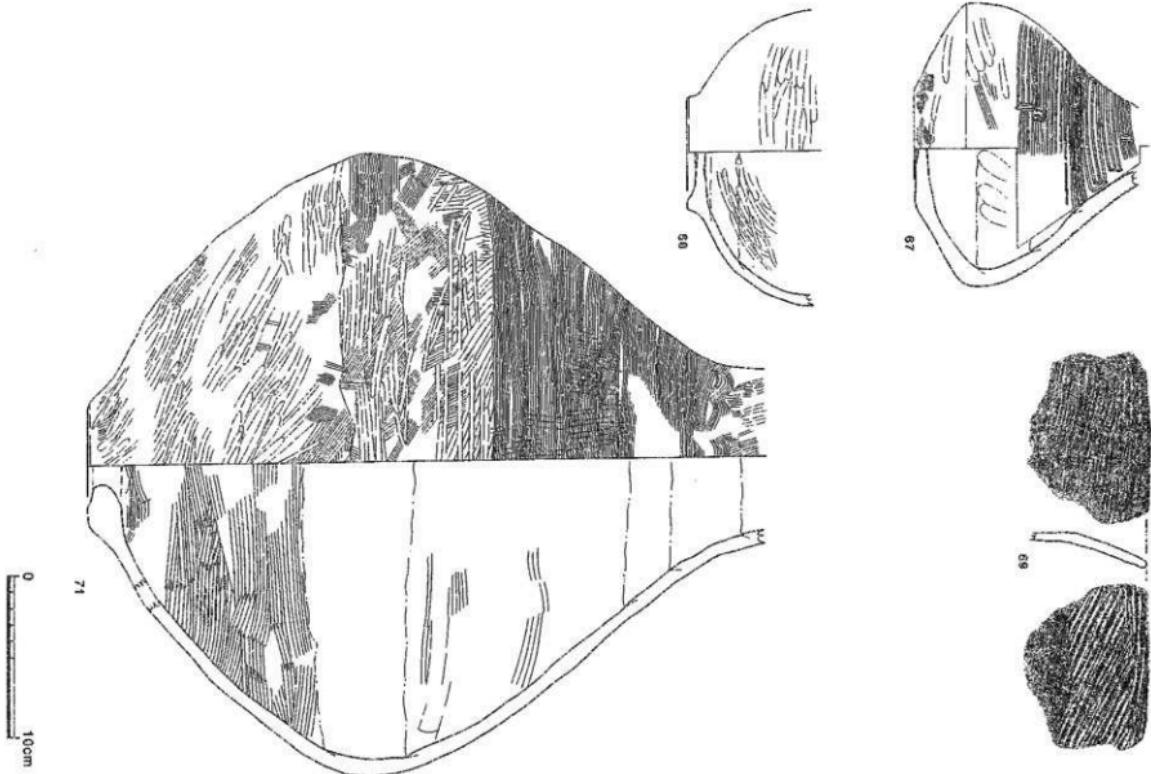
圖 6 細生土器選圖 (5)



(9) 生殖器実測図 (9)



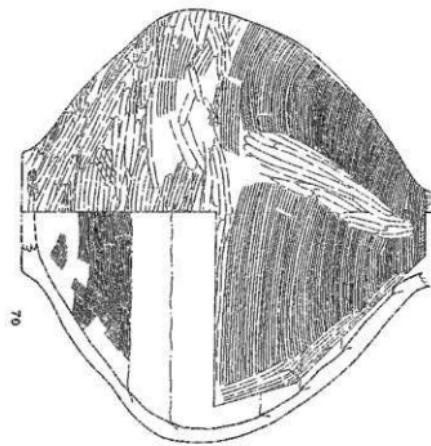
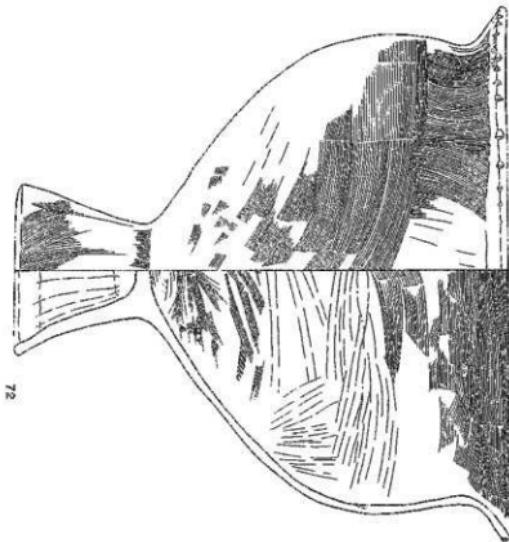
第7圖 烈士墓塋(7)

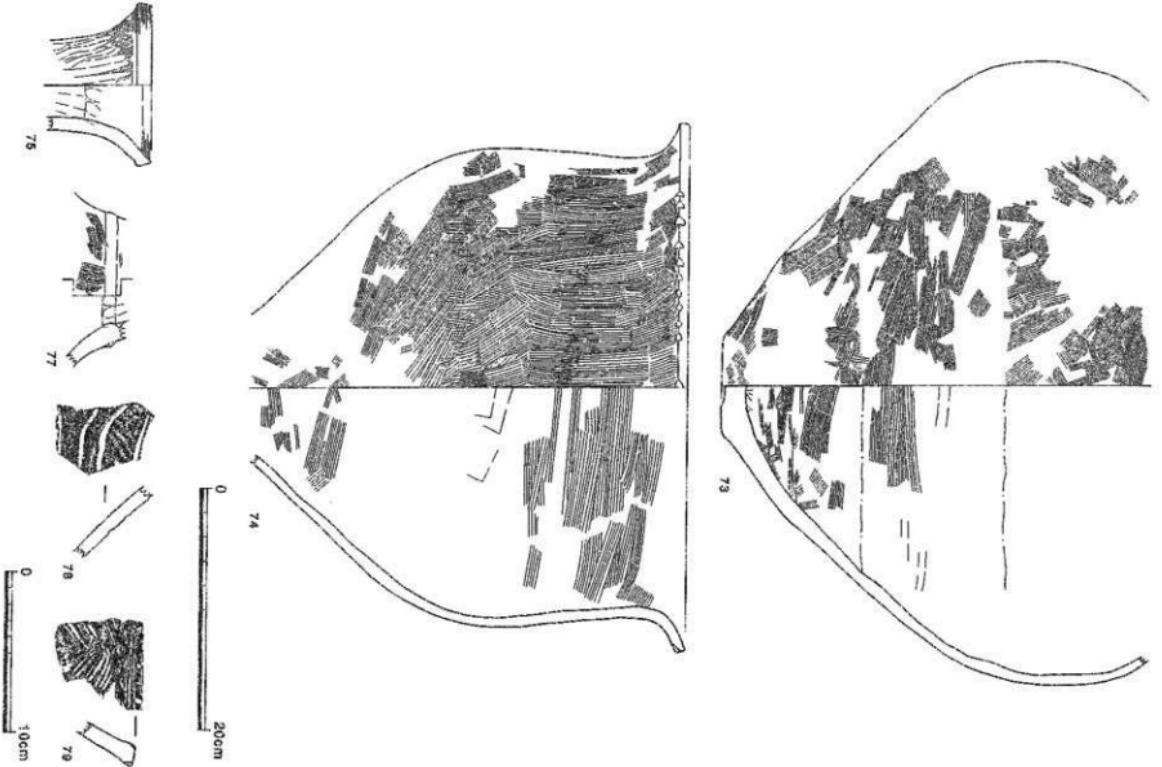


第3図
弥生土器実測図(8)

—
36—

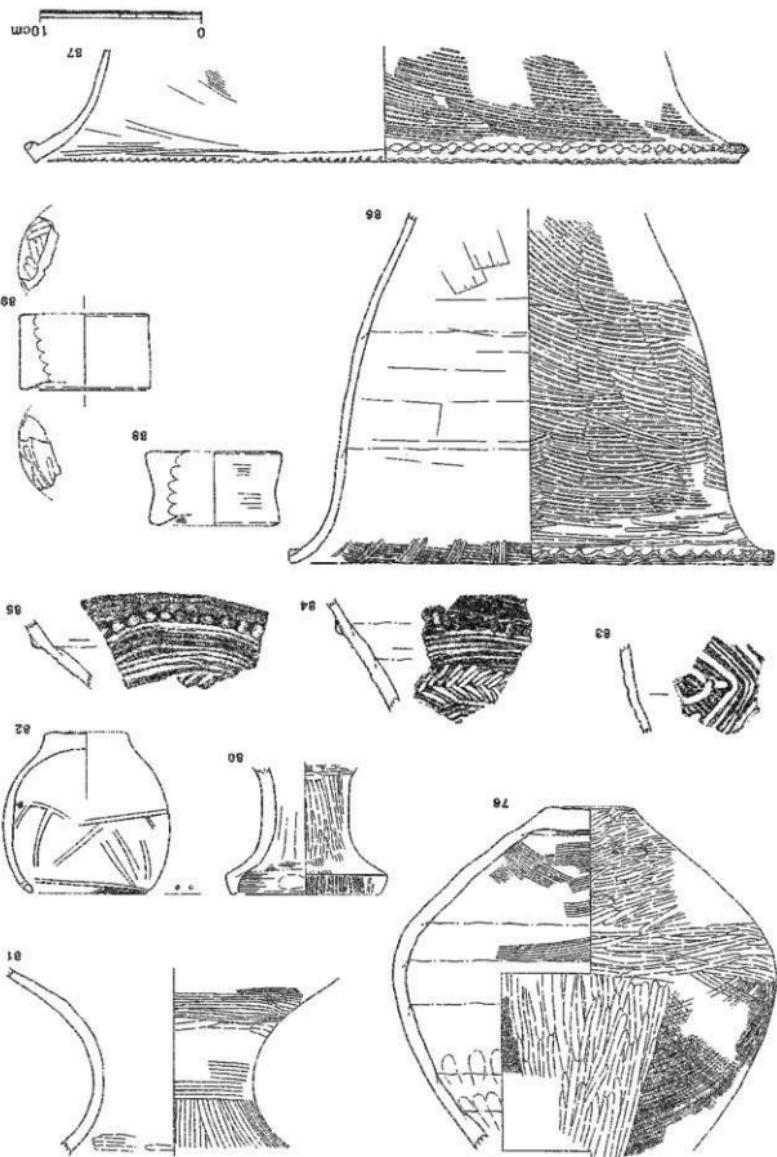
0
10cm





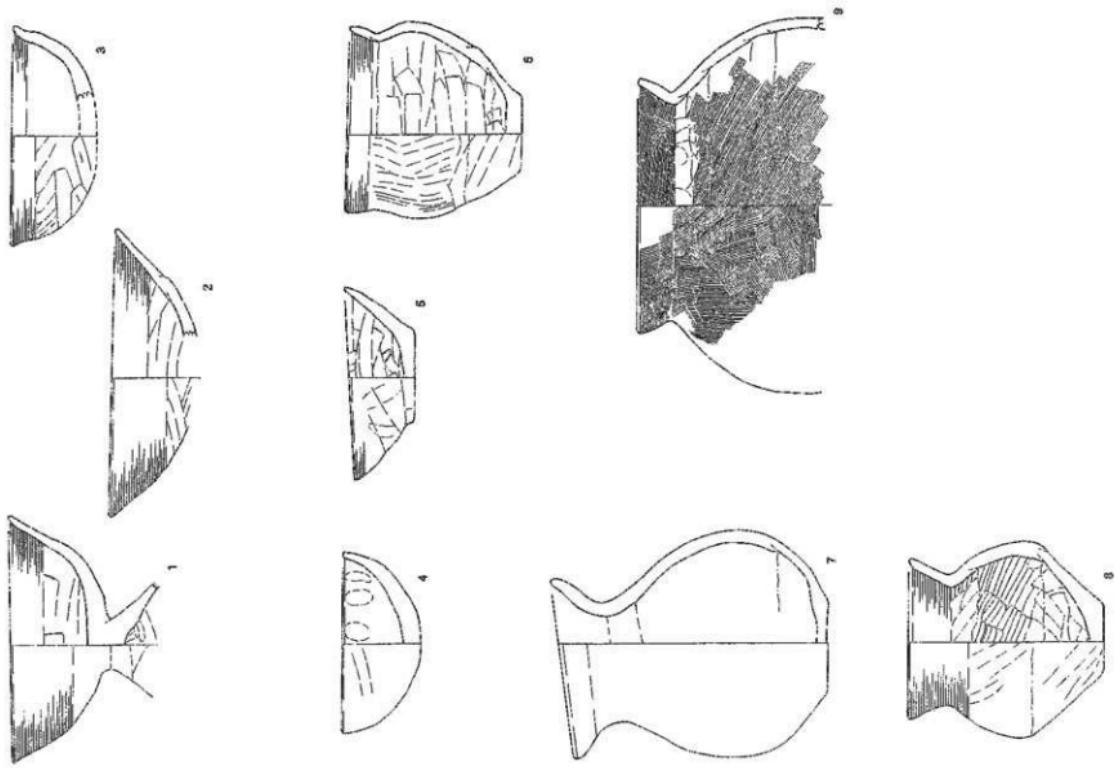
第9圖
亦生土器測圖（9）

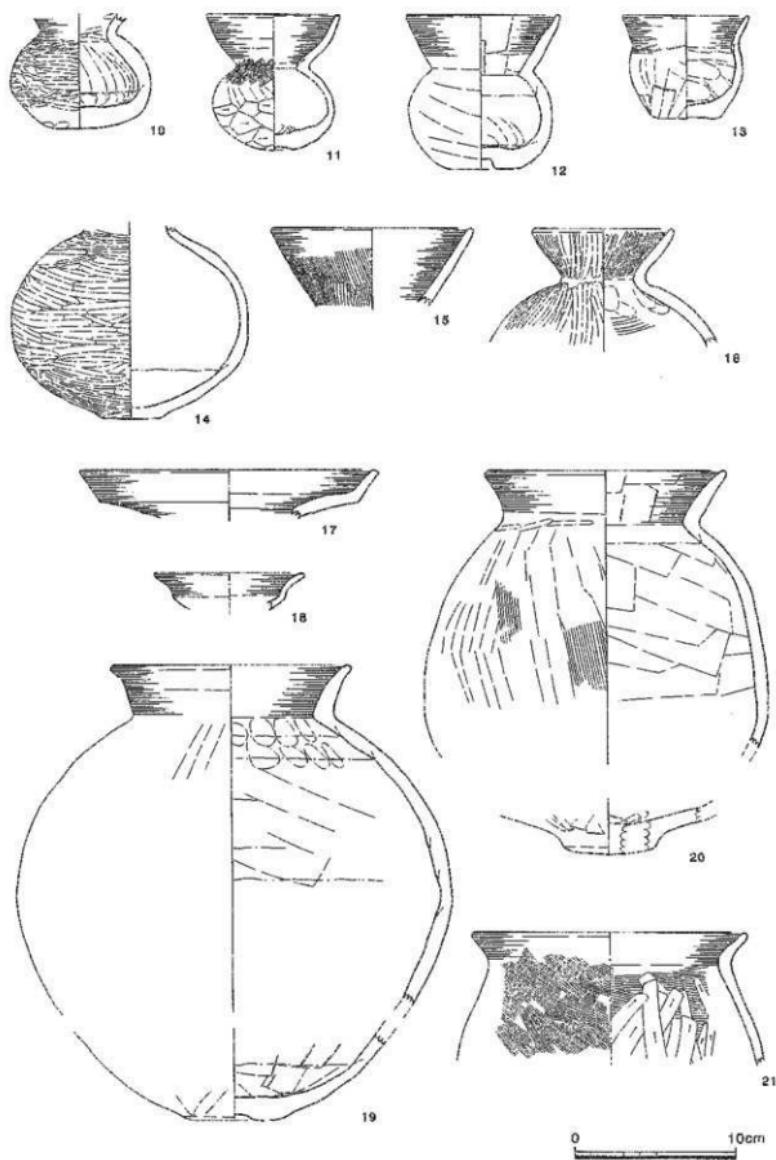
第10圖 球生土器實測圖 (10)



第11圖 古墳時代土器実測図（1）

10cm

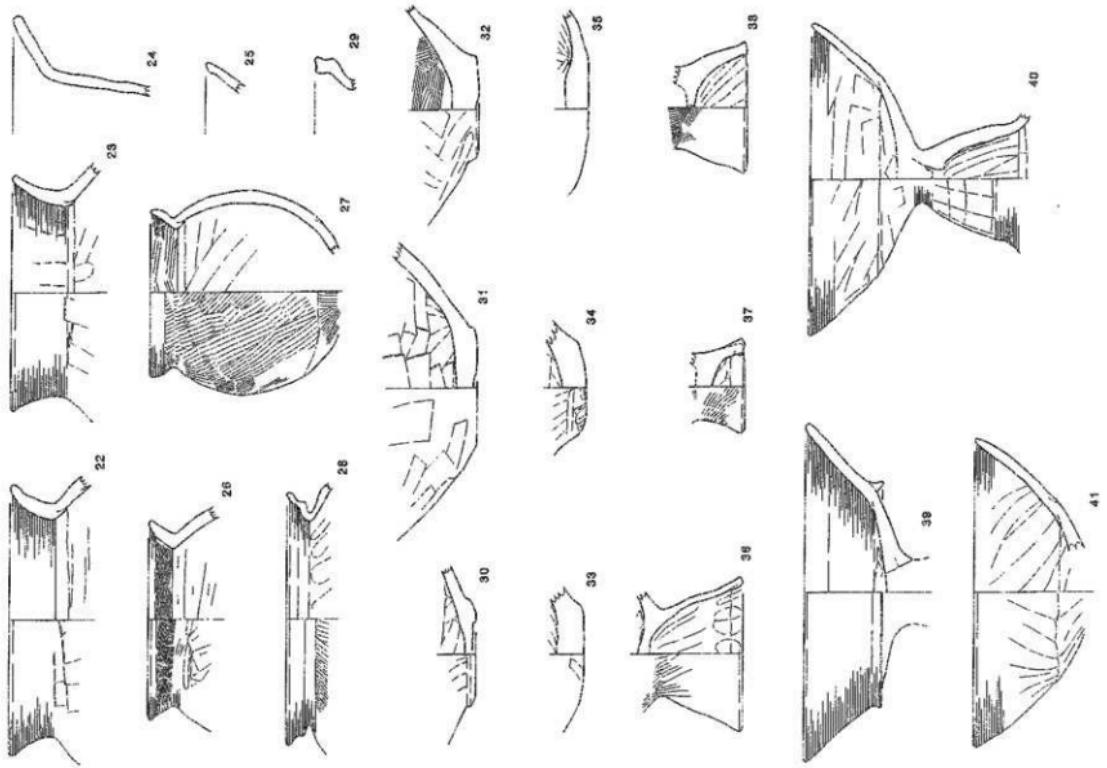


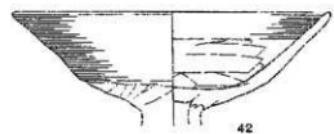


第12図 古墳時代土器実測図（2）

第13圖 古墳時代土器實測圖 (3)

0 10cm

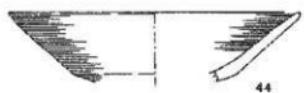




42



43



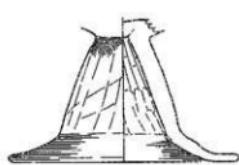
44



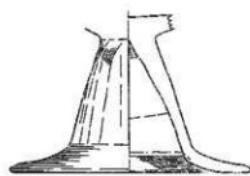
45



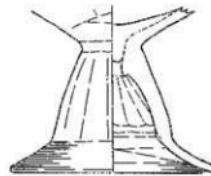
46



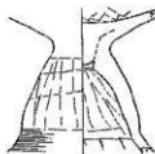
47



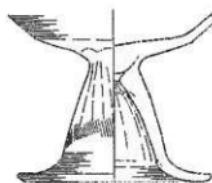
48



49



50



51



52



53



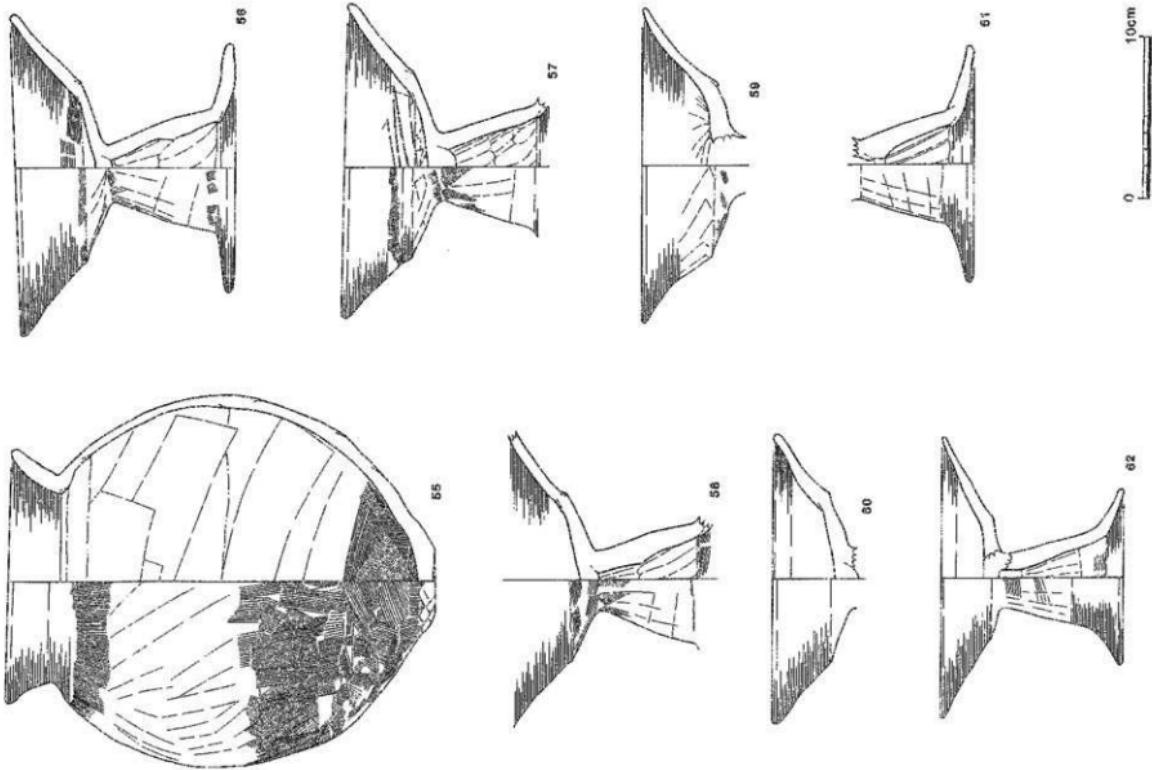
54

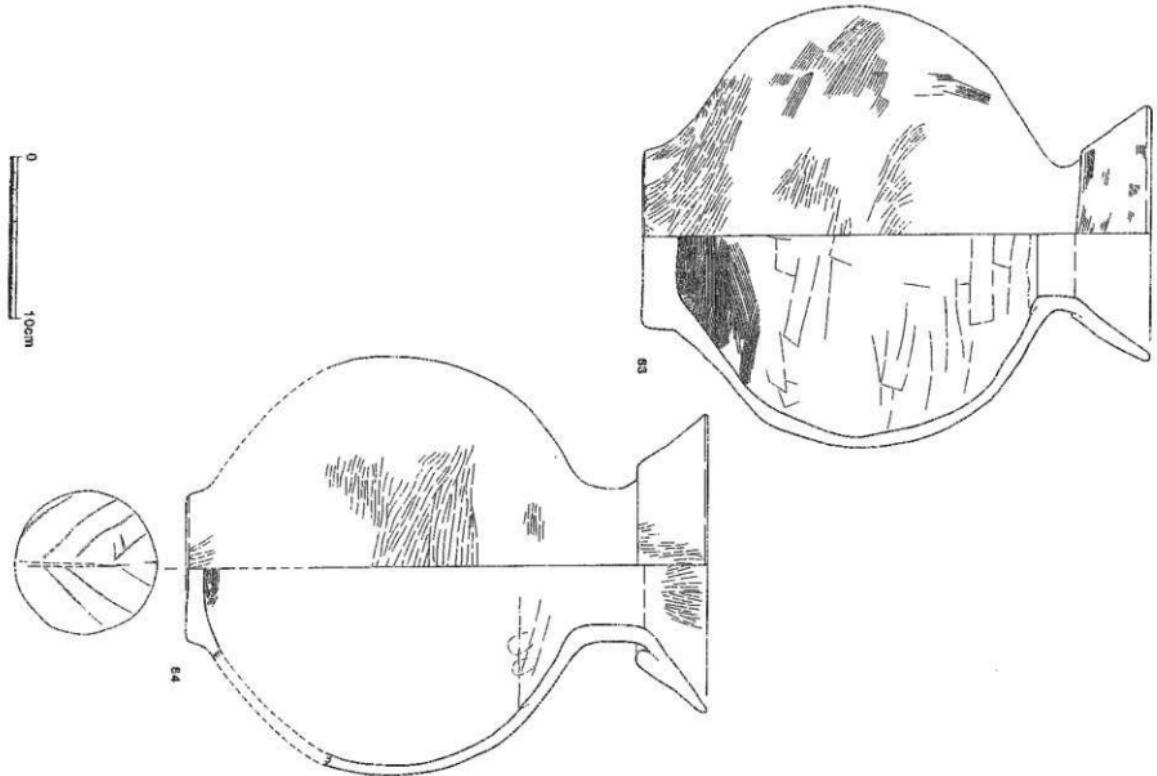


第14図 古墳時代土器実測図（4）

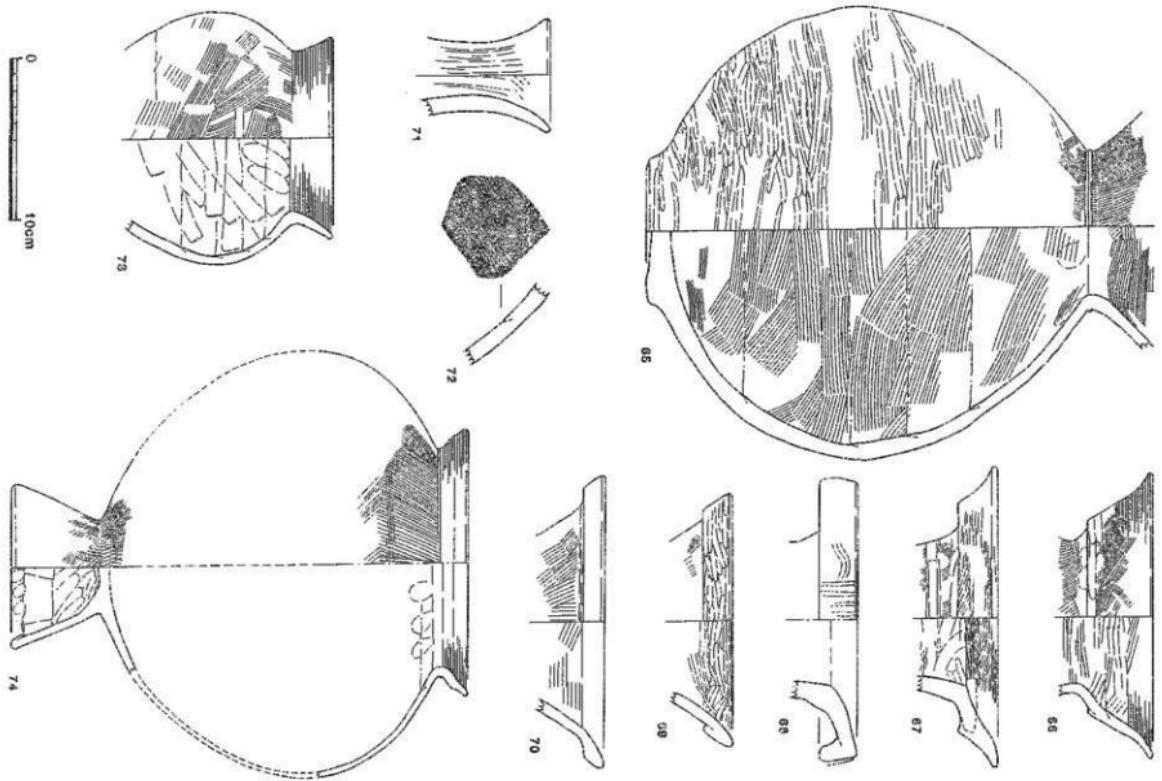
第15圖 古墳時代土器測圖 (5)

— 98 —

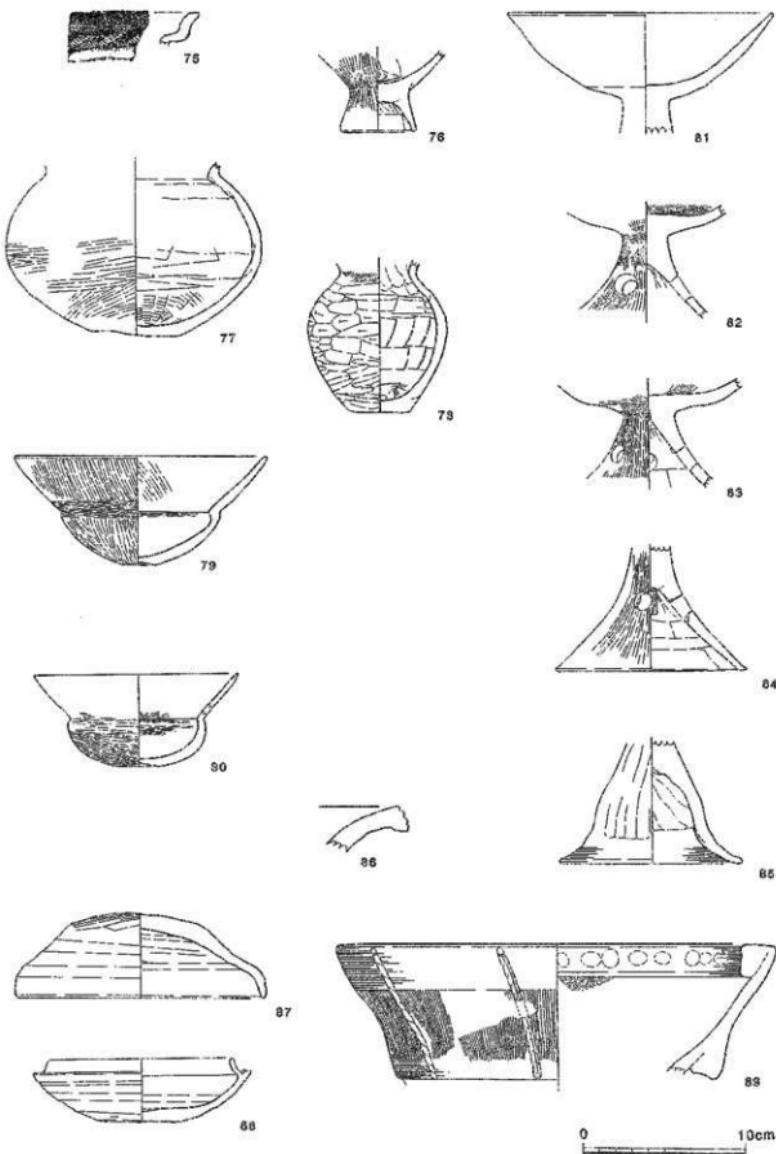




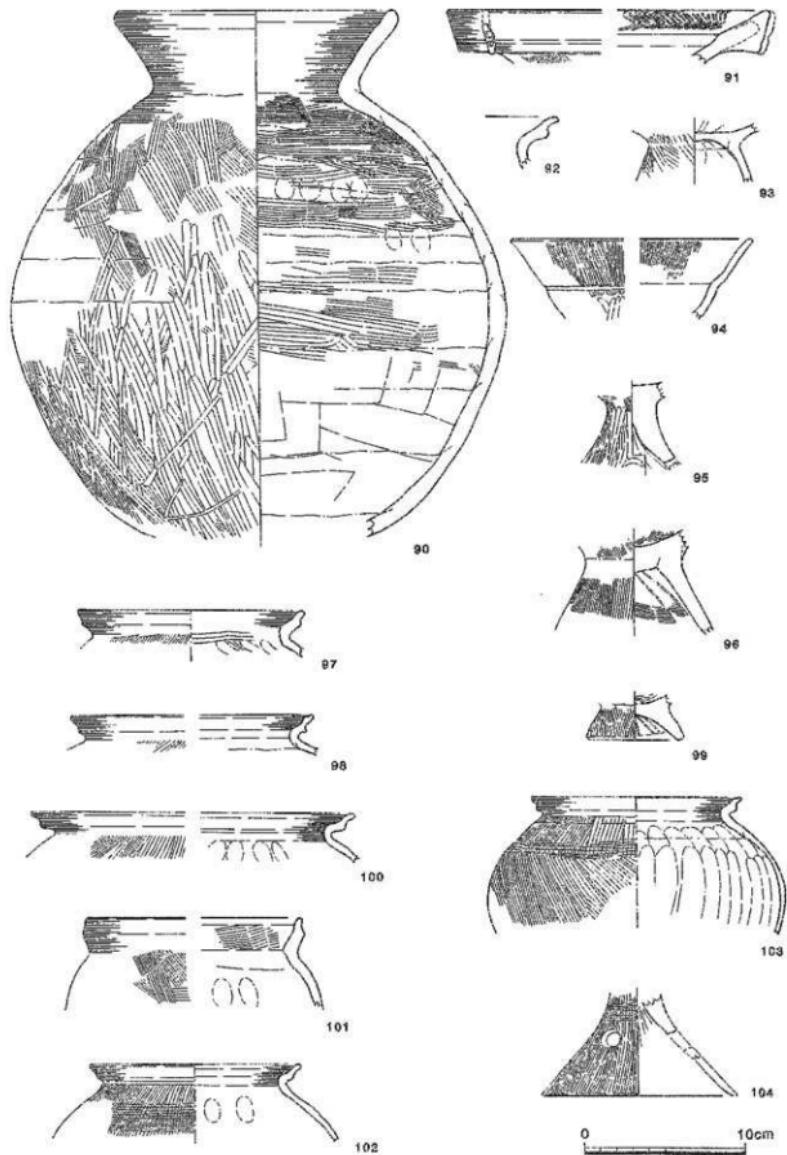
第16圖 古墳時代土器実測図(6)



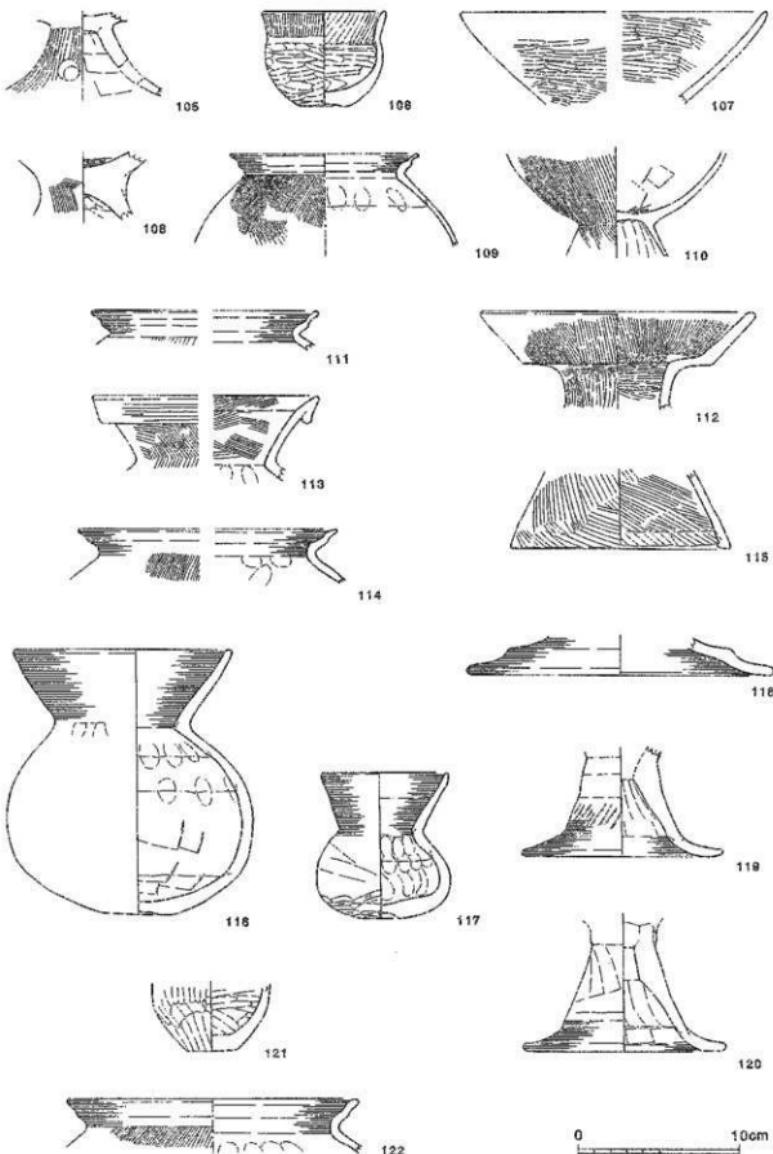
第17図 古墳時代土器実測図（7）



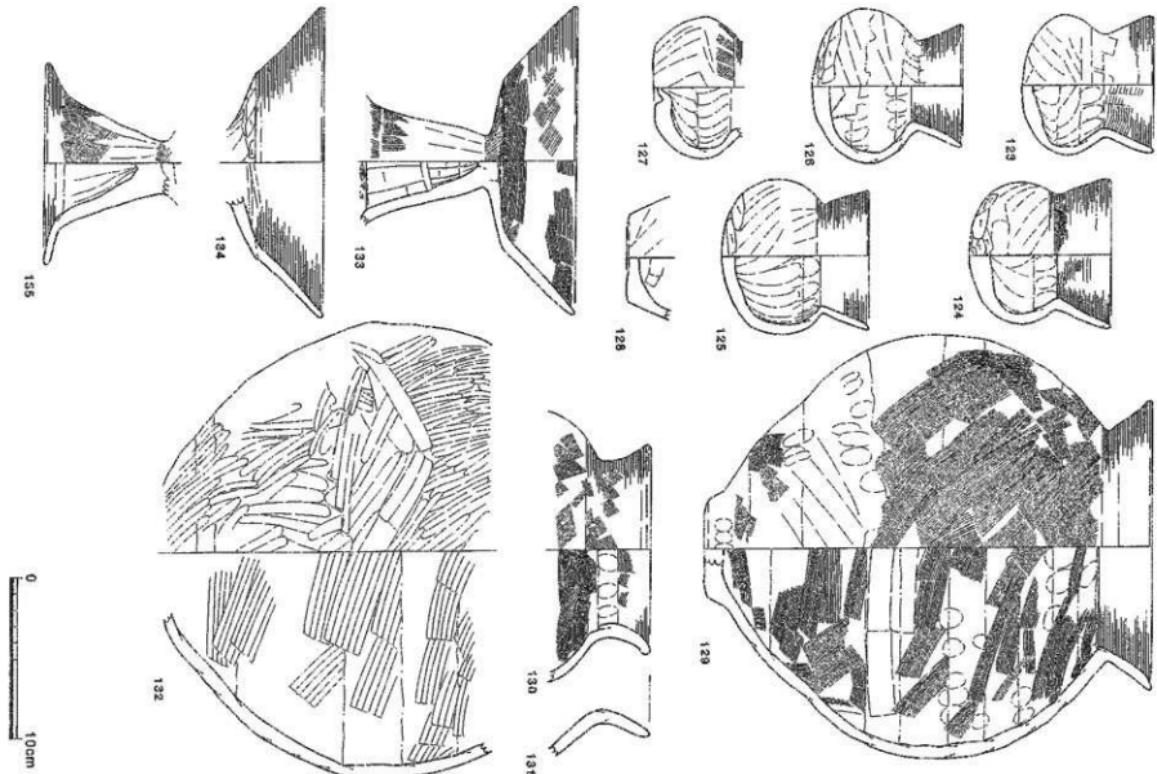
第18図 古墳時代土器実測図（3）



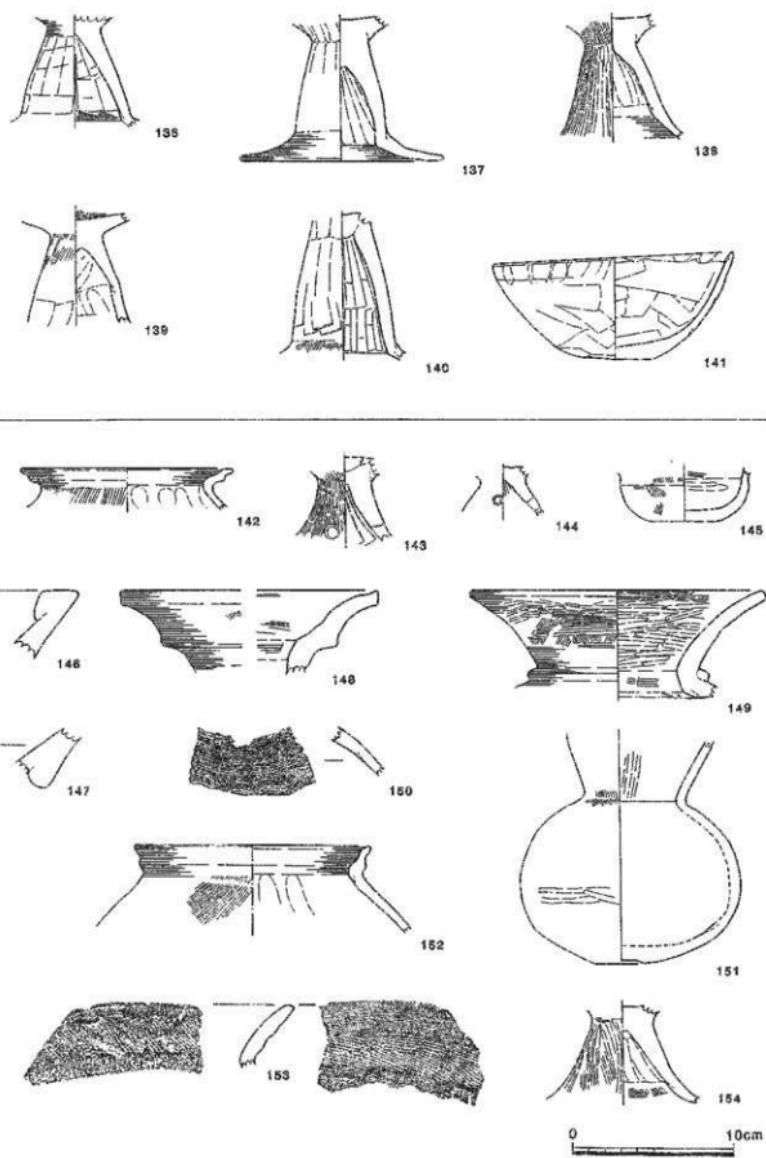
第19図 古墳時代土器実測図（9）



第20図 古墳時代土器実測図 (10)

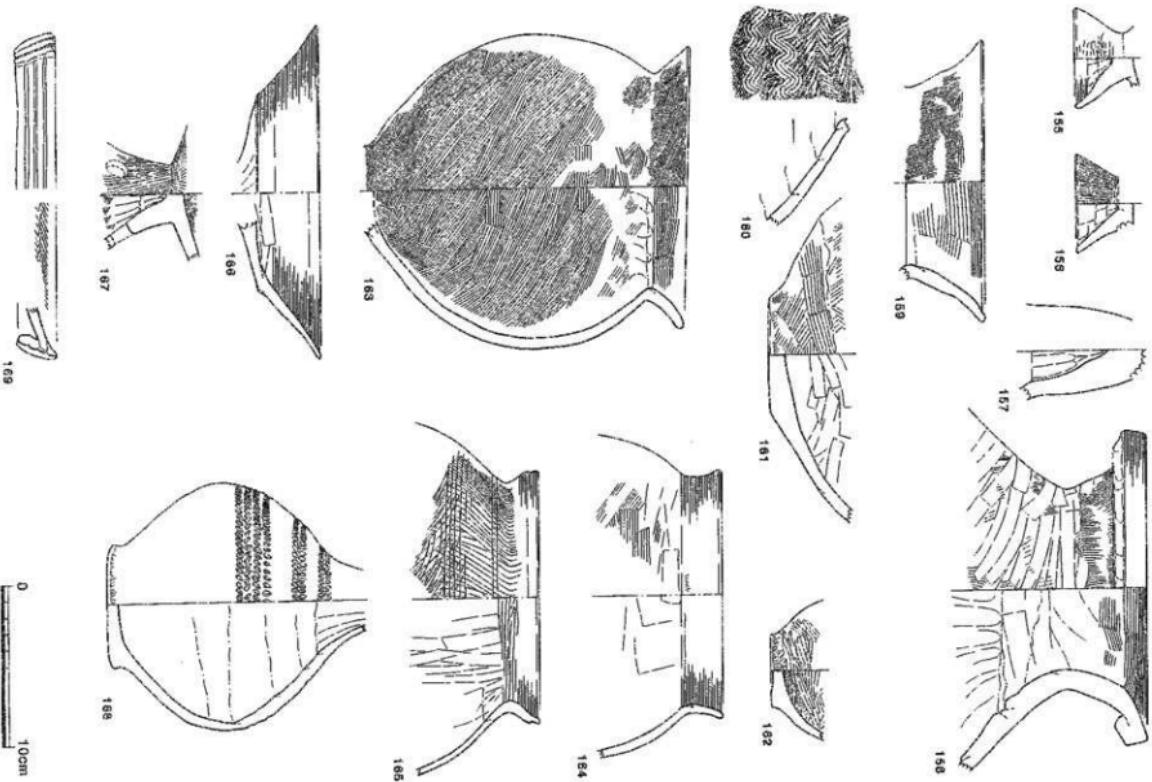


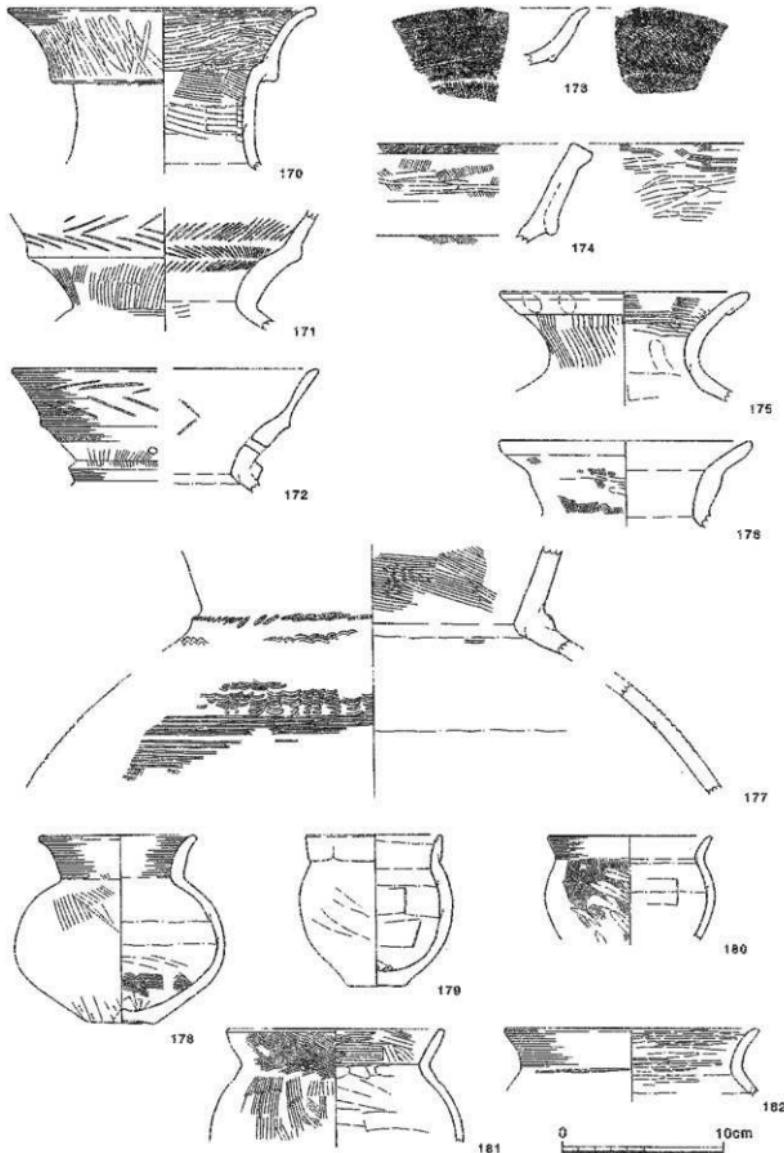
第21図 古墳時代土器実測図 (11)



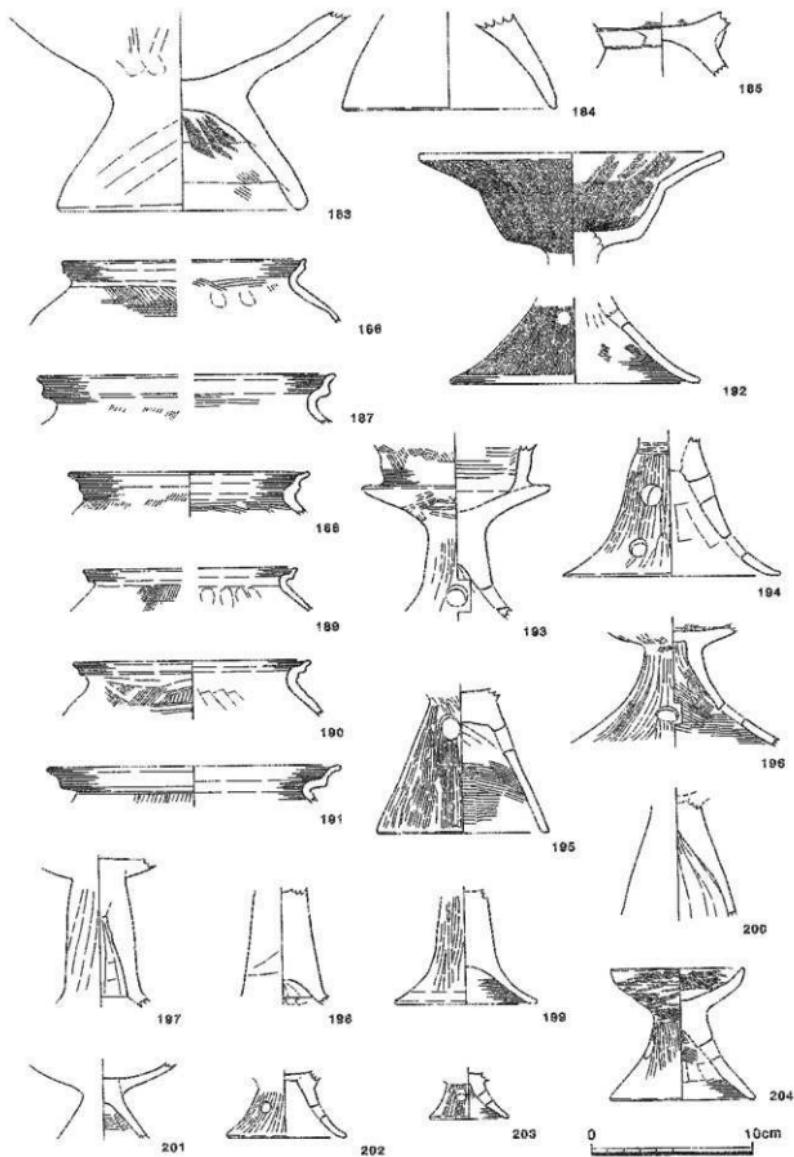
第22図 古墳時代土器実測図 (12)

図23 古墳時代土器叢図 (13)



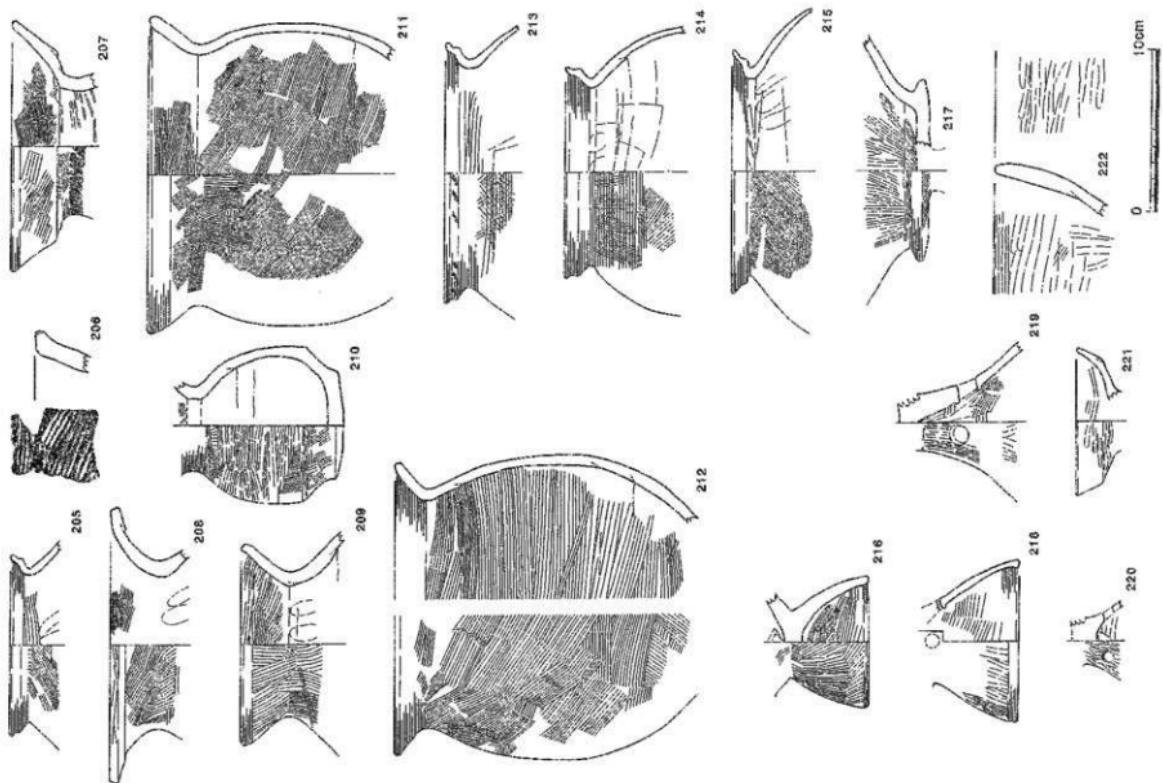


第24図 古墳時代土器実測図 (14)

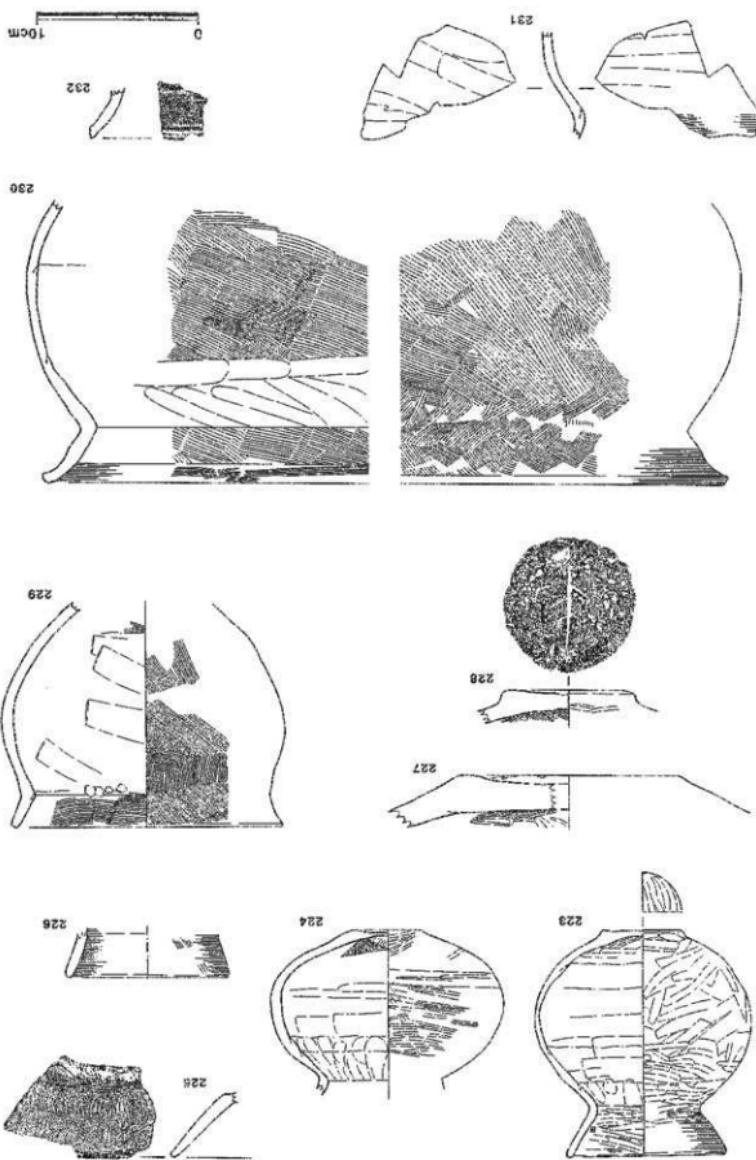


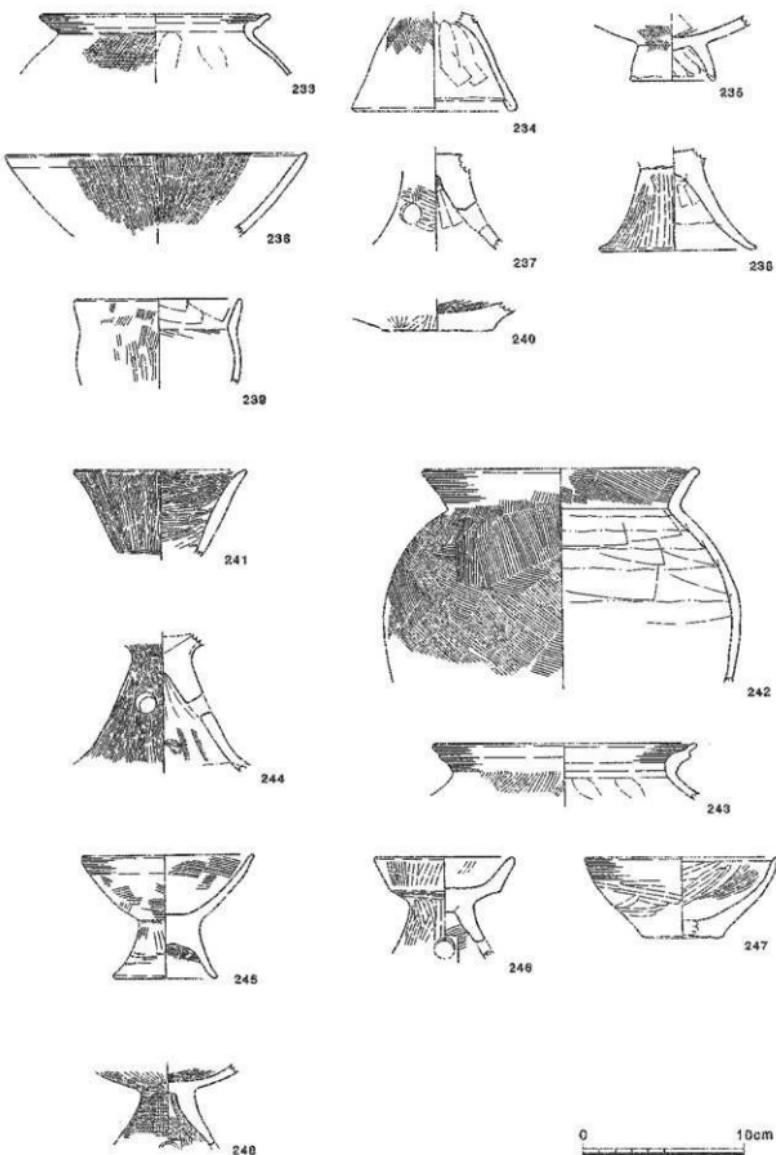
第25図 古墳時代土器実測図（15）

第26圖 古墳時代土器実測図 (16)

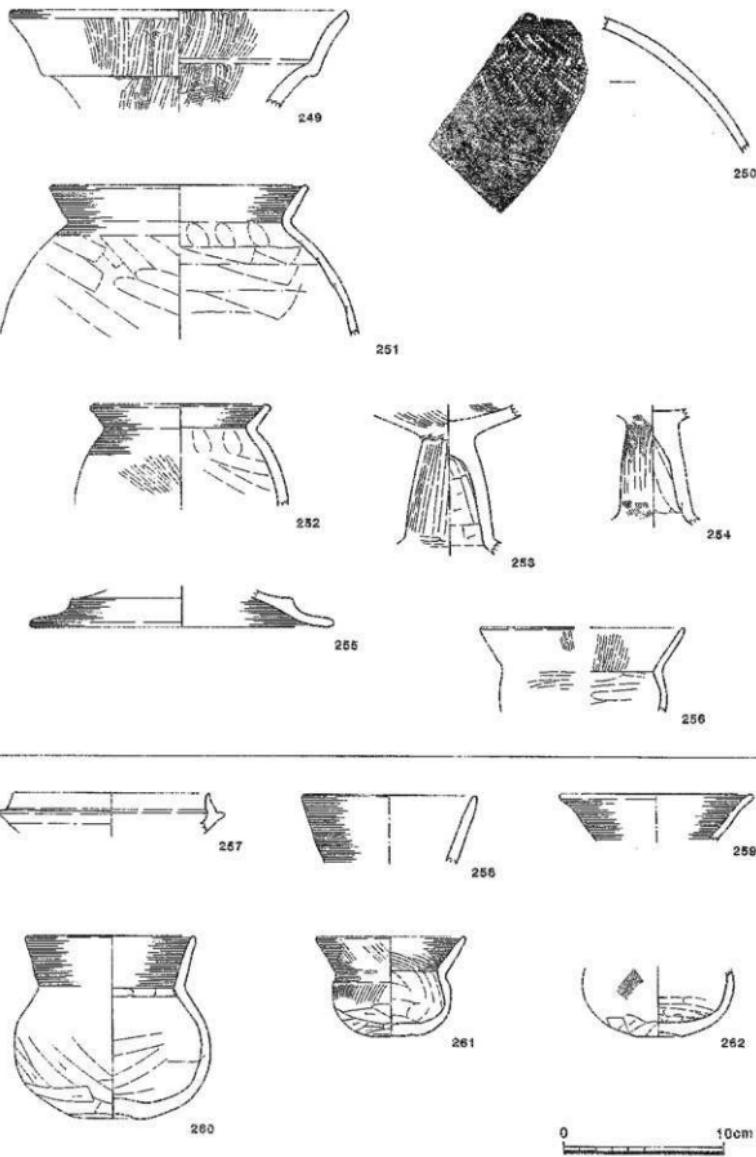


第27圖 古墳時代土器実測図 (17)

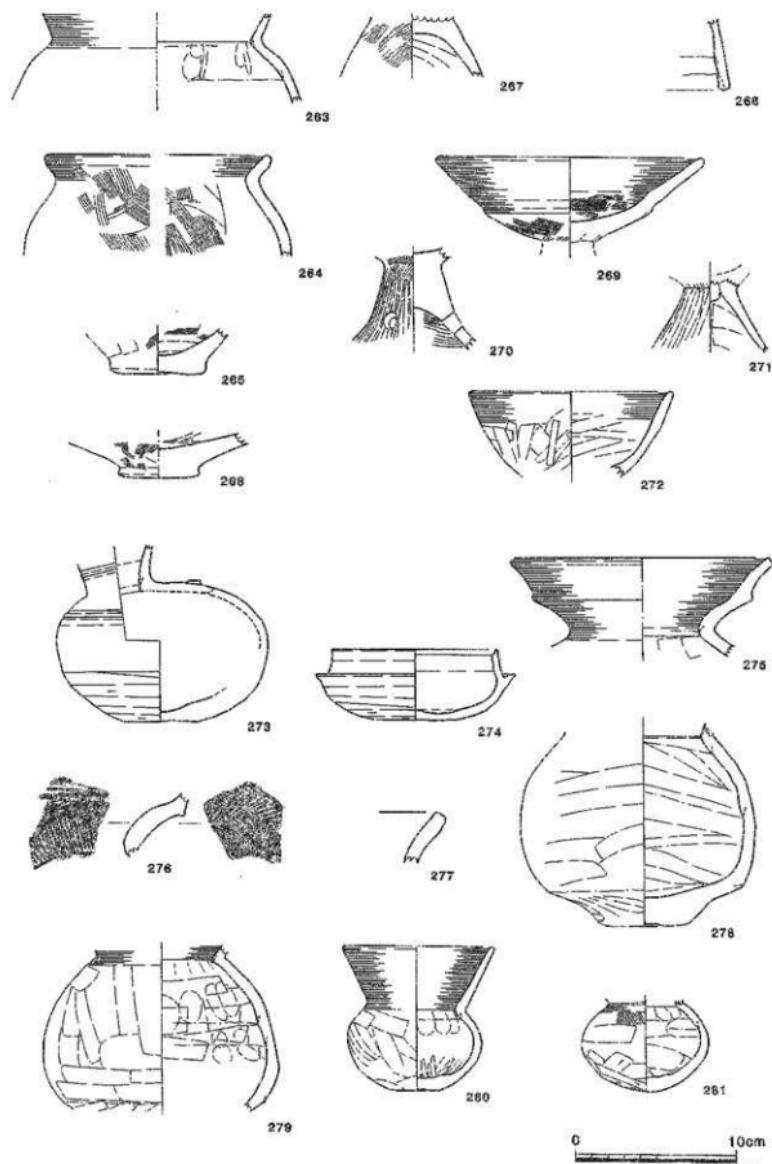




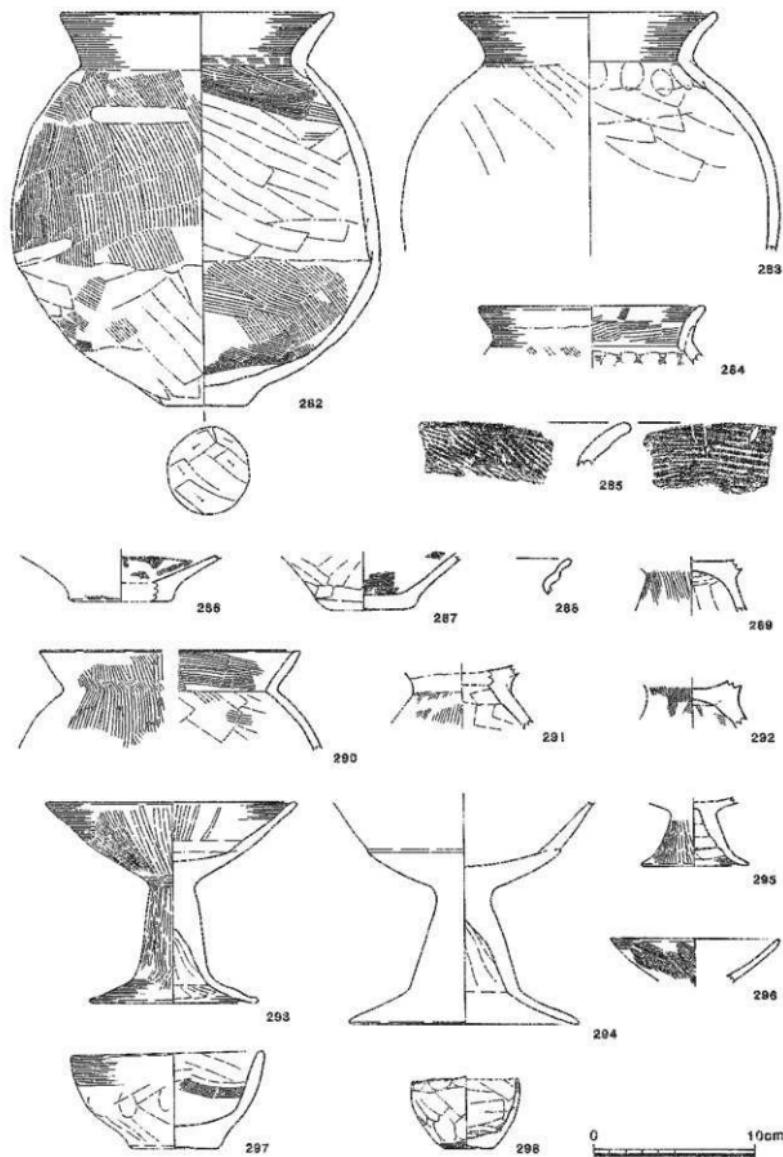
第28図 古墳時代土器実測図 (18)



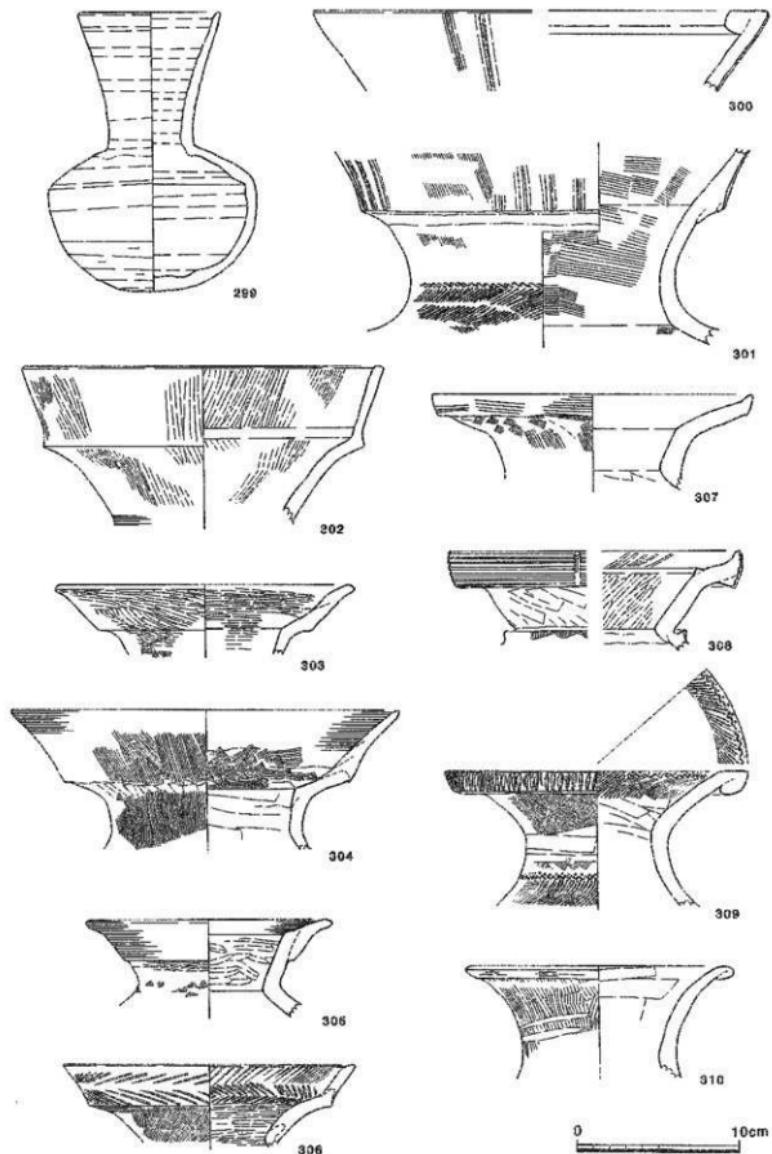
第29図 古墳時代土器実測図 (19)



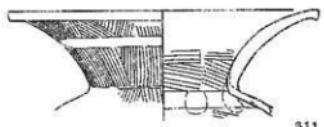
第30図 古墳時代土器実測図 (20)



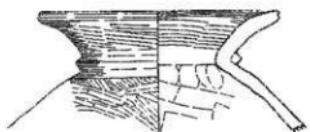
第31圖 古墳時代土器実測図 (21)



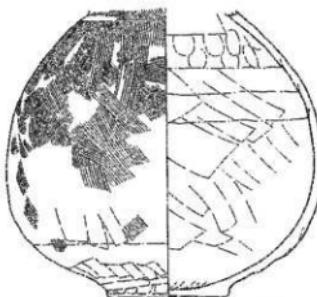
第32図 古墳時代土器実測図 (22)



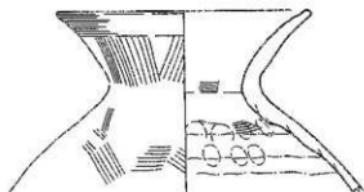
311



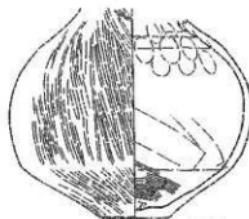
312



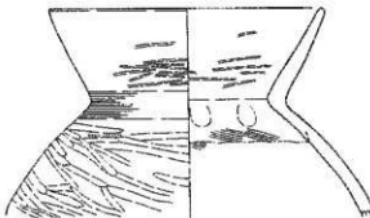
316



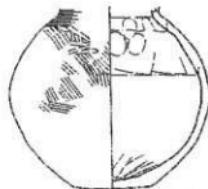
313



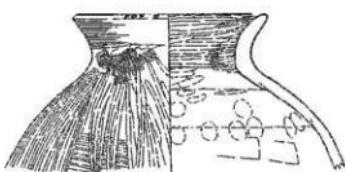
317



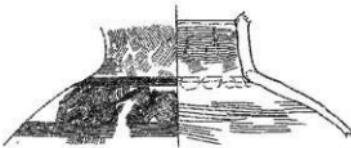
314



315



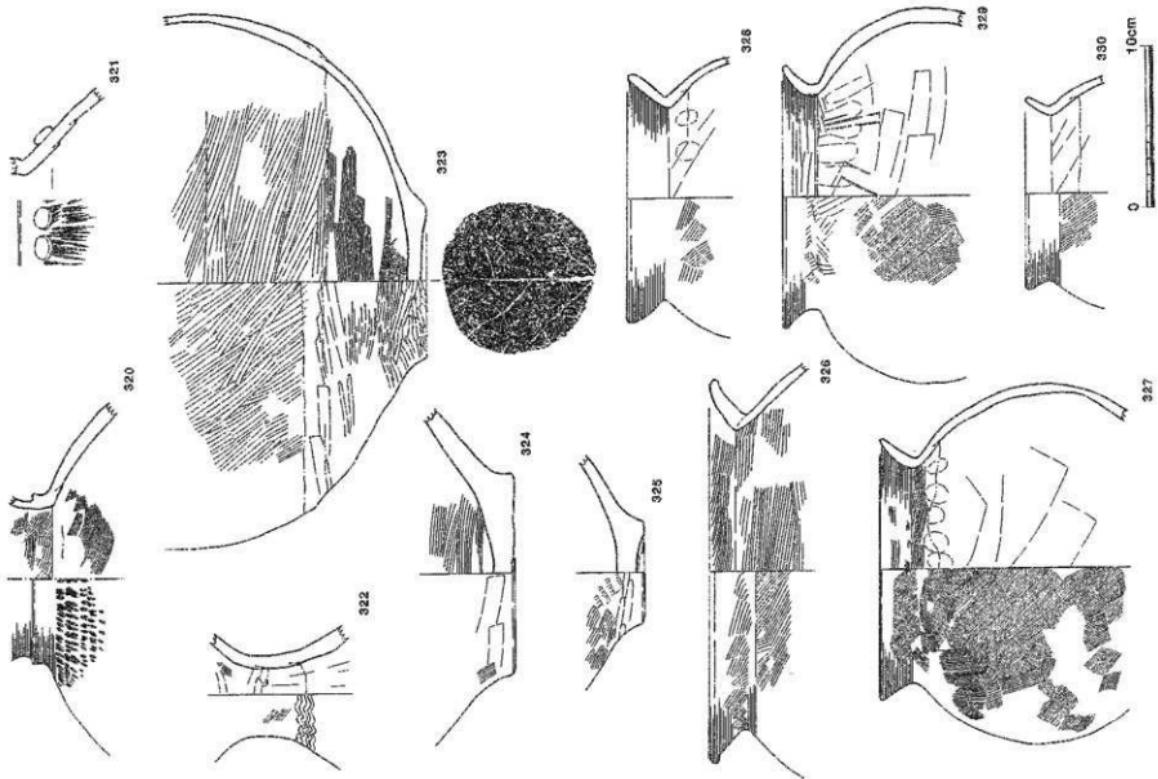
316



319

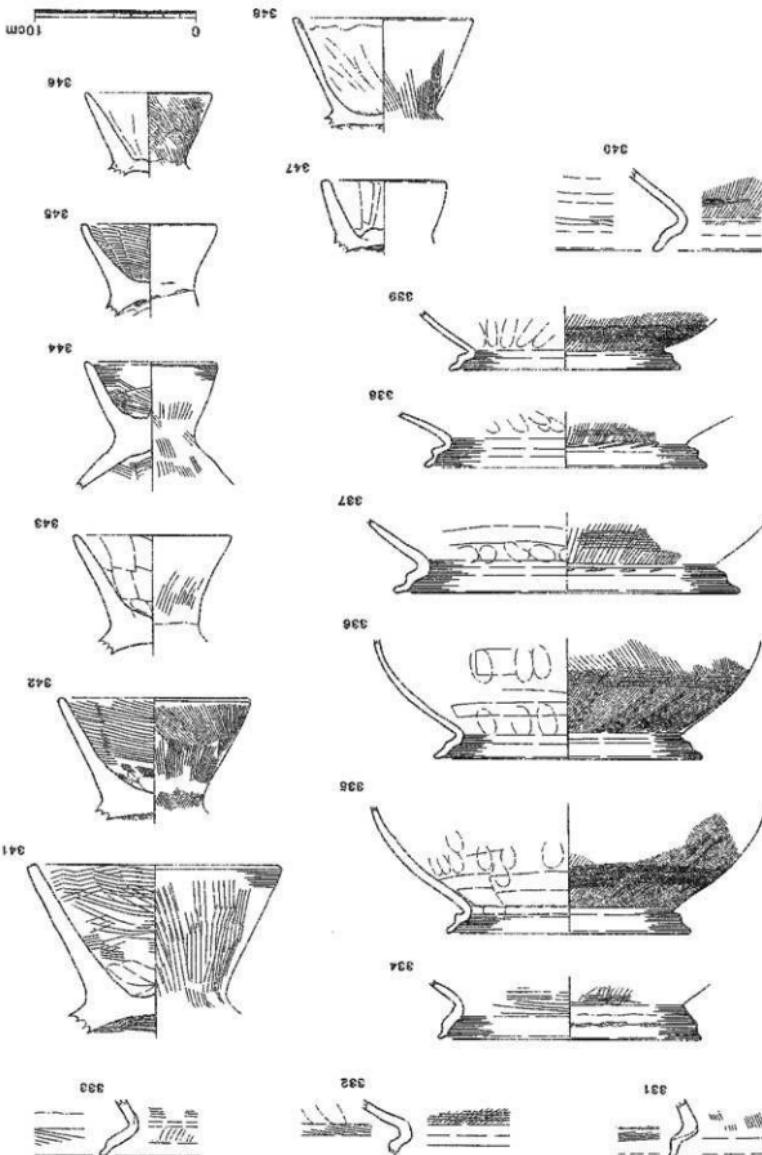


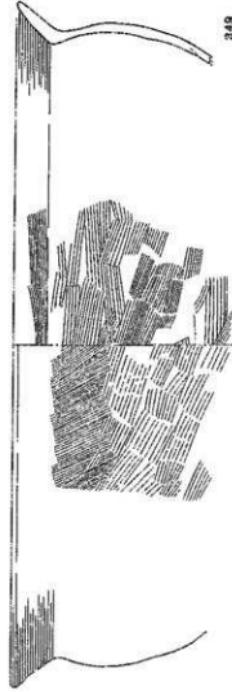
第33図 古墳時代土器実測図 (23)



第34圖 古墳時代土器実測図(24)

第35圖 古墳時代土器実測図 (25)





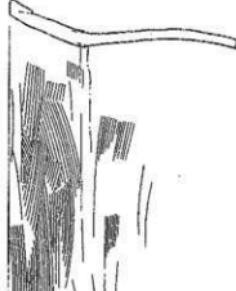
349



350



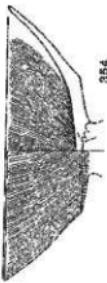
351



352



353



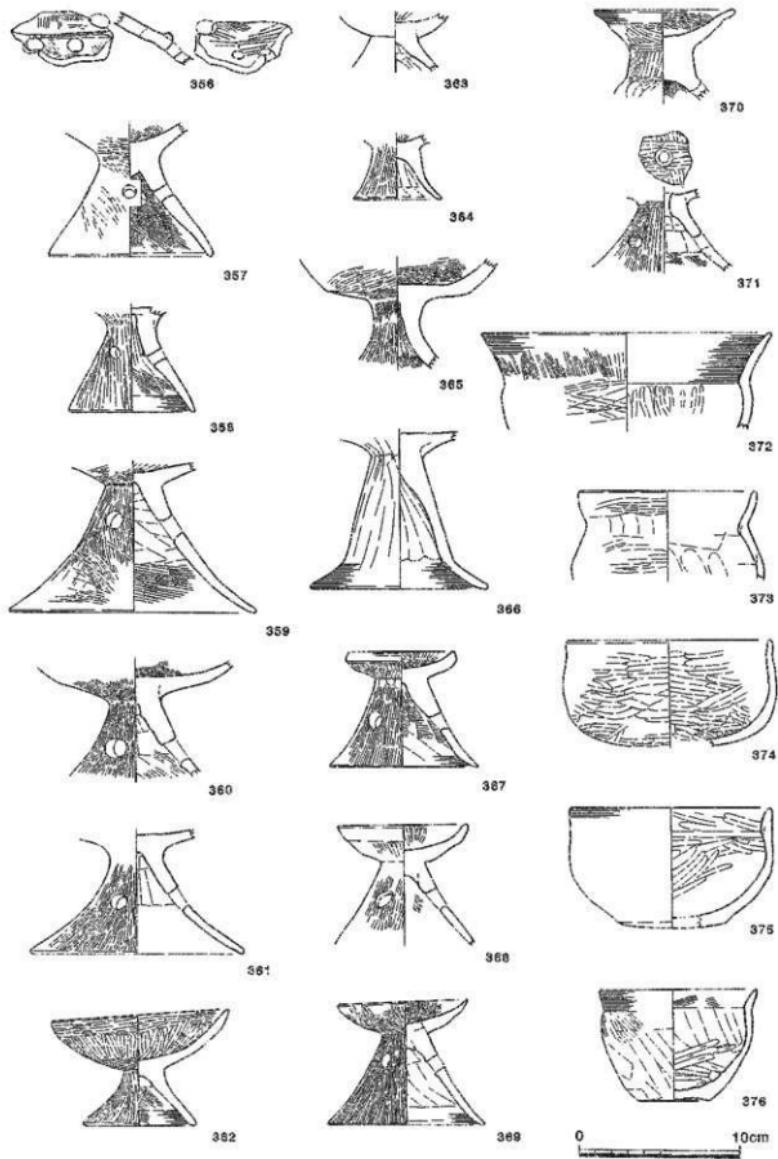
354



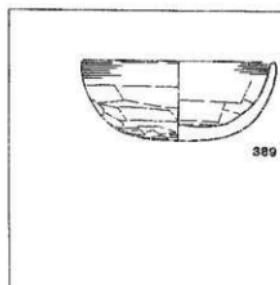
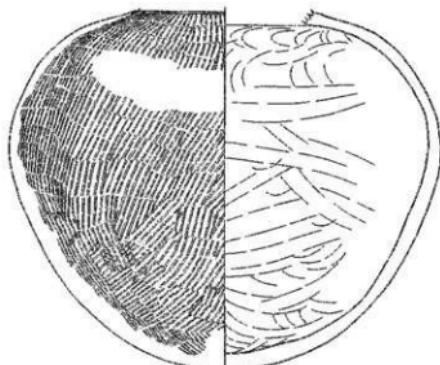
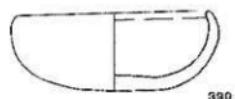
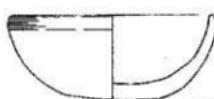
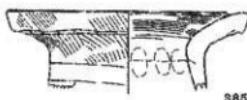
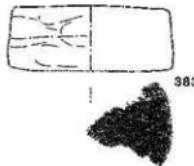
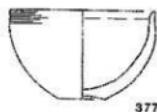
355

0 10cm

第36圖 古墳時代土器測量圖 (26)

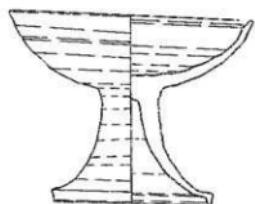


第37図 古墳時代土器実測図 (27)

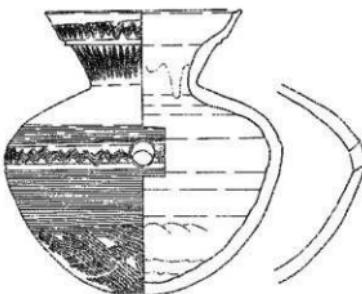


0 10cm

第38図 古墳時代土器実測図 (28)



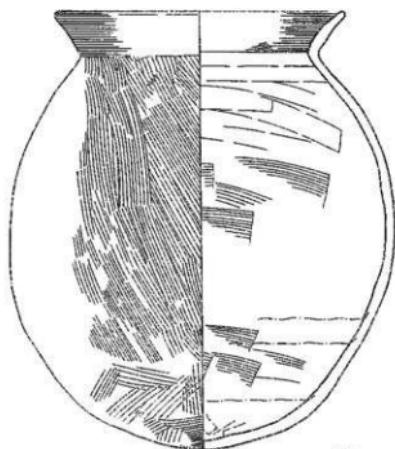
393



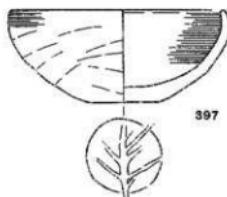
395



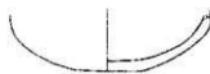
394



396



397



398



399

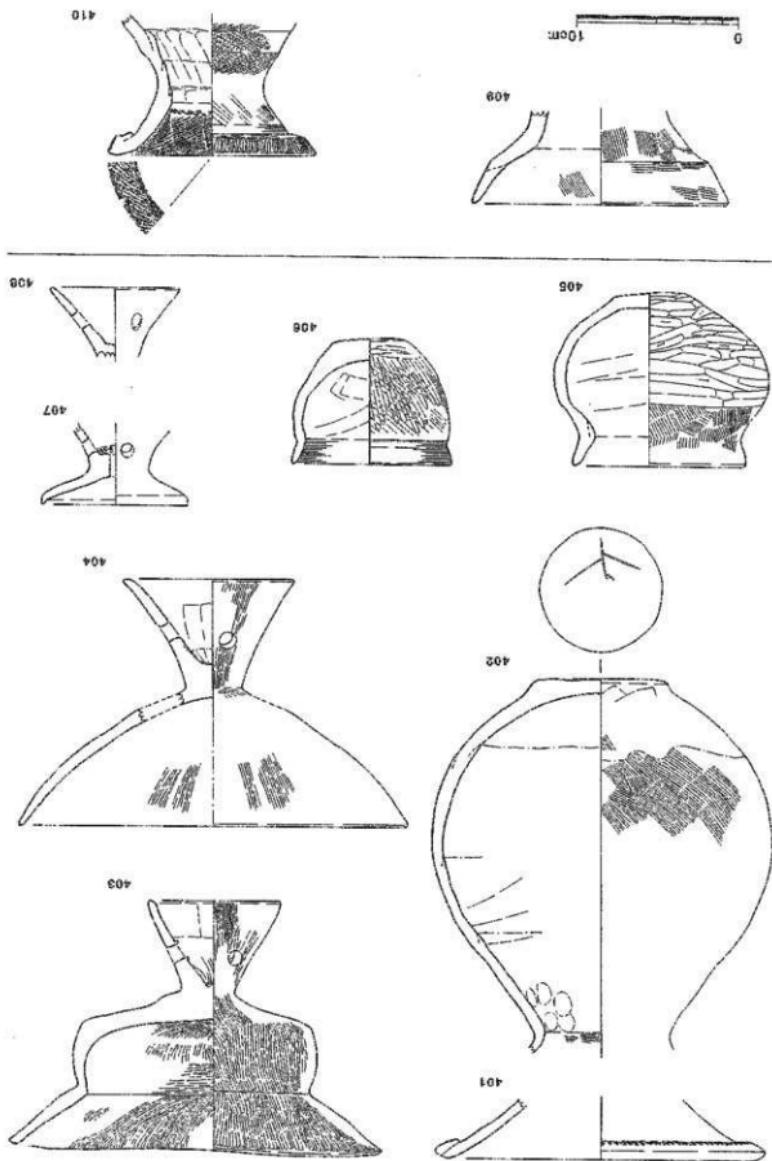


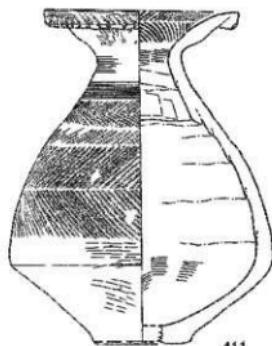
400

0 10cm

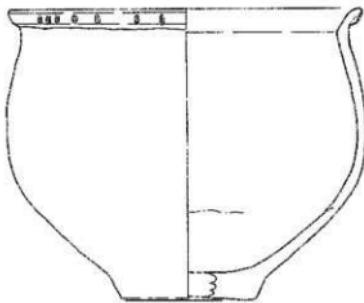
第39図 古墳時代土器実測図 (29)

第40圖 古墳時代土器実測図 (30)

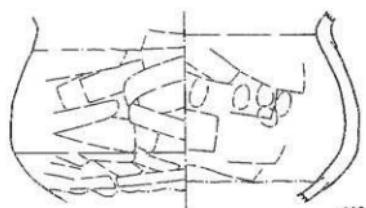




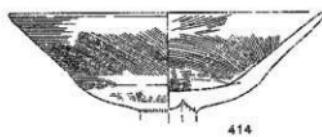
411



412



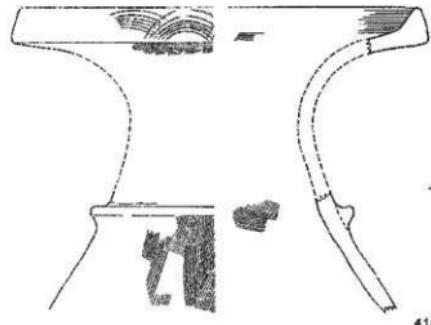
413



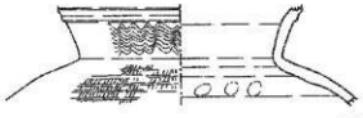
414



415



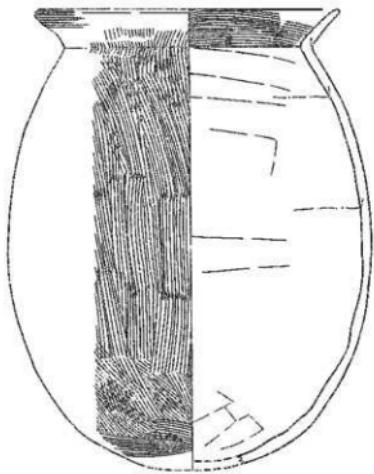
416



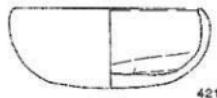
417



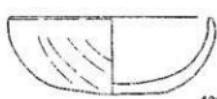
第41図 古墳時代土器実測図 (31)



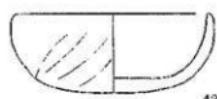
418



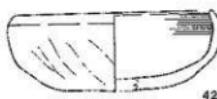
421



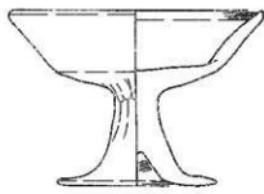
422



423



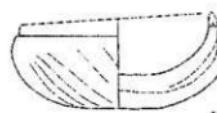
424



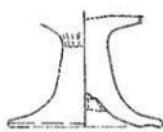
419



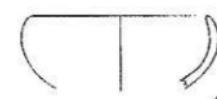
425



426



420



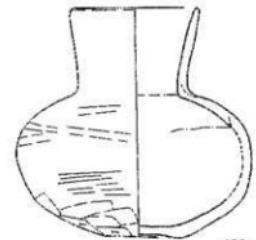
427



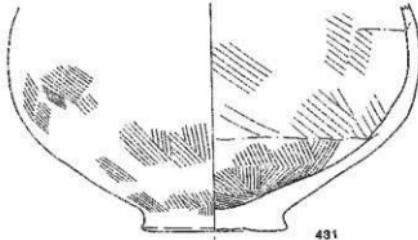
428



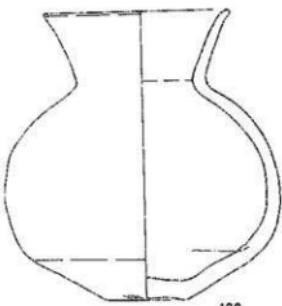
第42図 古墳時代土器実測図 (32)



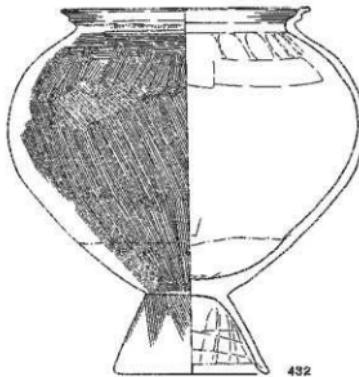
429



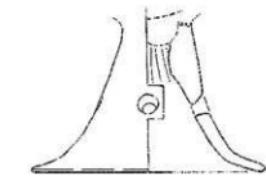
431



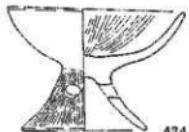
430



432



433



434



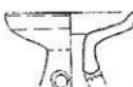
435



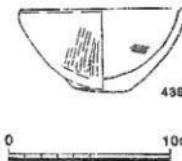
436



437



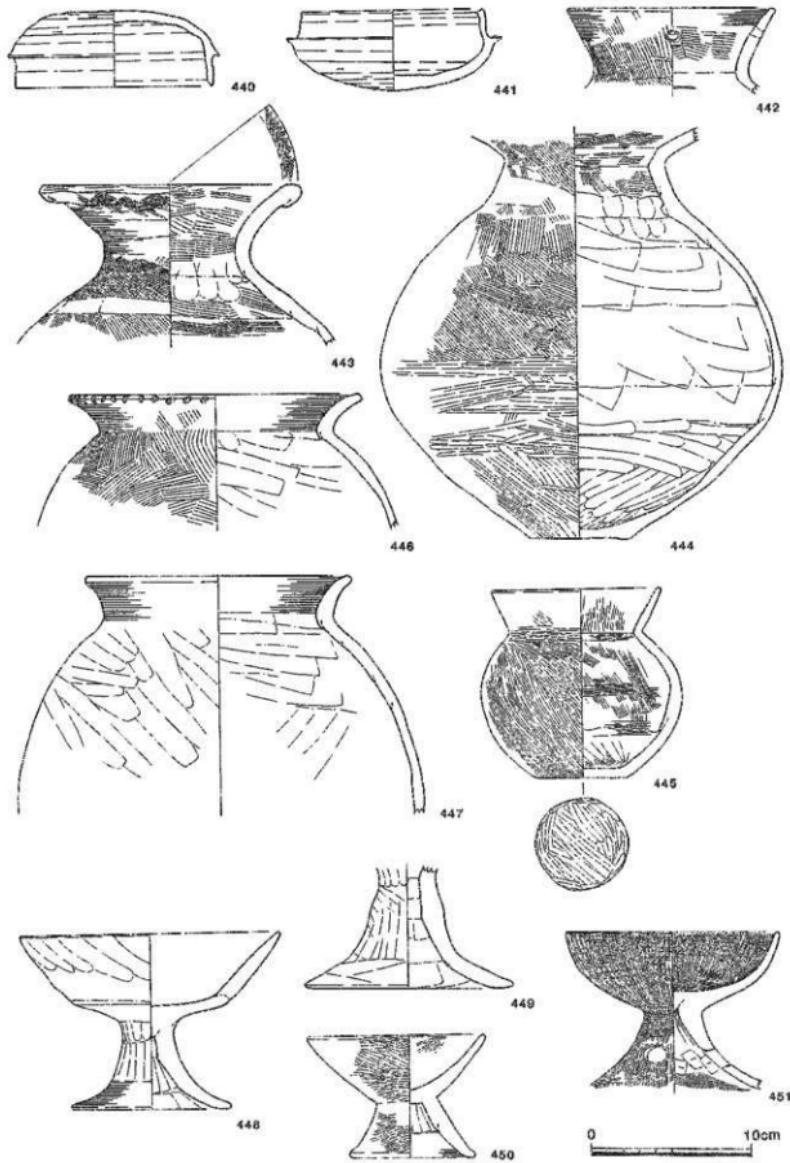
438



439

0 10cm

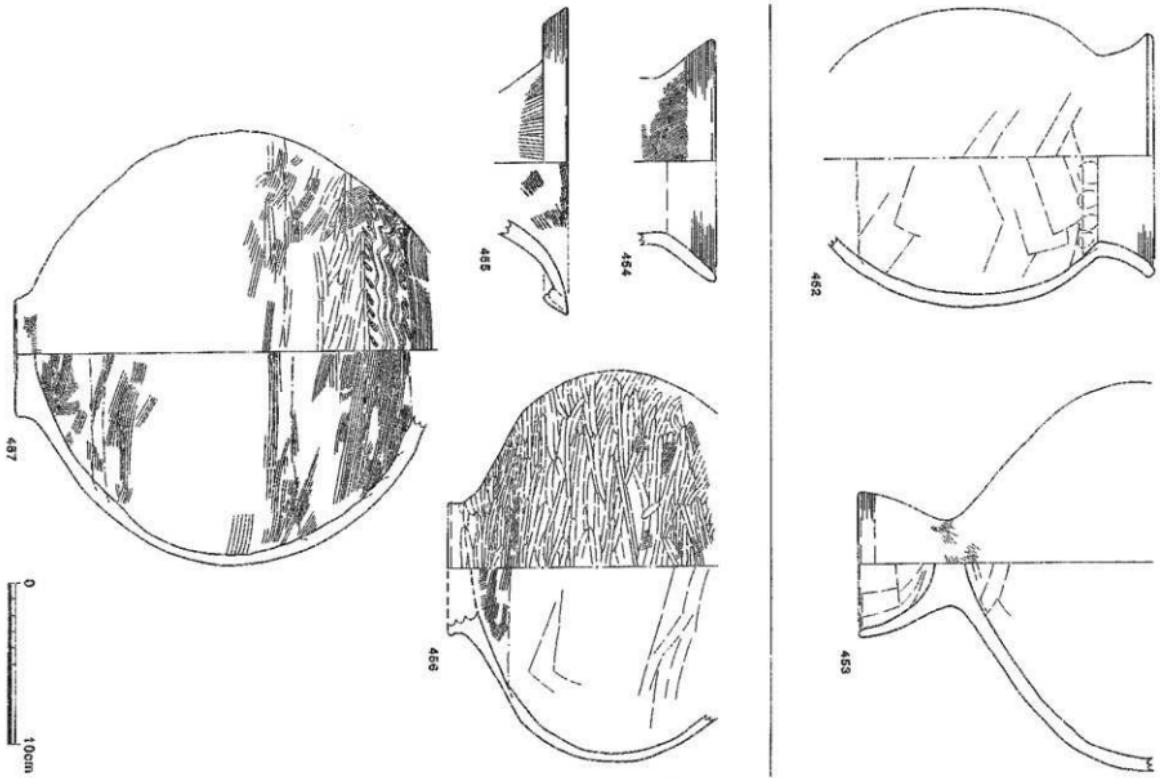
第43図 古墳時代土器実測図 (33)

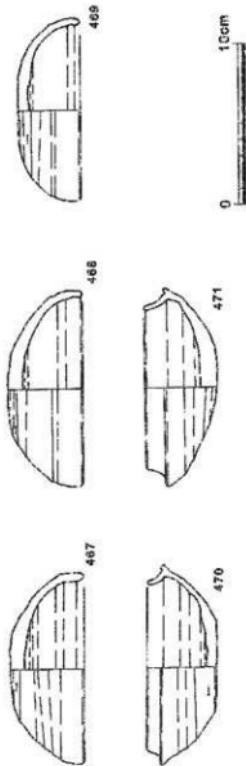
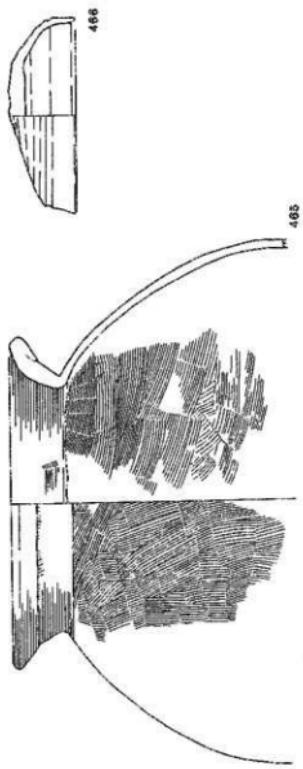
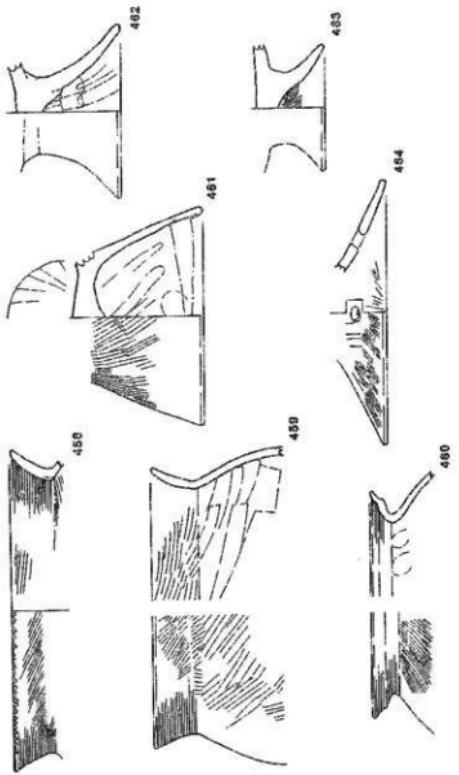


第44図 古墳時代土器実測図 (34)

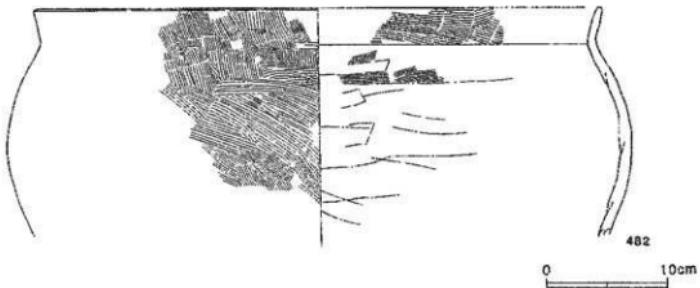
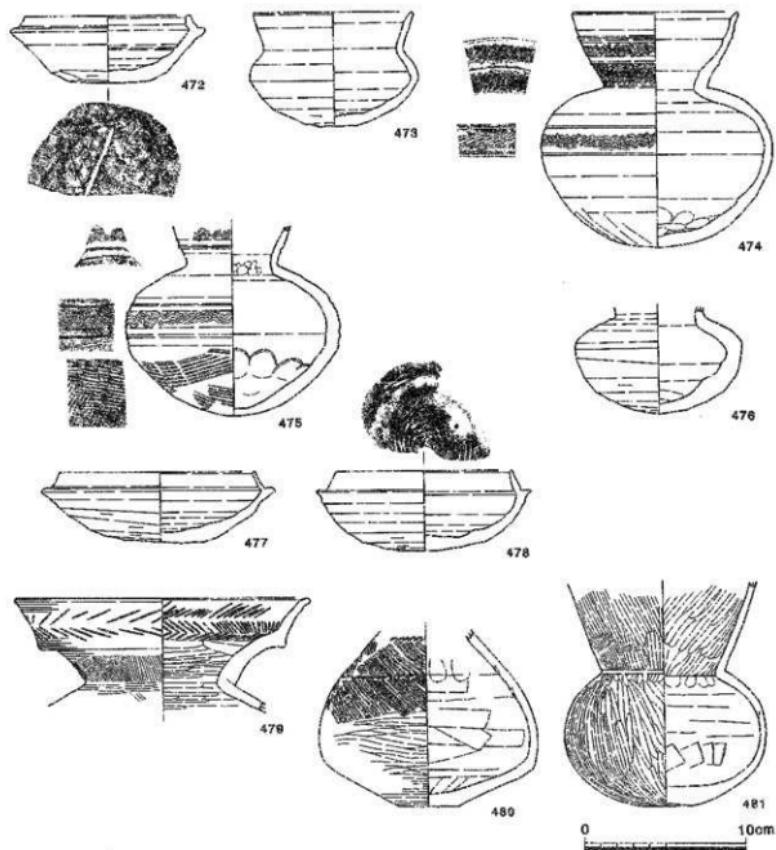
第45圖 古墳時代土器実測図 (35)

- 128 -

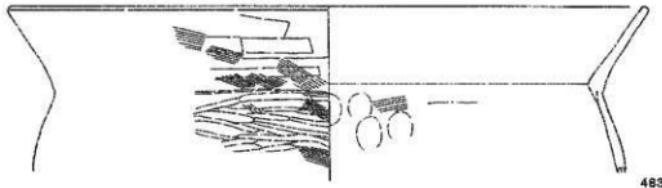




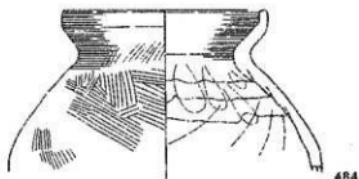
第46圖 古墳時代土器測量圖（36）



第47図 古墳時代土器実測図 (37)



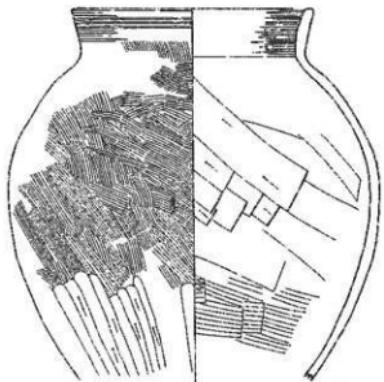
483



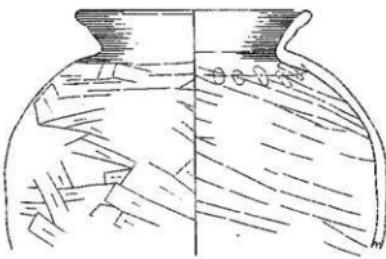
484



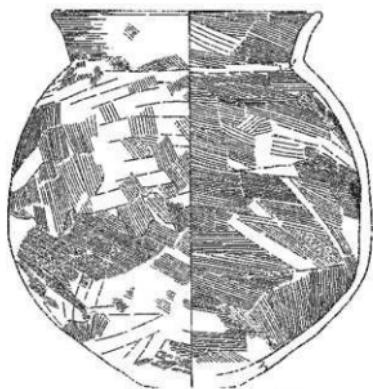
485



486



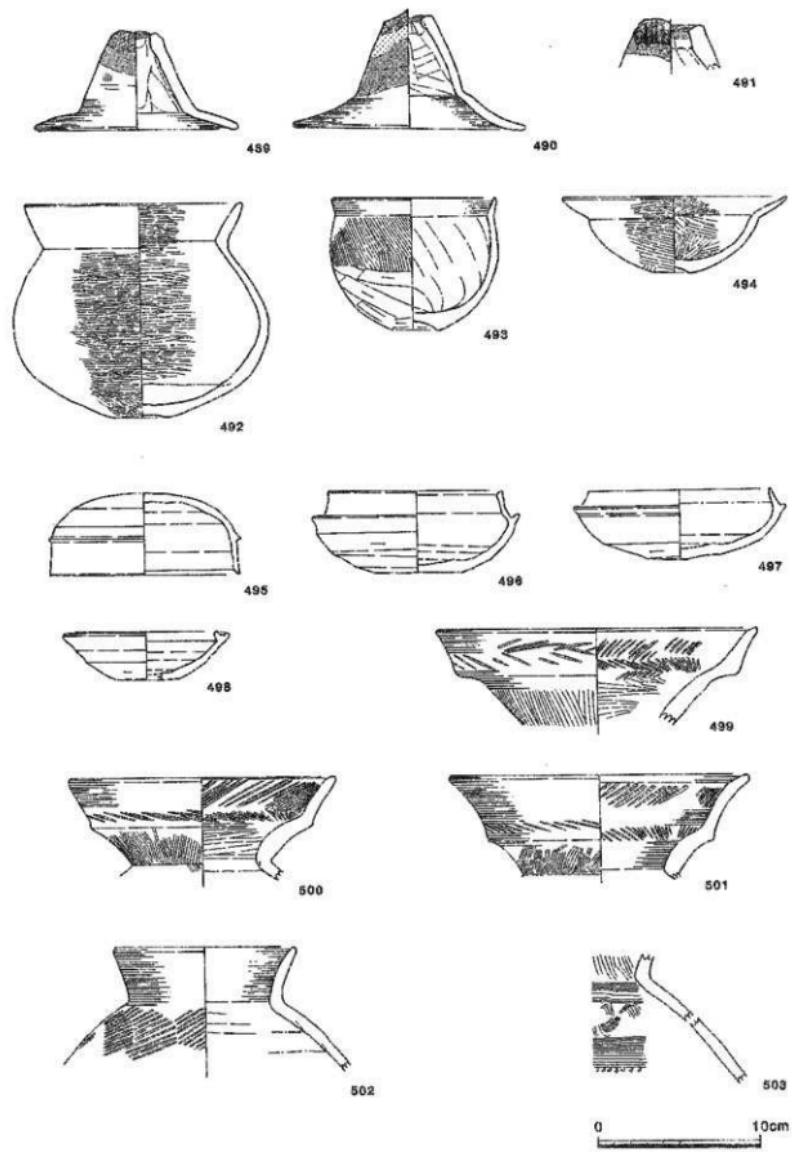
487



488

0 10cm

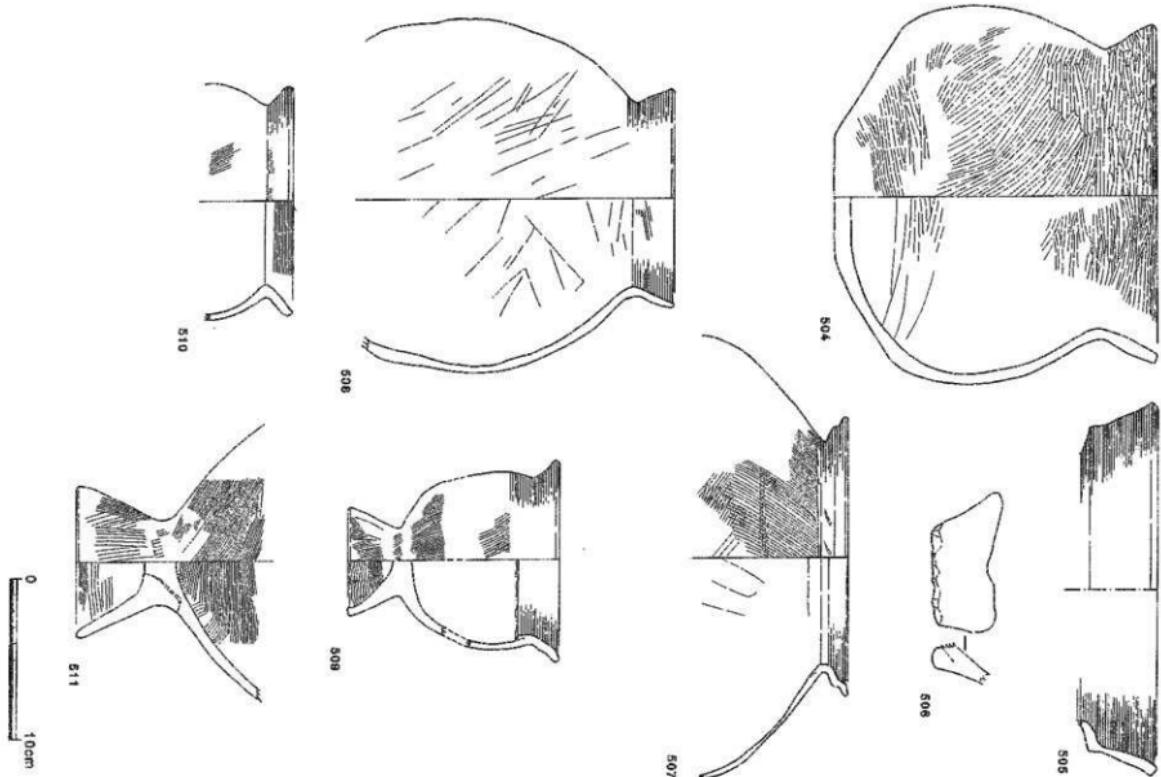
第48図 古墳時代土器実測図 (38)

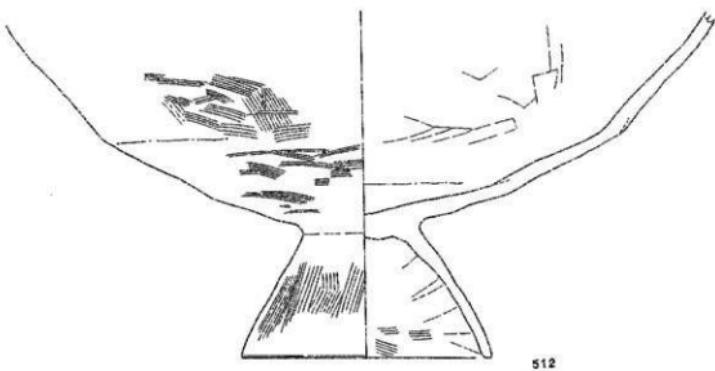


第49図 古墳時代土器実測図 (39)

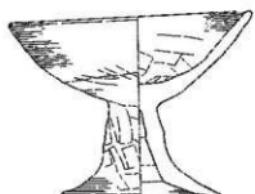
第50圖 古墳時代土器変遷図 (4)

— 133 —

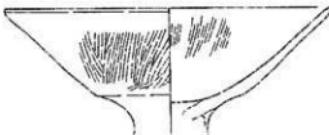




512



513



514



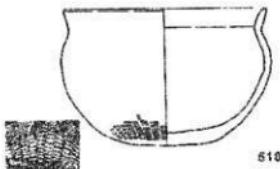
515



516



517



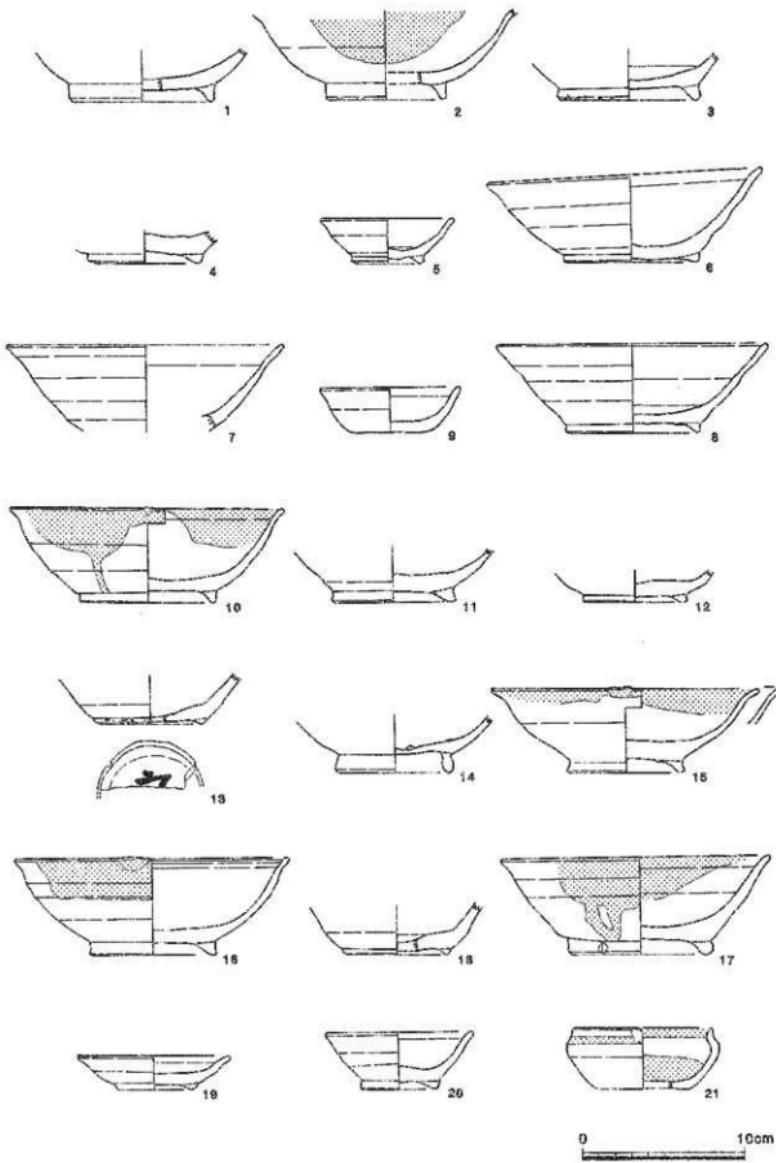
518



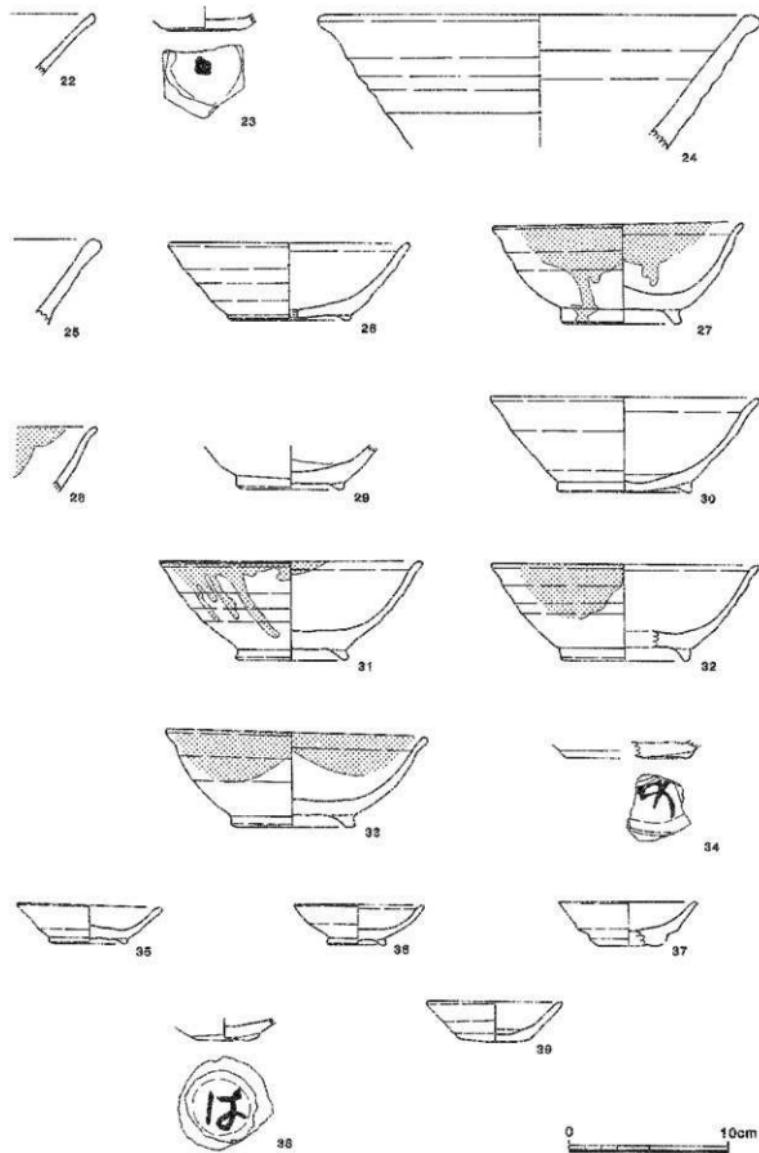
519



第51図 古墳時代土器実測図 (41)



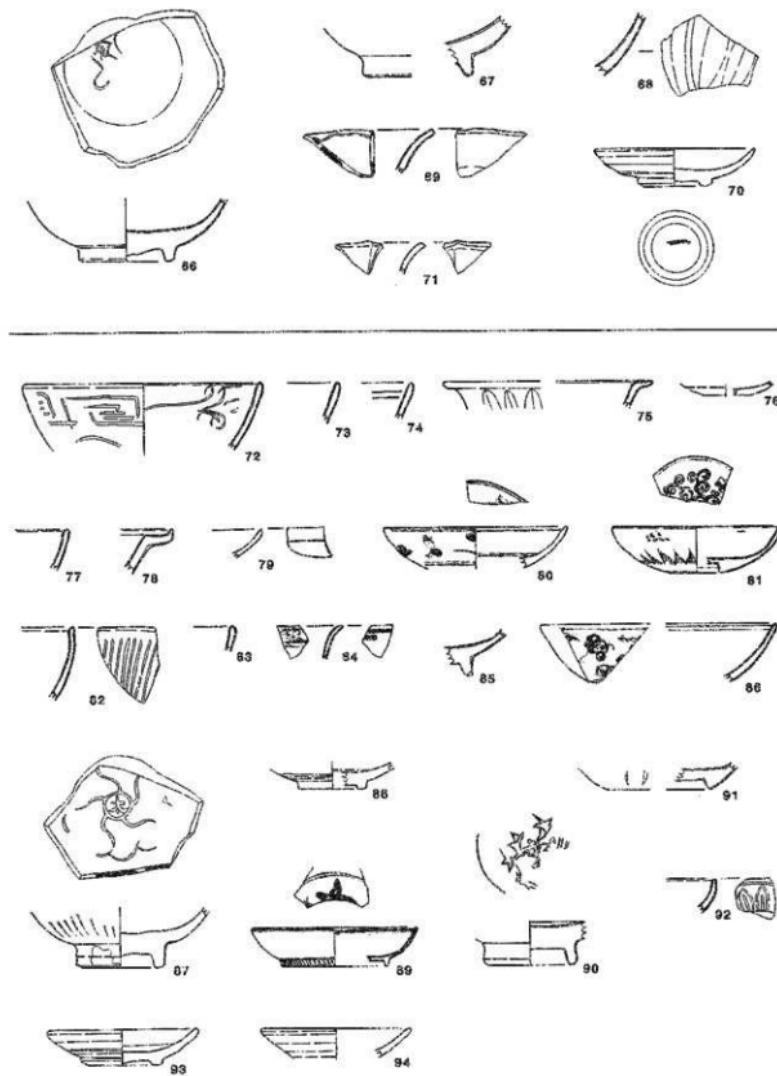
第52図 古代・中世土器実測図（1）



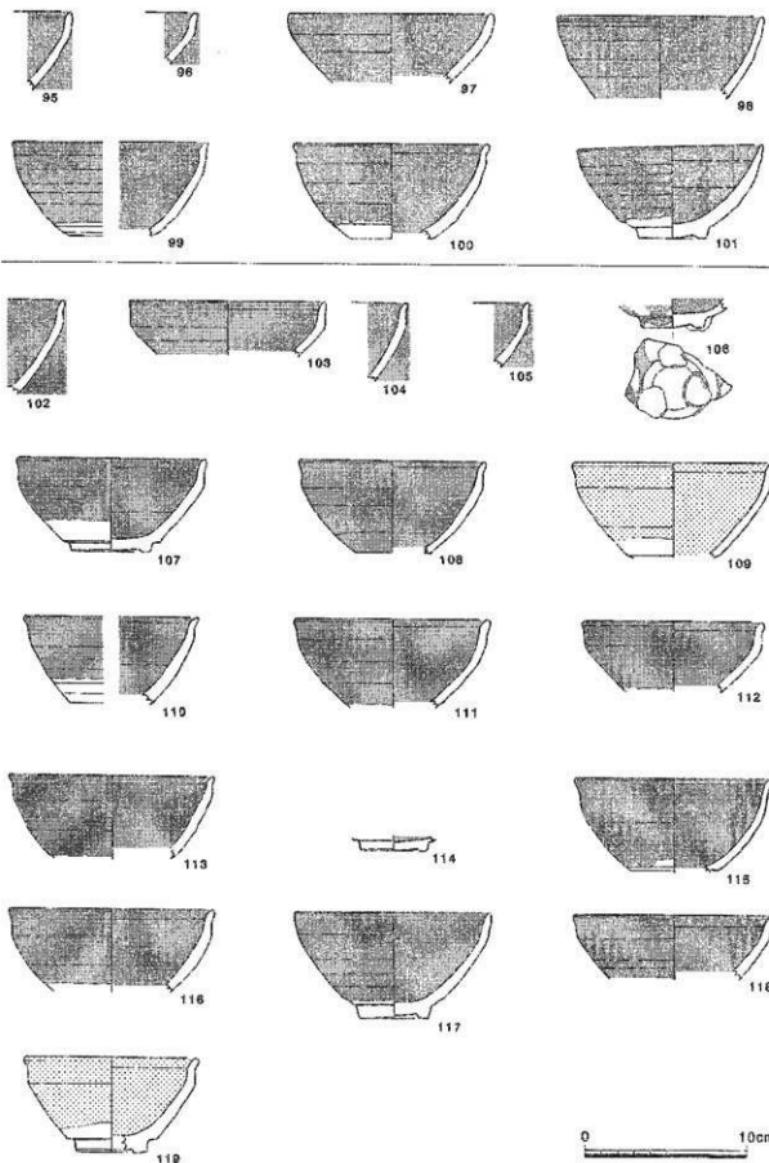
第53図 古代・中世土器実測図（2）

第54圖 古代・中世土器實測圖(3)

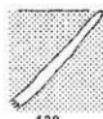




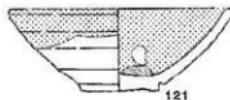
第55図 古代・中世土器実測図(4)



第56図 古代・中世土器実測図（5）



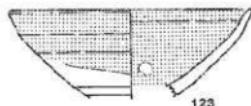
120



121



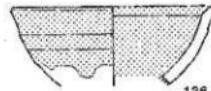
122



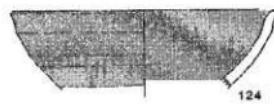
123



125



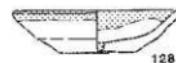
126



124



127



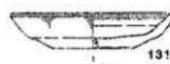
128



129



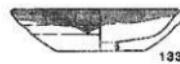
130



131



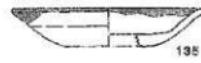
132



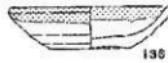
133



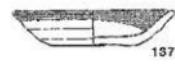
134



135



136



137



138



139



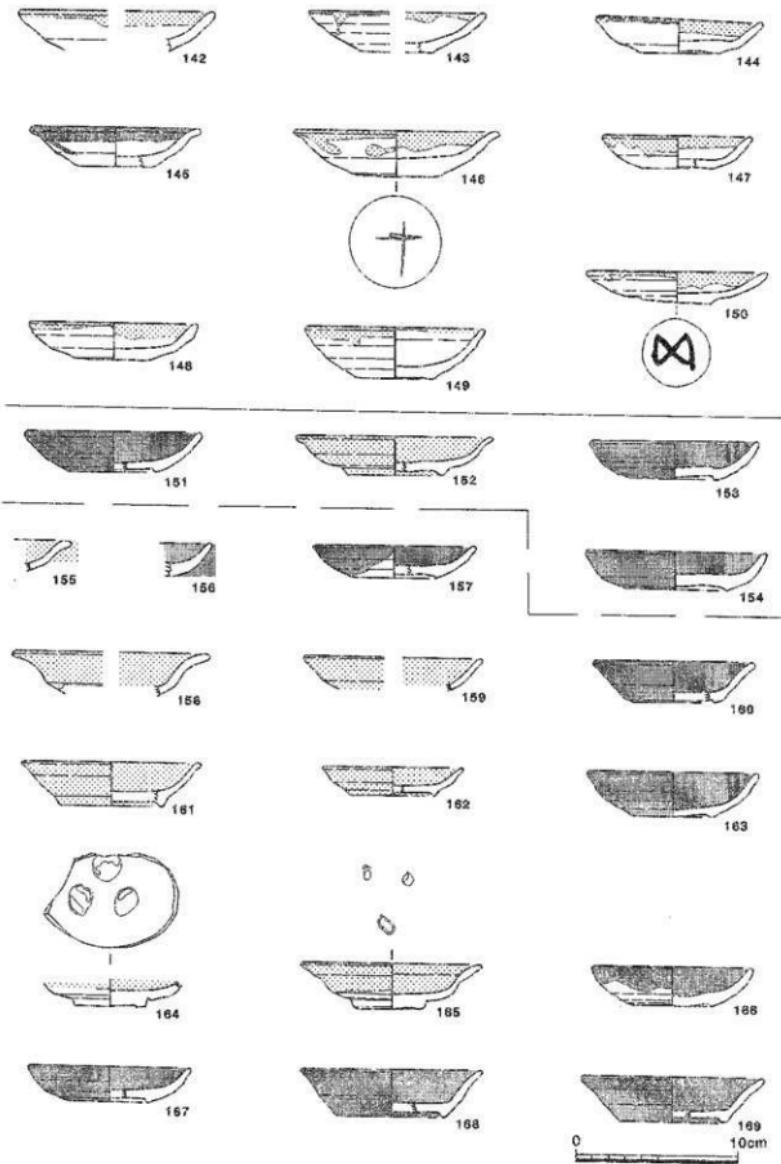
140



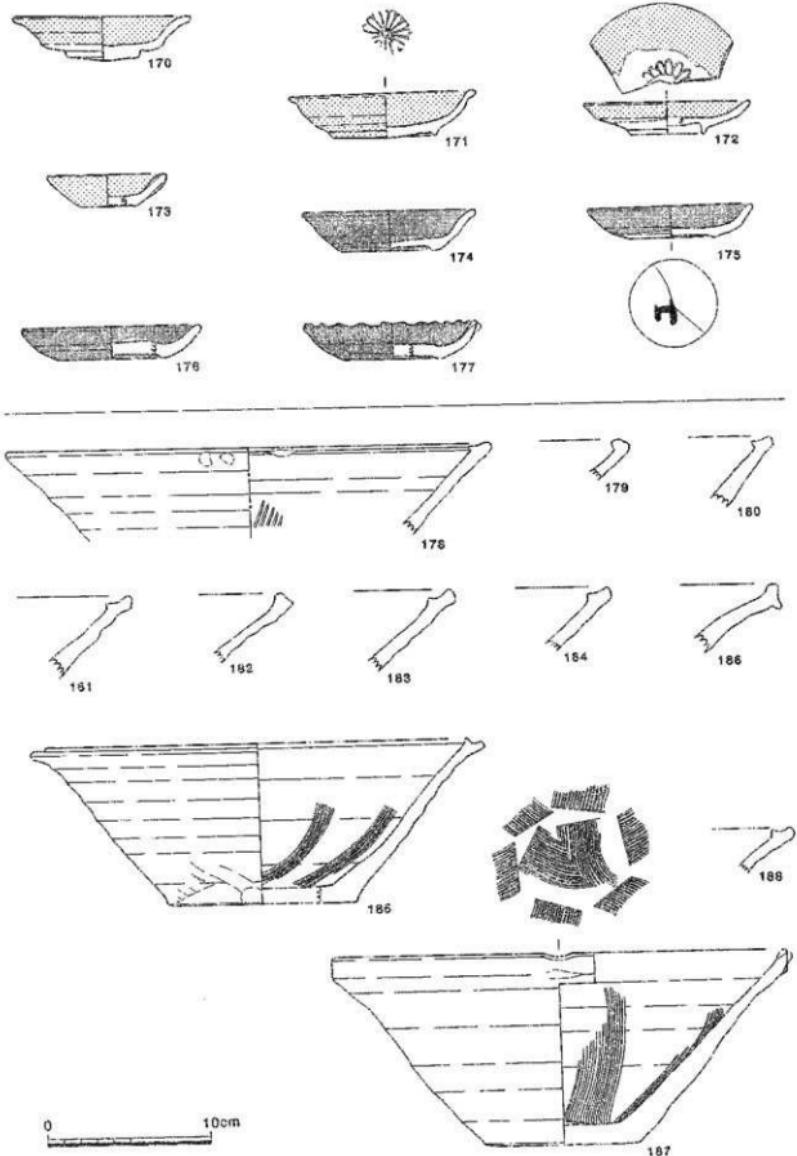
141



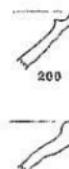
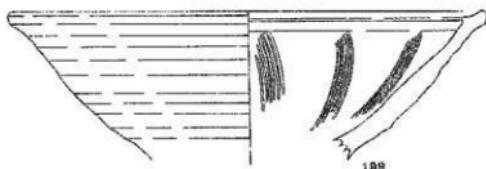
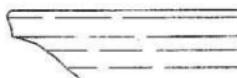
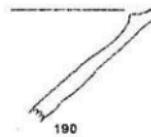
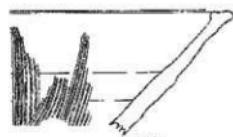
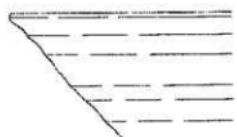
第57図 古代・中世土器実測図(6)



第58図 古代・中世土器実測図（7）

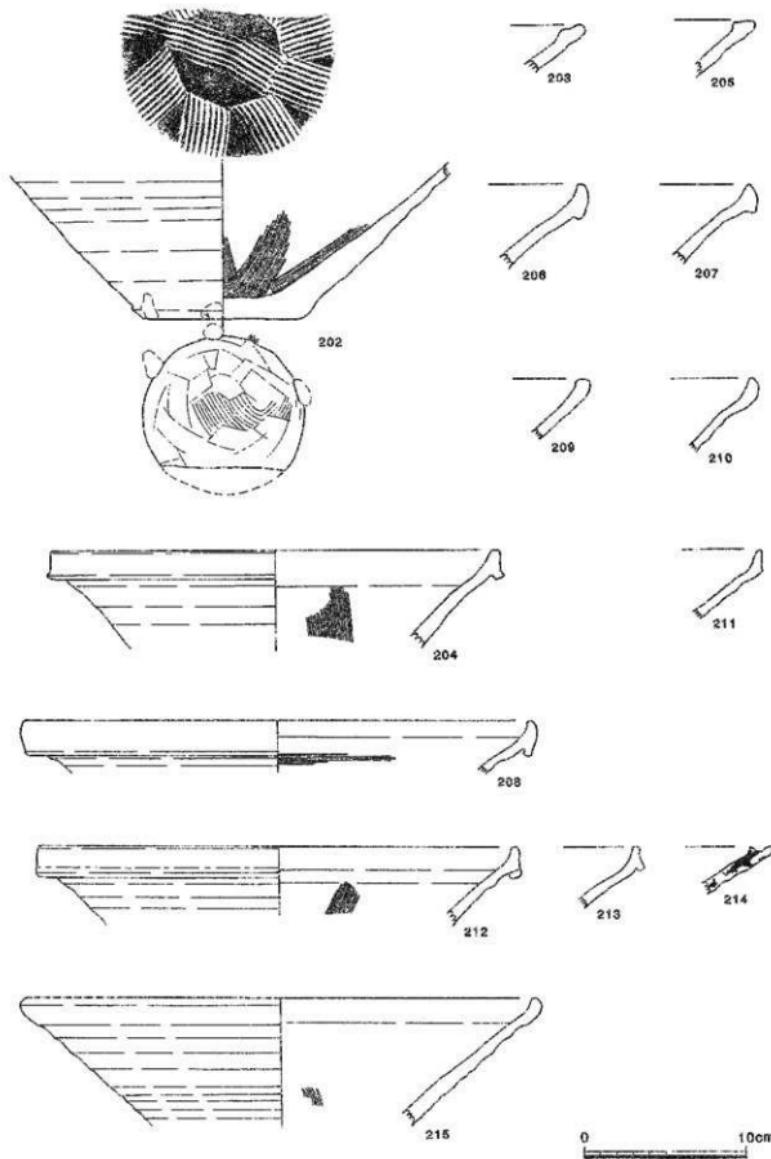


第59圖 古代・中世土器実測図（8）

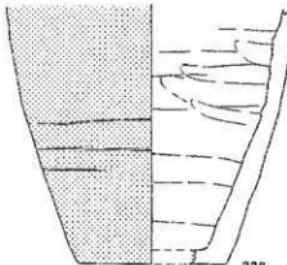
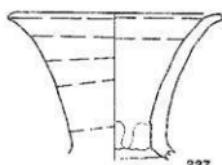
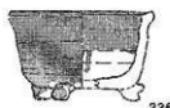
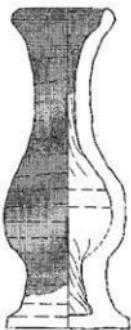
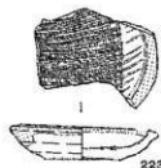
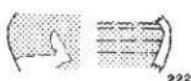
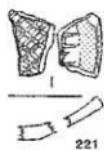
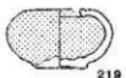
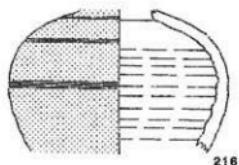


0 10cm

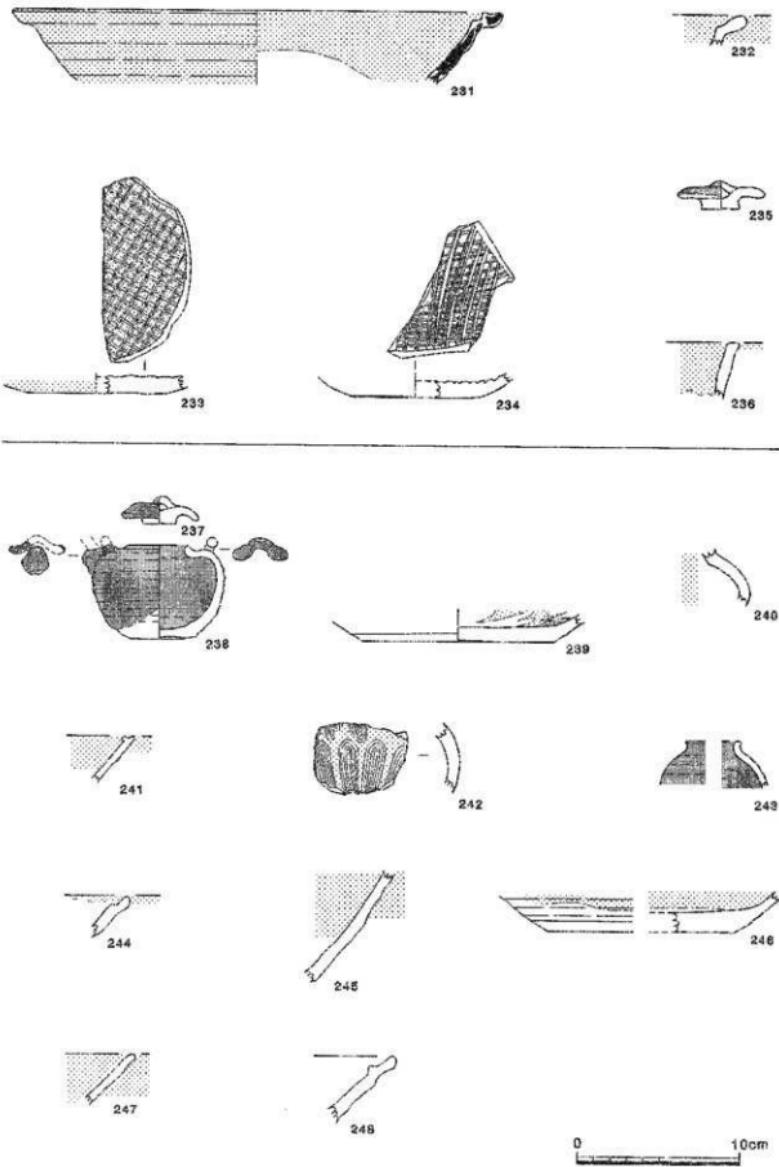
第60図 古代・中世土器実測図(9)



第61圖 古代・中世土器実測図(10)

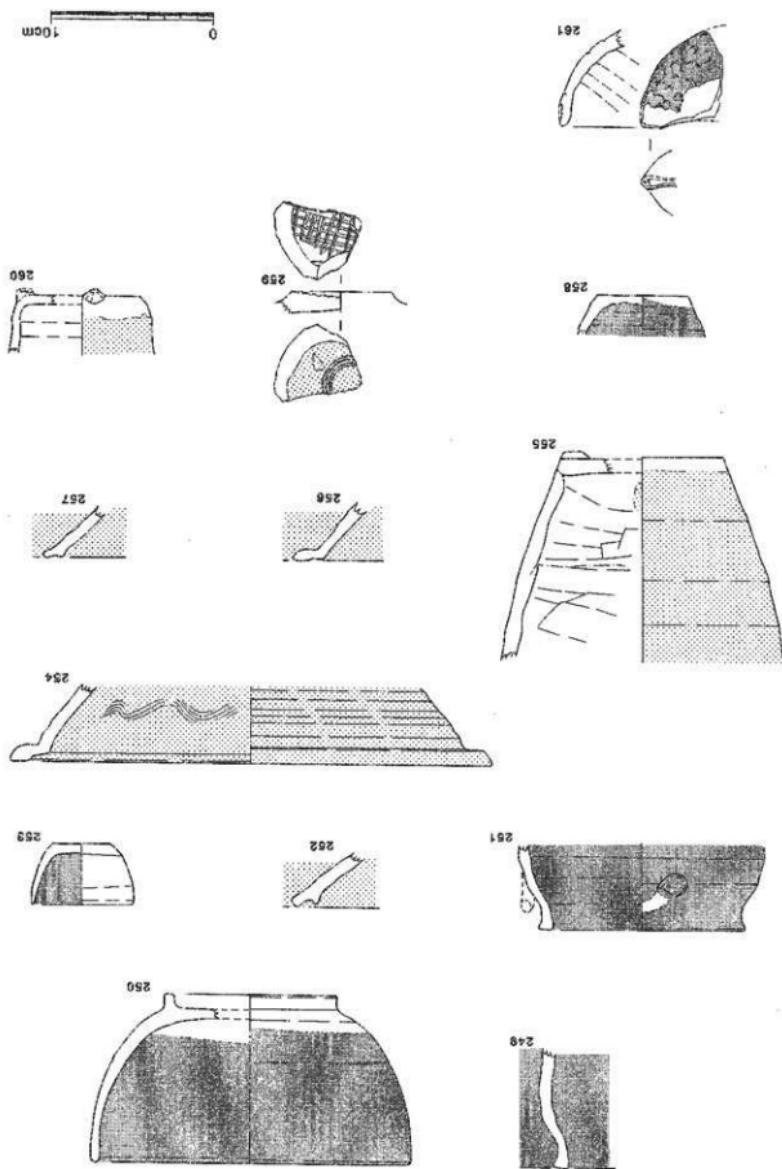


第62圖 古代・中世土器実測図 (11)

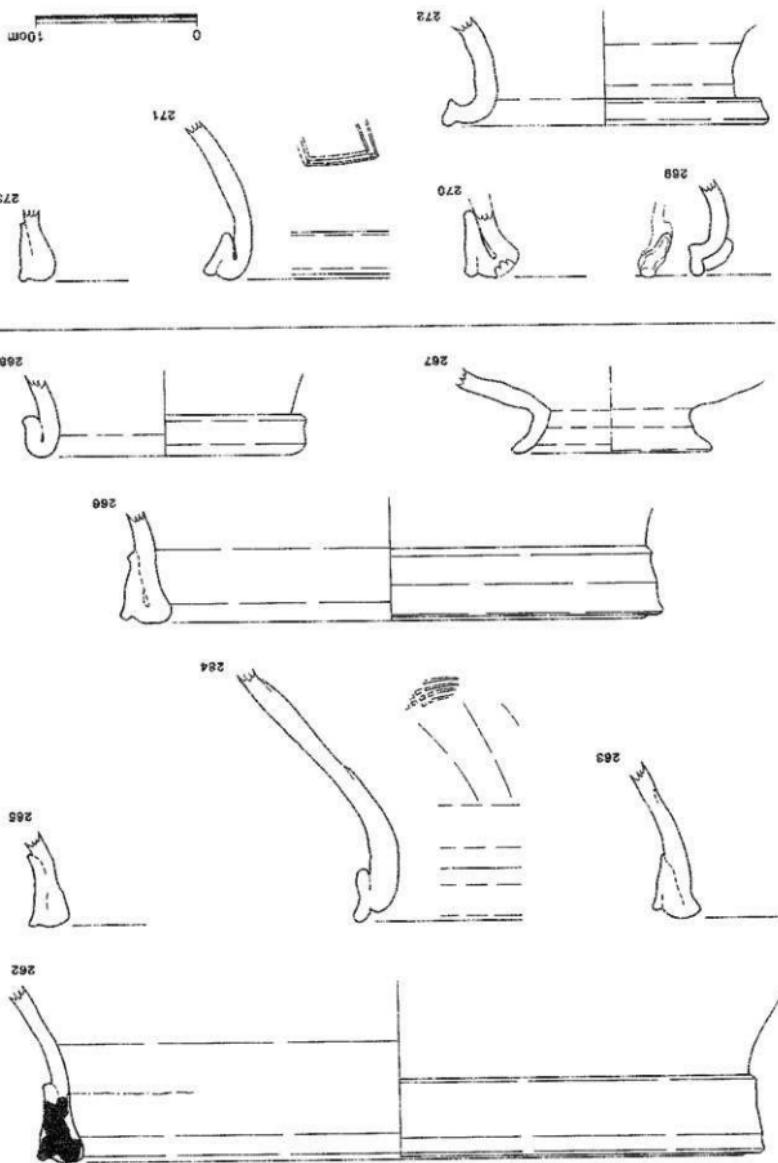


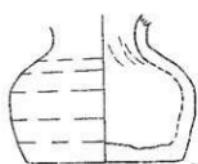
第63図 古代・中世土器実測図 (12)

圖64 古代・中世土器実測図 (13)

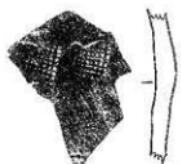


第66圖 古代・中世土器実測図(14)

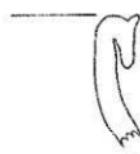




274



275



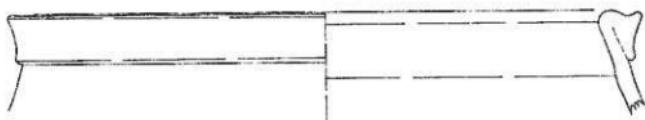
277



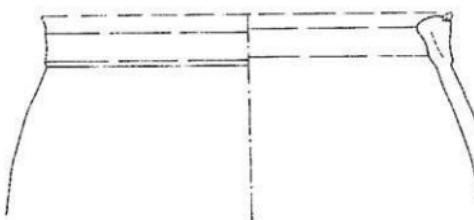
276



278



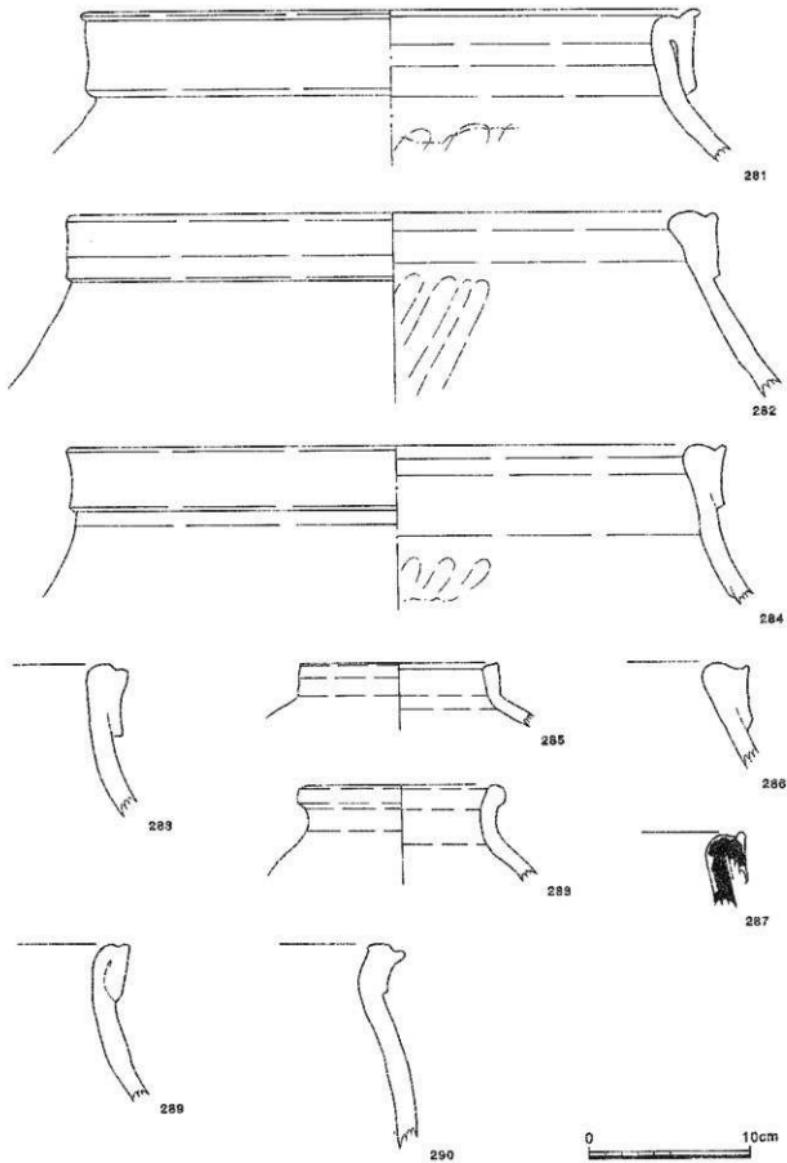
279



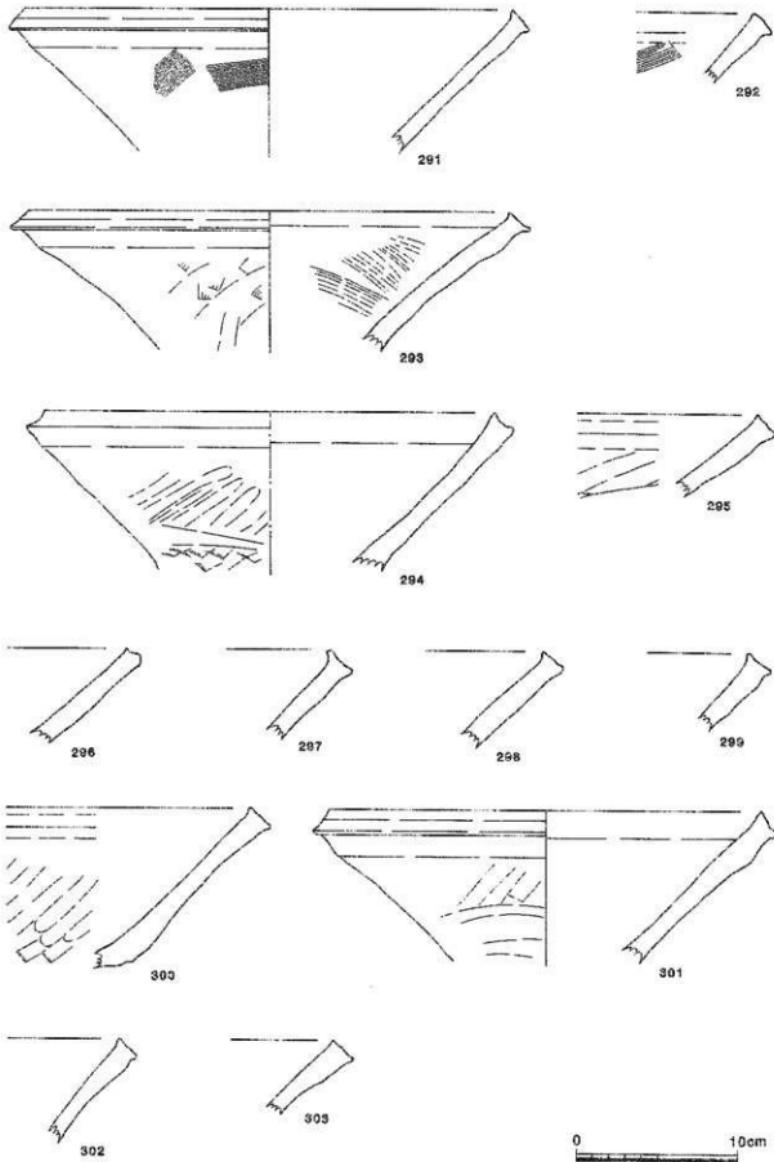
280

0 10cm

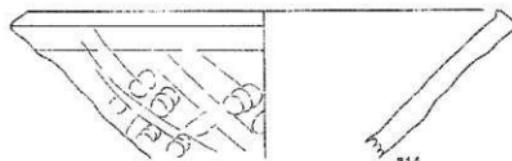
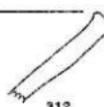
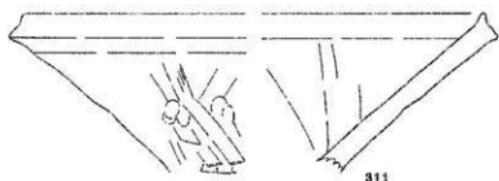
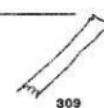
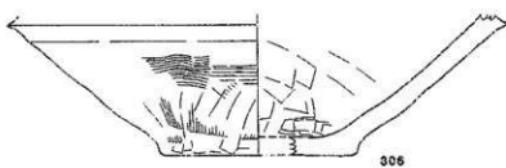
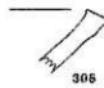
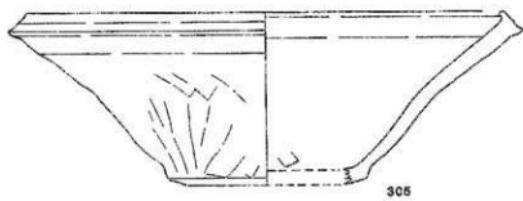
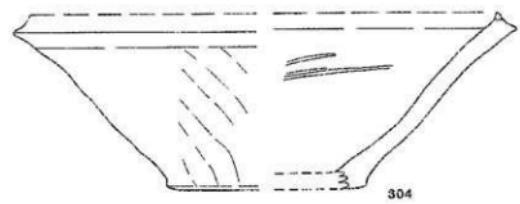
第66圖 古代・中世土器実測図 (15)



第67図 古代・中世土器実測図 (16)

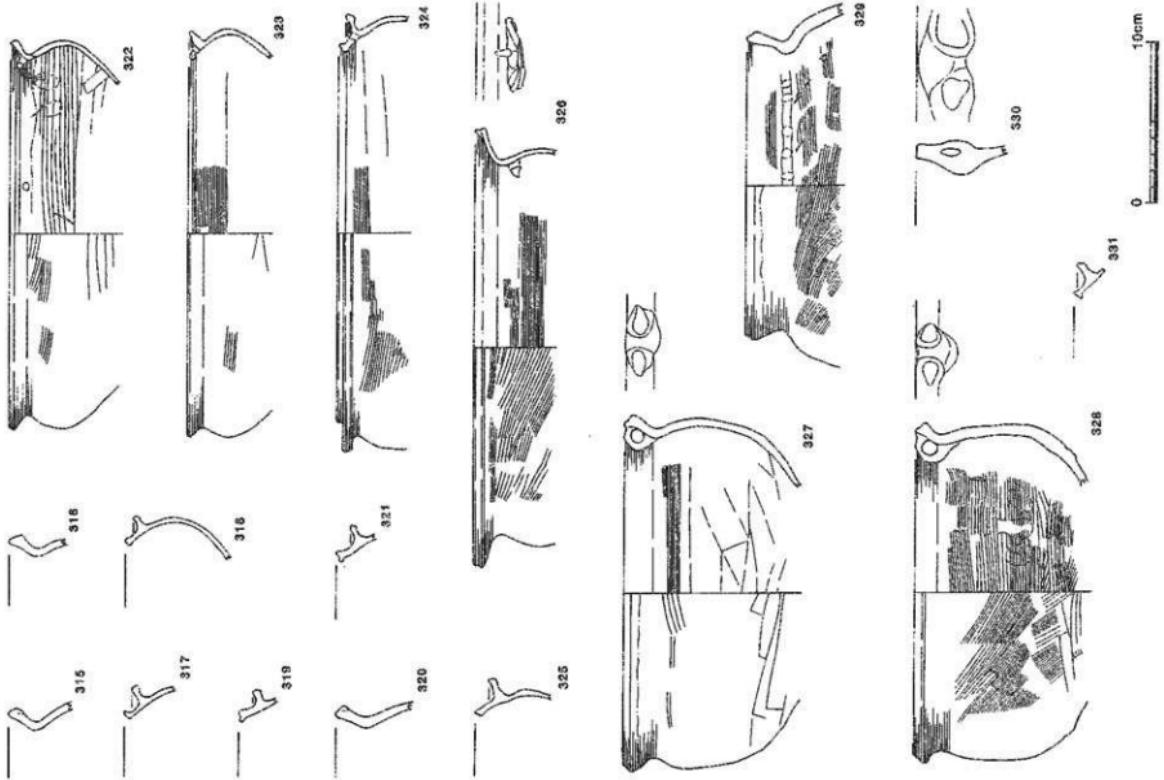


第68図 古代・中世土器実測図(17)

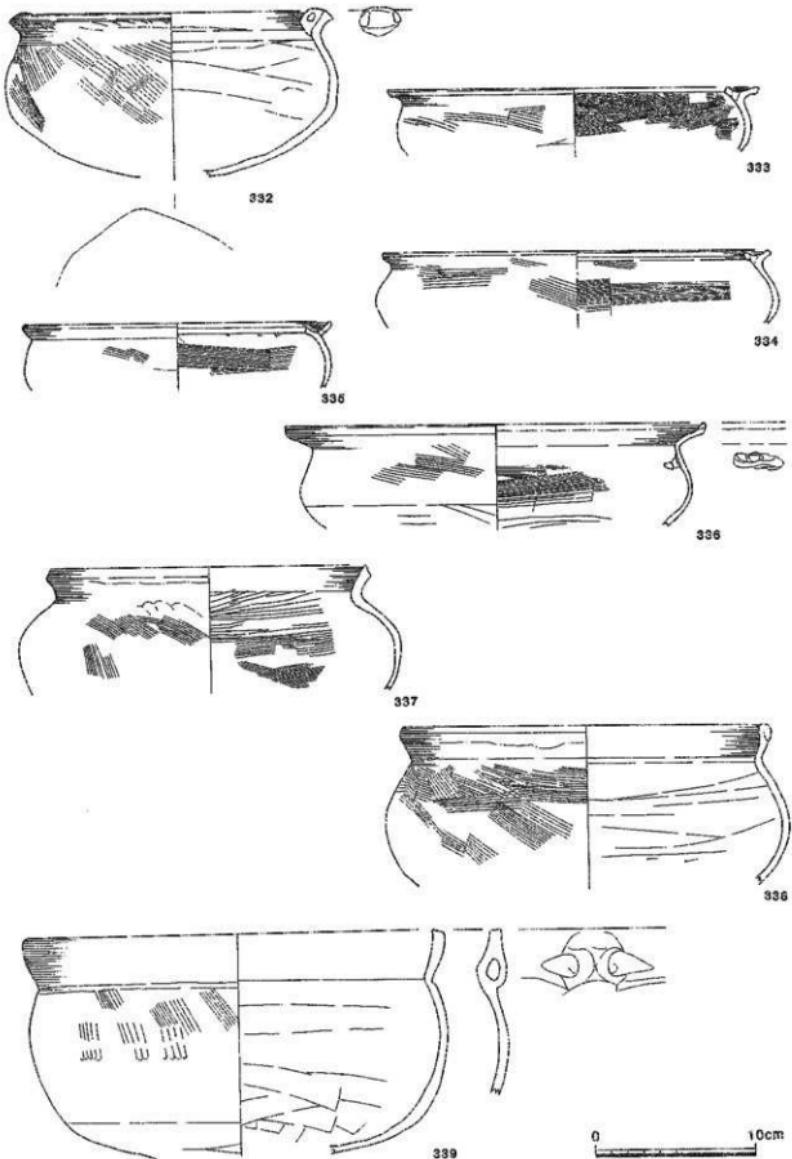


0 10cm

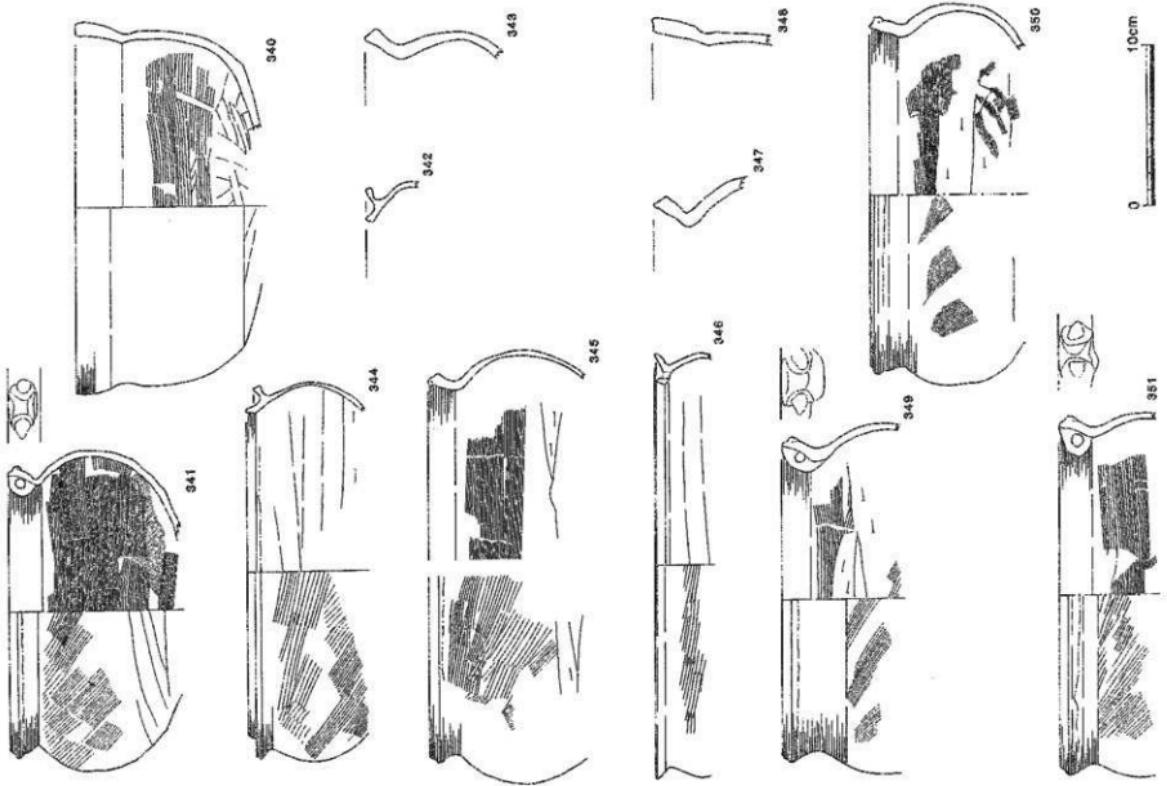
第69図 古代・中世土器実測図 (18)



第70图 古代·中世土器実測図 (19)



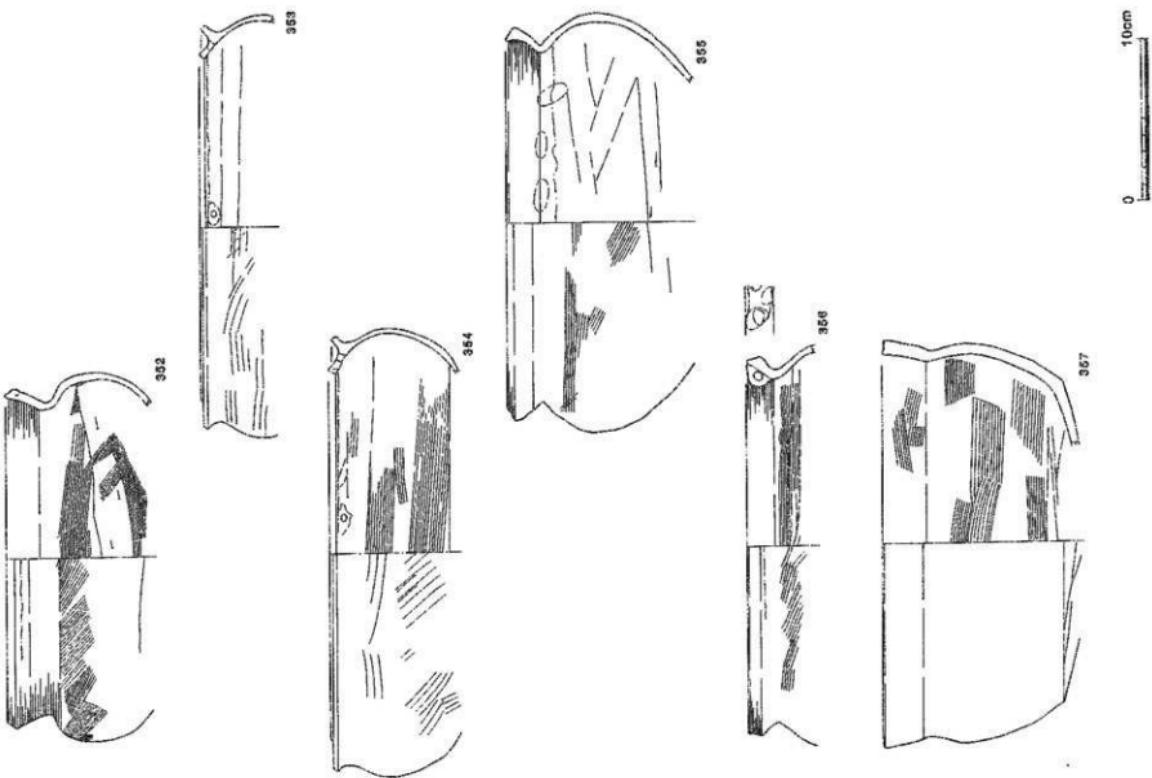
第71図 古代・中世土器実測図 (20)



第72圖 古代・中世土器実測図 (21)

10cm

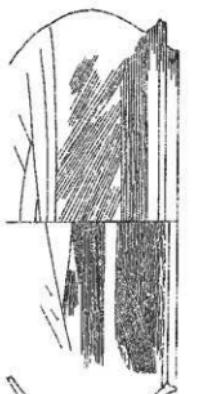
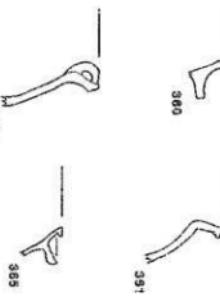
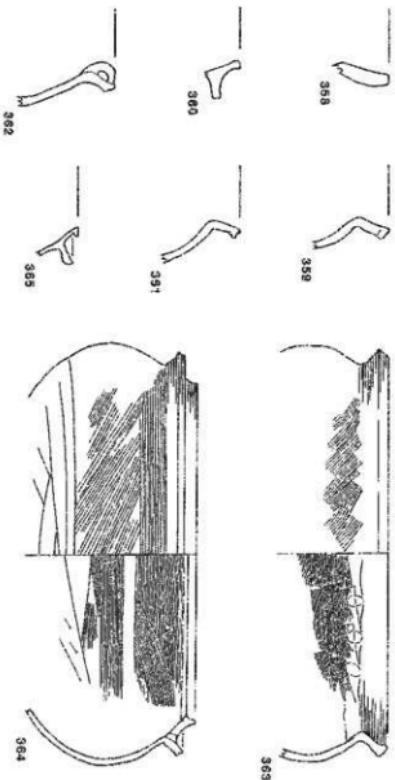
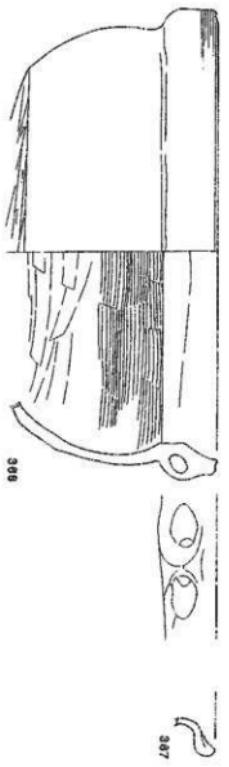
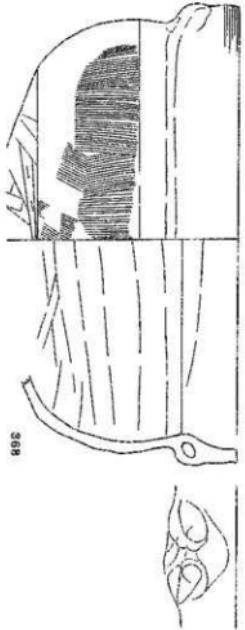
0

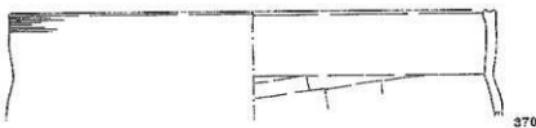


第73圖 古代・中世土壤測圖 (22)

第74圖 古代・中世土器実測図 (23)

- 157 -

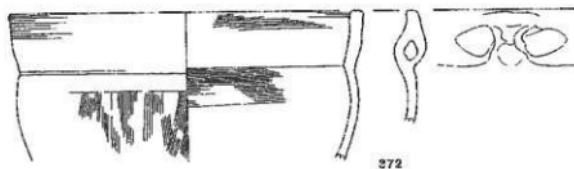




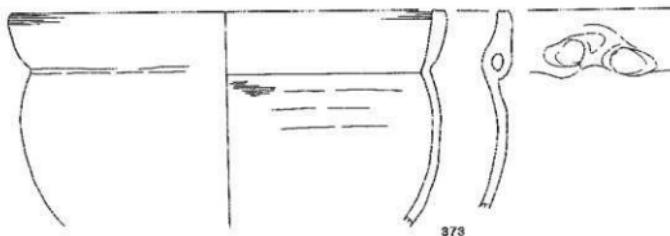
370



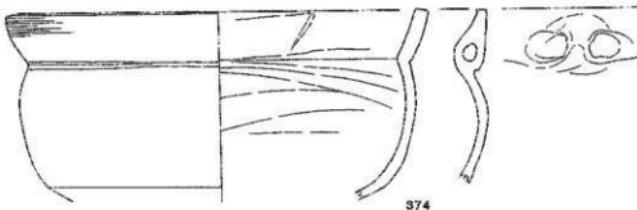
371



372



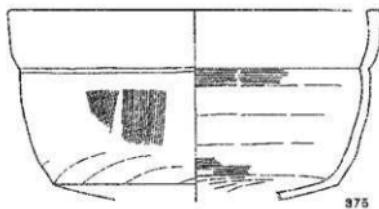
373



374

0 10cm

第75圖 古代・中世土器実測図 (24)



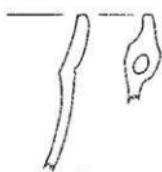
375



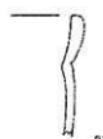
376



377



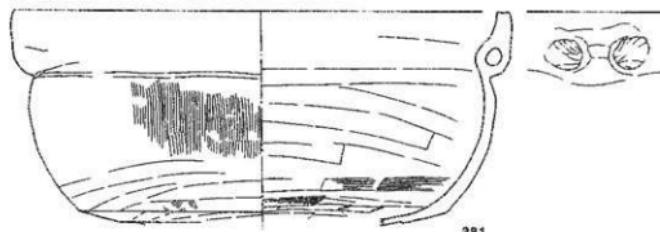
378



379



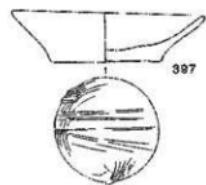
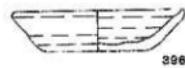
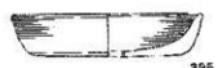
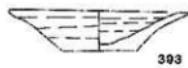
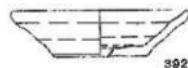
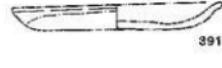
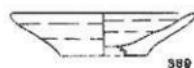
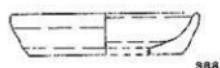
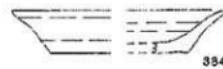
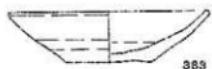
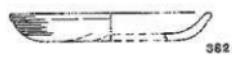
380



381

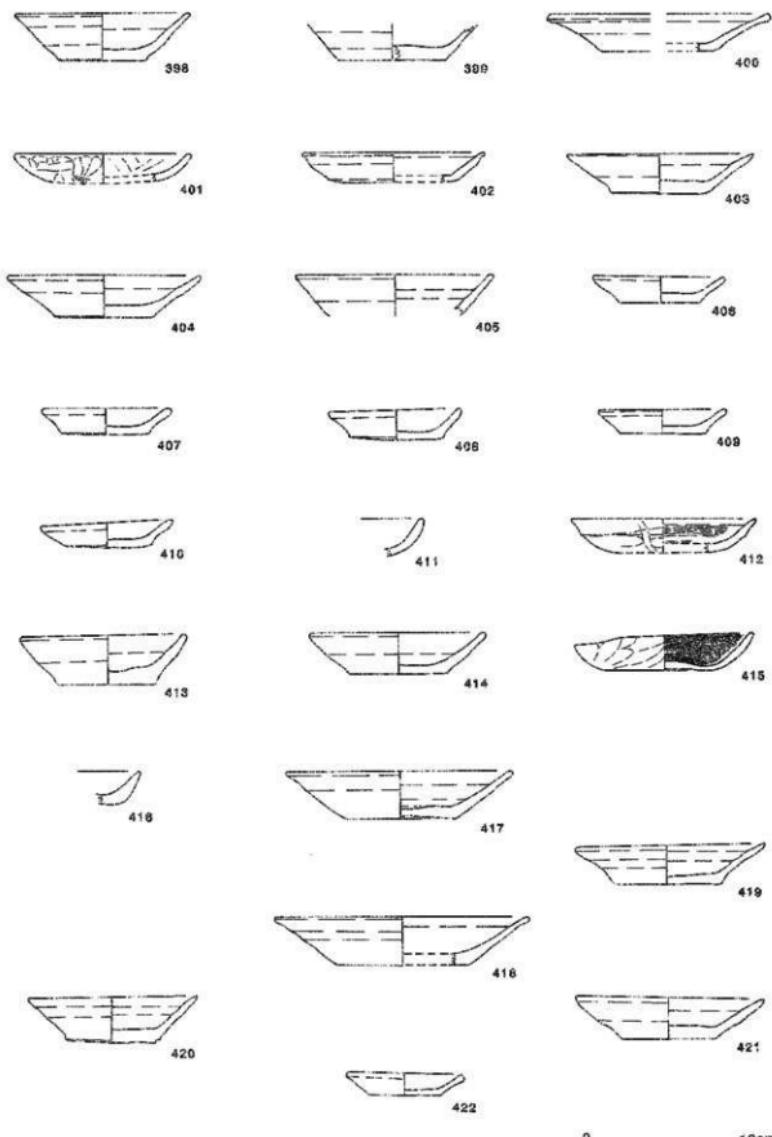


第76図 古代・中世土器実測図 (25)

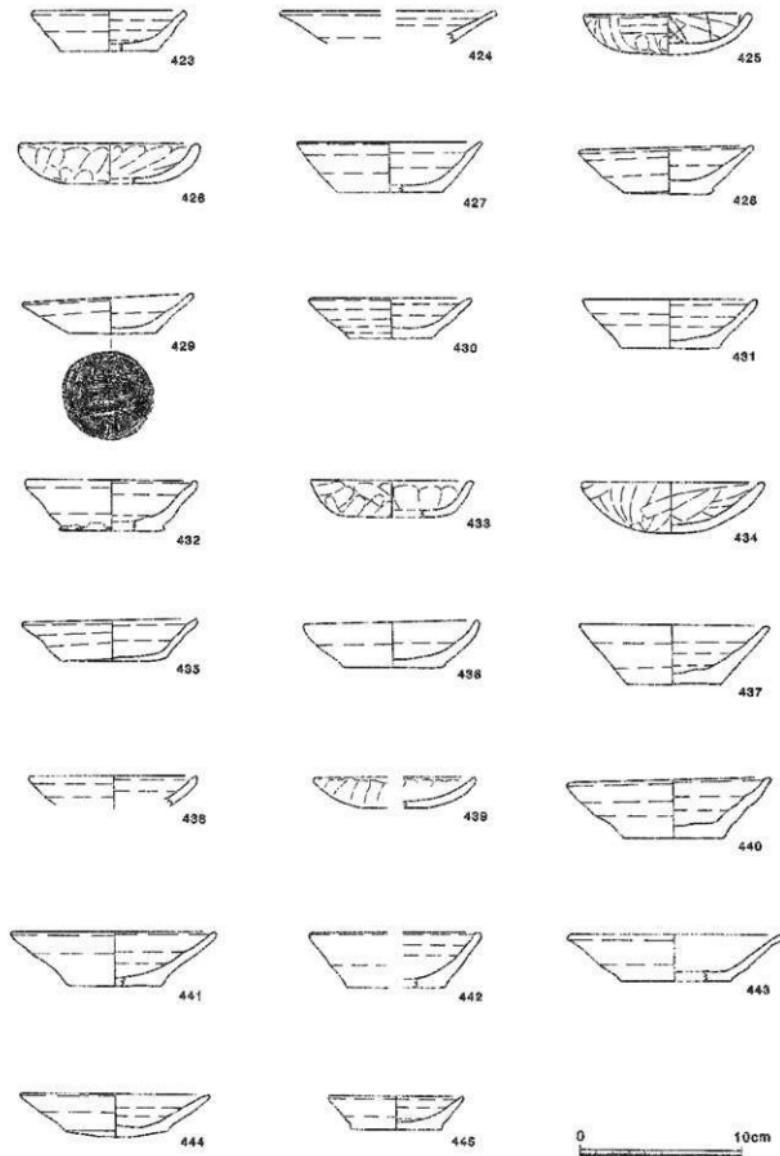


0 10cm

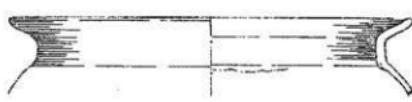
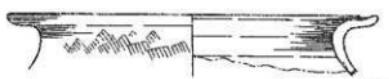
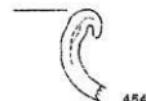
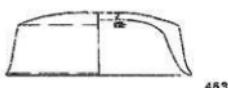
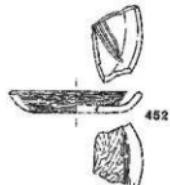
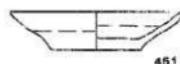
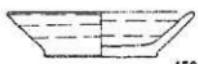
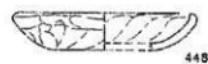
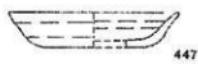
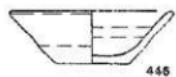
第77圖 古代・中世土器実測図 (26)



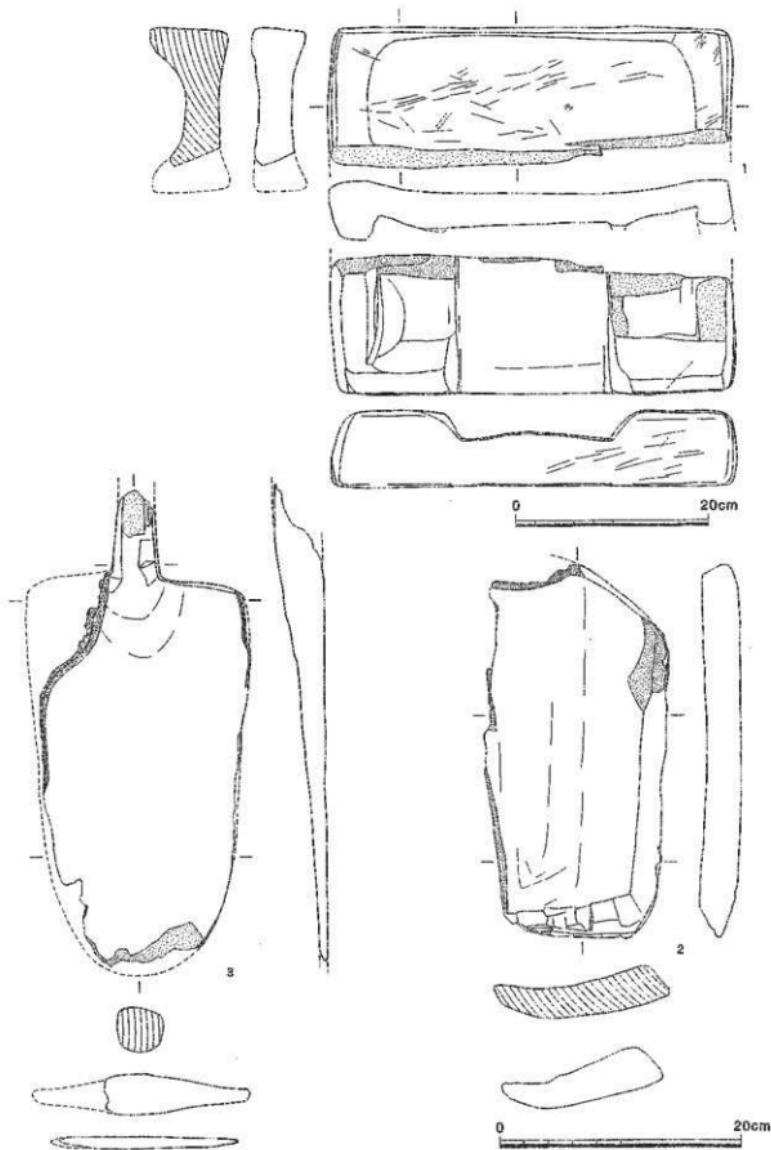
第76図 古代・中世土器実測図 (27)



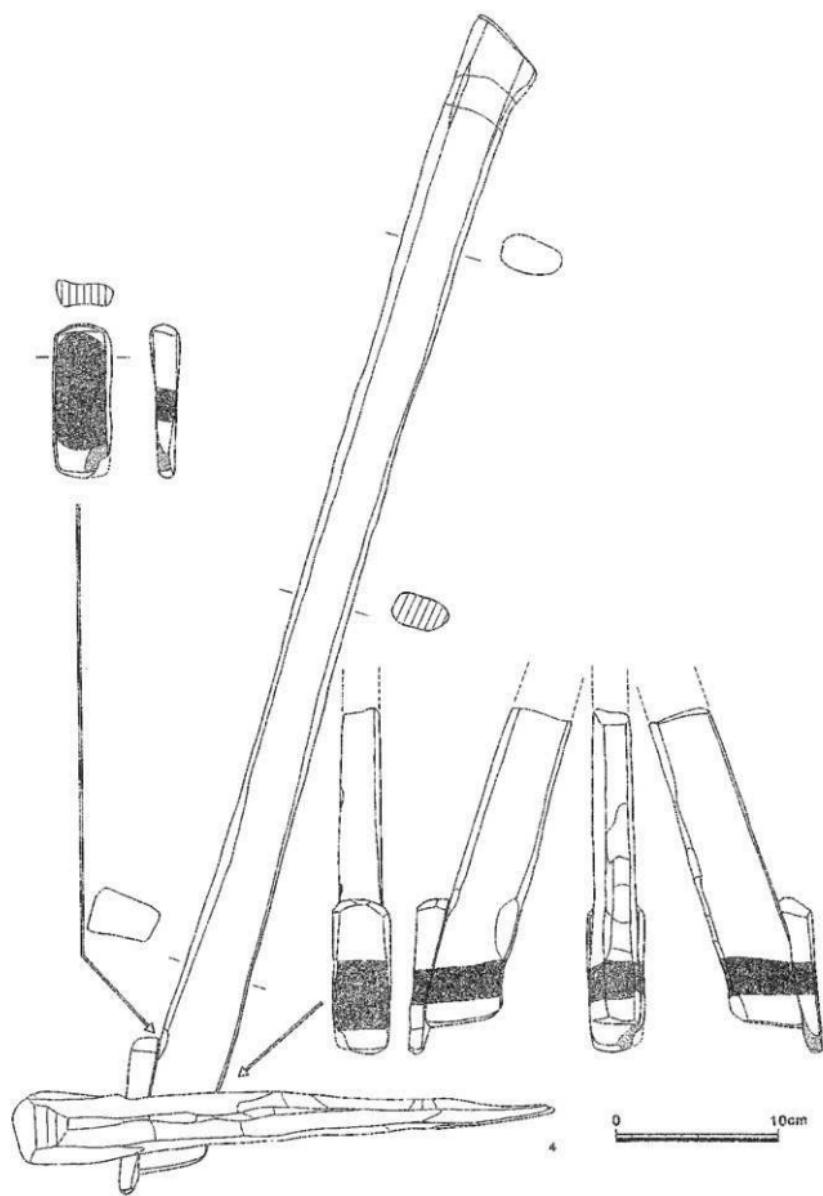
第79図 古代・中世土器実測図 (28)



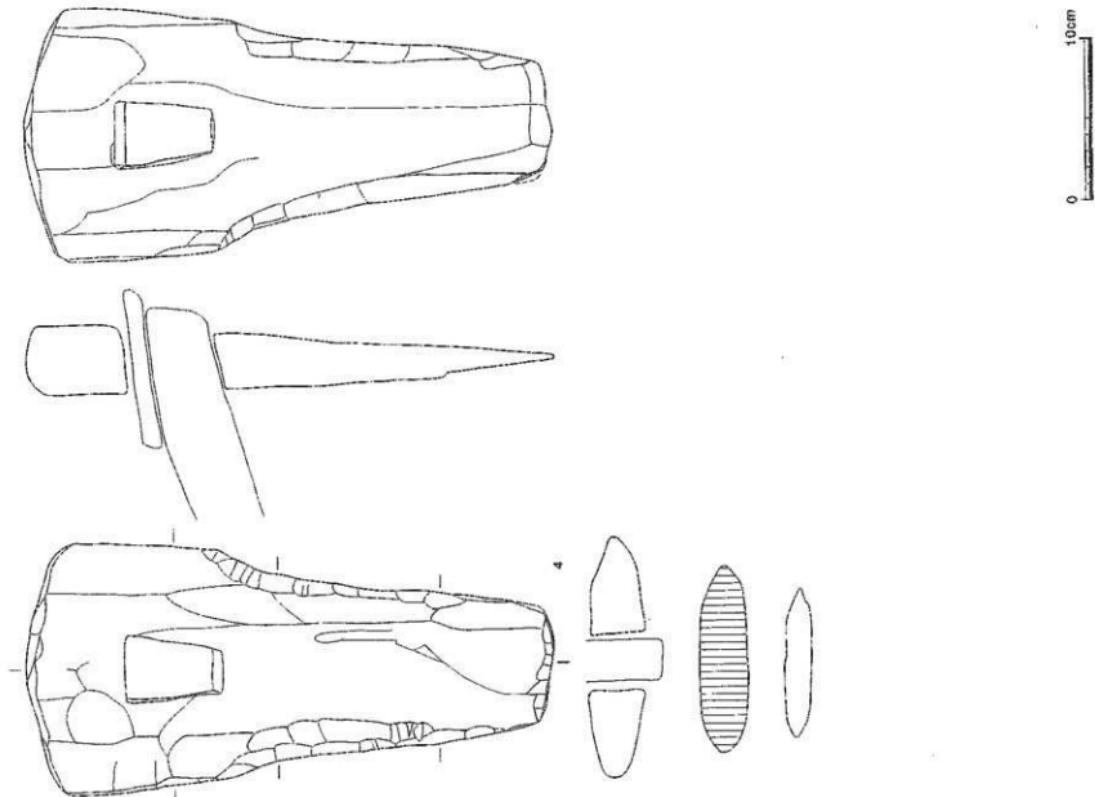
第30图 古代·中世土器実測図 (29)



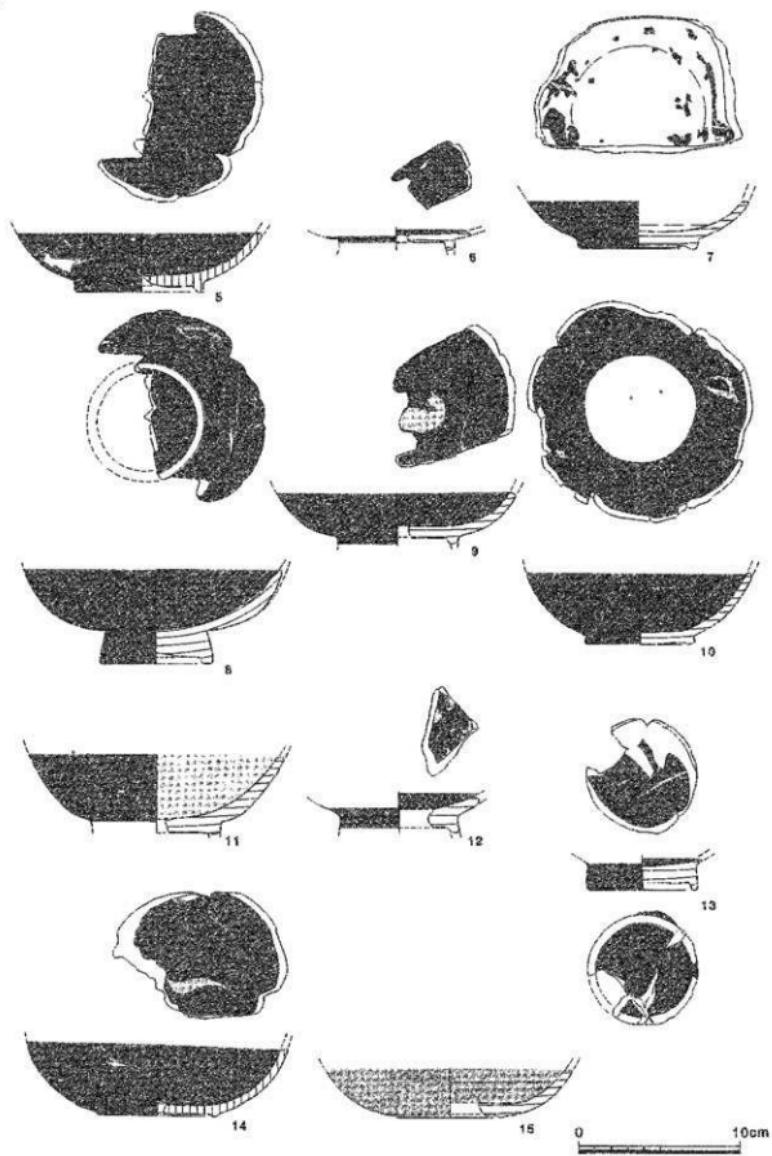
第81図 木製品実測図 (1)



第82図 木製品実測図（2）

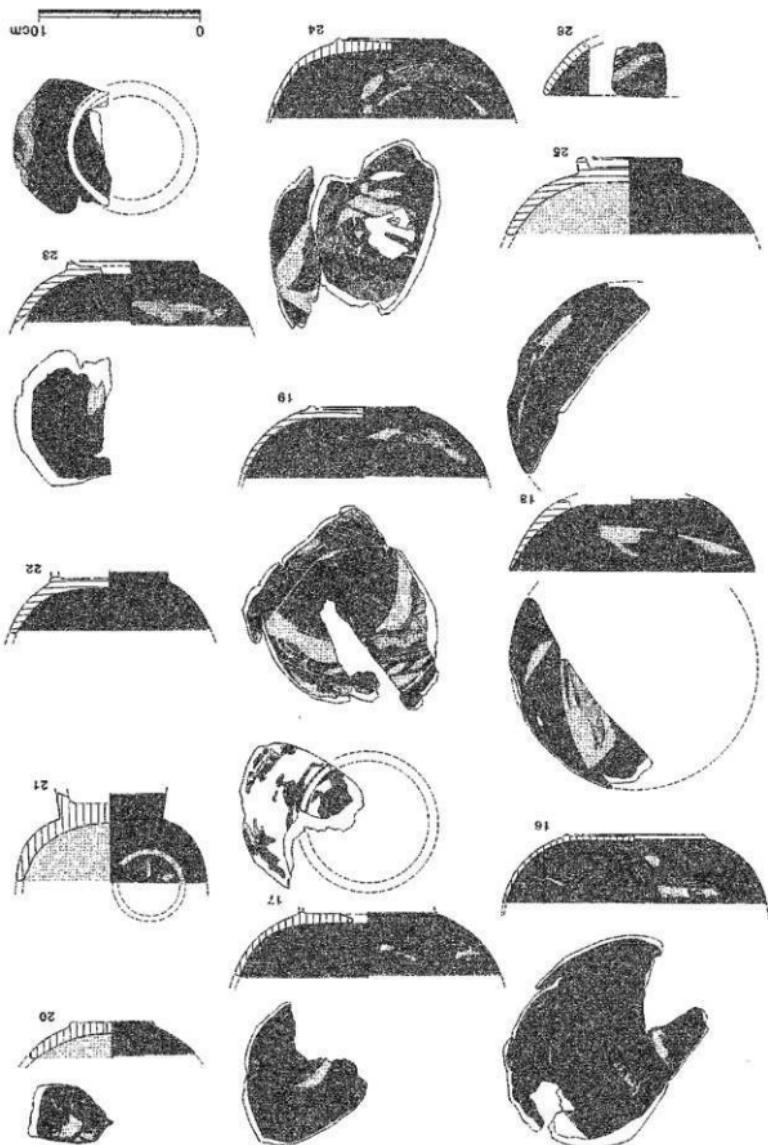


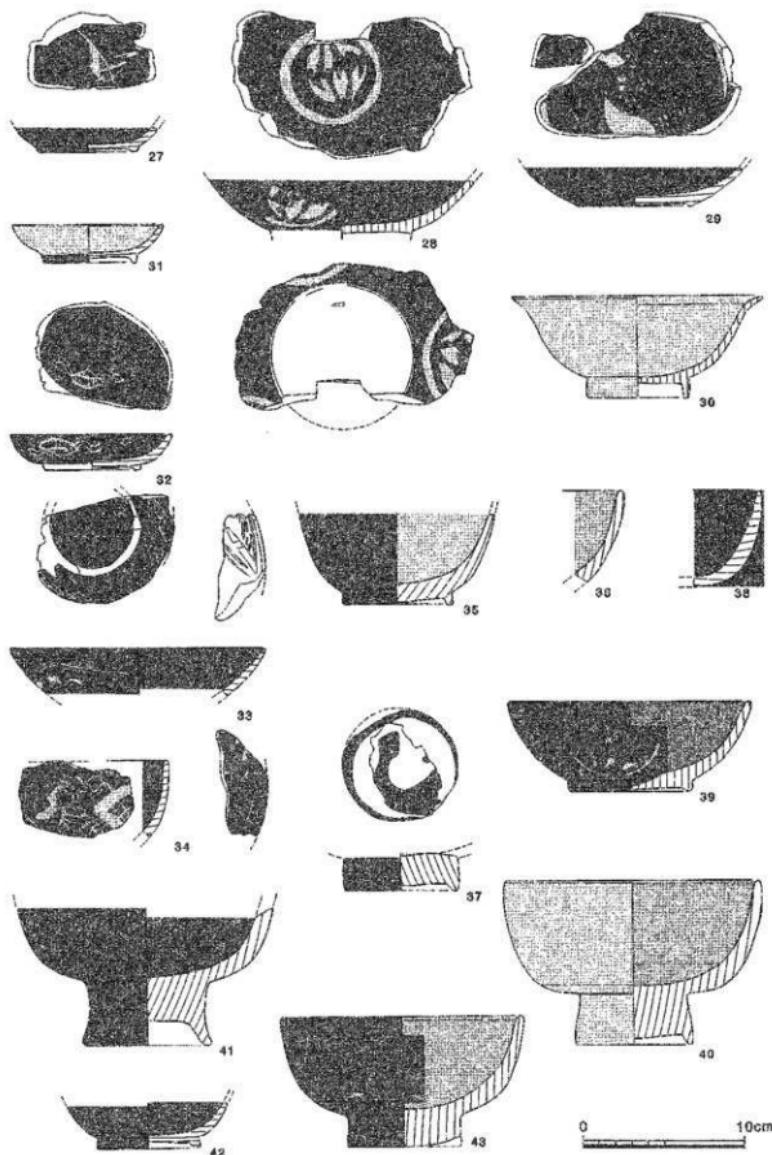
第83圖 木製品測量圖（3）



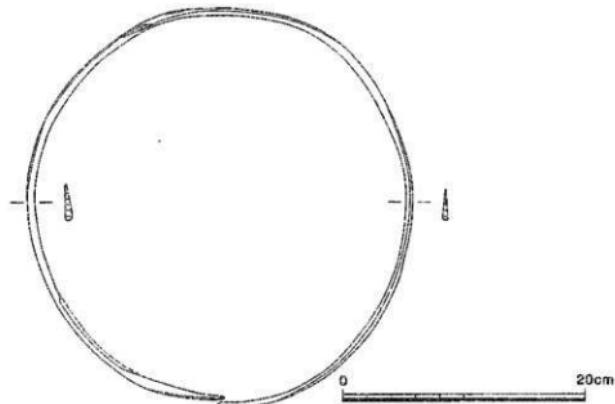
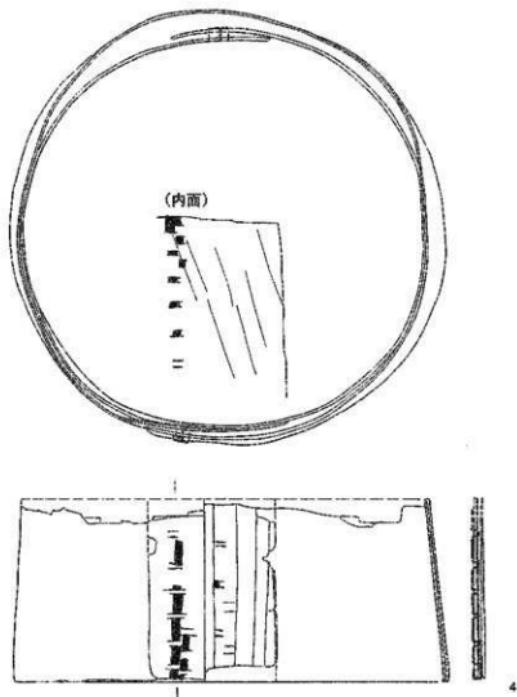
第84図 木製品実測図 (4)

第86圖 木製品實測圖(5)

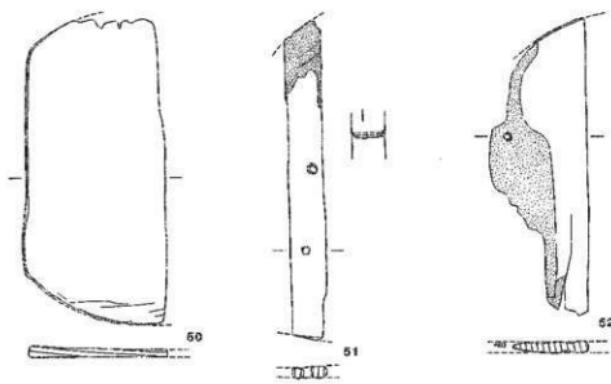
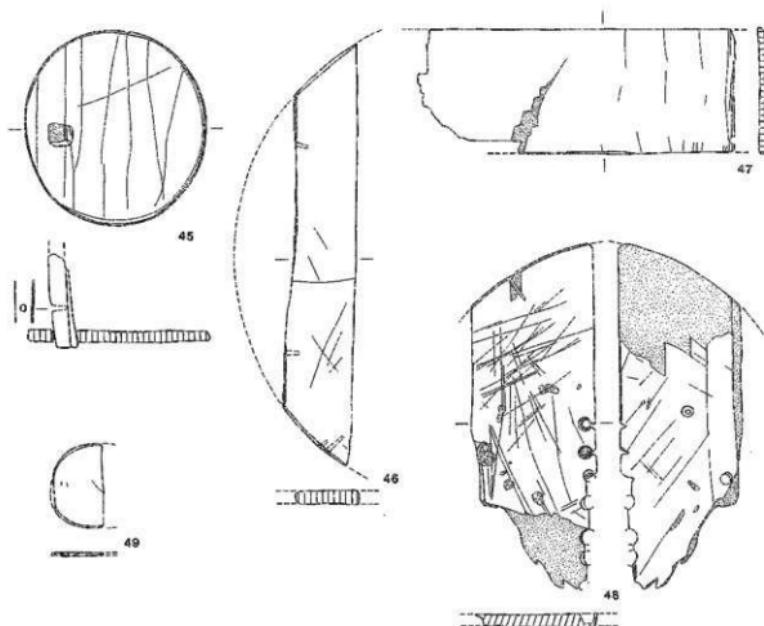




第36図 木製品実測図 (6)

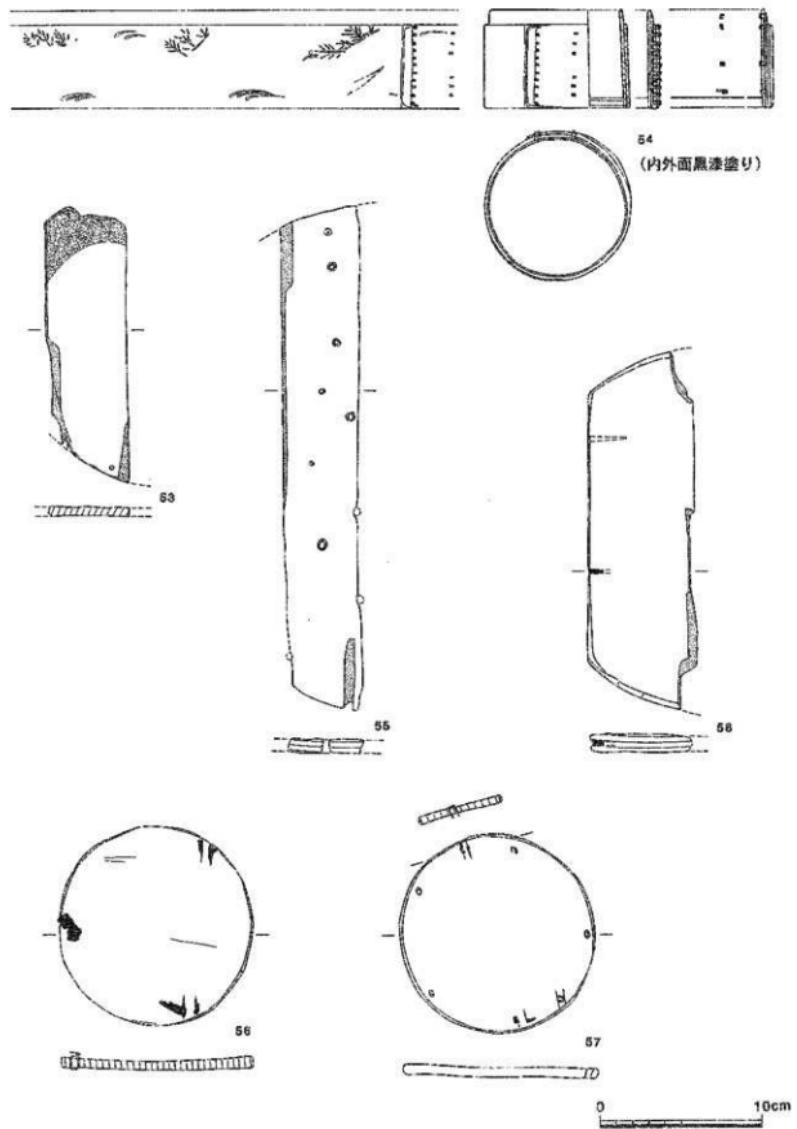


第87図 木製品実測図(7)

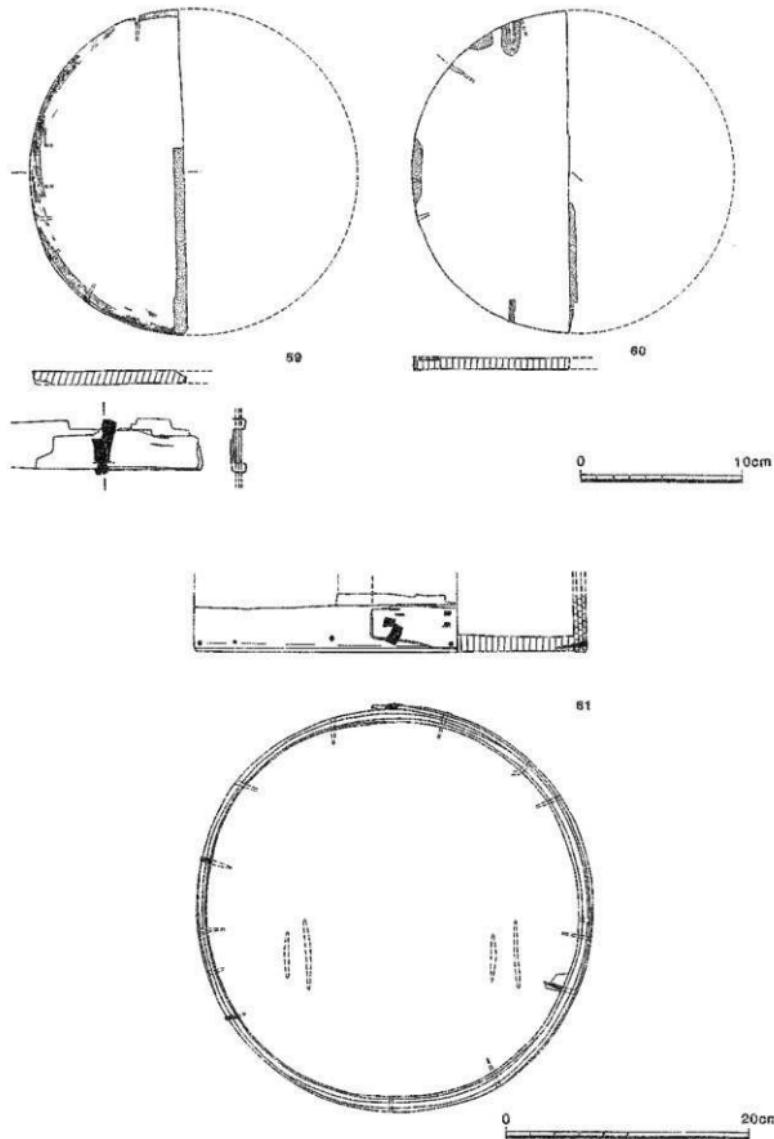


0 10cm

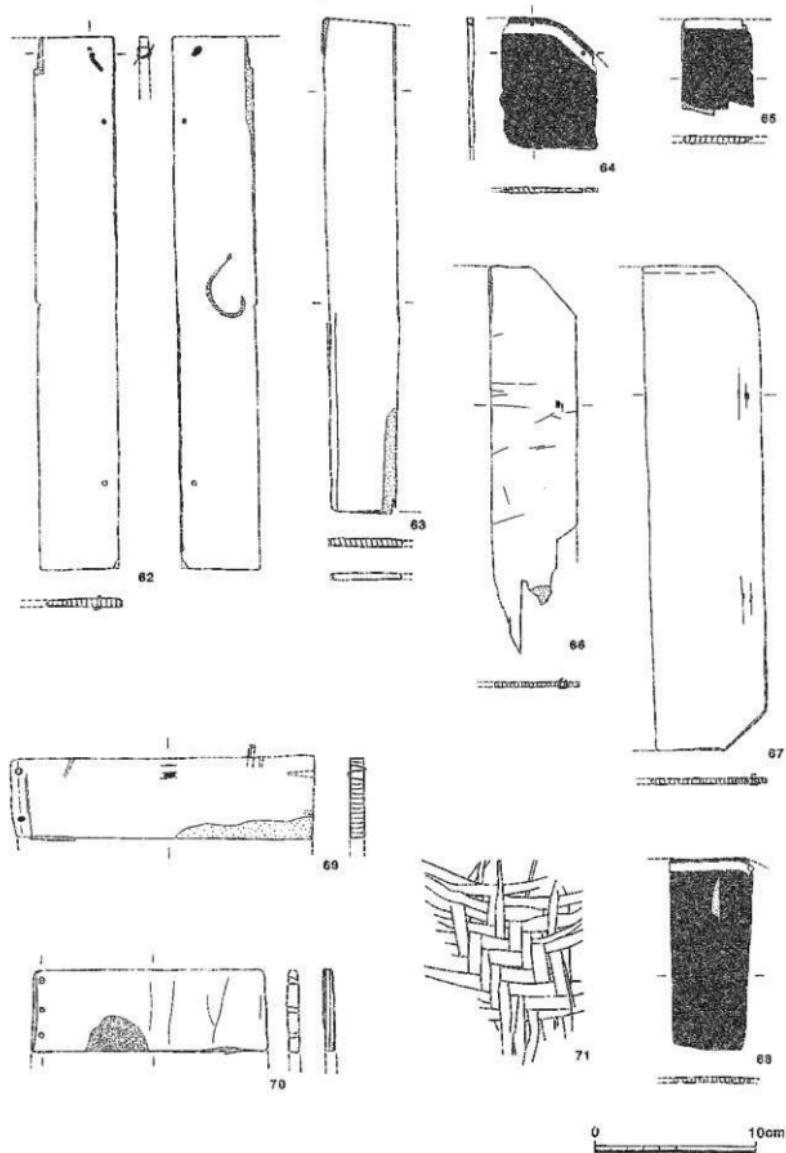
第88図 木製品実測図 (8)



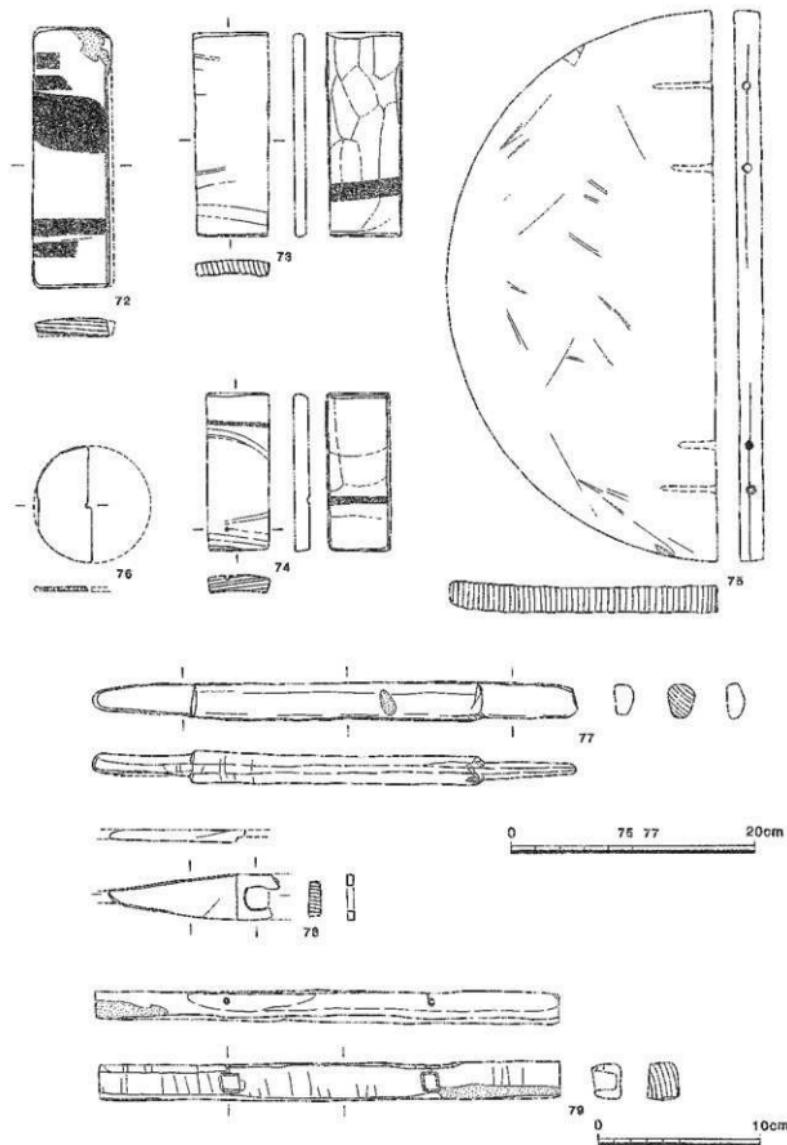
第89図 木製品実測図 (9)



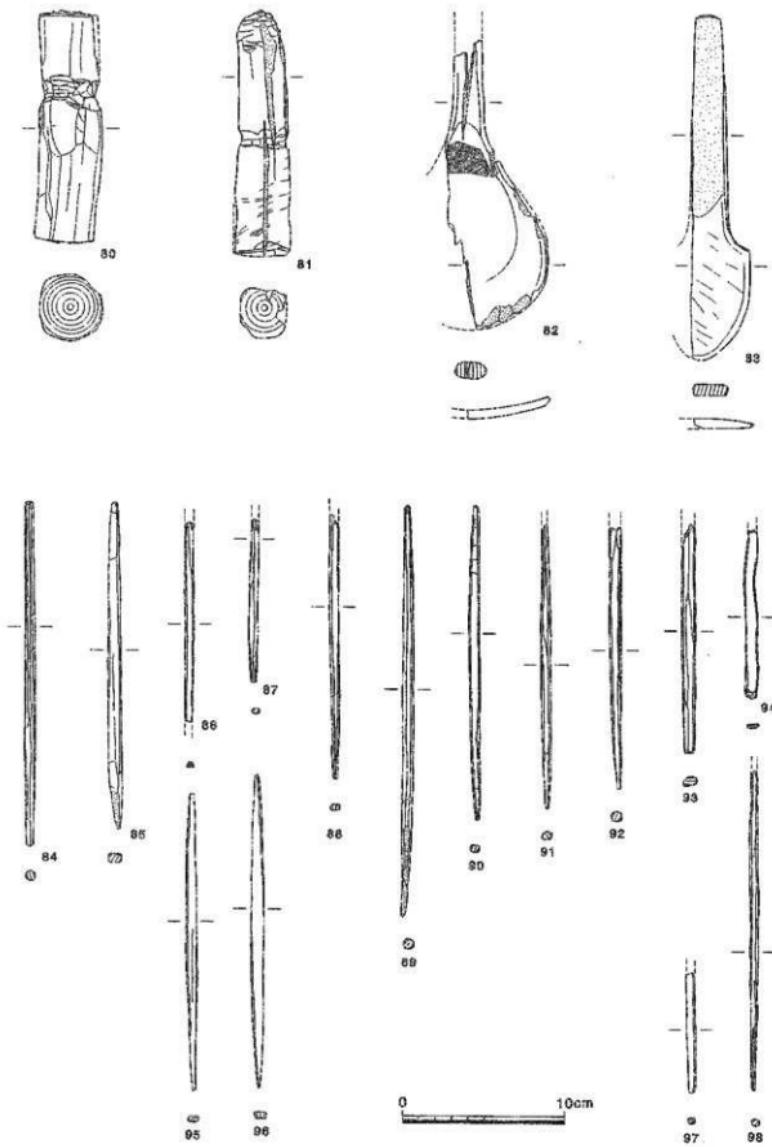
第90図 木製品実測図 (10)



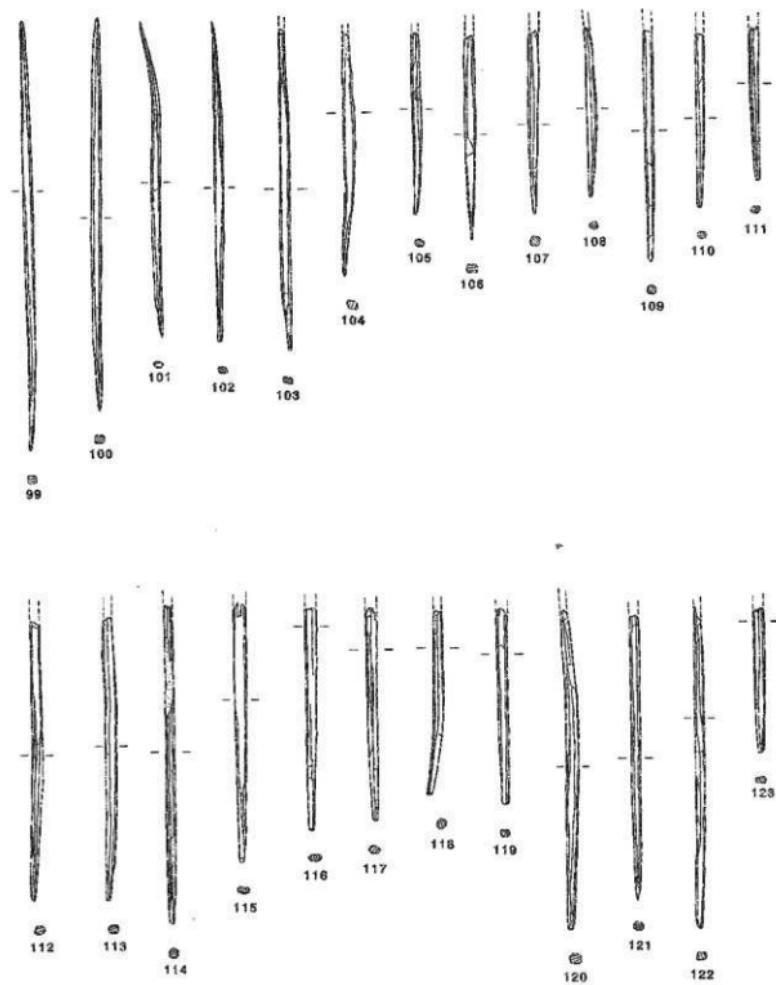
第91図 木製品実測図 (11)



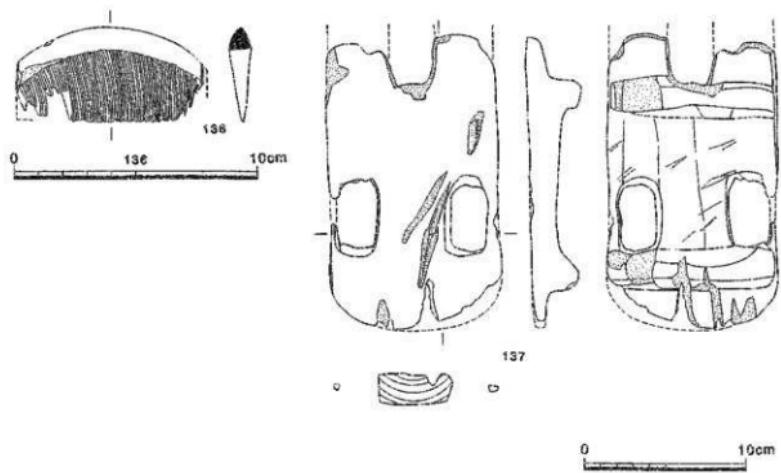
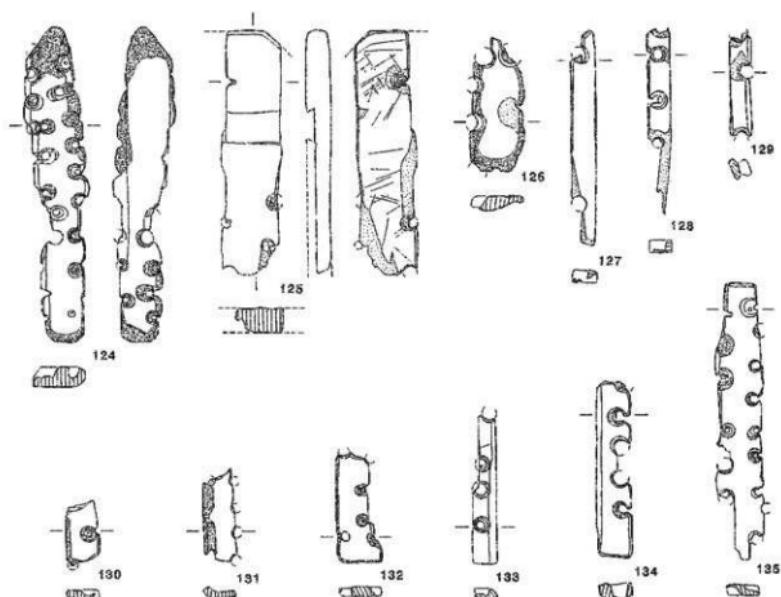
第92図 木製品実測図 (12)



第93図 木製品実測図 (13)



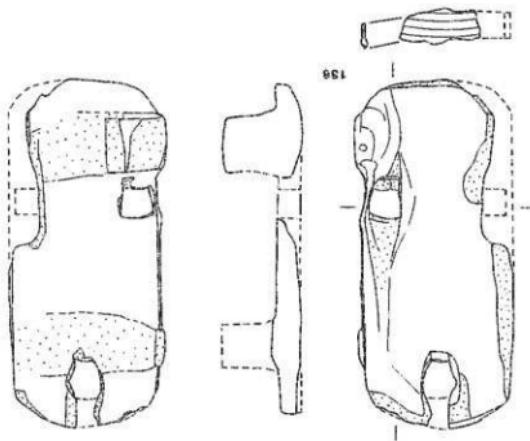
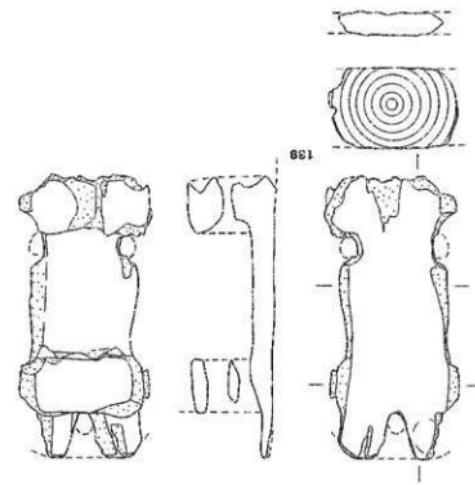
第94図 木製品実測図 (14)



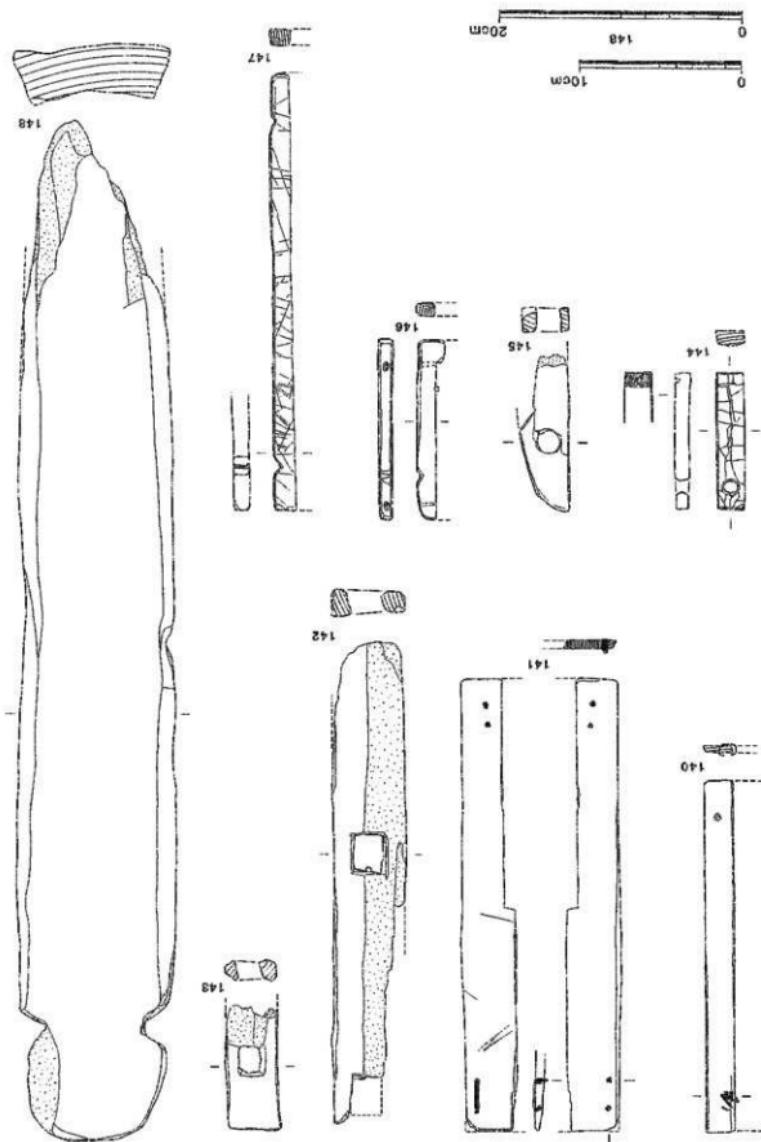
第95図 木製品実測図 (15)

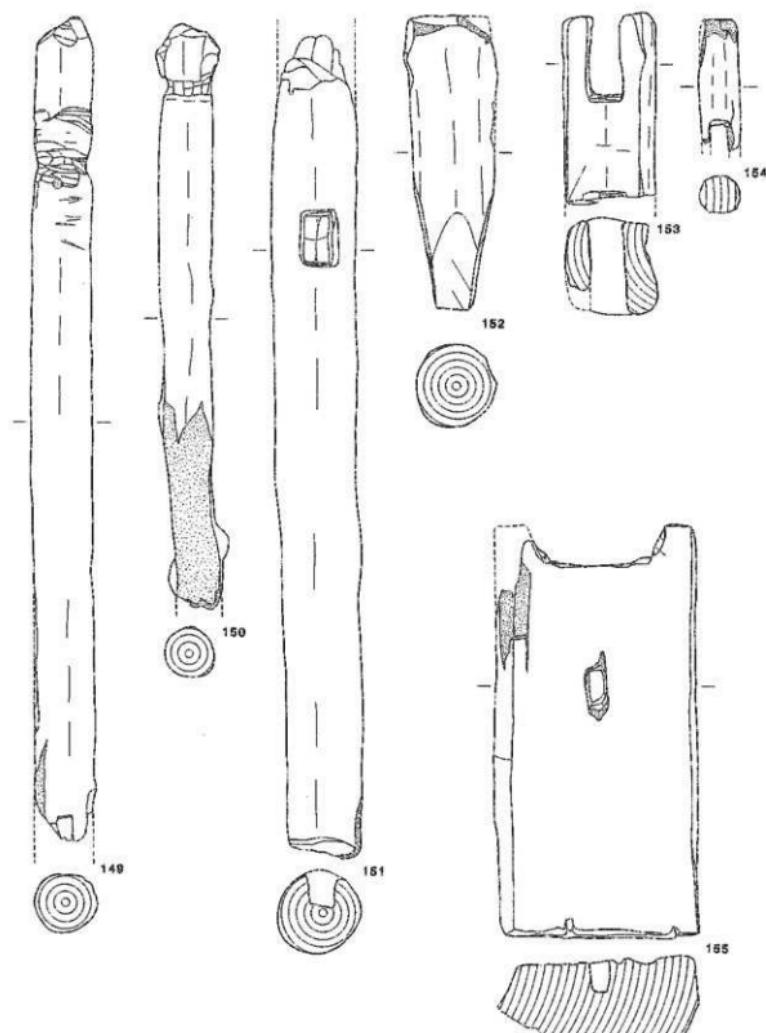
圖96 水築品裝飾圖 (16)

10cm
0



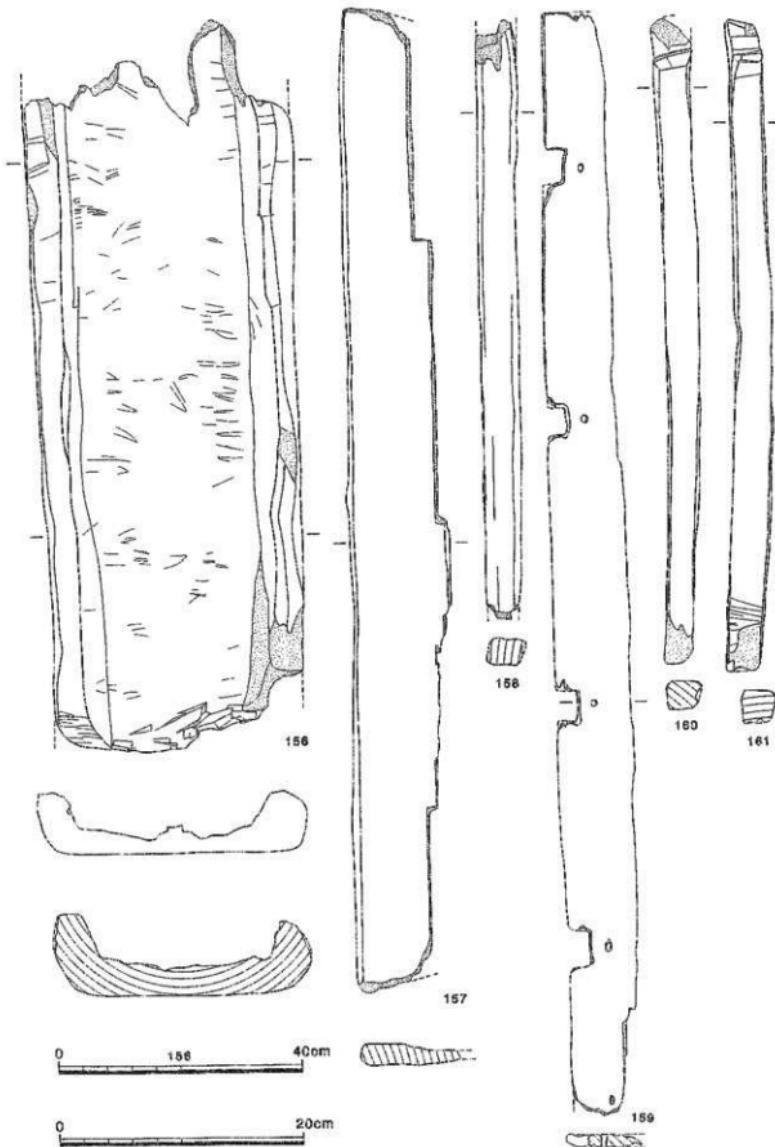
第97圖 木製品實測圖(17)



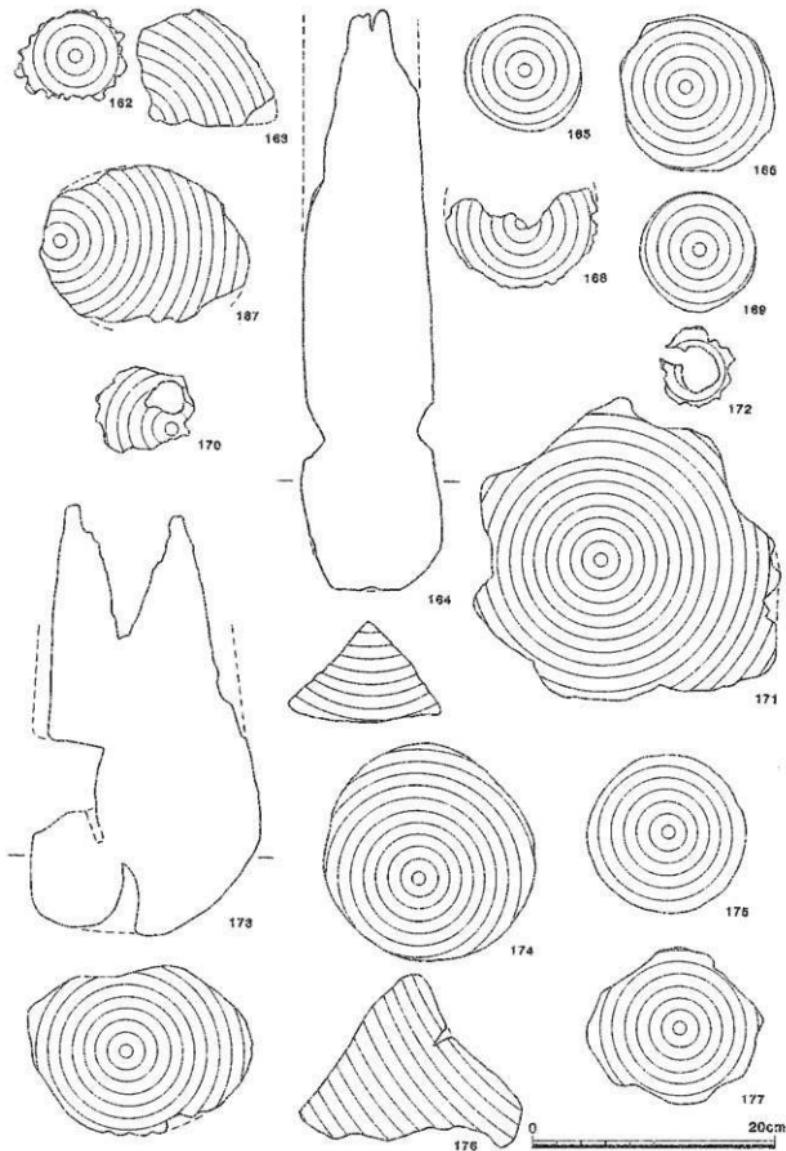


0 20cm

第98図 木製品実測図 (18)

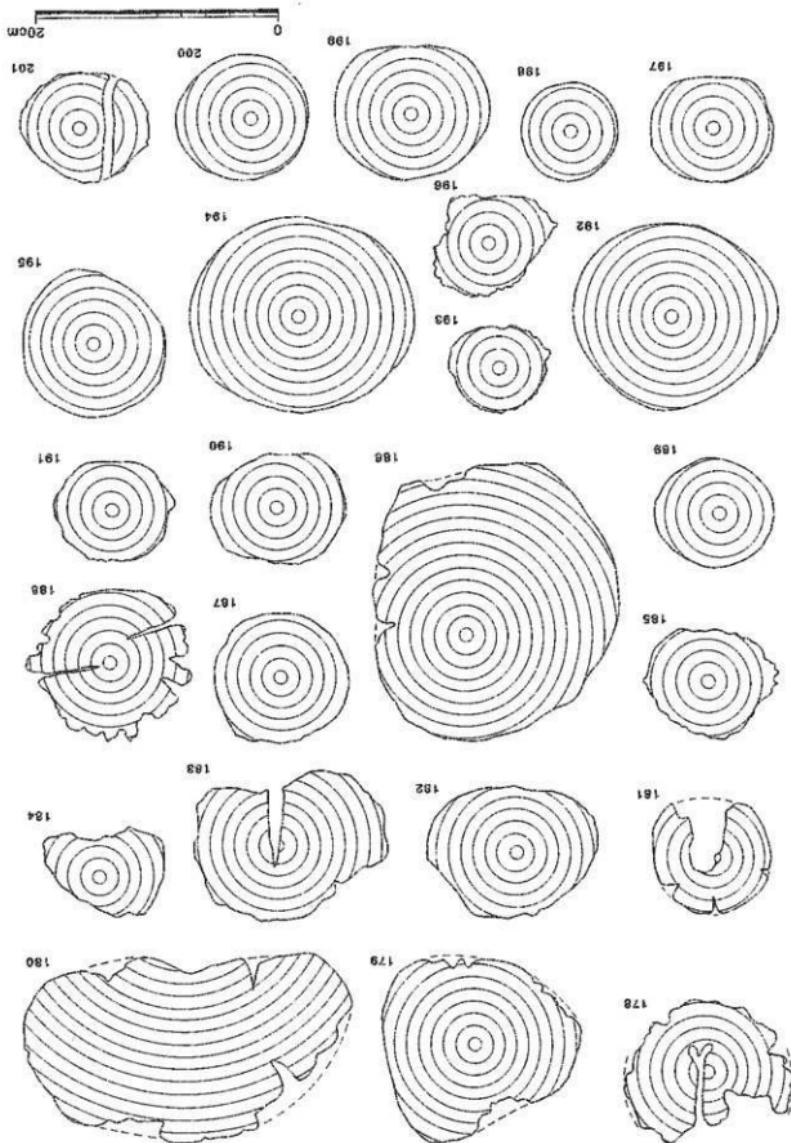


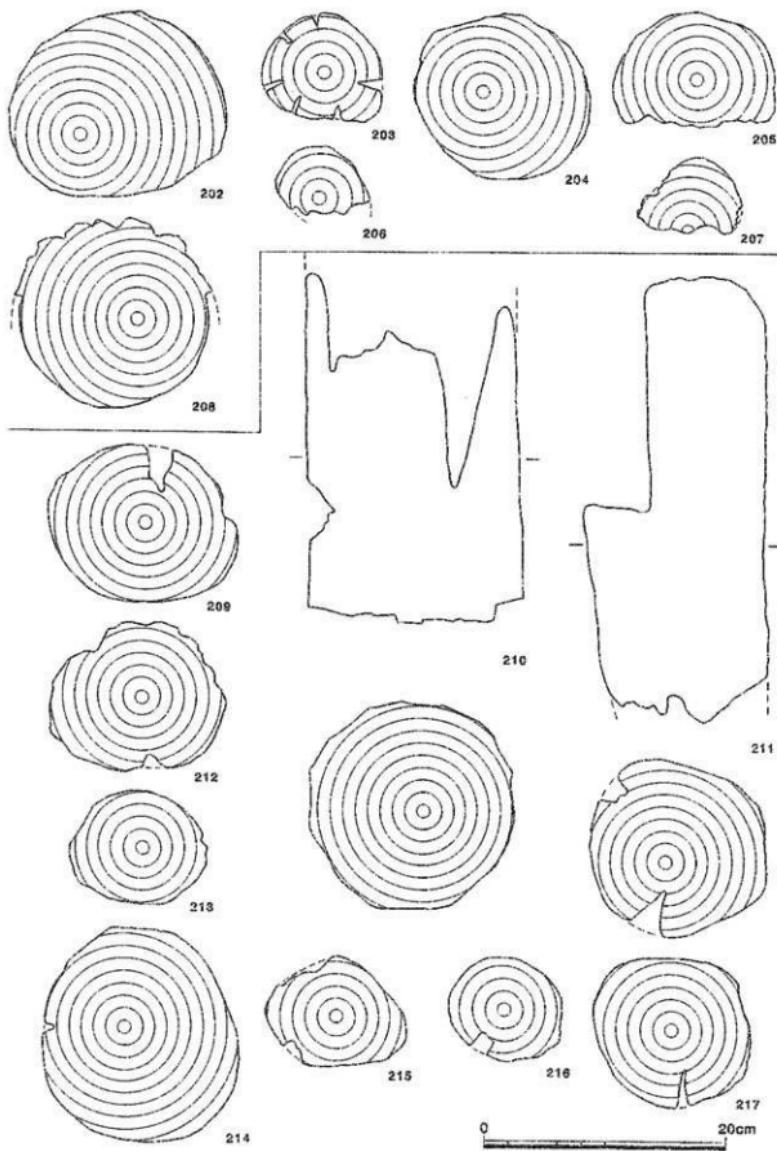
第99図 木製品実測図 (19)



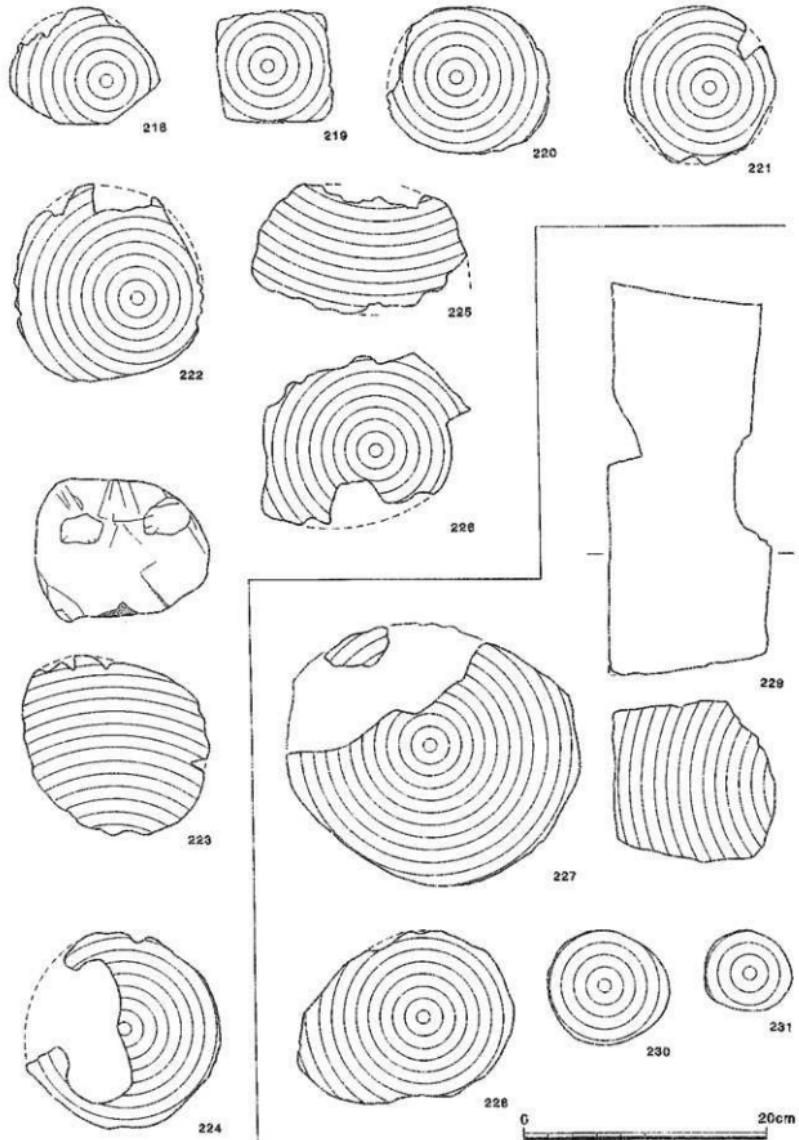
第100図 木製品実測図 (20)

第101図 水築品実測図(21)

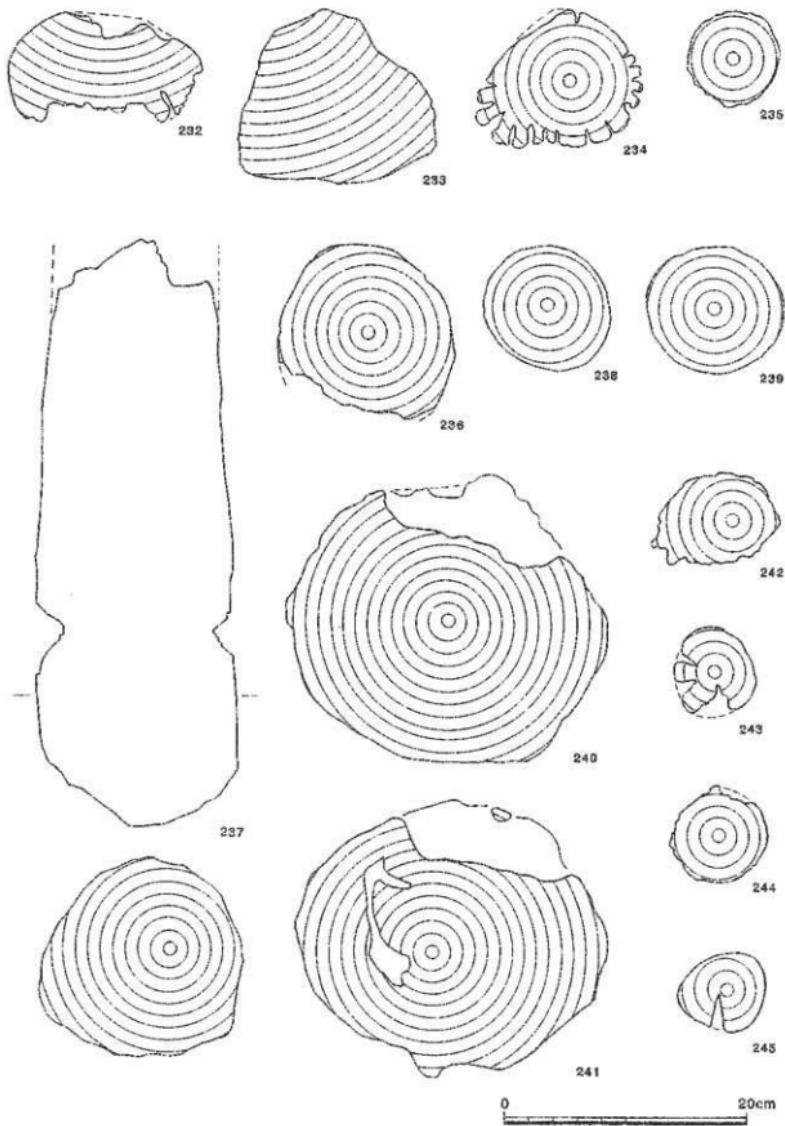




第102図 木製品実測図 (22)

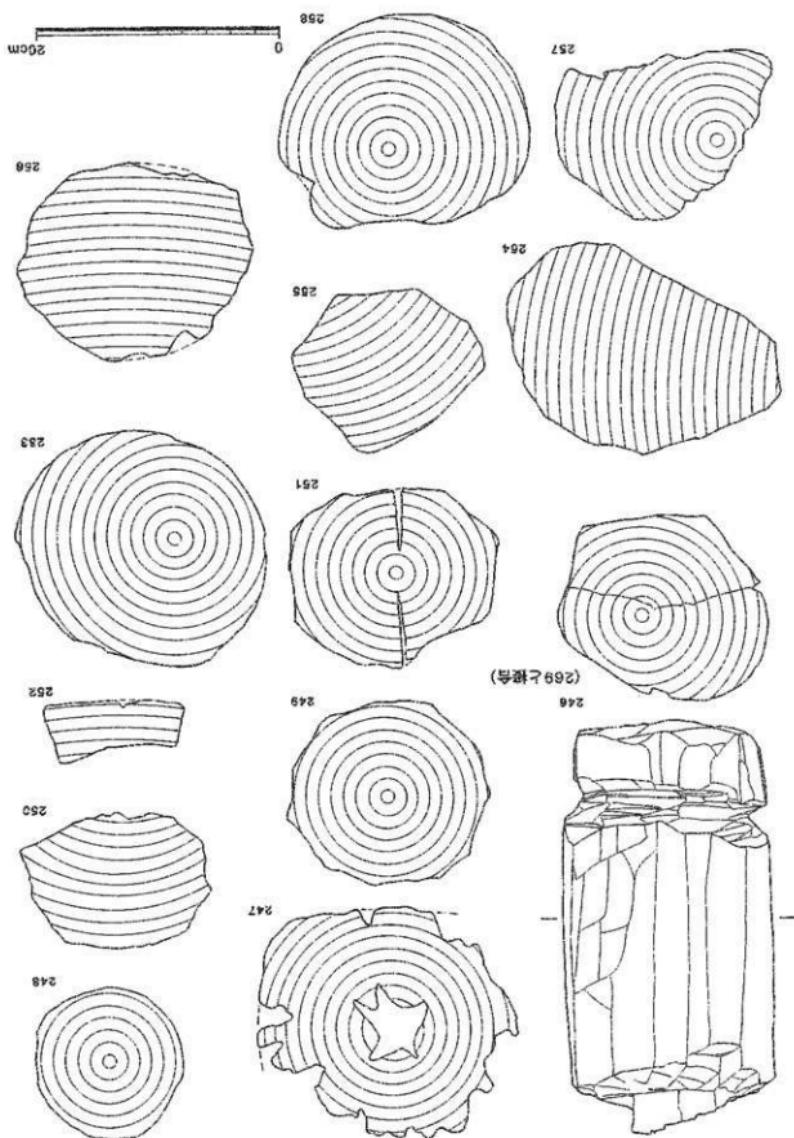


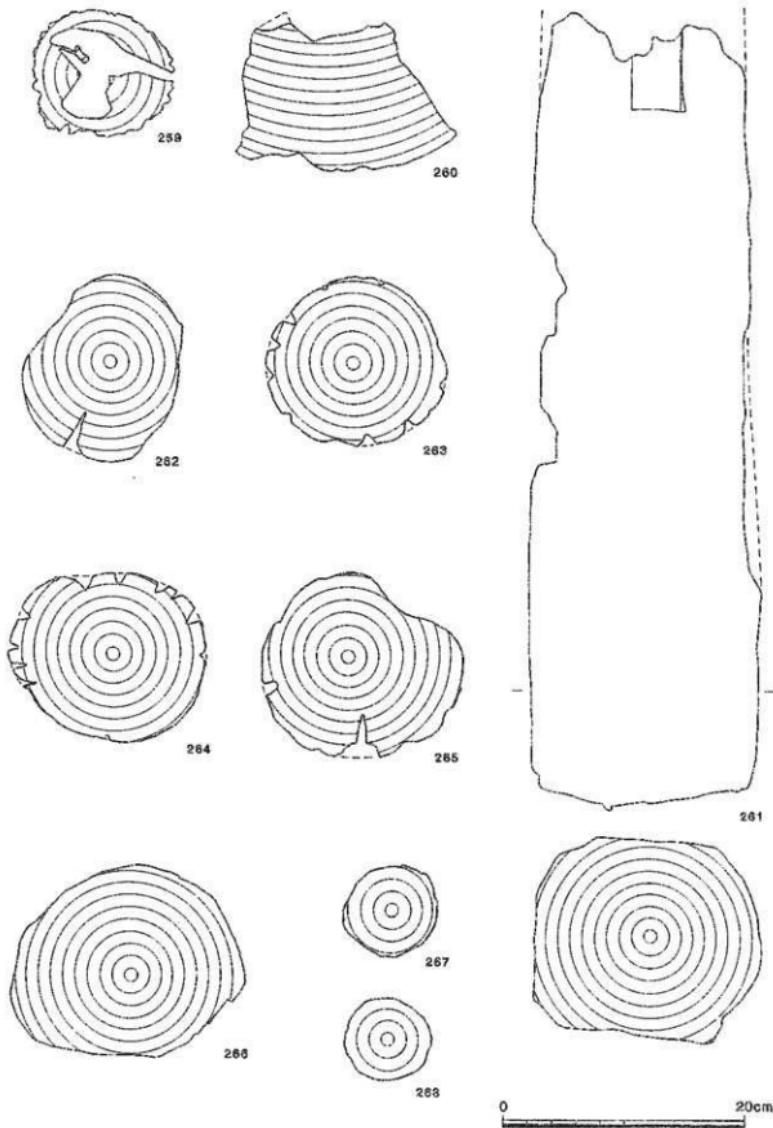
第103図 木製品実測図 (23)



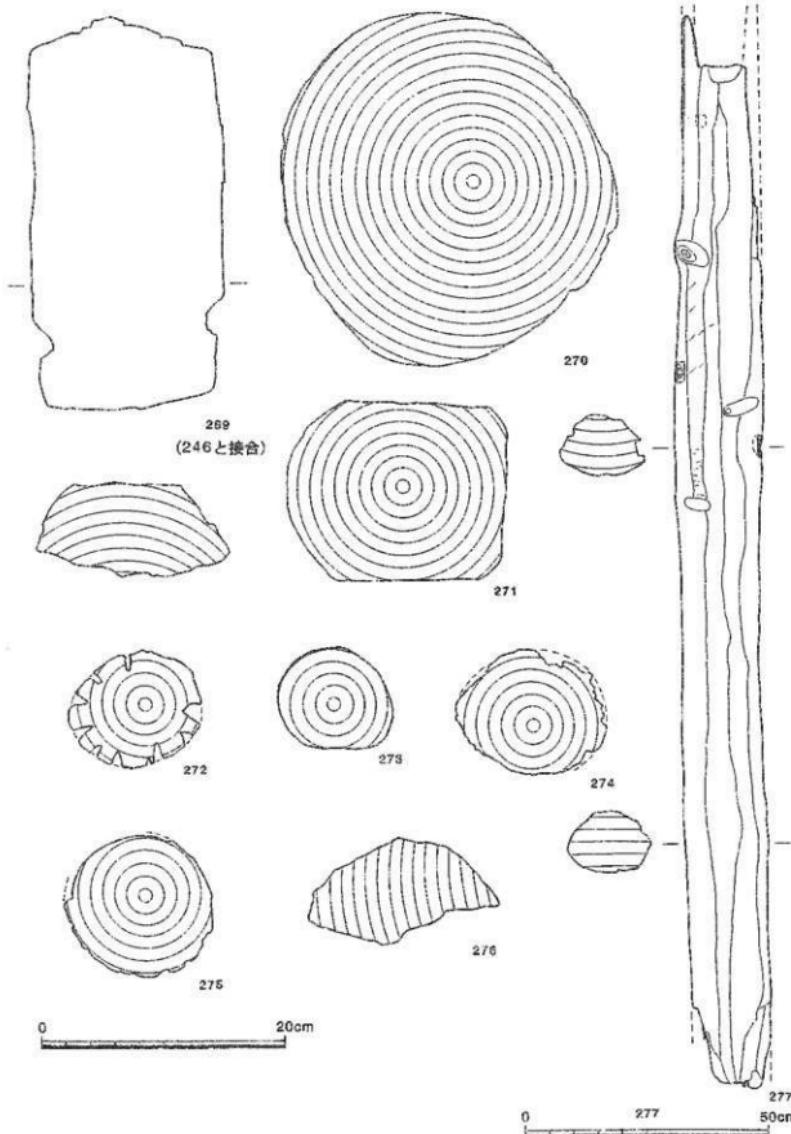
第104図 木製品実測図 (24)

第106圖 水築品實測圖(25)

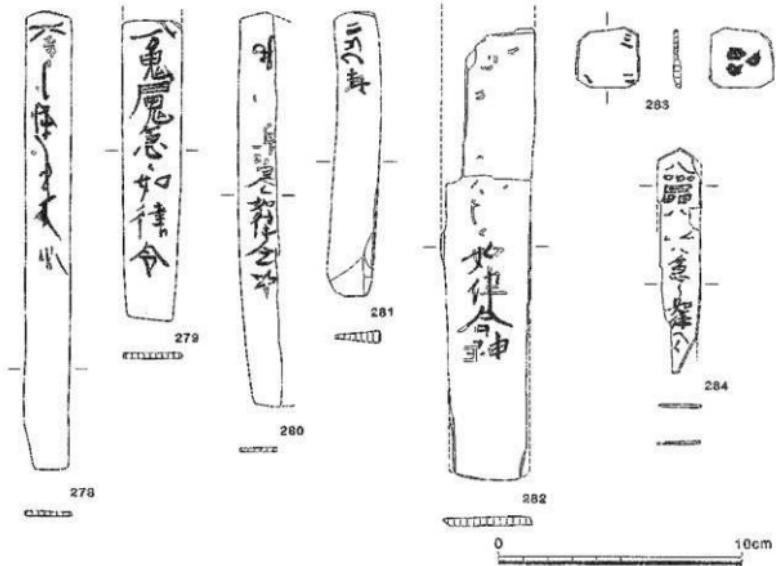




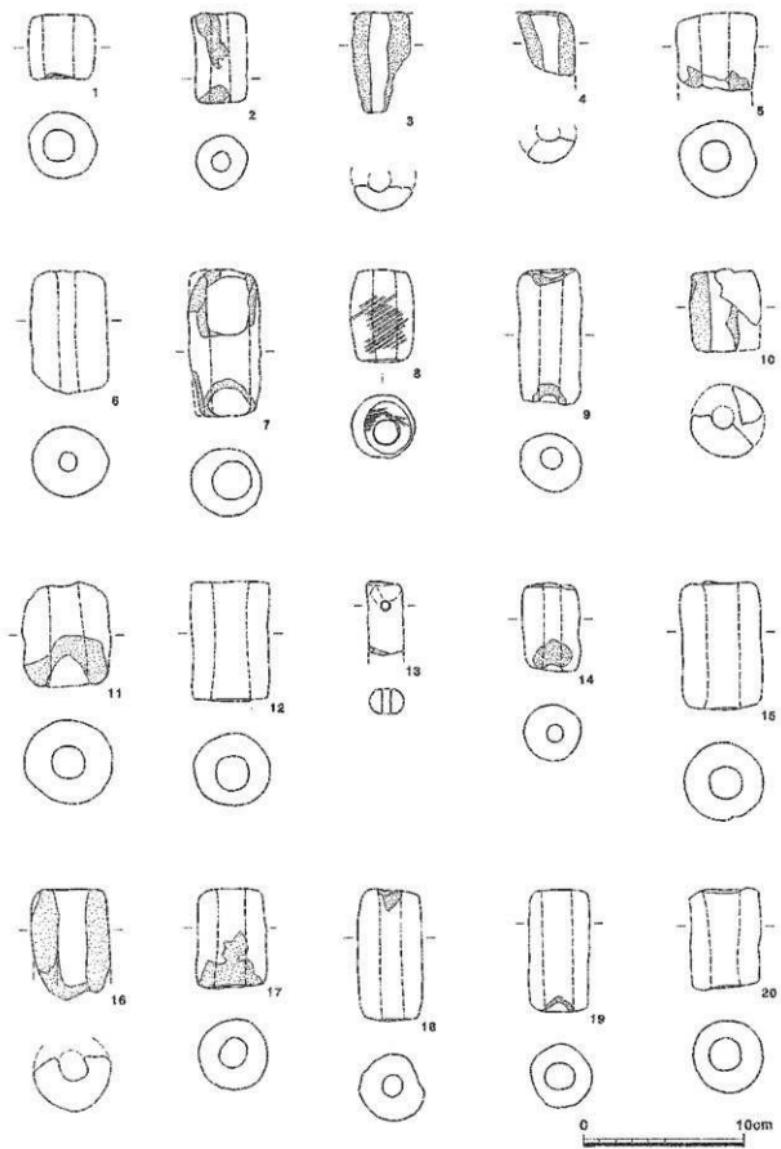
第106図 木製品実測図 (26)



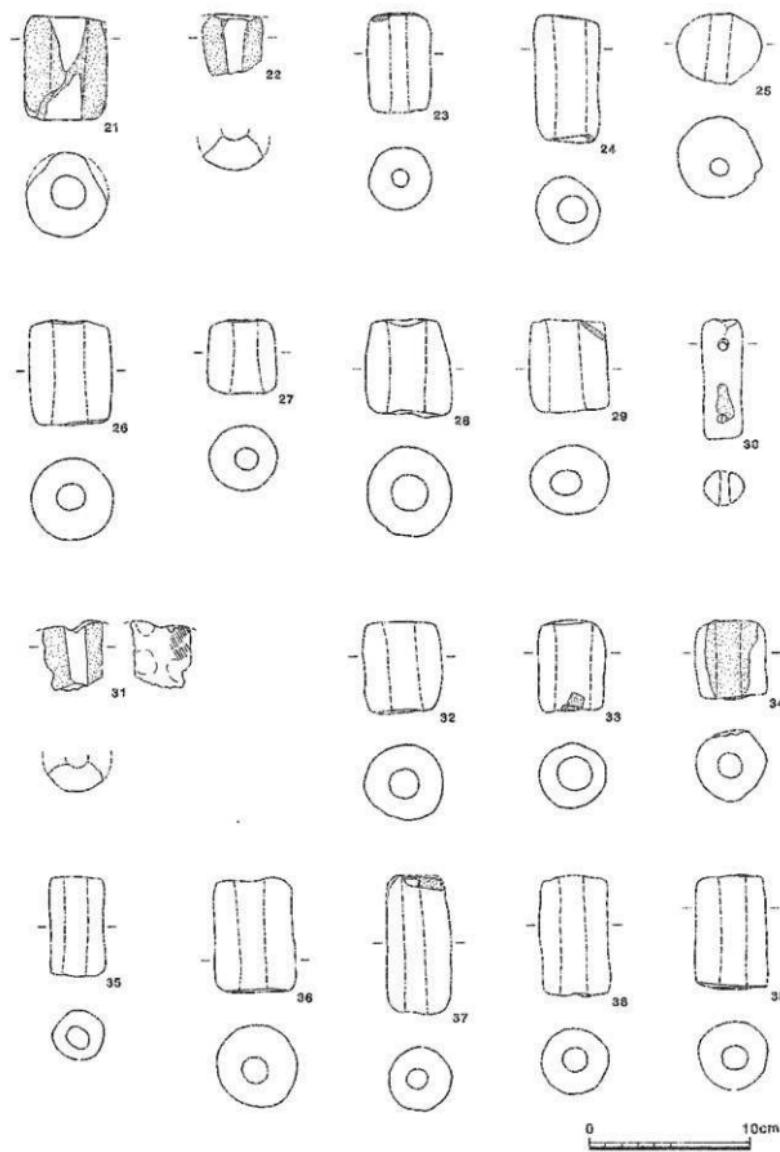
第107図 木製品実測図 (27)



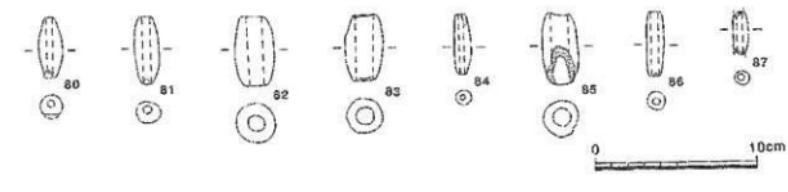
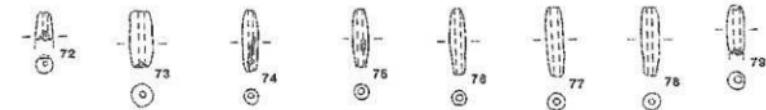
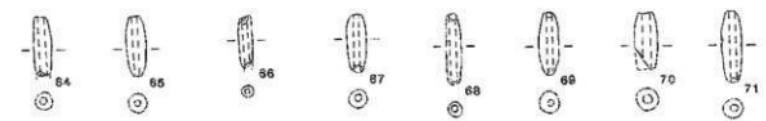
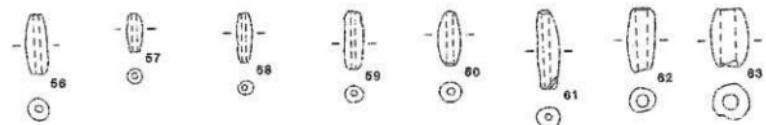
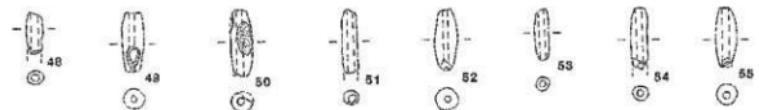
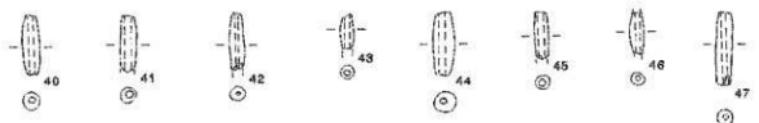
第108圖 木製品實測圖 (28)



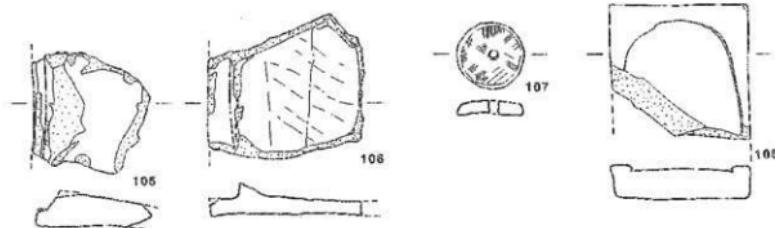
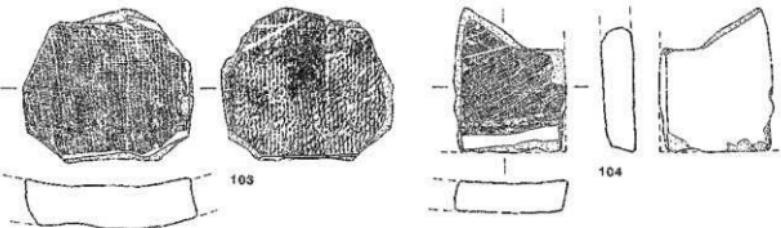
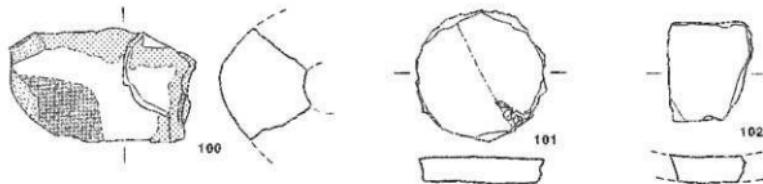
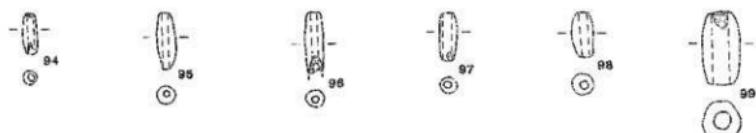
第109図 土製品実測図（1）



第110図 土製品実測図（2）

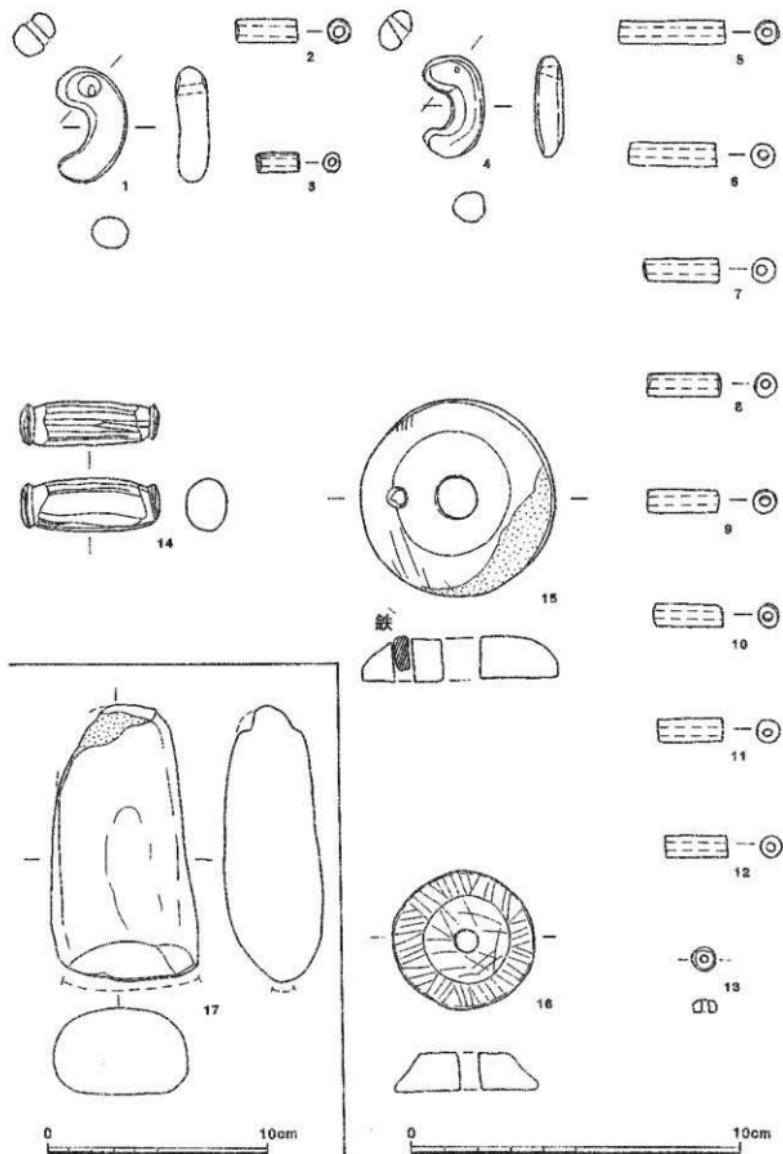


第111図 土製品実測図（3）

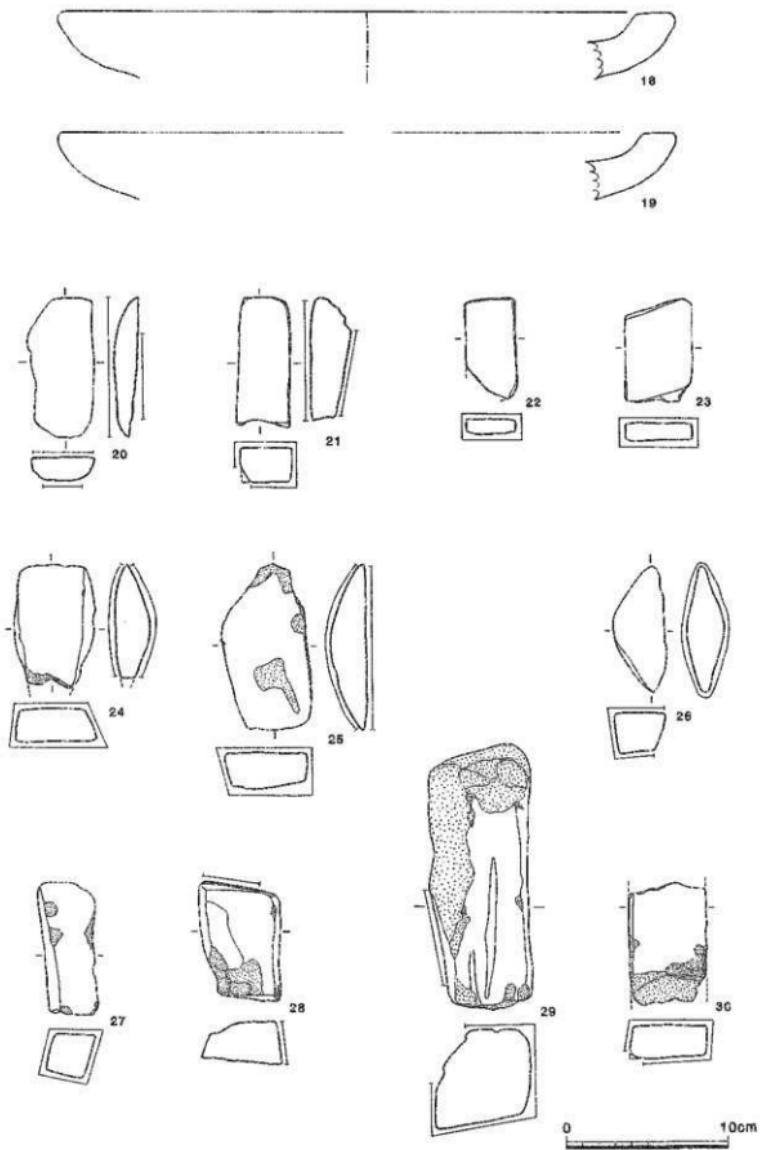


0 10cm

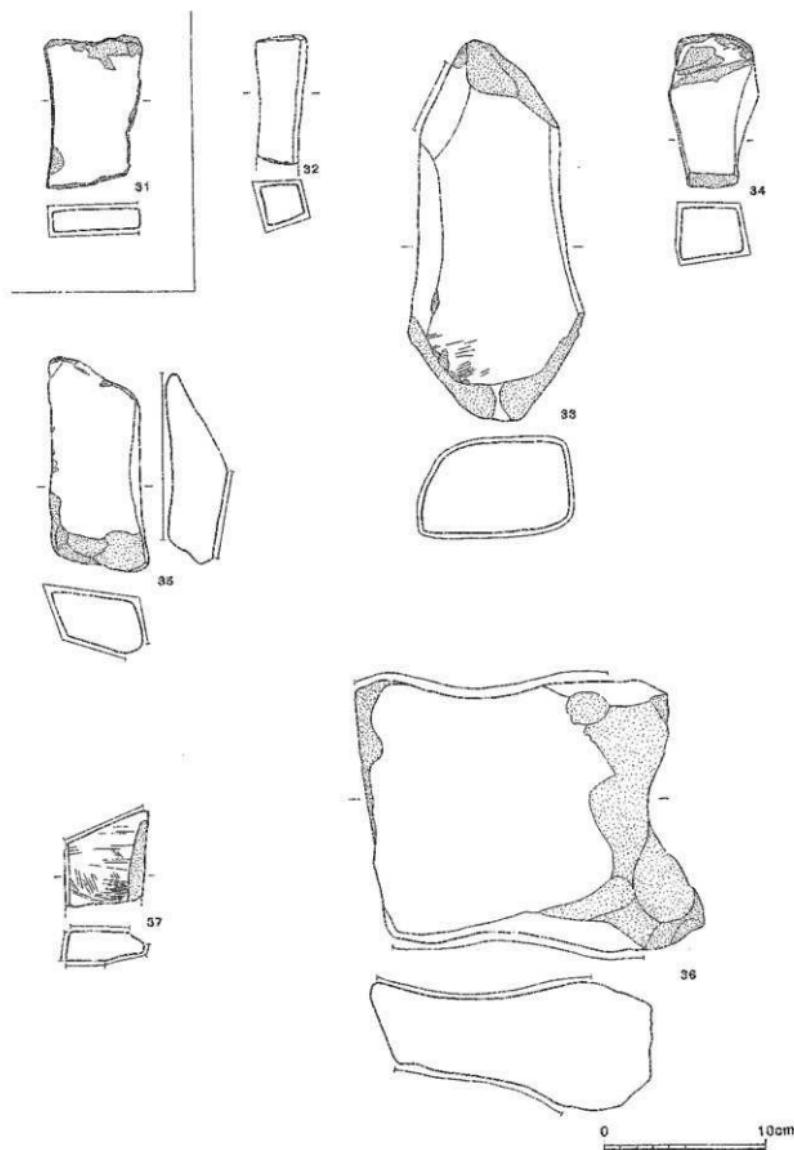
第112図 土製品実測図(4)



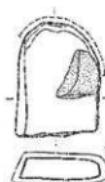
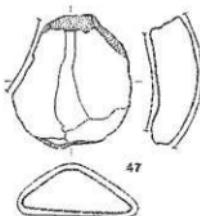
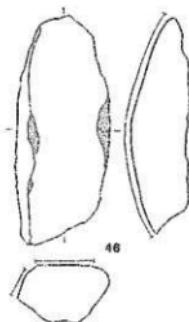
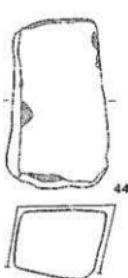
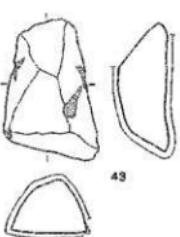
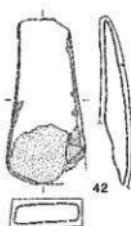
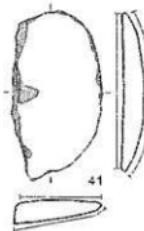
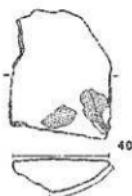
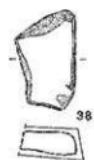
第113図 石製品実測図(1)



第114図 石製品実測図（2）

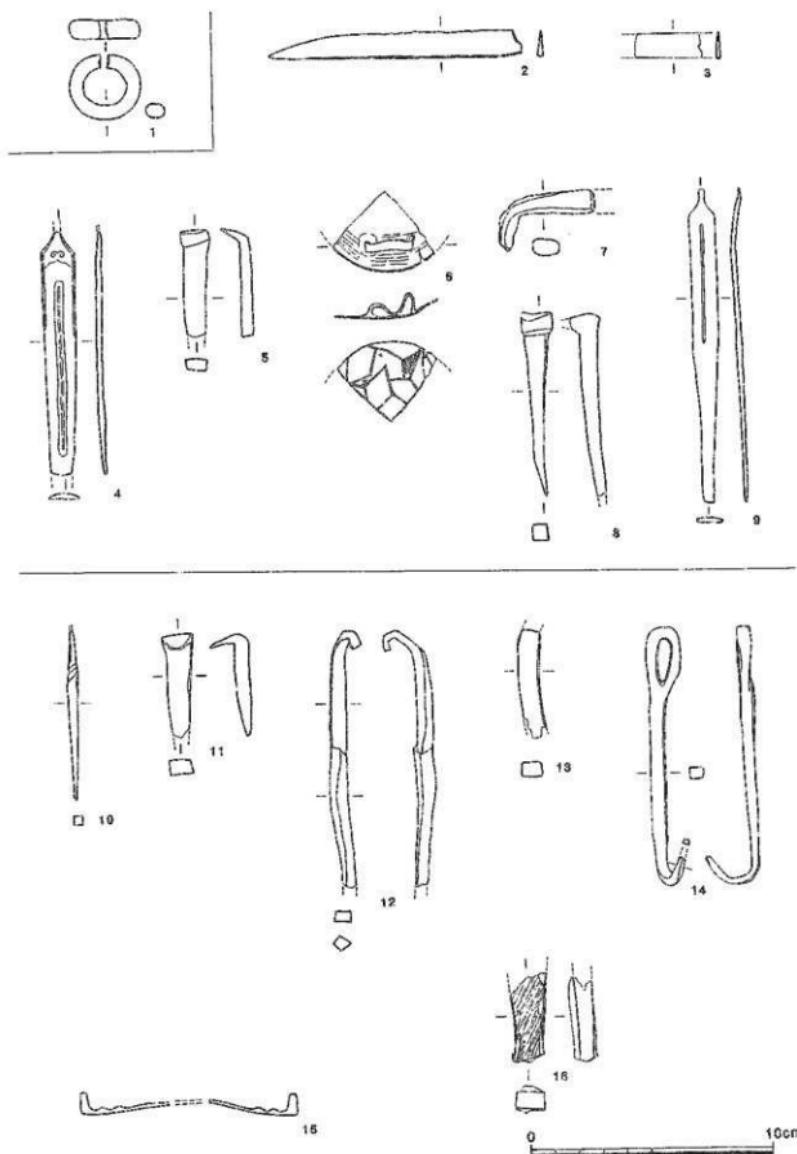


第115圖 石製品測量圖（3）



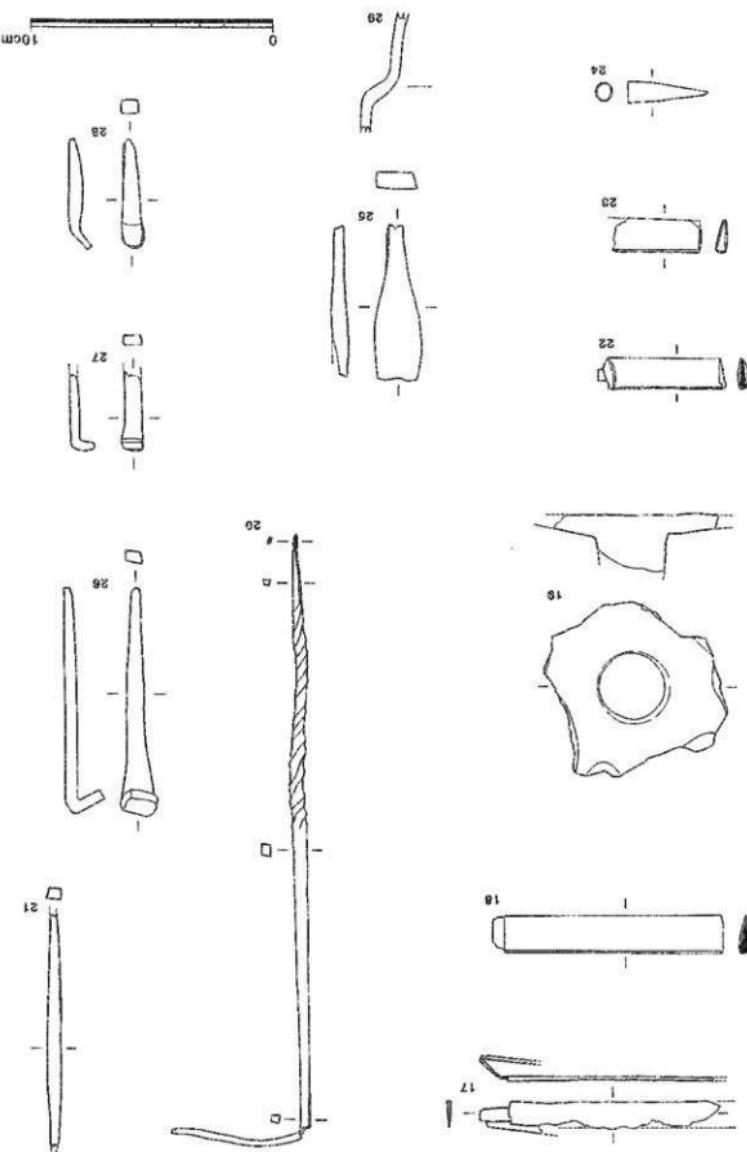
0 10cm

第116図 石製品実測図(4)



第117図 金属製品実測図 (1)

第118图 金属器具实物图(2)



写 真 図 版



1. 方形周溝墓出土土器

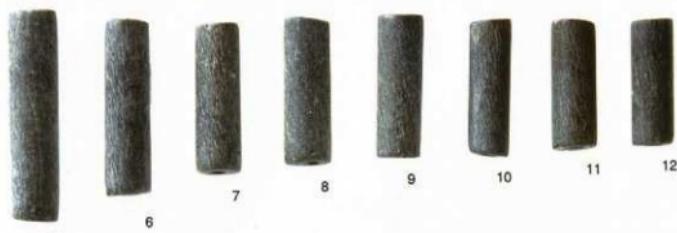


2. 15区 S F 405 出土土器

图版 2



1. 13-2 区 S F 305 出土土器



2. 13-2 区・15 区 出土玉類



1. 14 区 出土木筒



2. 出土土錘

図版 4



1. 14 区 出土和鏡 (15)



2. 11 区 出土貿易陶磁 外面 (40 ~ 71)



4. 14 区 出土貿易陶磁 外面 (60・72 ~ 94)



3. 上の写真的内面 (番号は図版 55)



5. 上の写真的内面 (番号は図版 55)



図版 6



13



27



14



28



18



30



32



47



48



33



55



35



42



59

図版 8



60



66



61



67



62



70



71



76

72



80



73

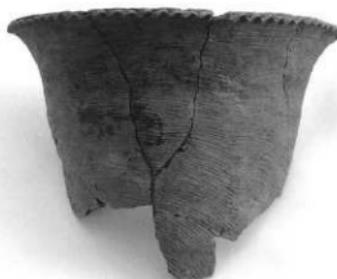


81

図版 10



82



86



85



87



S X 301



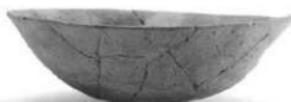
S X 316・317



1



4



2



3



5

図版 12



6



10



7



11



8



12



13



20



14



27



39



19



40



41



50

42



51

47



49



55



56



60



57



61



58



62



59



64



79



65



87



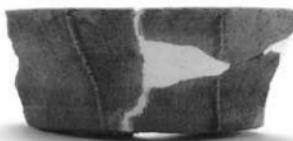
73



88



78



89



90



106



116



101



104



117



119



125



120



123



126



124



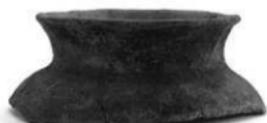
127



129



134



130



135



132



136



133



137

図版 20



139



158



140



163



141



151



165



168



179



170



183



177



182



178



193



194



210



195



211



197



213



204



214



215



229



217



238



223



241



224



242



244



248



245



251



246



253



247



254



257



273



260



274



261



278



269

図版 26



279



282



280



283



281



293



294



299



295



301



297



302



298



308

図版 28



309



315



310



316



312



314



317



318



334



335



319



336



320



351



327



352



354



359



355



361



357



362



358



363



365



370



366



374



367



376



369



377



378



388



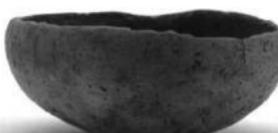
379



390



380



391



381



384



392



393



397



398



395



400



396



402



403



411



405

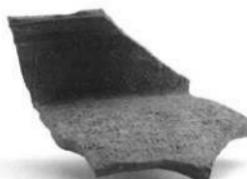


412

406



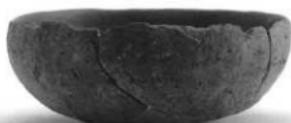
410



417



418



423



424



419



425



421



422



426

図版 36



429



434



430



436



439



432



440



441



445



442



446



443



448



444



450



451



465



466



453



467



457



468



469



475



470



476



471



477



474



480



481



488



484



489



486



489



490



490



493



491



494



491



495



492



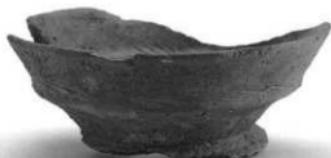
496



497



504



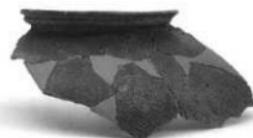
500



505



501



507



502



508



512



516



513



517



518



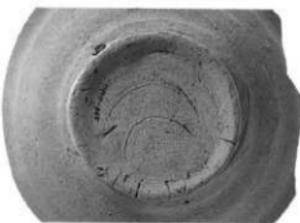
515



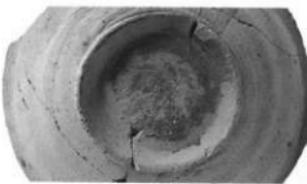
6



10



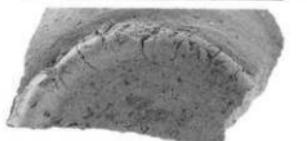
6



10



8



13



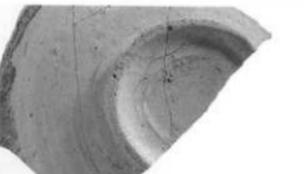
8



15



9



15



9



16



17



21



17



23



19



24



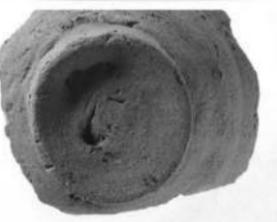
19



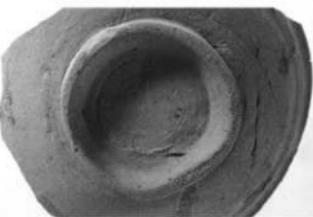
20



27



20



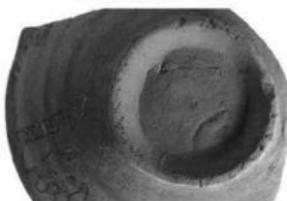
27



31



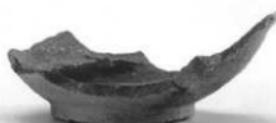
34



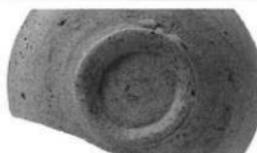
31



36



33



36



33



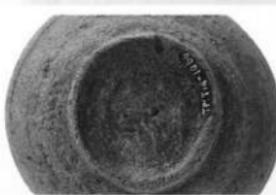
38



35



39



35



39



101



134



107



138



115



139



130



140



132



144

図版 48





224



237・238



226



253



227



261



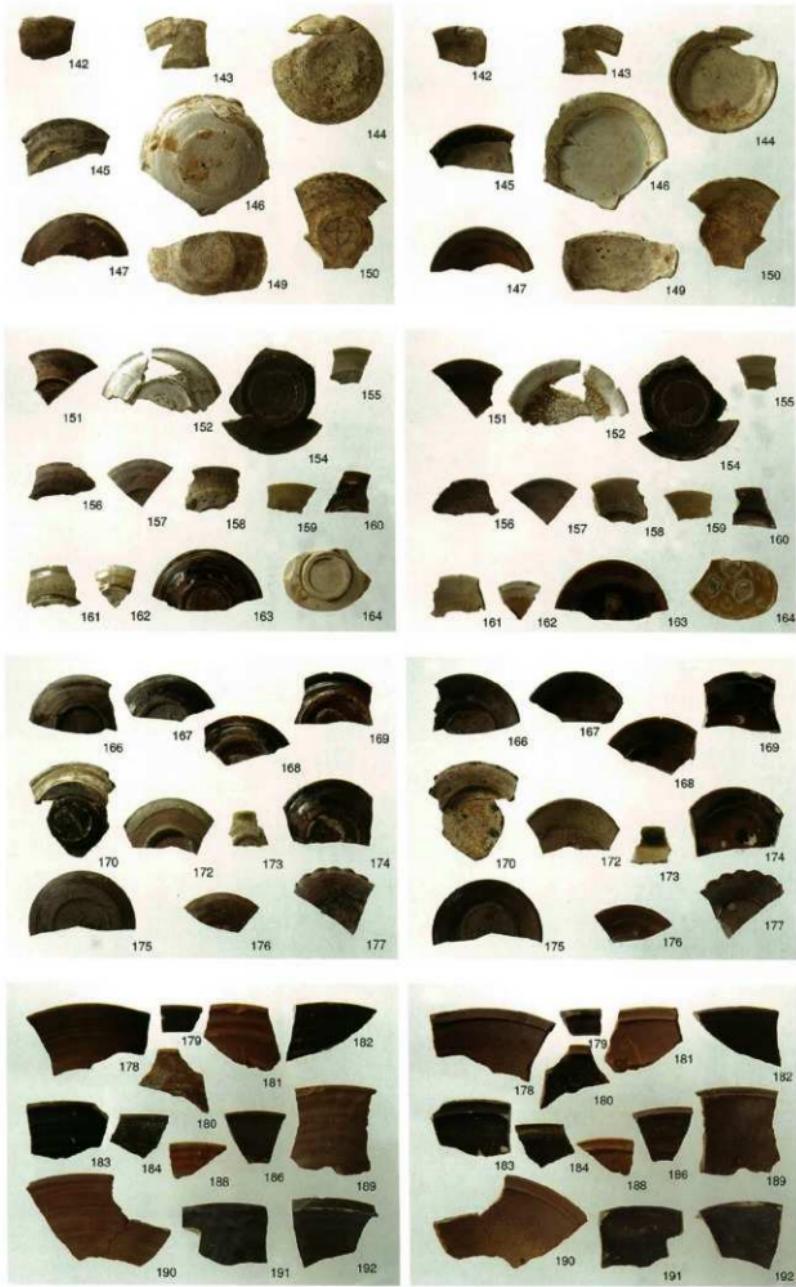
235

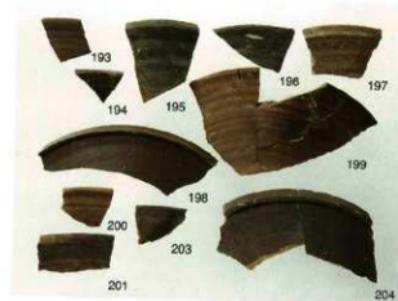


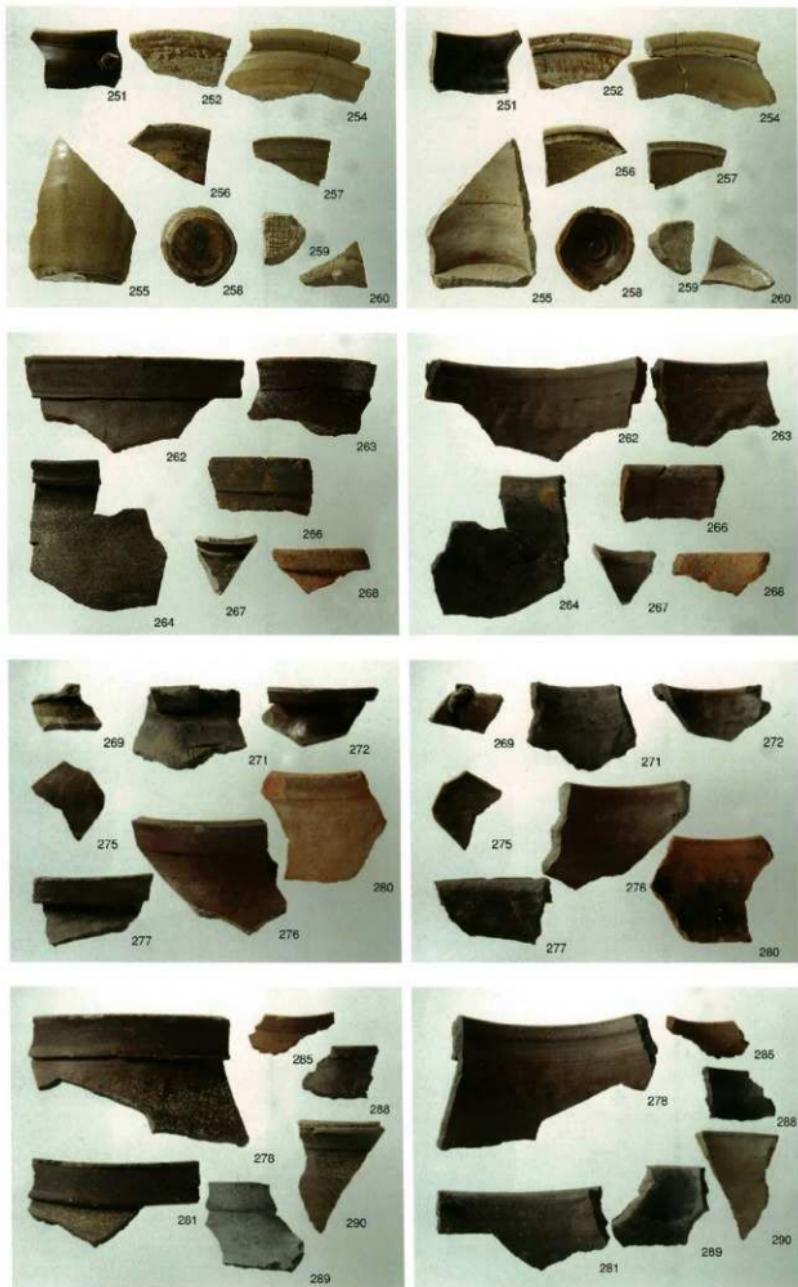
274

図版 50

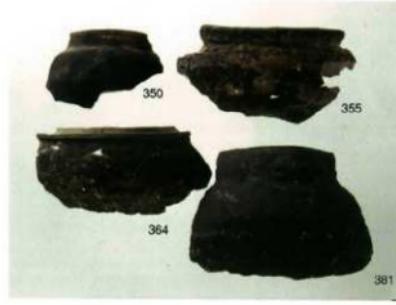
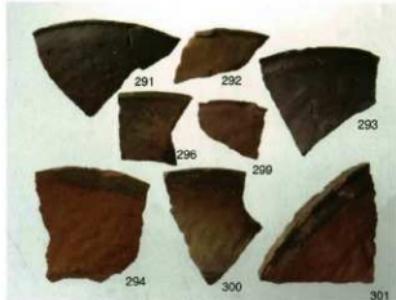


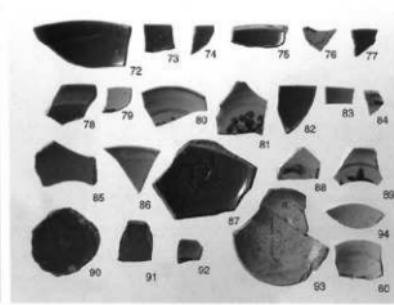
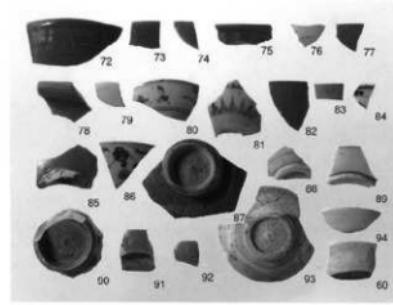
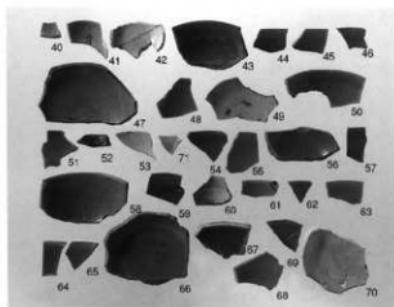
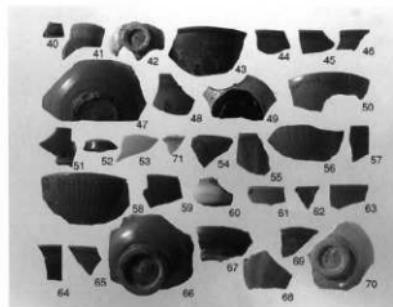
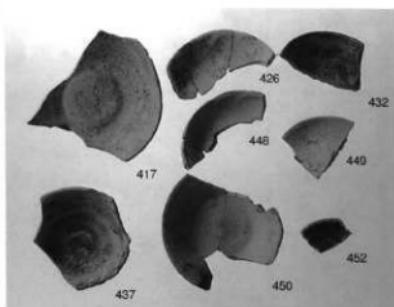
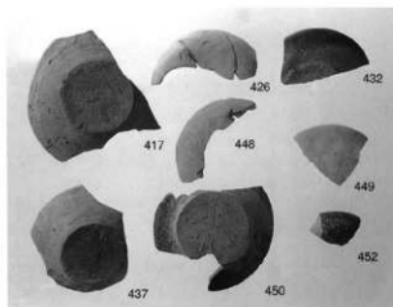
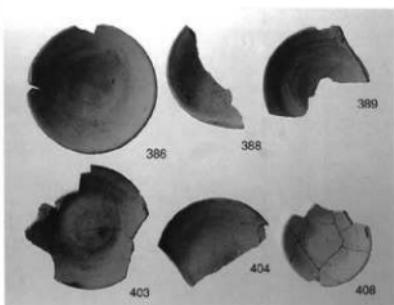
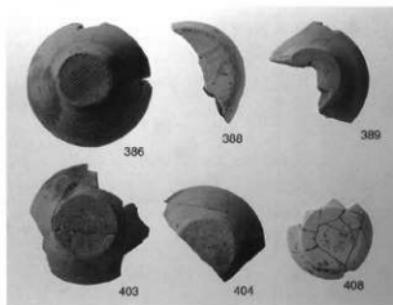






図版 54







332



352



357



338



339



366



368



341



368



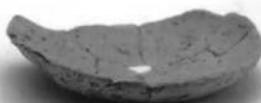
373



386



373



390



391



374



393



374



394

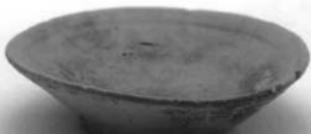




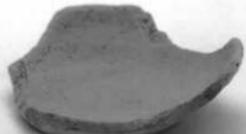
425



435



428



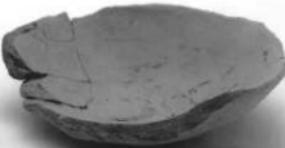
436



429



440



434

図版 60



2

2



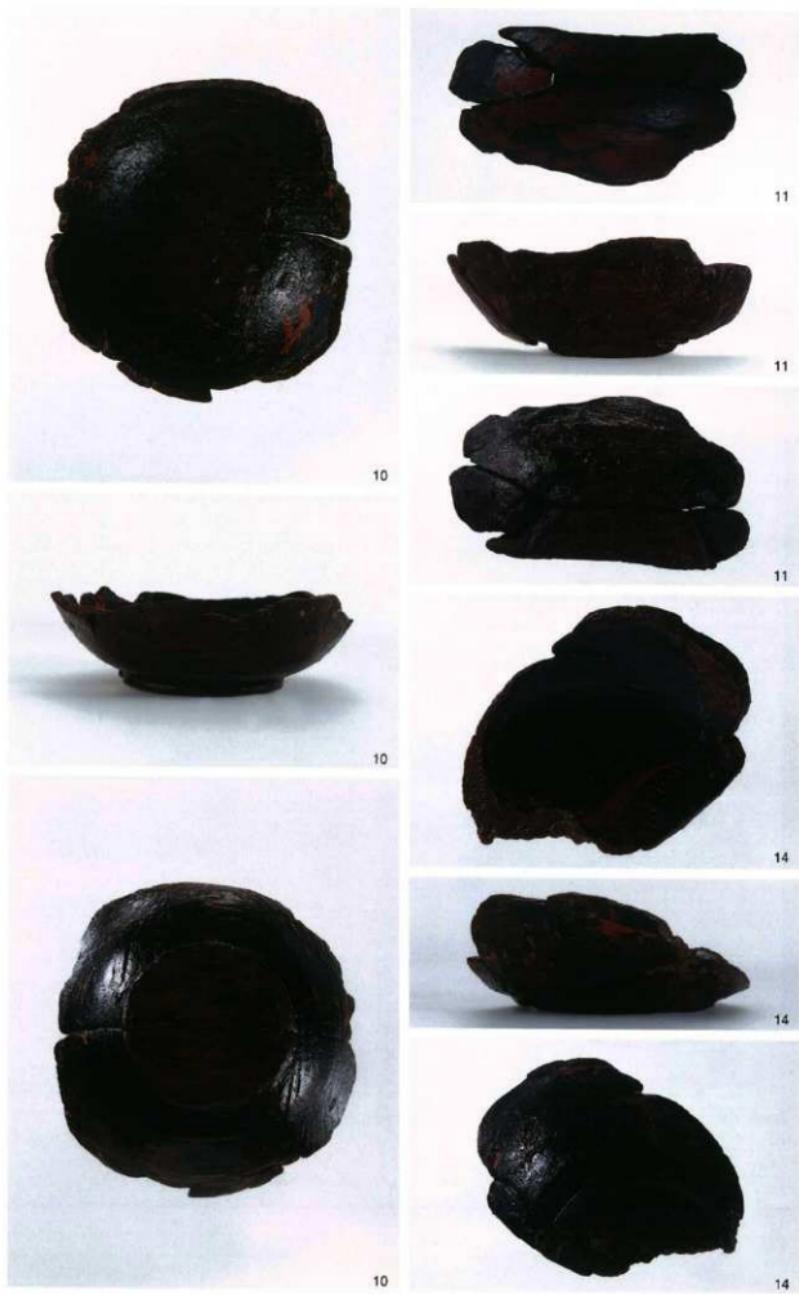
3

3



図版 62





図版 64



16



17



17



16



17



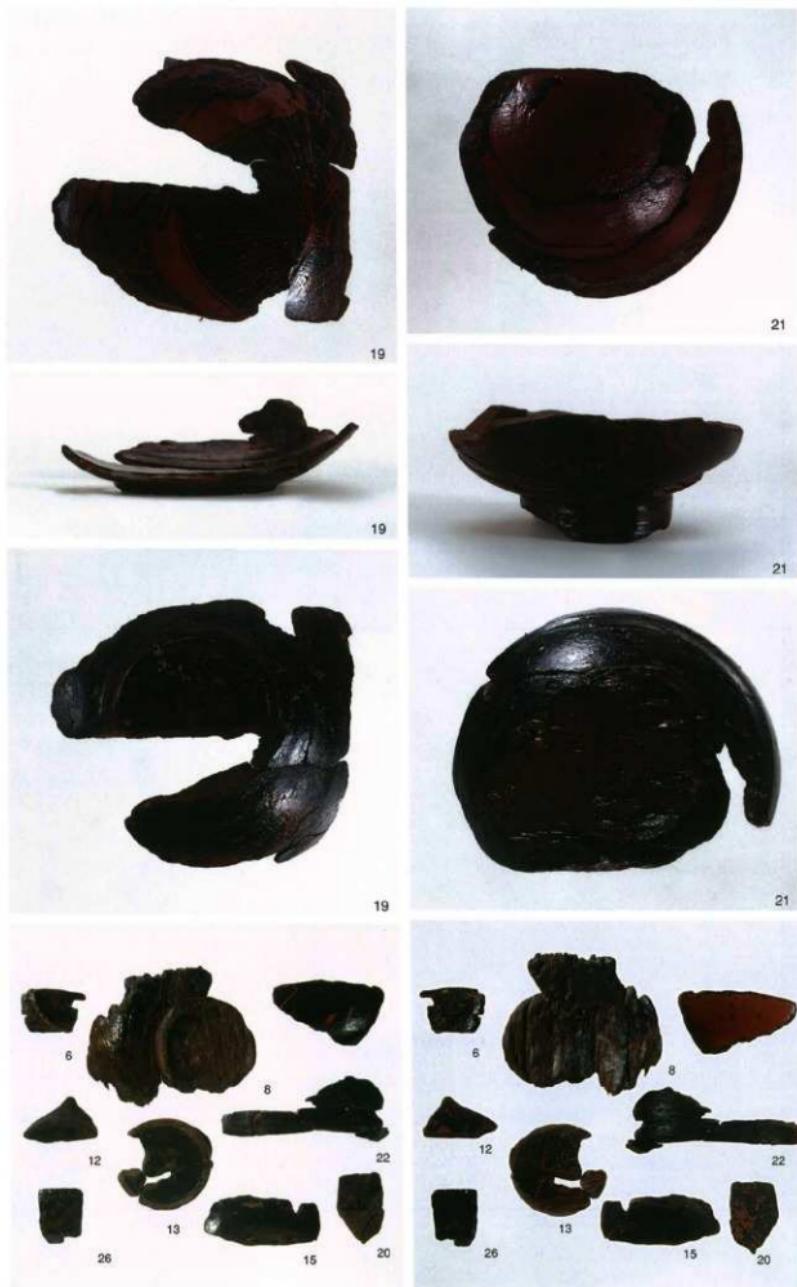
16



18



18

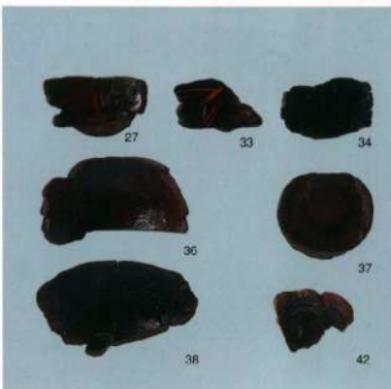






図版 68





図版 70



41



43



41



43



41



43



44



44



45



45



46



50



47



51



48



52



49



53

図版 72



54



57



54



58



55



58



56



59



56



59



60



61



62



63



61



64



61



65



61



66



67

図版 74



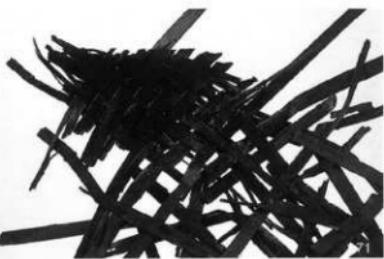
68



69



69



71



75



70



76



84



85



86



87



88



89



90



91



92



93



94



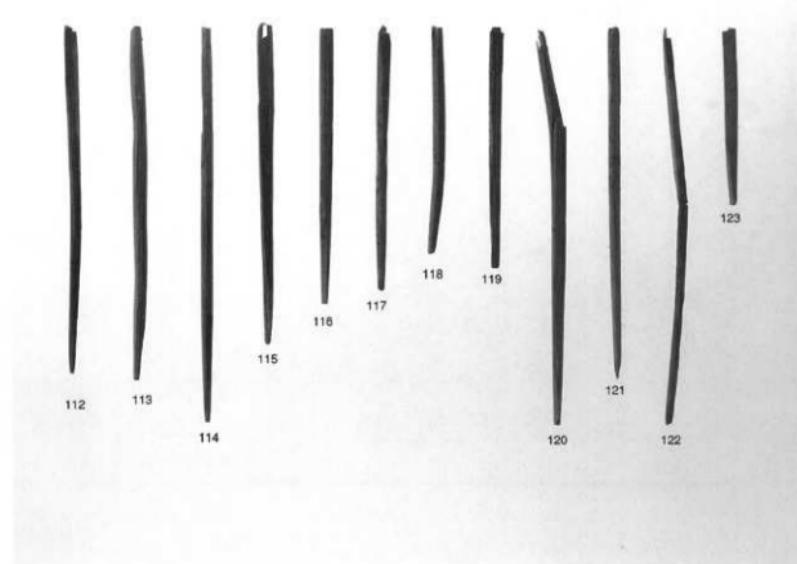
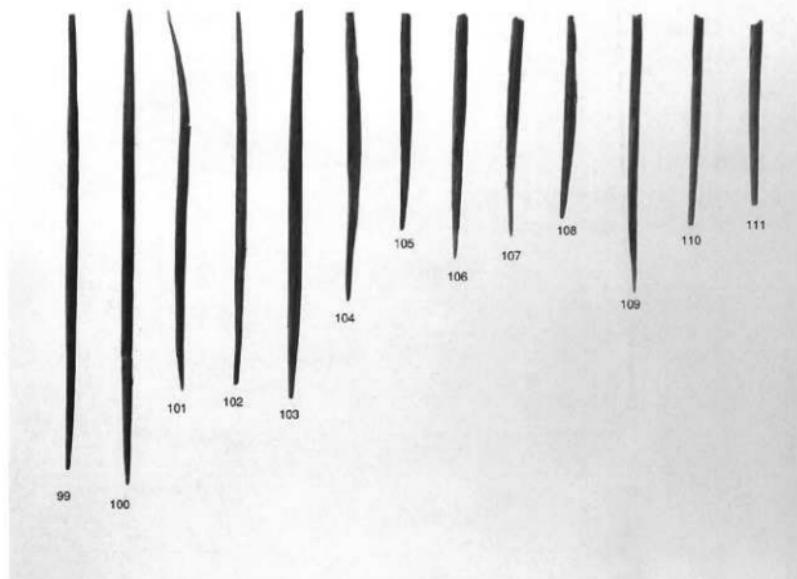
95

96

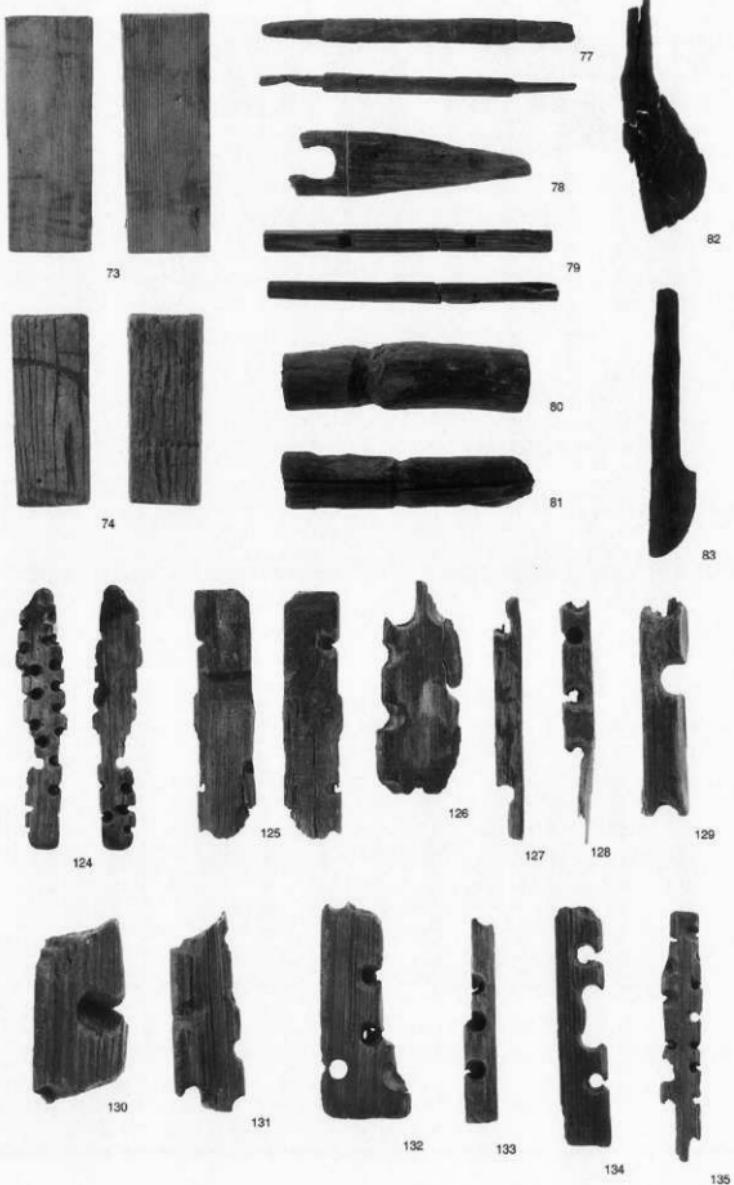


97

98



图版 76





136



137



138



139



140



141



142



143



144



145



146



147



148



149



150

151

152

153

154

155



156

157

158

159

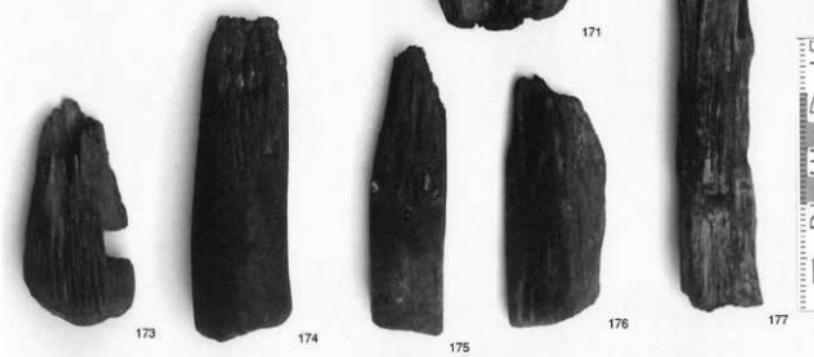


283



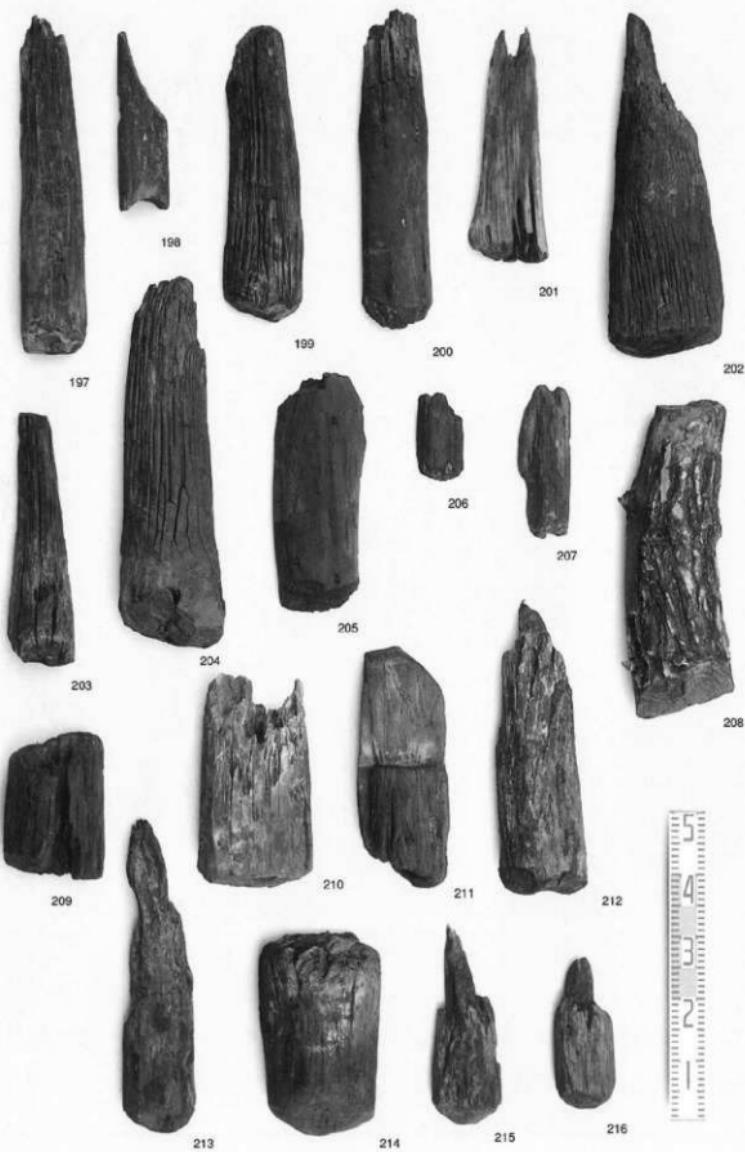
160

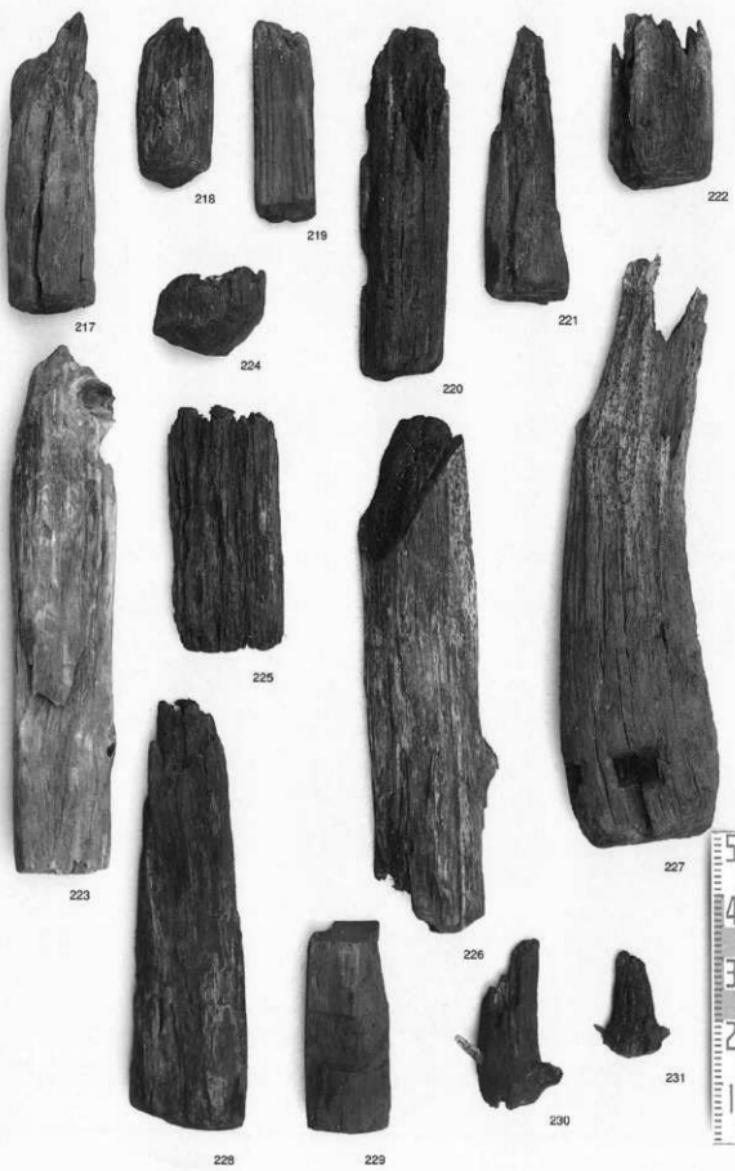
161



図版 80









232



233



234



235



236



237



238



239



240



241



242



244



245



246



図版 84



247



252



248



249



250



251



253



254



255



256





图版 86



264



265



266



267



268



269



270



271



272





273



274



275



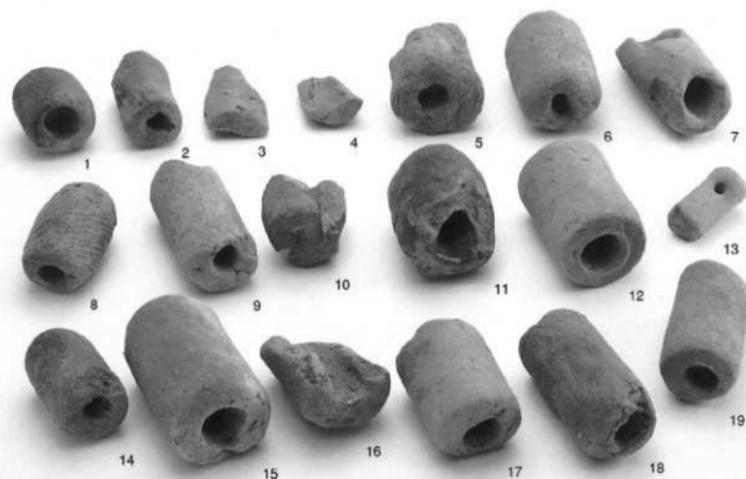
276



277

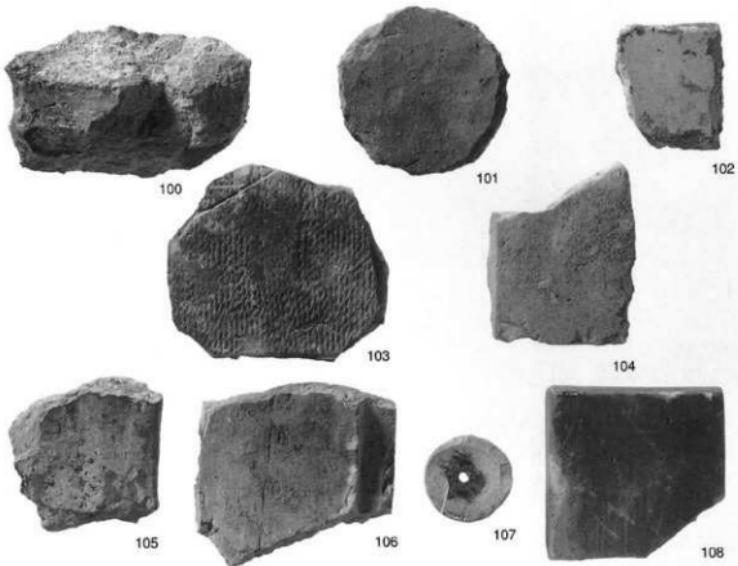
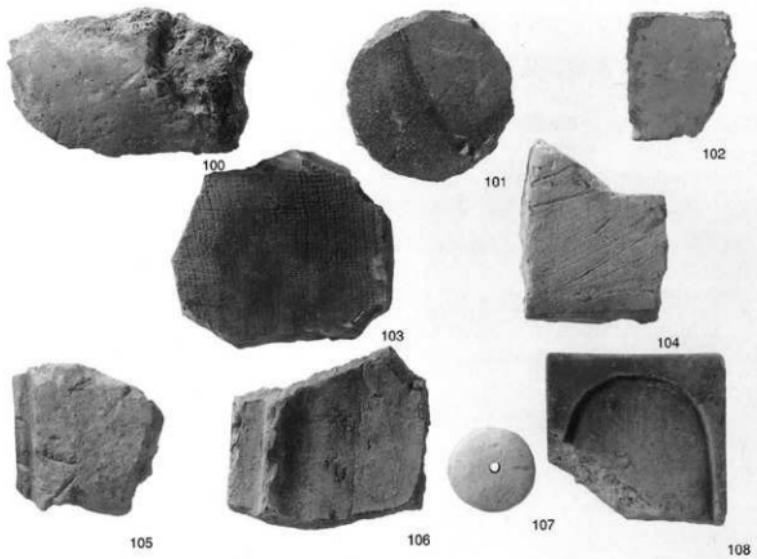


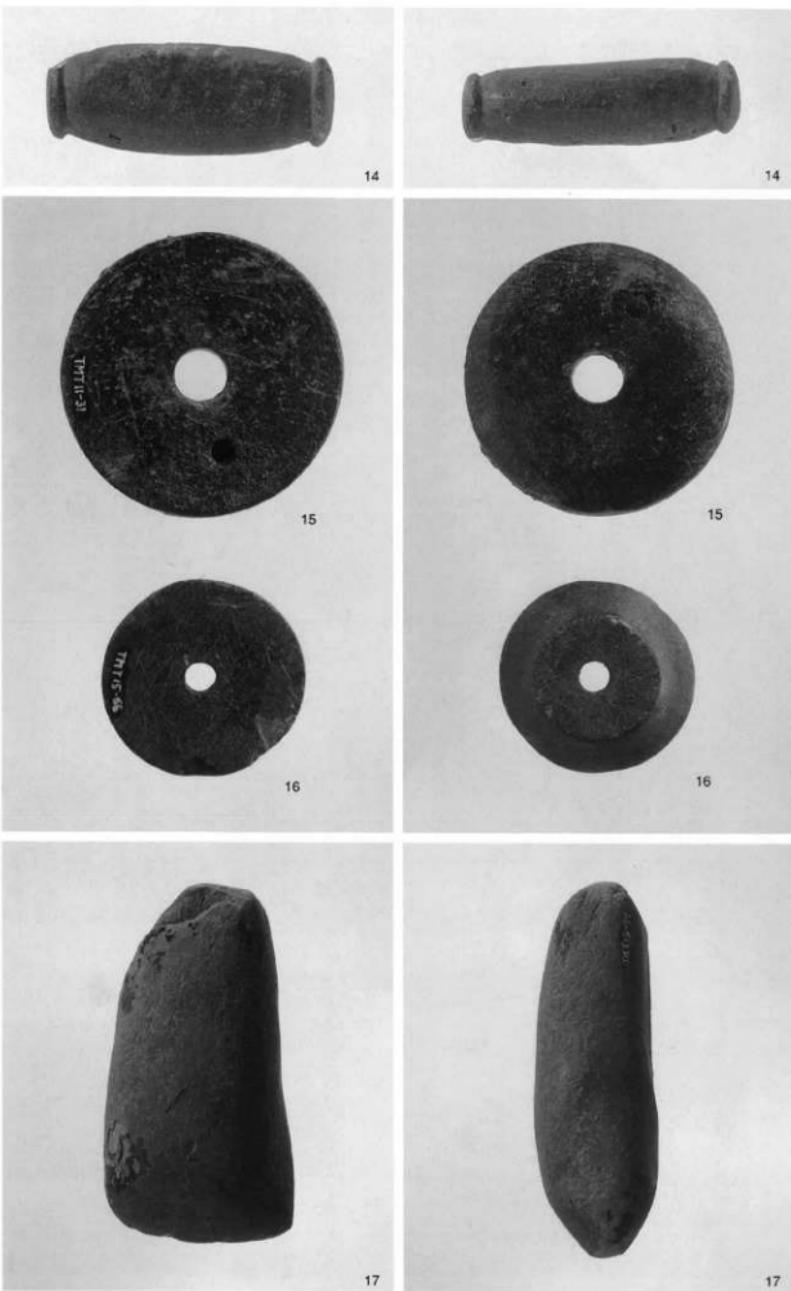
図版 88



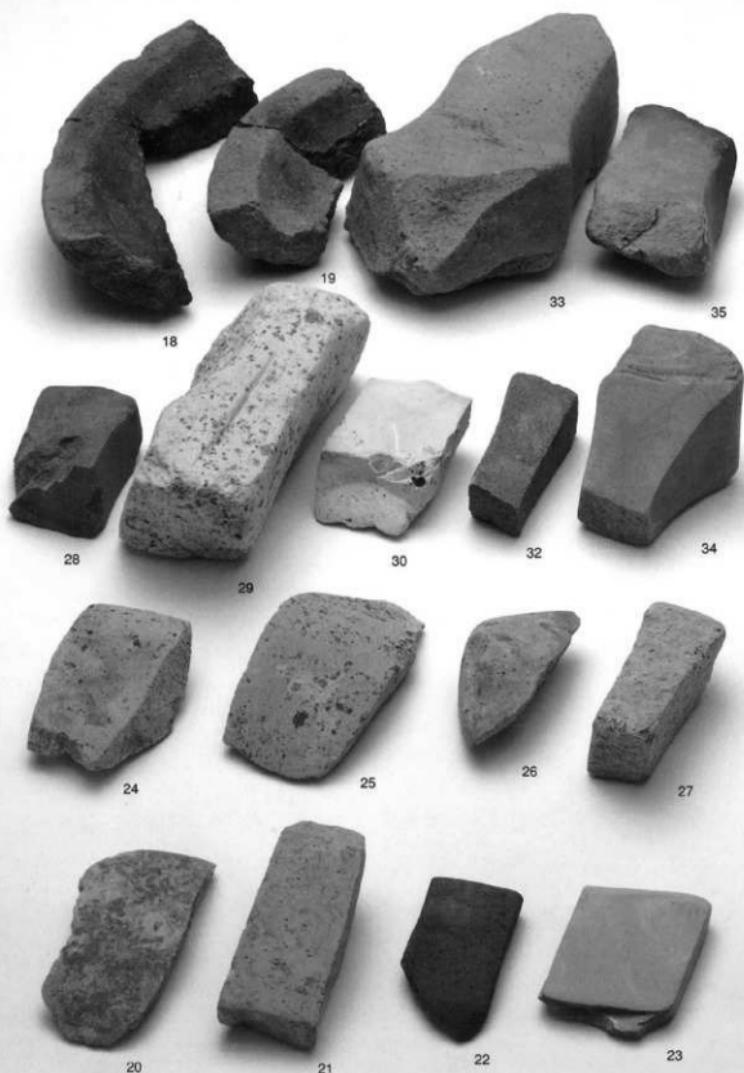


図版 90



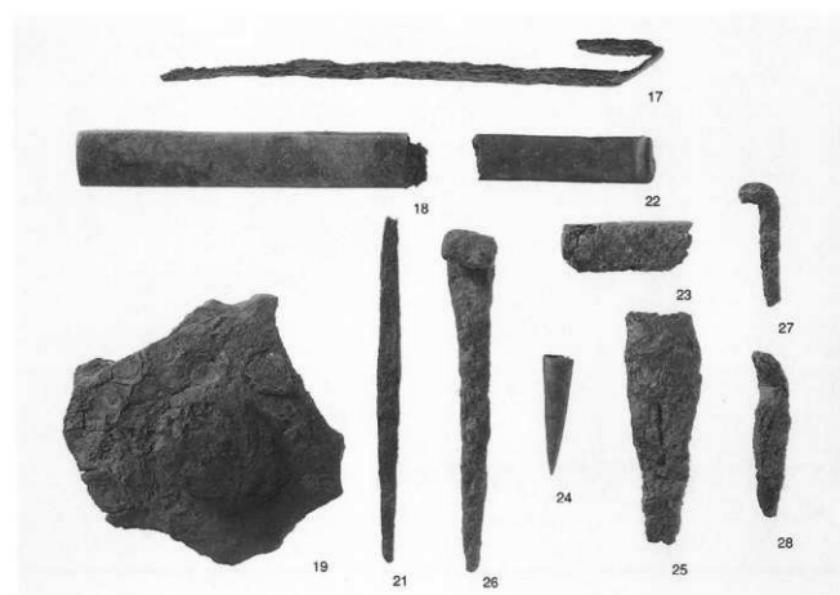
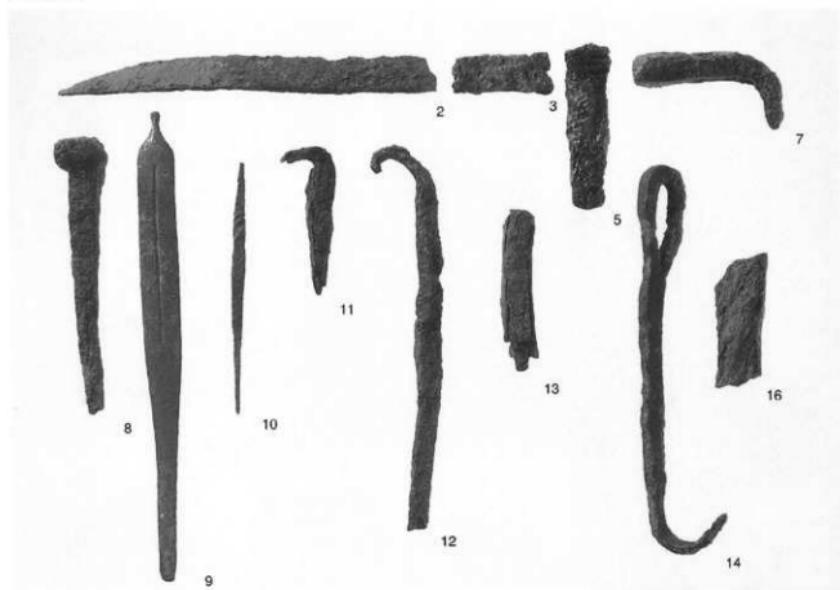


図版 92





図版 94





1

6



4



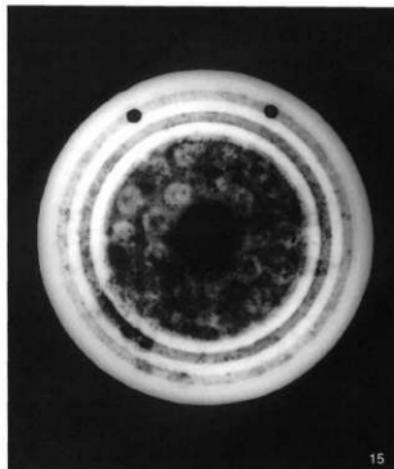
4

6





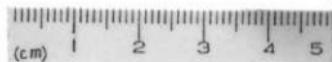
15



15



29



29



20



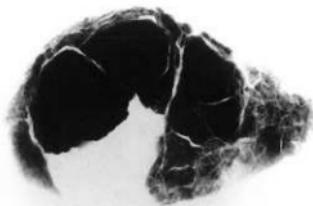
30



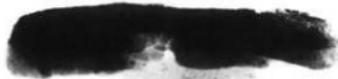
32



31



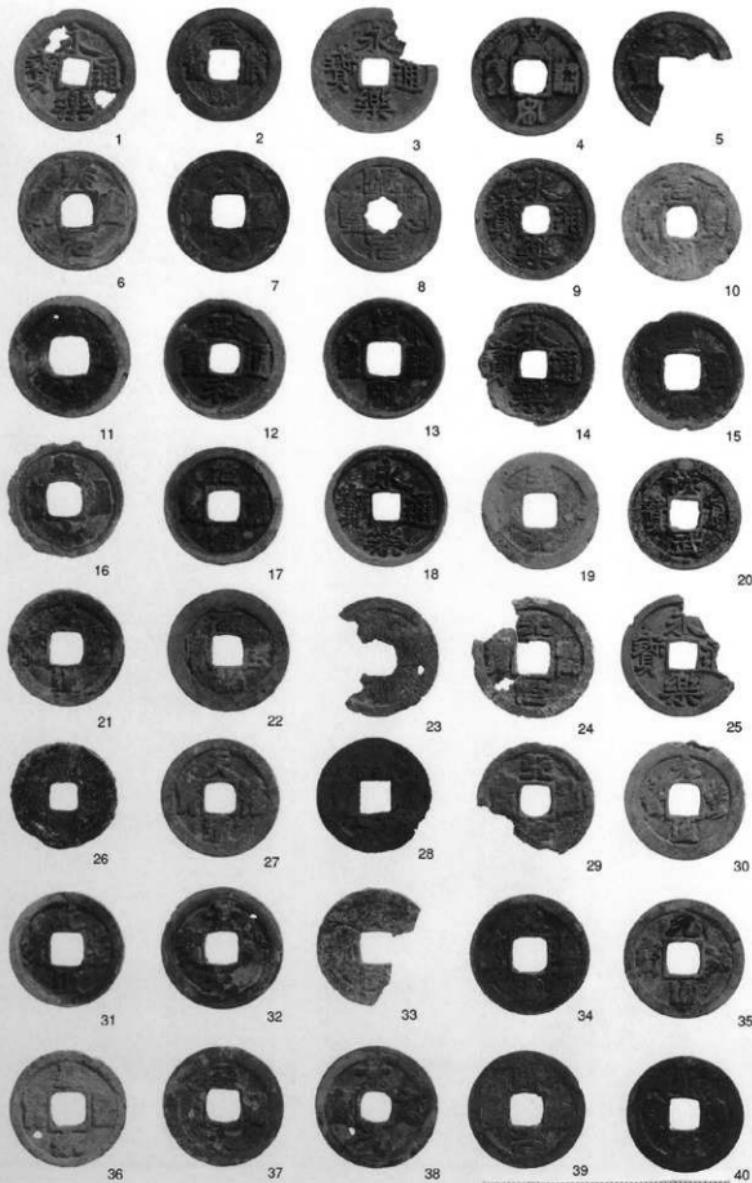
32



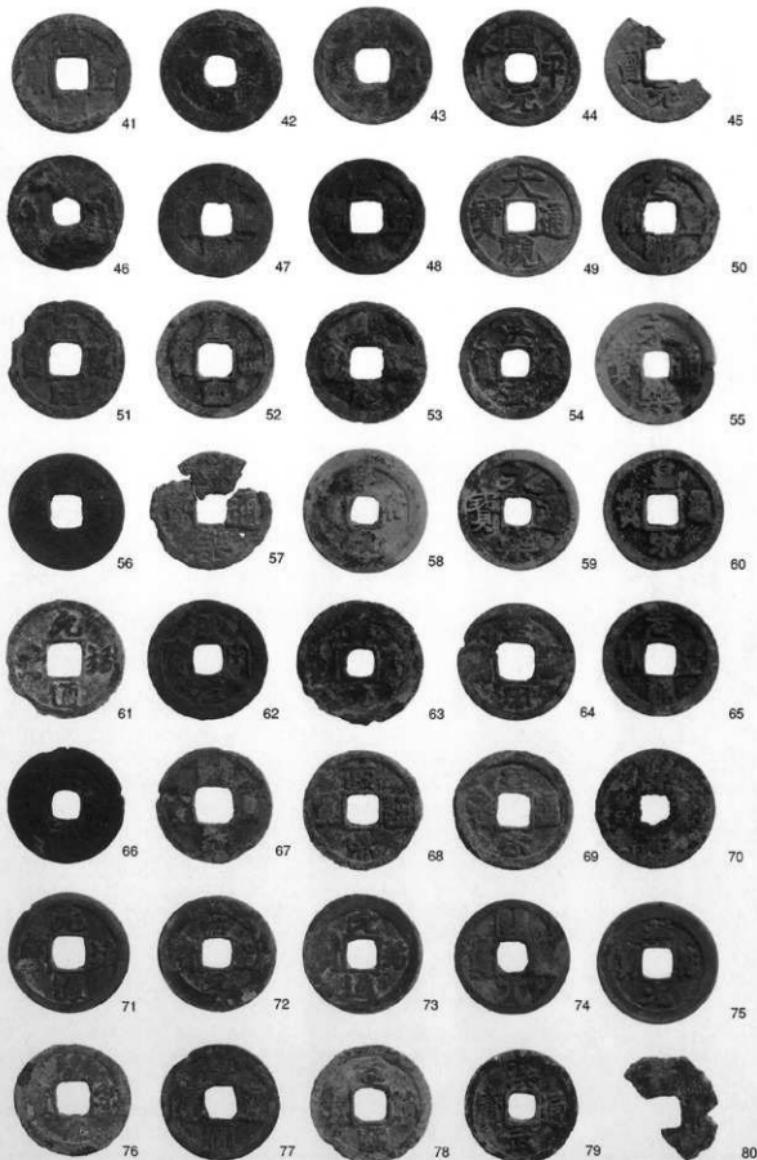
31

90B

図版 98



1 2 3 4 5
(cm)

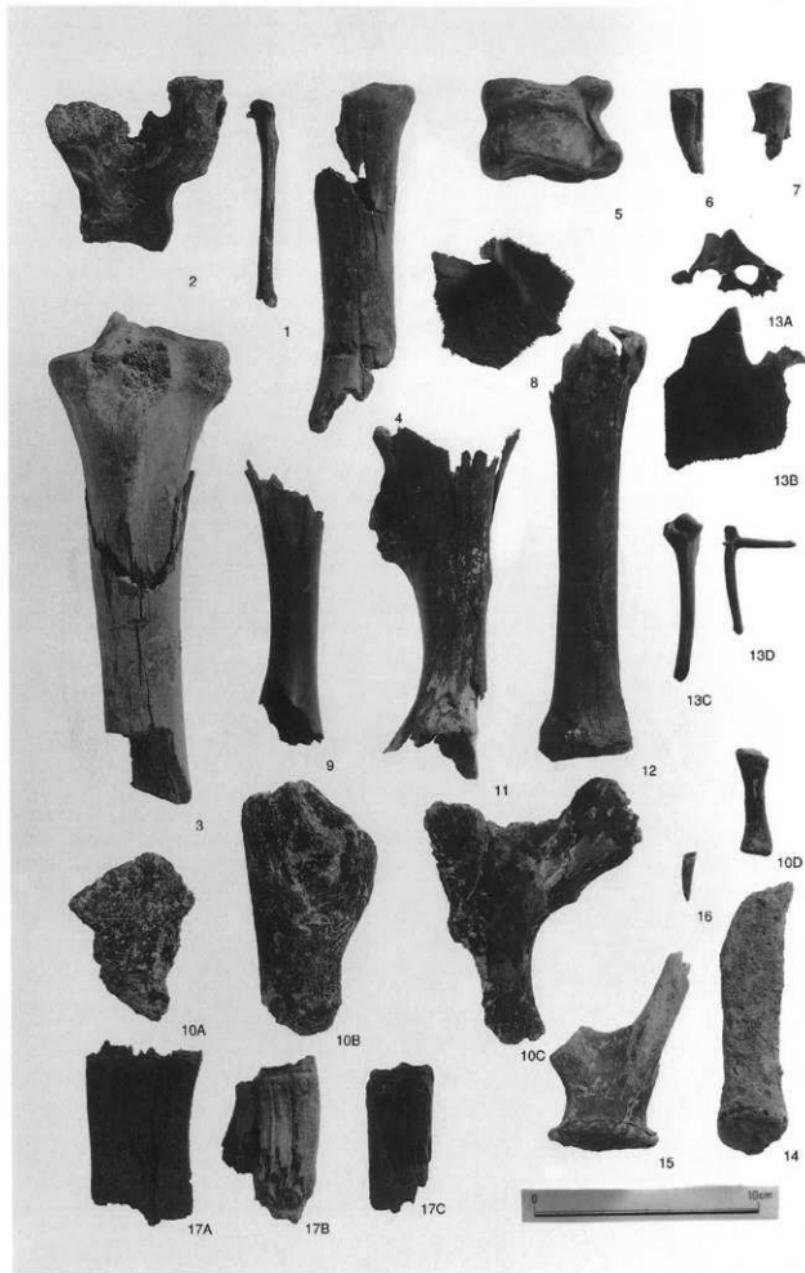


1 2 3 4 5
(cm)

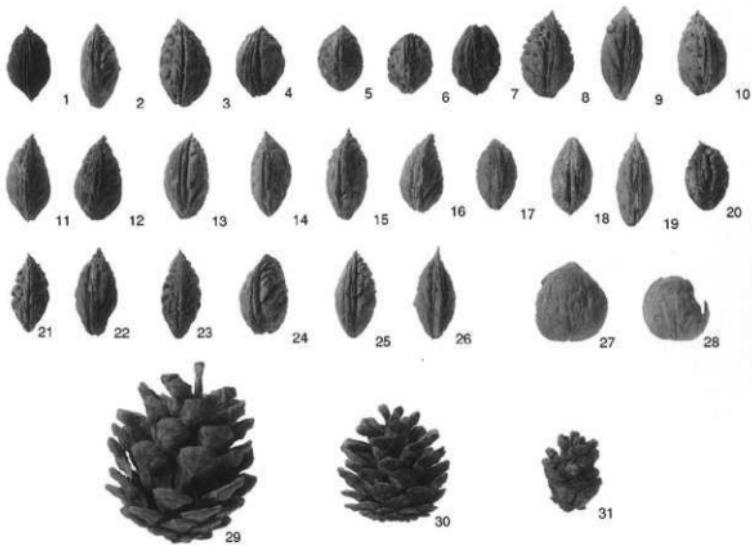
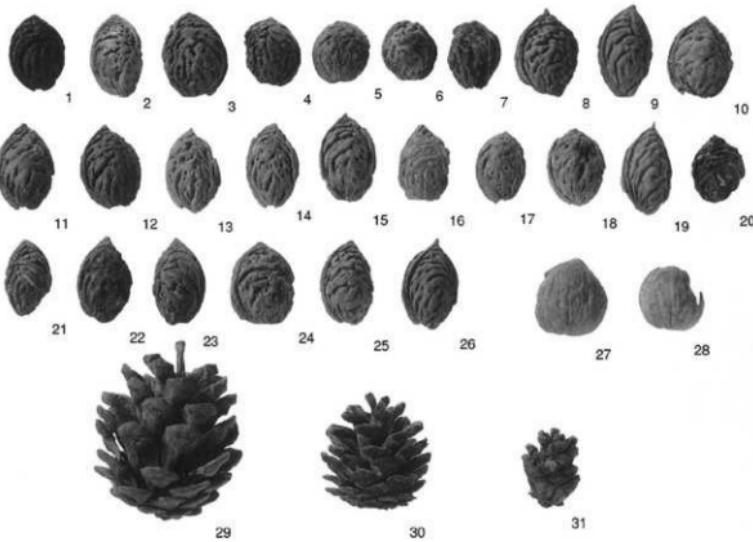
図版 100

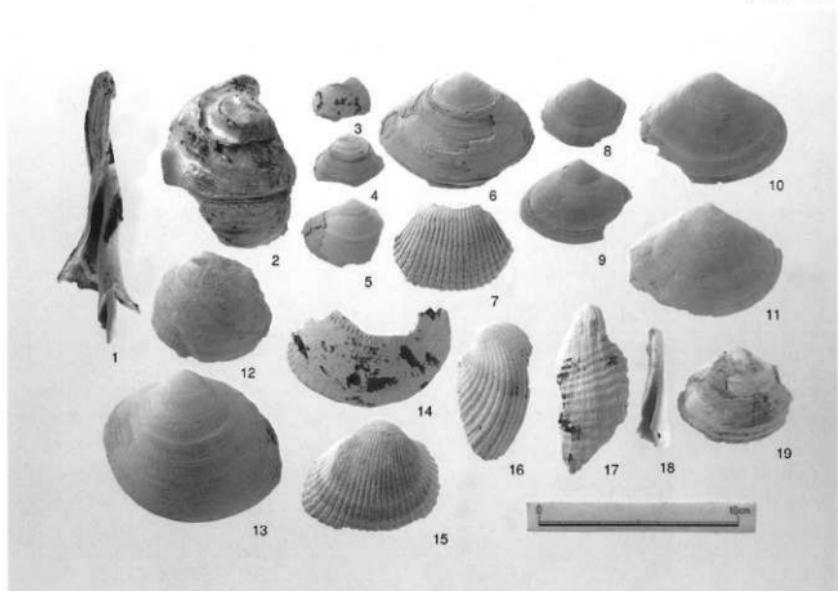


[cm] 1 2 3 4 5



図版 102





報告書抄録

ふりがな 書名	もとじまいせきに（いぶつへん） 元島遺跡II（遺物編）						
副書名	平成13・14年度 二級河川太田川広域基幹河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
巻次	（造構・考察編）（遺物編）、2分冊の1						
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告						
シリーズ番号	第160集						
編著者名	柴田 駿						
編集機関	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所						
所在地	〒422-8002 静岡県静岡市谷田23-20 TEL 054-262-4261						
発行年月日	2005年3月31日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村 通路番号	北緯 。' "	東経 。' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
元島	静岡県磐田郡 磐田町豊浜	22482	2	旧日本測地系 34°41'04" 137°53'45"	20010702 ~	9,240	河川改修 工事
				世界測地系 34°41'16" 137°53'34"			
				(4K7坑)			
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
元島	墓	弥生時代中期	方形周溝墓29、 土器棺墓3	弥生土器、大型鉈刃石斧1	弥生中期-海拔0 mに方形周溝墓、 前回の調査と合計 すると38基となっ た。		
	集落 ・墓	古墳時代中期	堅穴状遺構5、 掘立柱建物8、 溝・流路39、土 坑6、古墳3	土器類、須恵器、滑石製勾玉2、滑石 製管玉10、滑石製臼1、土鍤270、石 製鋸鉋車2、耳環1、織羽口13（土器器 高环の転用）、剥物1、鎌1、鍬もしく は容器1、柱根18	古墳時代中期-静 岡県で最古段階の 製鐵（鍛冶）		
	集落 ・墓	中世～ 近世初頭	掘立柱建物38、 壁5、溝・流 路59、土坑・井 戸跡17、土坑墓 4、集石1、畦畔 2	土器類、山系碗、輸入陶磁器、国产陶 磁器（漸戸・美濃、常滑、初山・志戸 呂焼）、土鍤50、土製内盤1、瓦3、硬1、 土器片転用鋸鉋車1、石製茶臼2、呪符 木簡5、織羽口1、鉄座（桟型座）、密 解炉の破片、和鏡1、刀子、笄、釘、 鍼、鉗、釣針、小柄、蓋？、火箸、鍋、 飾金具、貨幣114、	中世-屋敷地を囲 む区画溝、鍛冶活 動（鍛造・铸造）、 「急ヶ如律令」な どの呪符木簡5		
		15世紀後半以 降16世紀以前	灰状砂（地盤痕 跡）	木簡6、木製容器（漆碗9、曲物17、 汚約1、折敷7、箱2、桶・樽板1、蓋板 又は劫籠車、籠）、木棧1、杓子1、ヘ タ状木製品1、著40、横櫛1、下駄3、 編物1、網羅、布巻、糸巻具、火縫白 12、柱根98、木崩6、墨書き1、木棺、 人骨、動物遺存体	漆櫛の模様は鶴、 龜、松、扇、家族 のようなおめでた い図柄が描かれて いる。		
					明応の東海地震 (1498年)の痕跡 か？		

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第160集

元島遺跡 II

(遺物編)

平成13・14年度 二級河川太田川広域基幹河川改修事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成17年3月21日発行

編集発行 財團法人

静岡県埋蔵文化財調査研究所

〒422-8002 静岡県静岡市谷田23番20号

T E L (054) 262-4261 (代)

F A X (054) 262-4266

印刷所 株式会社 三 創

〒422-8047 静岡県静岡市中村町166番地の1号

T E L (054) 282-4031 (代)

F A X (054) 283-3984

